

香芝市公共施設マネジメント
～実態把握編～

平成 27 年 3 月

はじめに

本市では、昭和 50 年代から、人口増加に伴ってその需要に応えるために、公共施設を建築してきました。

現在、この集中的に建設された公共施設の大半が築 30 年以上経過しており、近い将来、一斉に施設の建替えや大規模改修といった老朽化対応を迫られる時期を迎えることとなります。

そのため、施設の建替えや大規模な修繕の費用が増加し、大きな財政負担となることが心配されています。

また、私たちを取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来や、労働者人口の減少など、社会構造の根幹において大きな転換期となっています。本市では、他都市と比較して少子高齢化傾向は市全体をみるとそれほど進んでいませんが、一部の地区で徐々にその傾向は進行しつつあります。人口構成の変化により、公共施設に対するニーズにも変化が訪れています。

このような課題を解決するために、市が保有している公共建築の実態を様々な点から把握し、課題をとりまとめ、香芝市公共施設マネジメントに取り組んでおります。

今後はこれをもとに市民の皆様と情報を共有し、ご意見を頂きながら、本市の公共施設のあるべき姿について共に検討してまいりたいと考えております。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成 27 年 3 月

香芝市長 吉田 弘明

目 次

第1章 香芝市の現状及び課題

1. 市の概要	
（1）市勢概要	1
（2）交通状況	2
（3）昼間人口の推移	3
（4）市内鉄道駅乗車人数の状況	4
2. 人口状況	
（1）人口推移と将来予測	6
（2）小学校区別人口変化	8
3. 地域特性の把握	
（1）開発動向と小学校区別人口変化の関係	9
（2）D I D地区（人口集中地区）の変遷	10
4. 財政状況	
（1）歳入	11
（2）歳出	11
（3）投資的経費（一般会計）の推移	12
（4）公債費の推移	13
（5）他団体との比較	13
5. 公共施設状況	
（1）保有資産の状況	14
（2）築年別整備状況	15
（3）将来更新費用試算	16
6. 課題のまとめ	20

第2章 用途別実態把握

1. コスト情報とストック情報の把握	21
2. 公共施設の配置状況	22
3. 用途別実態把握	
（1）市民文化系施設	24
（2）青少年センター	42
（3）スポーツ・レクリエーション系施設	44
（4）保健福祉施設	54
（5）子育て支援施設	64
（6）学校	83
（7）駐車場	97
（8）旧公民館（シルバー人材センター）	99
（9）その他	100

第3章 保全の実態把握

1. 劣化状況評価の進め方	
(1) 劣化問診票	101
2. 用途・部位別建物状況	
(1) 用途別建物状況	104
(2) 部位別建物状況	151
3. コンクリート中性化深さと診断強度	153
4. 耐震化工事が必要な建物	154
5. 劣化問診票による本市課題について	155

第4章 地域別実態把握

1. 中学校区別の実態把握	157
2. 香芝中学校区	158
3. 香芝西中学校区	160
4. 香芝東中学校区	162
5. 香芝北中学校区	164

第5章 公共施設マネジメント全体方針

1. 公共施設マネジメントの必要性	166
2. 公共施設マネジメント全体方針	
(1) 全体方針	167
(2) 取組方策	167
3. 今後の進め方	168
4. 香芝市公共施設マネジメント～全体方針まとめ～	169

資料編 中学校区別施設利用状況データ

1. 香芝中学校区	170
2. 香芝西中学校区	172
3. 香芝東中学校区	173
4. 香芝北中学校区	174

※本編中の築年数は、平成26年度を基準年度（築0年）としています。

第 1 章 香芝市の現状及び課題

第1章 香芝市の現状及び課題

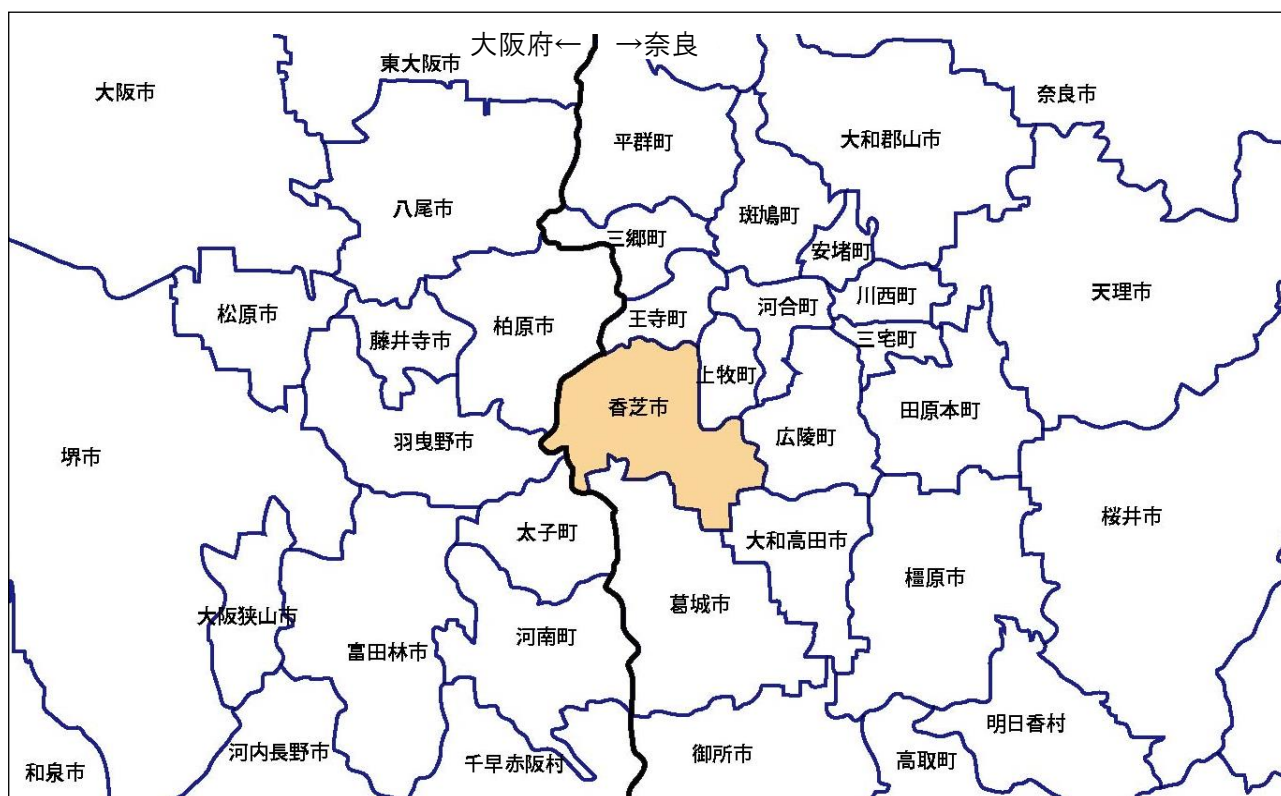
1. 市の概要

(1) 市勢概要

- ・ 本市は奈良県の北西端で大阪府との境に位置しており、北は王寺町、東は上牧町、広陵町、南は大和高田市、葛城市、西は大阪府羽曳野市、柏原市、太子町と、8つの自治体に接しています。
- ・ 本市は西名阪自動車道、香芝インターチェンジをはじめ、広域幹線道路が結節するなど交通の要衝にあり、鉄道網では8つの駅を有し、大阪市内まで最短22分のアクセスという至便なところに位置しています。

面積	24.26k㎡（平成27年3月31日時点） 〔東西幅 7.27km 南北幅 6.27km 標高：最高 275.5m 最低 40.0m〕	
人口	総人口	78,236人（2015年3月末日現在）
	世帯数	29,681世帯
	昼間人口	60,791人（2010年国勢調査データ）
	流入人口	9,347人
	流出人口	25,403人
	昼夜間人口比率	80.8%
鉄道	【鉄道路線及び駅数】 近鉄大阪線 4駅（関屋駅・二上駅・近鉄下田駅・五位堂駅） 近鉄南大阪線 1駅（二上山駅） JR和歌山線 3駅（志都美駅・香芝駅・五位堂駅）	
道路	西名阪自動車道	1路線
	国道	2路線（165号・168号）

図表 香芝市と周辺自治体

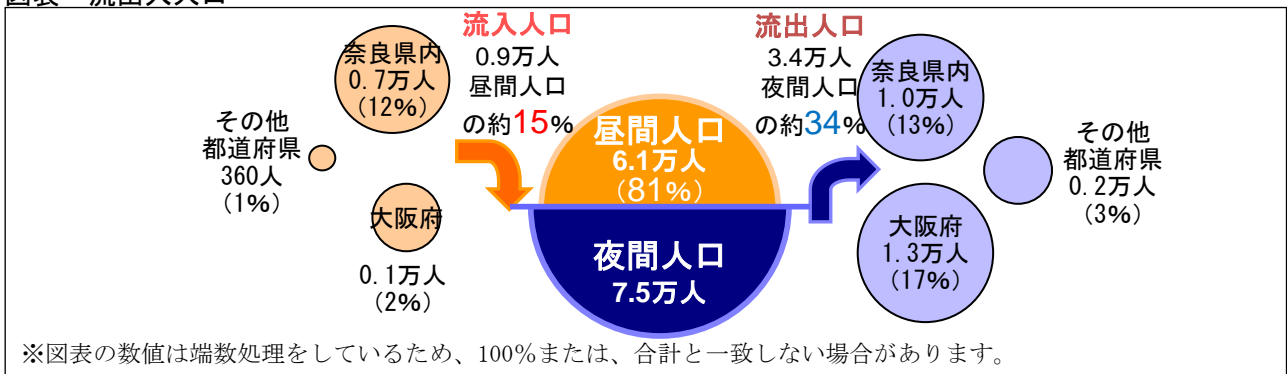


(3) 昼間人口の推移

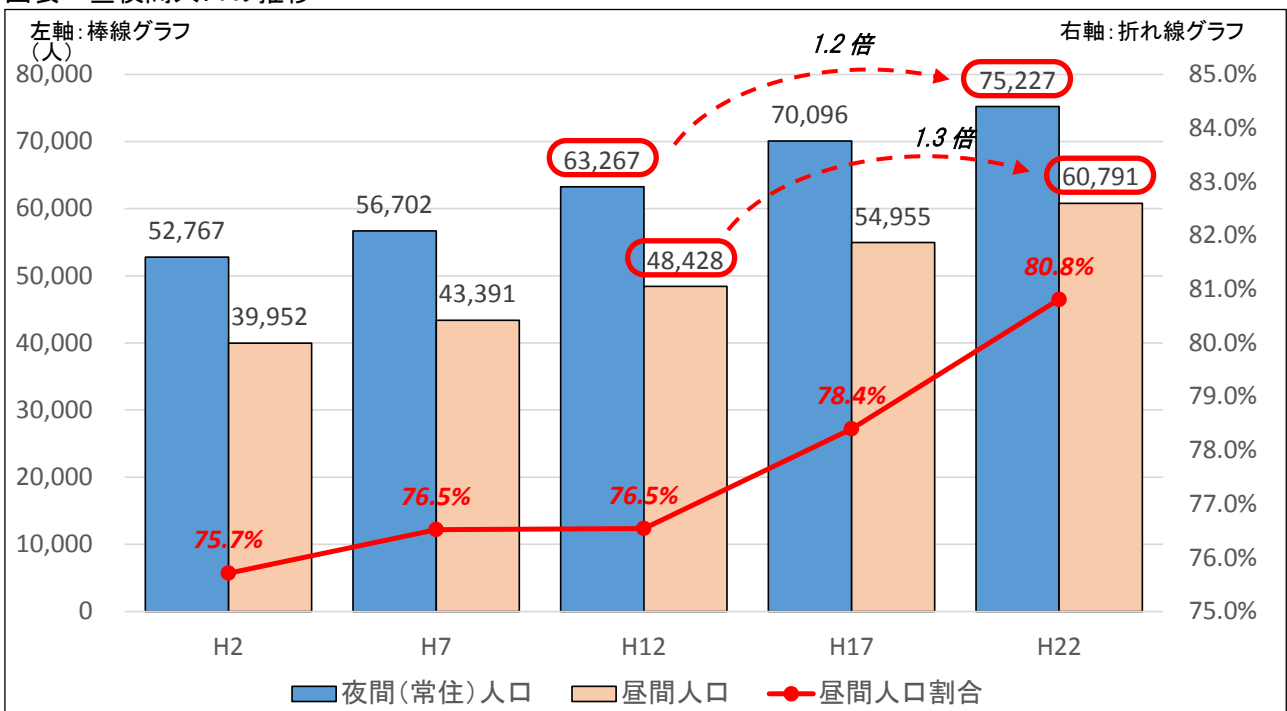
- ・ 平成 22 年の流出人口の内訳をみると、流出人口 2.5 万人の内、過半数の 1.3 万人が大阪府に流出しています。
- ・ 本市の夜間（常住）人口は増加傾向にあり、平成 2 年の 5.3 万人から平成 22 年の 7.5 万人に増加し、昼間人口も 4.0 万人から 6.1 万人へ増加を続けています。
- ・ 昼間人口割合は、平成 12 年を境に急上昇し、平成 22 年には 80.8%まで急増しています。昼間人口の増加率が夜間人口の増加率に比べて大きくなっており、これは高齢者の増加による影響と考えられ、今後も高齢者人口の増加に伴い更なる昼間人口の増加が見込まれます。

・ 人口構成の変化により、今後も昼間人口の増加が見込まれる。それに伴い変化していく公共施設へのニーズに柔軟に対応していく必要がある。

図表 流出人口



図表 昼夜間人口の推移

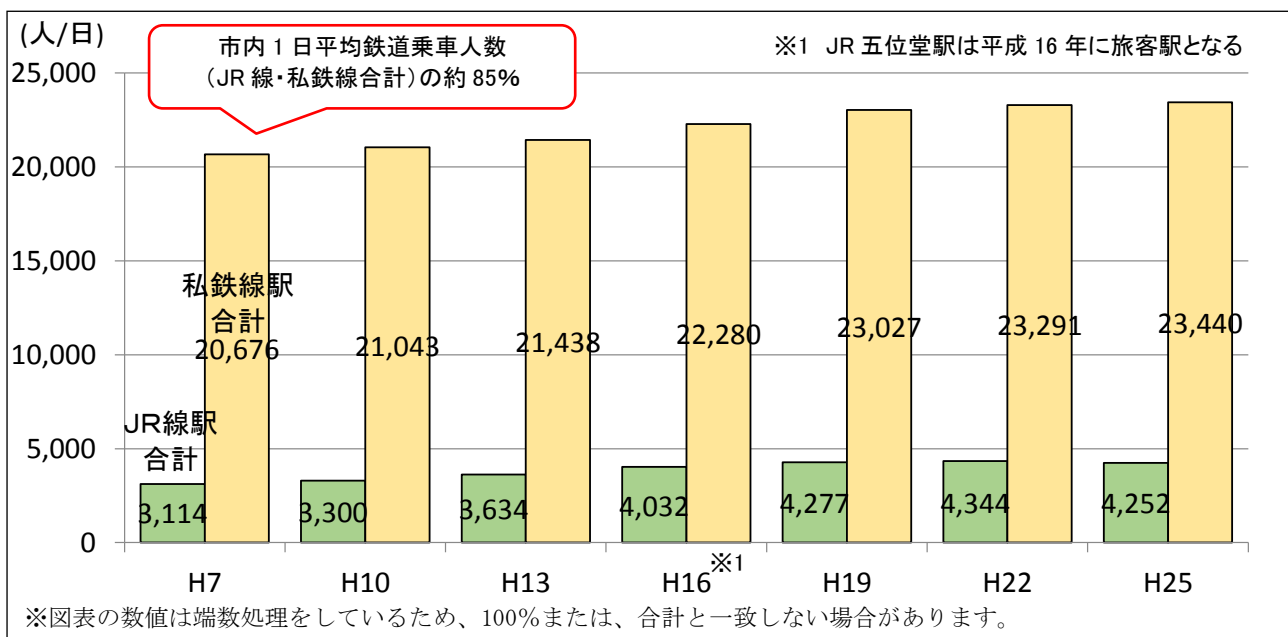


資料：平成 22 年以前国勢調査

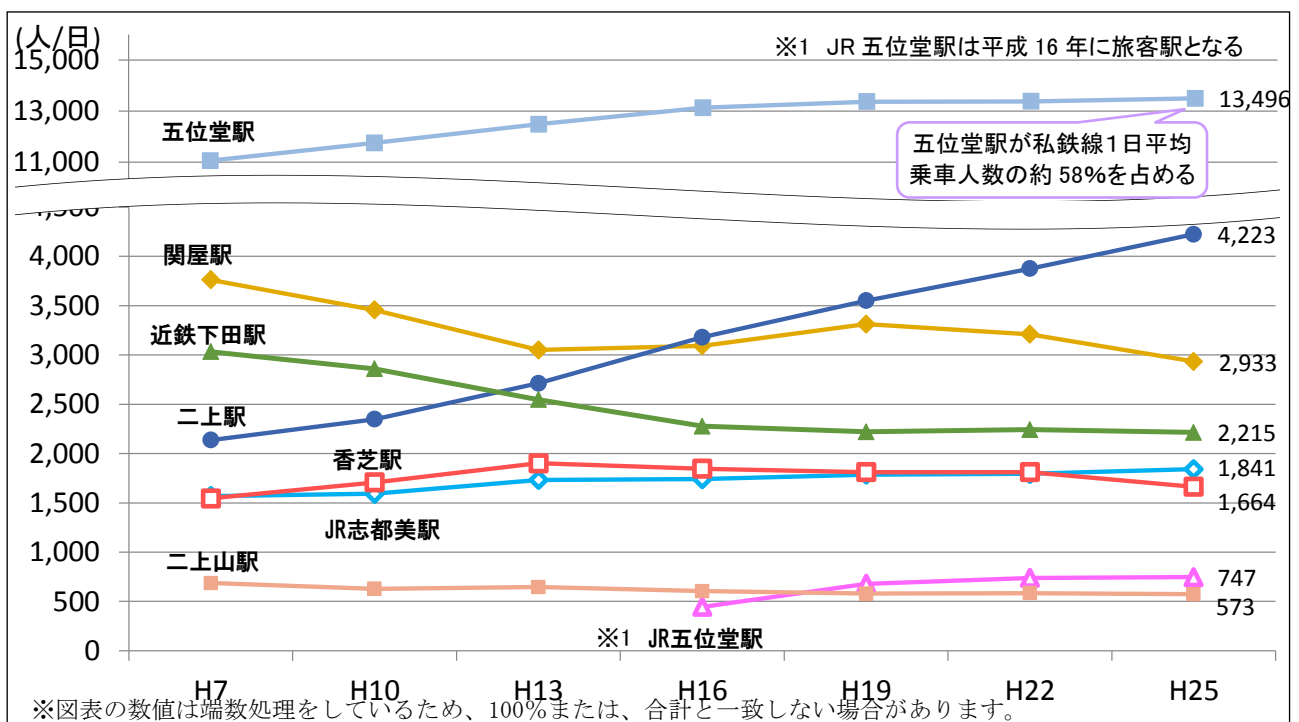
(4) 市内鉄道駅乗車人数の状況

- 平成7～25年度までのJR線および私鉄線（近鉄）の香芝市内駅乗車人数の合計値をみると、JR線は平成22年度をピークに微減の傾向が見られるのに対して、私鉄線は平成7年度から増加が続いています。市内1日平均鉄道乗車人数の約85%が私鉄線となっています。
- JR線の内訳をみると香芝駅は微減しており、志都美駅や、平成16年に旅客駅となったJR五位堂駅は微増の傾向となっています。私鉄線の内訳をみると、近鉄下田駅、関屋駅は減少の傾向、二上山駅、五位堂駅は増加しています。また、それぞれの駅の乗車人数を比べると、JR線は1日の平均が2,000人以下なのに対し、私鉄線は二上山駅を除いて2,000人以上となっており、中でも五位堂駅は、平成13年度以降1万2,000人を超えており、市内私鉄線の合計値の5～6割を占めています。

図表 JR線および私鉄線市内駅1日平均乗車人数合計の推移

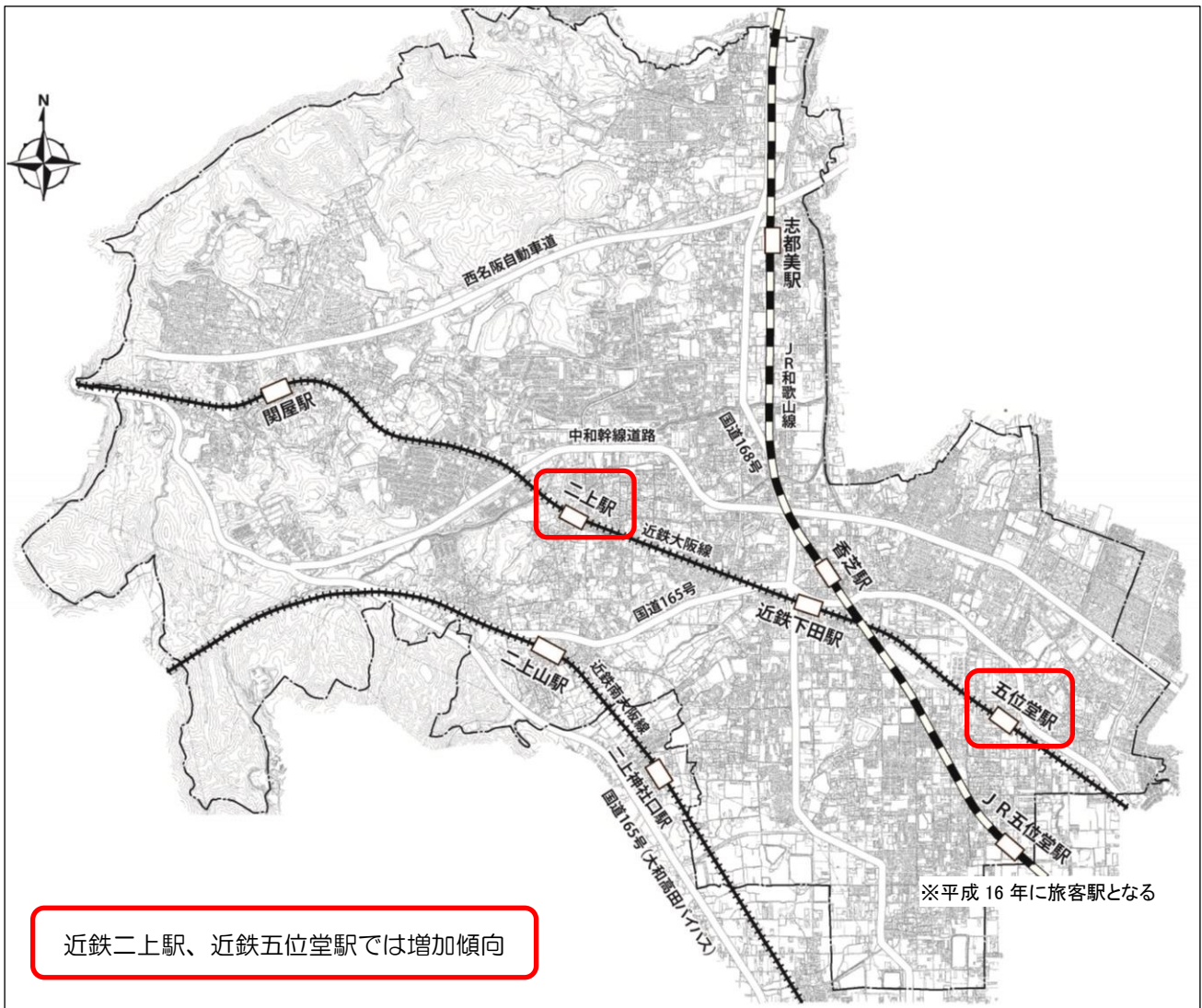


図表 JR線および私鉄線市内駅1日平均乗車人数の推移



資料：奈良県統計年鑑（JR西日本データ、近畿日本鉄道データ引用）

図表 香芝市内鉄道路線図



2. 人口状況

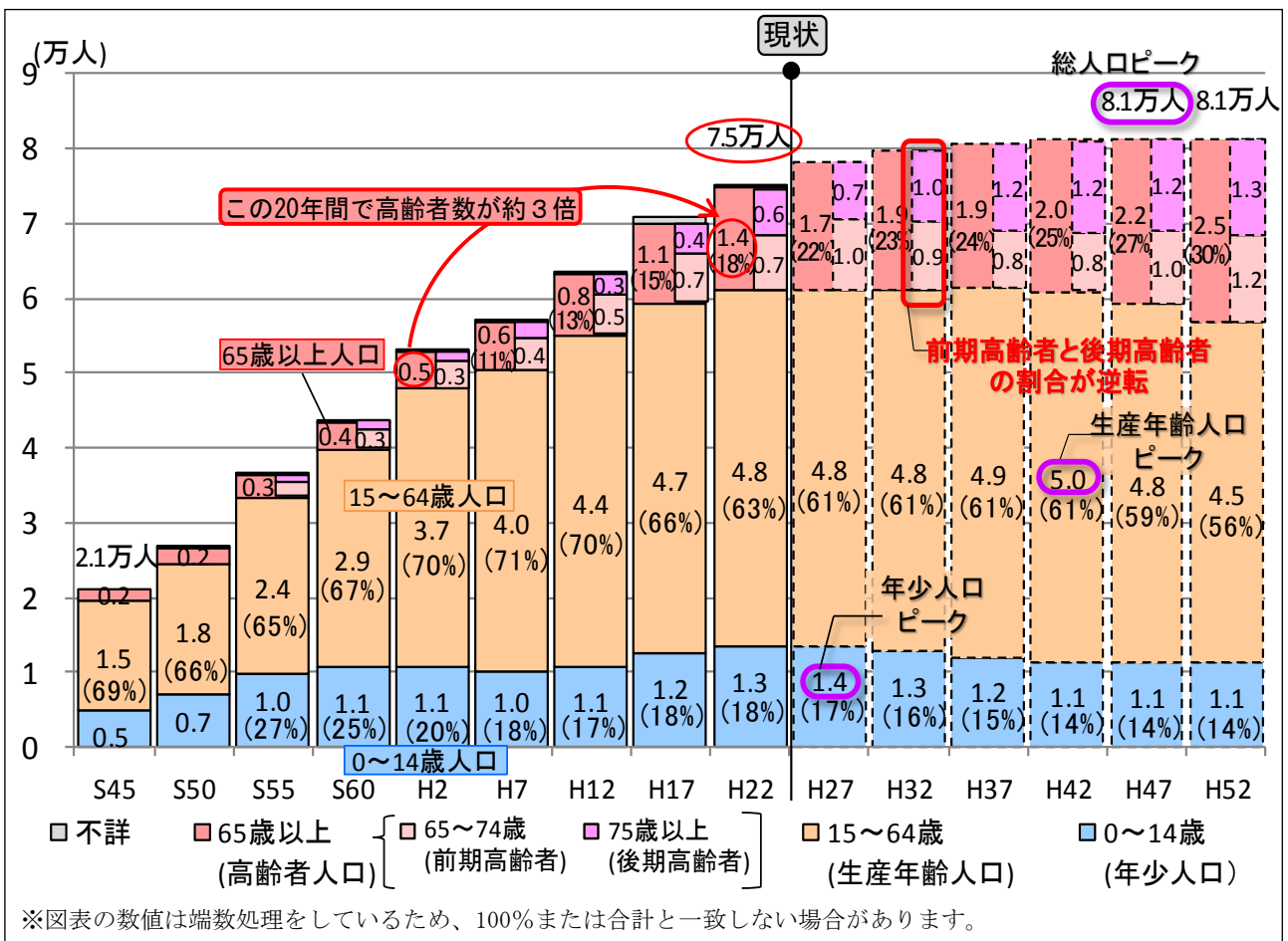
(1) 人口推移と将来予測

① 全体人口推移

- 本市の総人口は昭和45年から増加傾向にあります。また、今後は微増の状況が続き、平成22年現在の7.5万人から、平成47年に8.1万人となる見込みです。
- 年齢の内訳で見ると、65歳以上の高齢者人口はこれまで平成2年から平成22年までの20年間で約3倍と急増しており、今後も増加が続いて、平成52年までの30年間で高齢者人口比率は30%まで達する見込みです。一方、0～14歳の年少人口は平成27年をピークに今後は減少、15～64歳の生産年齢人口は平成42年の5.0万人をピークに減少する見込みです。
- 高齢者人口の中でも、平成32年には65～74歳の前期高齢者と75歳以上の後期高齢者の割合が逆転し、それ以降も後期高齢者が増加する見込みです。

- 総人口は現在まで増加を続け、平成47年まで増加する予測となっているが、人口の急増期は終わり、今後の増加率は緩やかとなる見込み。
- 今後は高齢者人口が主に増加し、年少人口や生産年齢人口に大きな増加はなく、総人口より前倒して減少が始まる予測となっている。
- 後期高齢者の増加により今後要介護者が増加することが見込まれる。

図表 人口推移



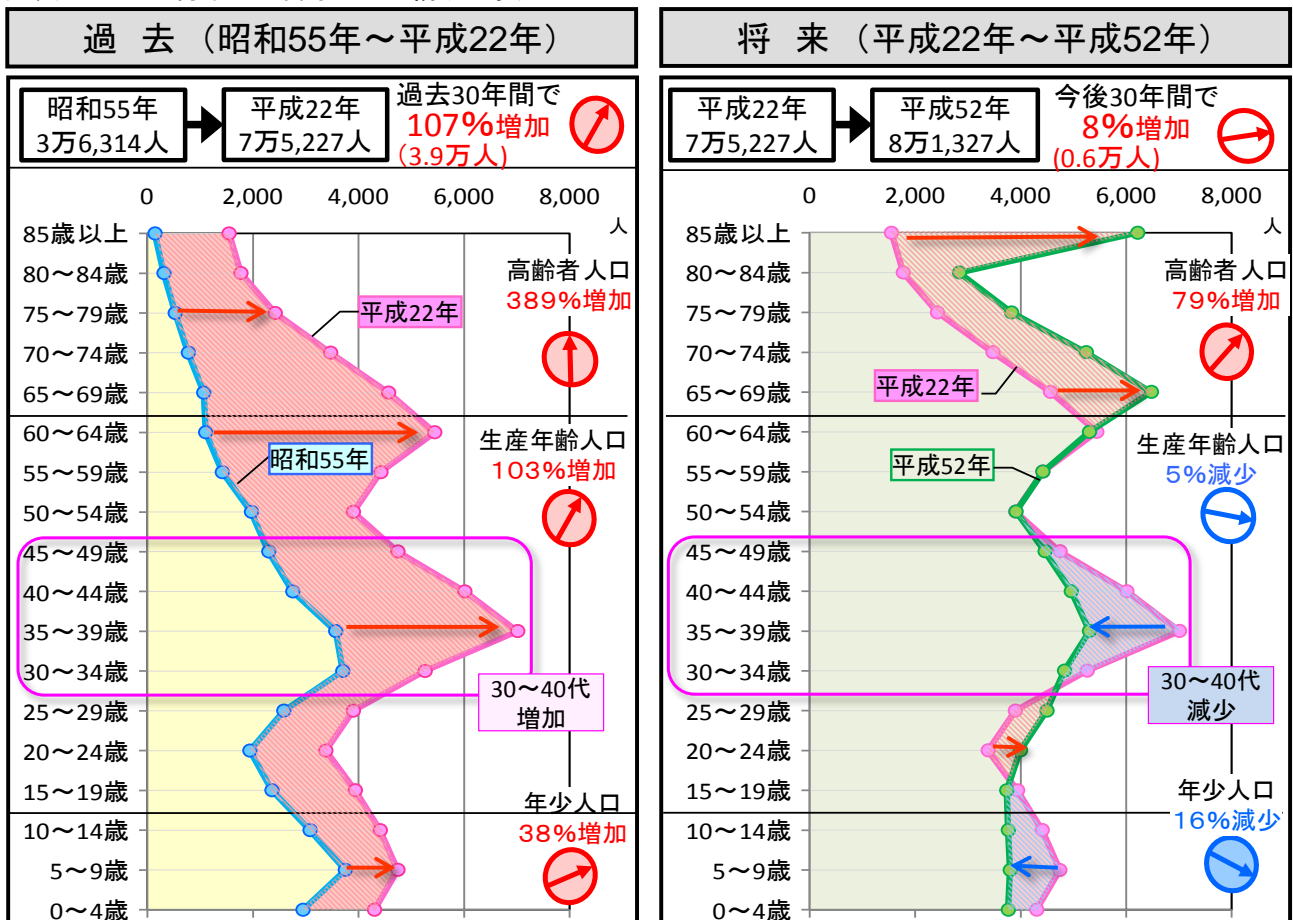
資料：平成22年以前国勢調査、平成27年以降国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成25年3月推計）

② 人口構成の変化

- 昭和55年から平成22年までの過去30年間の変化をみると、総人口は3.6万人から約2倍の7.5万人に増加しています。その内訳をみると、年少人口は約1.4倍、生産年齢人口は約2倍、高齢者人口は約4.9倍とそれぞれ増加しており、特に30～40代が多く見られます。
- 平成22年から平成52年までの将来30年間の変化をみると、総人口は7.5万人から約1.1倍の8.1万人に増加する見込みです。その内訳をみると、年少人口は16%減少、生産年齢人口は5%減少となっていますが、高齢者人口は79%増加しており、特に85歳以上の高齢者の増加が著しくなっています。平成22年時点で最も多かった30～40代の世代が平成52年に高齢者人口へと移行し、急激に高齢者が増えることが予測されます。

• これまでの30年間は、すべての階層で人口増加があり、特に30～40代が多いが、今後30年間は、20代未満と30～40代が減少し、高齢者人口は大きく増加する予測
⇒人口構成の変化による公共サービスへの市民ニーズの変化に対して適切に対応していくことが必要。
また、30～40歳代の子育て世代の大幅な減少により、少子高齢化の加速が予測されるが、それに対してどのように対策を立てていくか。

図表 過去・将来30年間の人口構成の変化



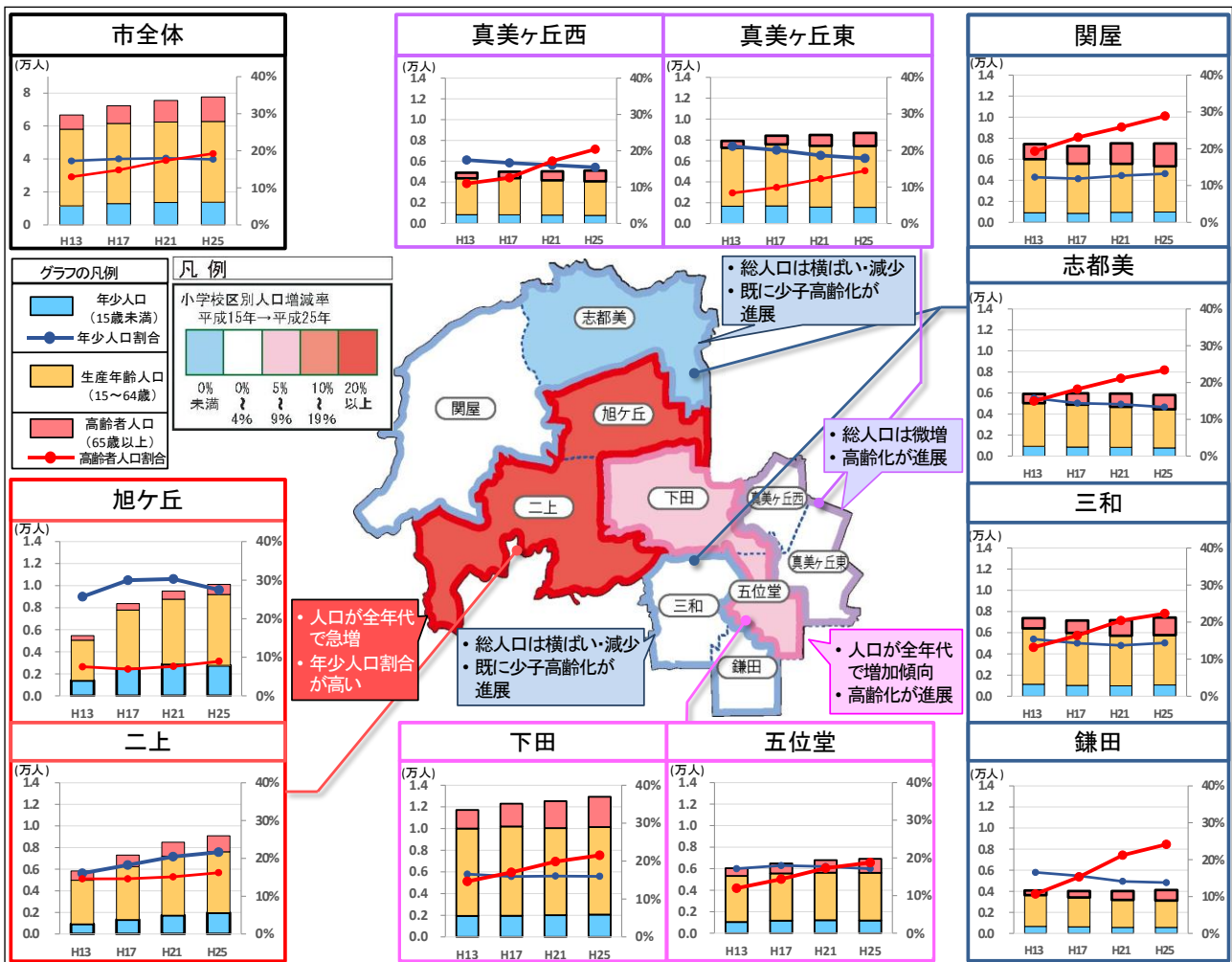
資料：平成22年以前国勢調査、平成27年以降国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成25年3月推計）

(2) 小学校区別人口変化

- 平成 15 年から平成 25 年の 10 年間の人口増加率をみると、市全体では 7.0 万人から 7.7 万人へ 11%増加しています。
- 小学校区別にみると、旭ヶ丘小学校区では 37%、二上小学校区は 42%と人口が大きく増加しており、年少人口比率が高くなっています。
- 関屋、志都美、三和、鎌田小学校区は人口が横ばいまたは減少となっており、既に少子高齢化が進んでいます。特に関屋小学校区の高齢者人口比率は平成 25 年時点で 29%と最も高くなっています。
- 真美ヶ丘西、真美ヶ丘東小学校区は人口が微増となっており、高齢化が進行しています。
- 下田、五位堂小学校区は全年代で増加しているものの、高齢者人口が特に大きく増加し高齢化が進んでいます。

- 小学校区別の人口変化をみると、大きく 4 つの特徴に区分できる。
- 市全体としては、直近 10 年間で総人口が 11%の増加となっているが、内訳をみると 40%以上の増加がみられる校区がある一方、既に人口横ばい・減少の傾向の校区もあるなど、校区により大きく異なる。

図表 小学校区別人口変化（平成 15 年～25 年）



資料：平成 21 年以前「香芝市地域福祉計画策定に伴う小学校区別地区カルテ報告書」、平成 25 年「H25.05.01 現在 校区・年齢別住基データ」

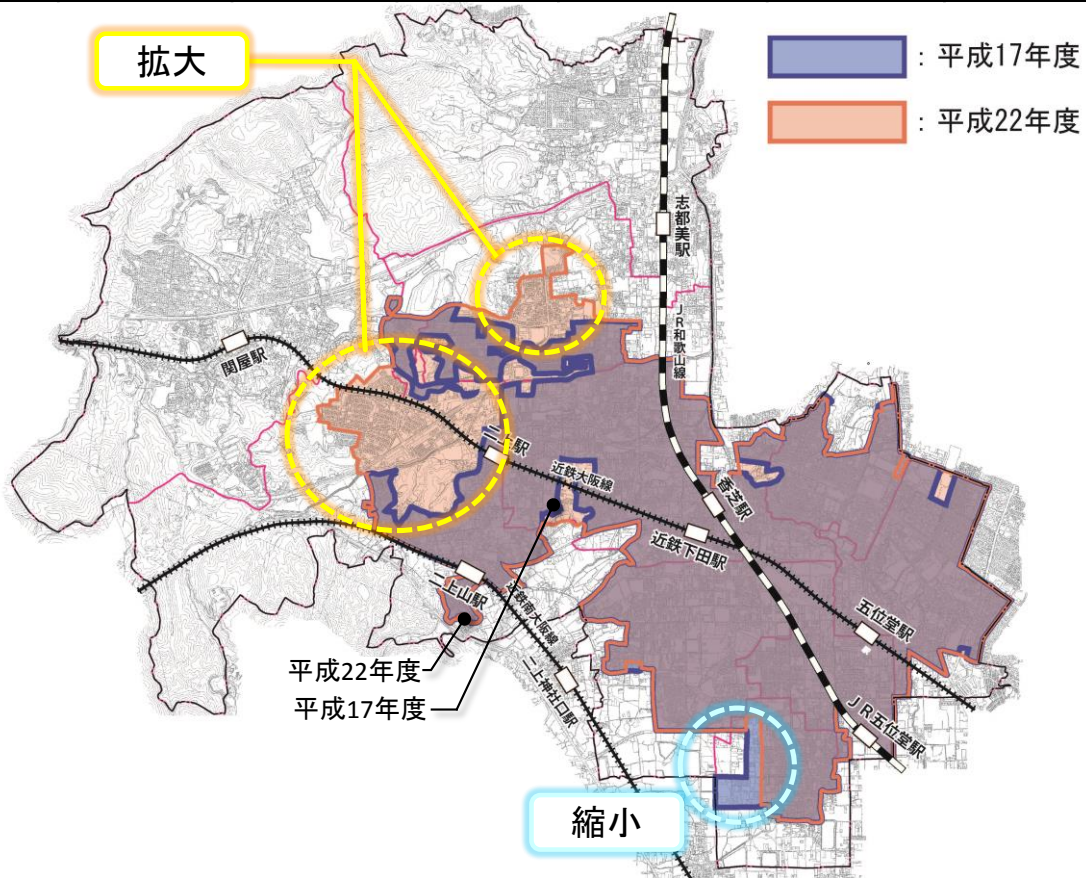
(2) DID地区（人口集中地区）の変遷

- ・ 平成 17 年度から平成 22 年度にかけて、DID 地区は 1.36 k m²広がっており、市全体の面積に占める割合が 32.7%から 38.3%へ増加しています。
- ・ 市の約 4 割の面積に市全体の人口の 76%が集中しています。
- ・ 比較的近年まで開発が行われていた高山台地区、旭ヶ丘地区において DID 地区の拡大がみられます。
- ・ 鎌田小学校区の一部では、DID 地区が縮小しています。

- ・ 市全体では DID 地区は拡大しており、近年開発が行われていた地区等で拡大している一方、古くからの市街地では縮小がみられた地区もある。
- ・ DID 地区に市全体の人口の 76%が集中していることから、同じ小学校区内でも住んでいる場所が限定的であることが予測される。

図表 DID地区の変化（平成 17 年度～平成 22 年度）

	市全体人口	DID地区人口	市全体人口に占める割合	DID地区面積	市全体面積に占める割合	DID地区人口密度
平成17年度	70,998人	49,332人	69.5%	7.93km ²	32.7%	6,221人/km ²
平成22年度	75,227人	57,420人	76.3%	9.29km ²	38.3%	6,181人/km ²



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

資料：平成 17 年度、平成 22 年度国勢調査

地域ごとに大きく異なっている実態を把握し、将来の変化を見据えた公共施設の配置をそれぞれの地域で検討していく必要がある。

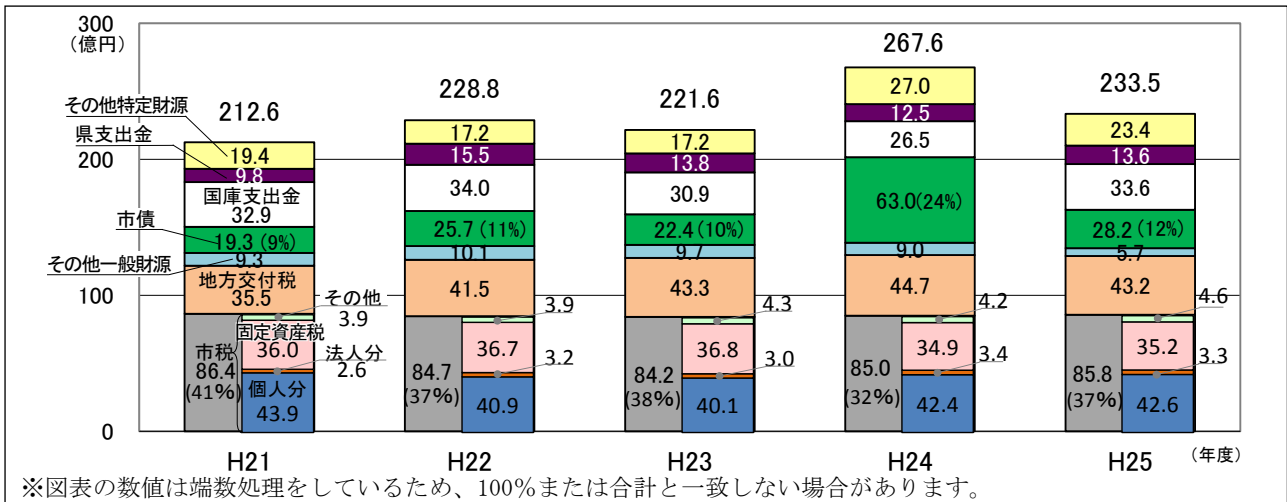
4. 財政状況

(1) 歳入

- ・ 歳入に占める市税の割合は約40%、市債の割合は約10%（平成24年度を除く）と、ほぼ同水準で推移しています。
- ・ 市税の内訳をみると個人税がほとんどを占めています。企業が少ないため、景気動向による法人税の変化の影響は受けにくくなっています。

・ 法人税が少ないが、企業誘致のための土地確保が難しい。また、生産年齢人口は今後も大幅な増加をしない。以上のことから、今後も大きく財源が増える見込みはない。

図表 歳入の推移



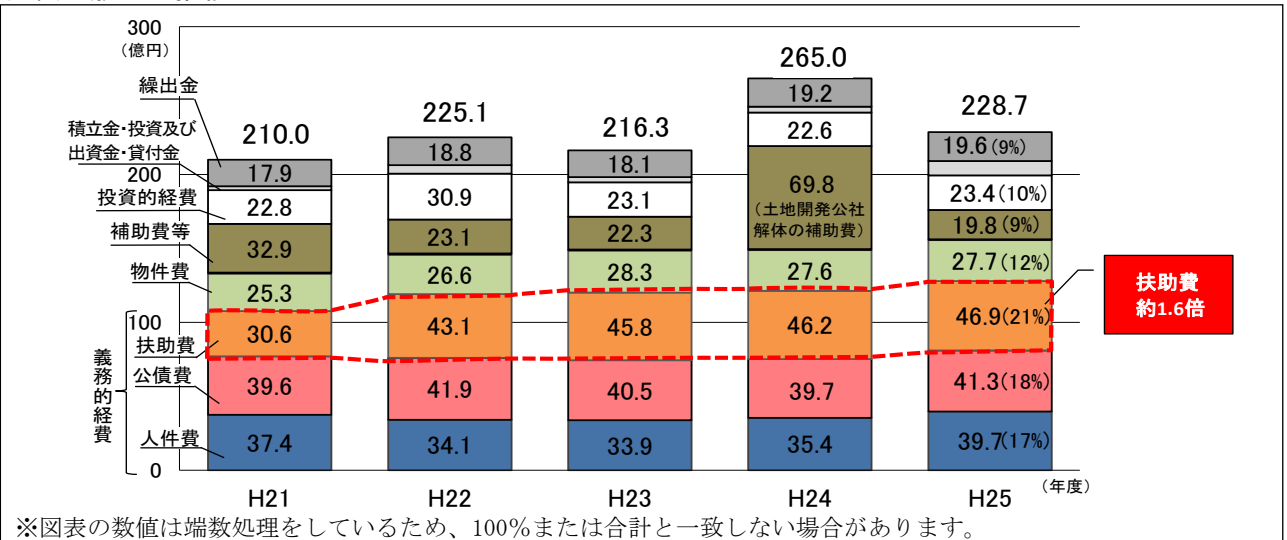
資料：総務省 平成21年度～平成25年度 市町村決算カード

(2) 歳出

- ・ 義務的経費(人件費、扶助費、公債費)の歳出に占める割合は平成25年度時点で50%を超えています。特に扶助費の増加傾向が著しく、平成21年度の30.6億円から平成25年度では46.9億円と約1.6倍になっています。また、今後も高齢者人口の増加が続く中、扶助費はさらに増大していくことが懸念されます。

・ 義務的経費の割合は既に高く、今後高齢化の進展により更に扶助費が増加し、財政の硬直化が進行する見込み。この中で、今後、投資的経費の財源をいかに確保していくかが課題。

図表 歳出の推移

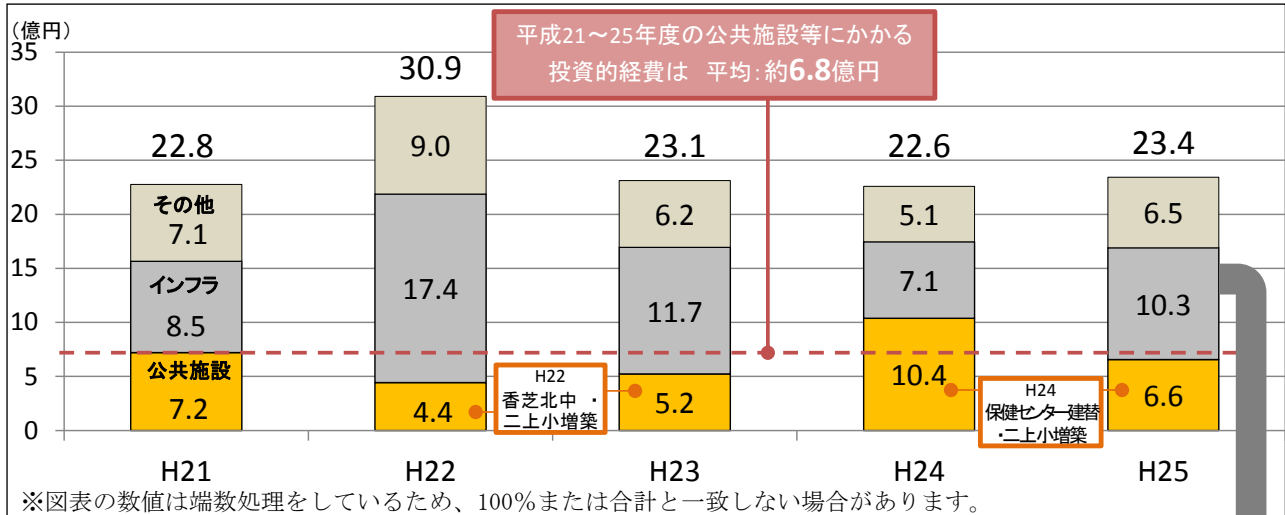


資料：総務省 平成21年度～平成25年度 市町村決算カード

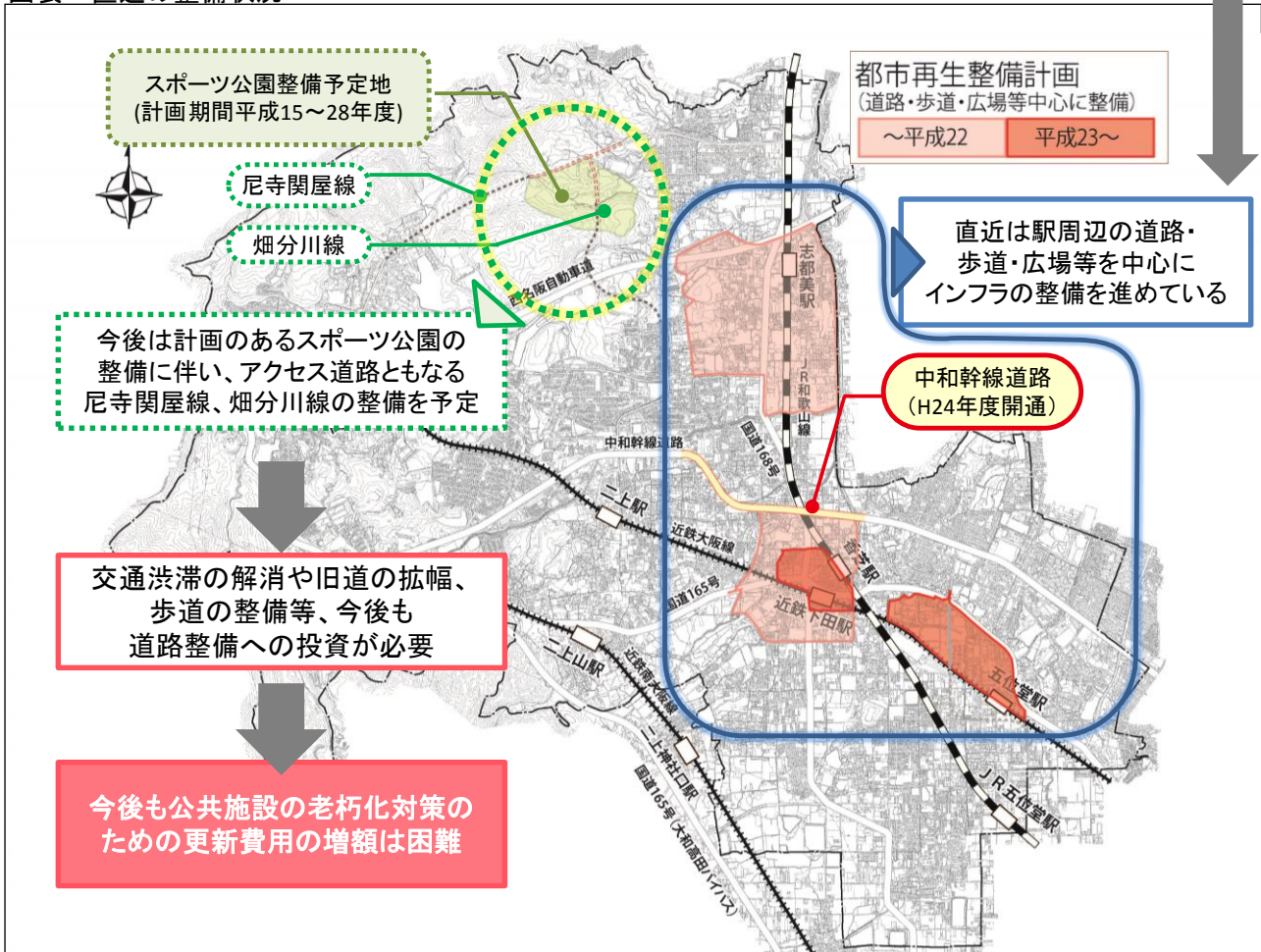
(3) 投資的経費（一般会計）の推移

- 直近は公共施設では香芝北中学校、二上小学校の増築や保健センターの建替等を行っています。インフラでは、道路、歩道、広場等の整備を進めています。
- 今後も都市計画道路の整備や旧道の拡幅などの道路インフラ整備を継続して行う必要があるため、公共施設整備への投資は現状の6.8億円以下の水準になることが想定されます。

図表 投資的経費の推移



図表 直近の整備状況



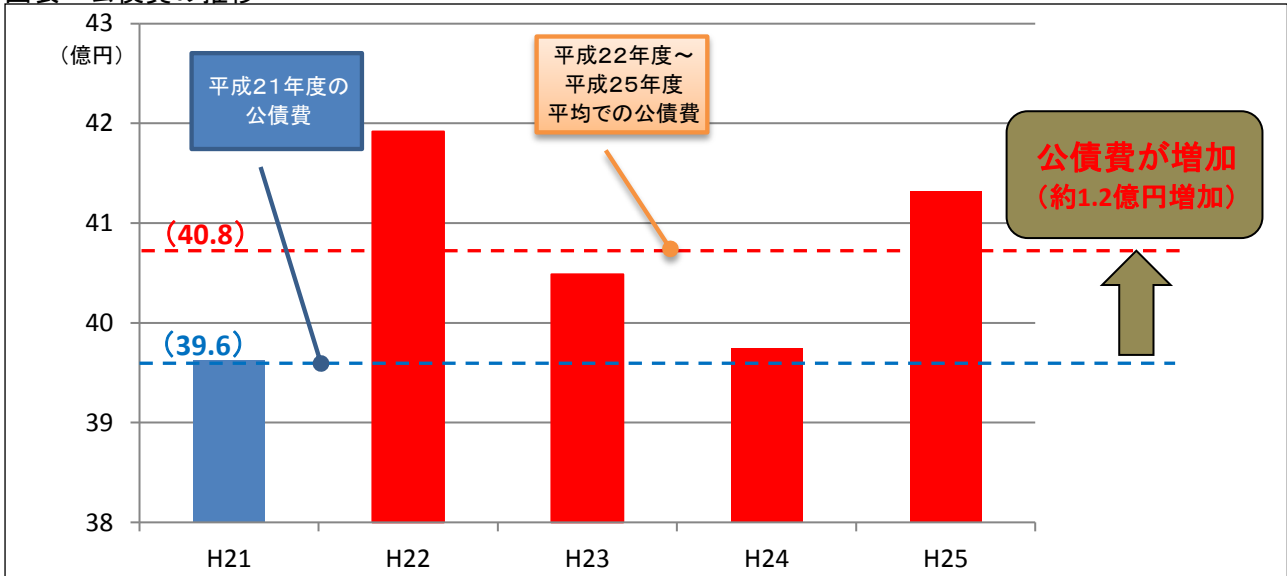
資料：都市再生整備計画⇒香芝市 HP より

(4) 公債費の推移

- 平成21年度の公債費は39.6億円であったものの、平成22年度～平成25年度の4ヶ年平均の公債費は40.8億円と増加しています。

・ 実質公債費比率が全国ワースト9位(平成25年度)。いったん、公債費が減るとしても、老朽化施設の更新が次々に必要となるため、楽観視できない。

図表 公債費の推移



資料：総務省 平成21年度～平成25年度 市町村決算カード、平成25年度地方公共団体の主要財政指標一覧

(5) 他団体との比較

- 県下12市との比較において、本市は財政力指数と経常収支比率はやや高位であるものの、実質公債費比率と将来負担比率は低位であり、今後も大型の普通建設事業が見込まれることから速やかな改善は困難な状況です。
- 今後、税収の伸び悩みや扶助費の更なる増加が見込まれます。

図表 奈良県内12市との財政指標比較 (平成25年度)

①財政力指数		②経常収支比率(%)		③実質公債費比率(%)		④将来負担比率(%)	
1 生駒市	0.79	1 葛城市	85.7	1 生駒市	3.7	1 生駒市	-
2 奈良市	0.75	2 生駒市	85.8	2 葛城市	7.5	2 葛城市	52.8
3 大和郡山市	0.69	3 香芝市	87.7	3 橿原市	9.3	3 大和高田市	80.1
4 橿原市	0.68	4 大和郡山市	91.0	4 桜井市	9.7	4 橿原市	94.2
5 香芝市	0.65	5 五條市	93.4	5 大和郡山市	10.4	5 桜井市	95.1
6 葛城市	0.56	6 橿原市	93.8	6 天理市	11.1	6 大和郡山市	100.0
7 天理市	0.56	7 大和高田市	93.9	7 大和高田市	12.2	7 天理市	101.9
8 桜井市	0.51	8 宇陀市	94.2	8 奈良市	13.4	8 五條市	135.2
9 大和高田市	0.48	9 奈良市	97.5	9 御所市	15.7	9 御所市	148.5
10 御所市	0.40	10 桜井市	98.7	10 五條市	16.5	10 香芝市	172.9
11 五條市	0.35	11 天理市	100.6	11 宇陀市	18.0	11 宇陀市	174.5
12 宇陀市	0.31	12 御所市	101.3	12 香芝市	20.4	12 奈良市	188.1
平均	0.56	平均	93.6	平均	12.3	平均	122.1
(参考値) H25全国市町村平均 0.49		(参考値) H25全国市町村平均 90.2%		(参考値) 早期健全化基準 25.0%		(参考値) 早期健全化基準 350.0%(市町村基準)	

①財政力指数…財政力の強弱を表す指数。指数が高いほど財源に余裕があると言える。
 ②経常収支比率…財政構造の弾力性を表す指数。比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。
 ③実質公債費比率…普通会計が負担する借金返済額の標準財政規模に対する割合。
 ④将来負担比率…普通会計が将来負担すべき債務の標準財政規模に対する比率、比率が高いほど将来的に財政が圧迫される可能性が高くなる。

※財政力指数の全国市町村平均は単純平均、経常収支比率の全国市町村平均は加重平均による。いずれも東京都特別区は含まない。

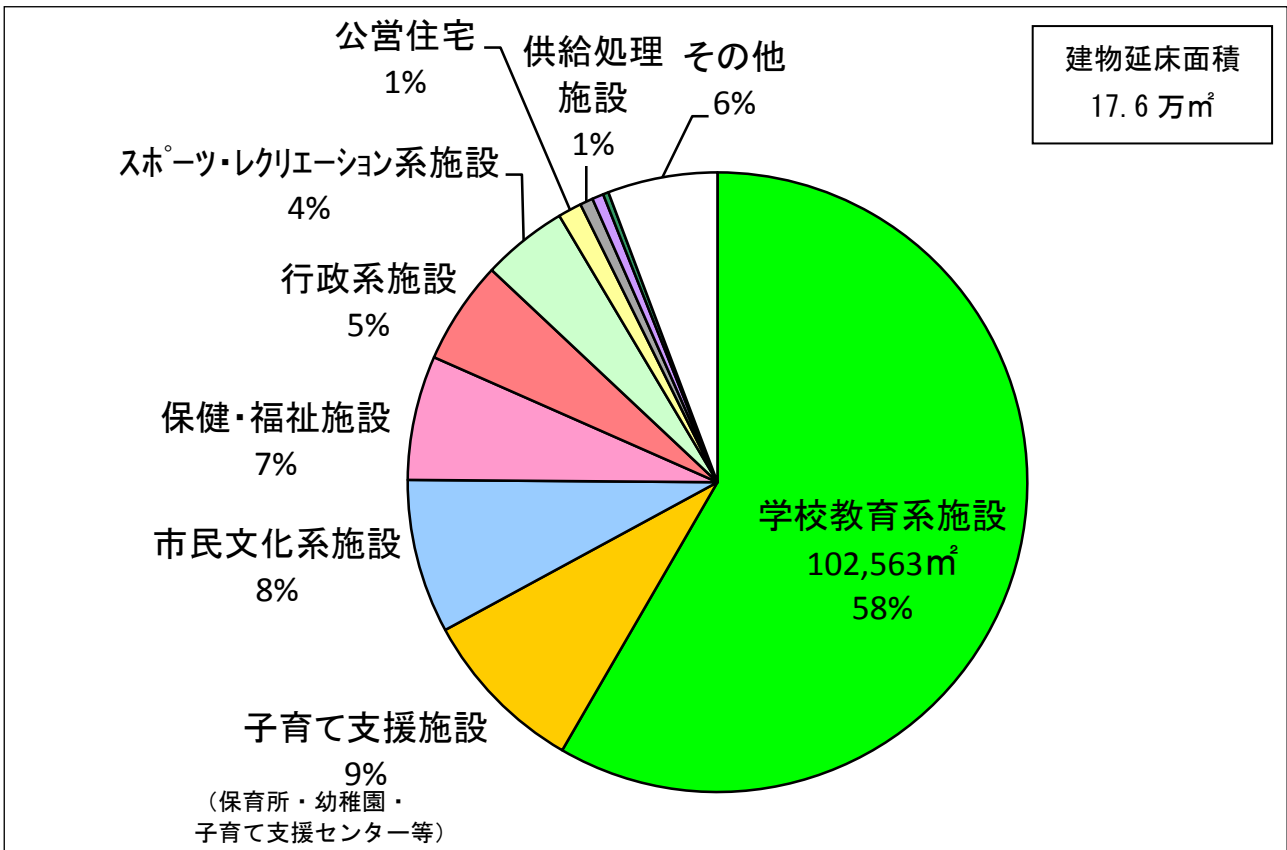
資料：総務省 平成25年度地方公共団体の主要財政指標一覧

5. 公共施設状況

(1) 保有資産の状況（平成26年度末現在）

- 本市の保有する建物延床面積は、約17.6万㎡です。そのうち、学校教育系施設が10.3万㎡で全体の58%を占めています。次いで、子育て支援施設が約1.5万㎡（8%）、市民文化系施設が約1.4万㎡（8%）となっています。
- 学校教育系施設が過半を占め、子育て支援施設の面積割合が多いのが特徴となっています。

図表 保有資産の状況



用途	延床面積	割合	用途	延床面積	割合
学校教育系施設 小学校、中学校	102,563㎡	58.4%	公営住宅 市営住宅真美ヶ丘団地	2,167㎡	1.2%
子育て支援施設 保育所・幼稚園、学童保育所、子育て支援センター	15,342㎡	8.7%	供給処理施設 収集センター、ストックヤード	1,195㎡	0.7%
市民文化系施設 モナミホール、ふたかみ文化センター、中央公民館	14,118㎡	8.0%	社会教育系施設 青少年センター、埋蔵文化財調査棟	1,047㎡	0.6%
保健・福祉施設 保健センター、総合福祉センター、地域活動支援センター すみれの里	11,407㎡	6.5%	公園 公園管理棟、公園内便所、四阿等	510㎡	0.3%
行政系施設 市庁舎、消防詰所、災害備蓄倉庫等	9,483㎡	5.4%	その他 駐車場、シルバー人材センター、火葬場、陶芸教室等	10,064㎡	5.7%
スポーツ・レクリエーション系施設 体育館、総合プール、野外活動センター	7,855㎡	4.5%			
合計				175,751㎡	

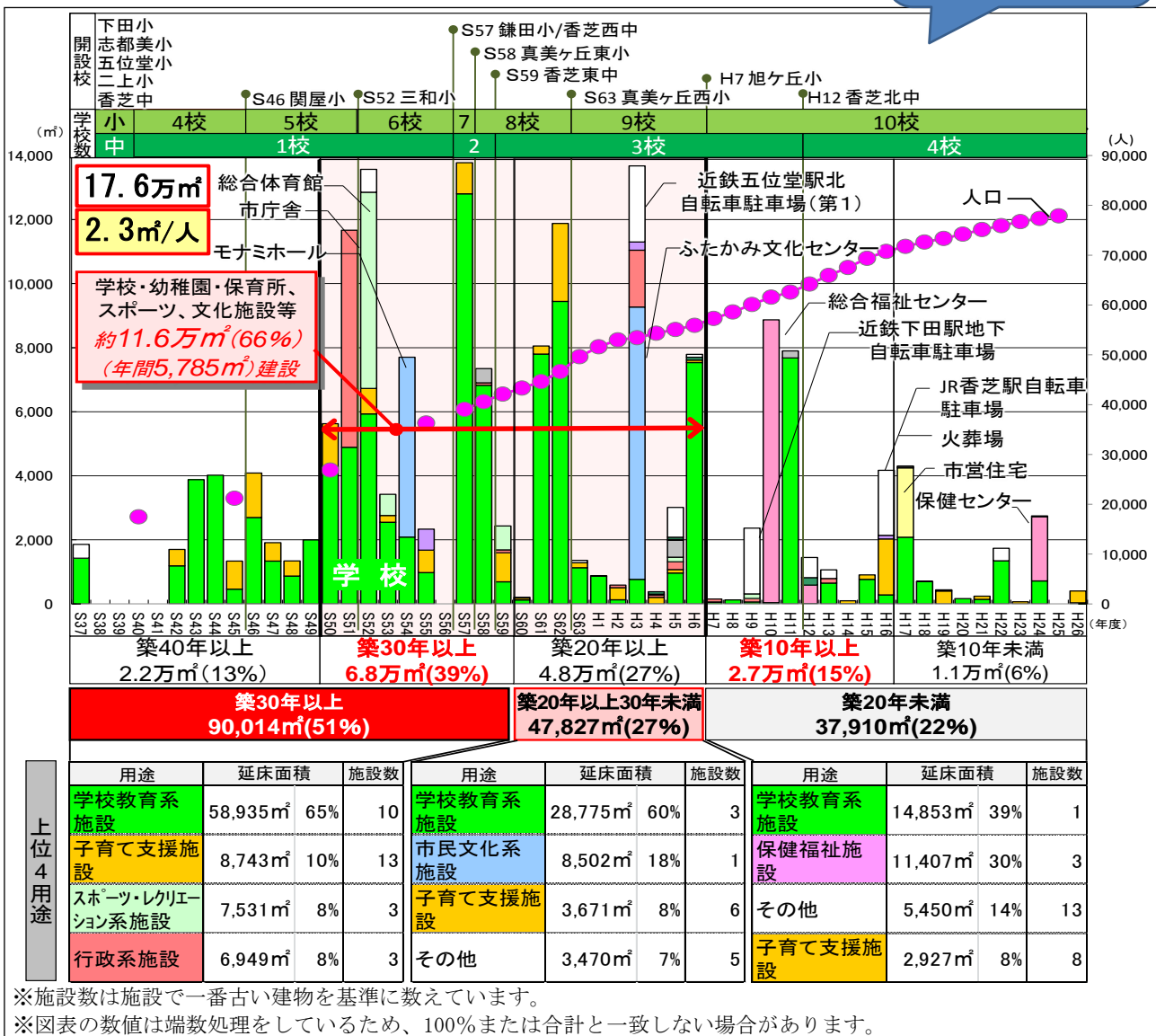
資料：施設一覧表

(2) 築年別整備状況

- ・ 市民1人当たりの公共施設面積は2.3㎡(平成25年5月1日時点人口)(全国平均3.42㎡(東洋大学PPP研究センター調査・平成22年3月時点))となっています。
- ・ 旧耐震基準(昭和56年以前建築)の建物が6.6万㎡(37.8%)、新耐震基準(昭和57年以降建築)の建物が10.9万㎡(62.2%)となっており、まだ耐震化が完了していない建物(幼稚園・小学校・中学校・保育所及びカーポート・四阿等除く)は11棟となっています。(平成26年3月現在)
- ・ 昭和42年から直近まで整備は続いていますが、直近の整備量は少なく、人口が急増した昭和50年から平成6年の約20年間で、学校施設に加えて、市庁舎や総合体育館、ふたかみ文化センター等の大規模な施設が集中して整備されています。
- ・ 築30年以上経過し、老朽化が懸念される施設は約9.0万㎡で51%を占めており、その内訳は主に学校と子育て支援施設となっています。

耐震化は、
 ・ 学校は平成27年度までに完了予定
 ・ 庁舎は実施中

図表 築年別整備状況



資料：施設一覧表

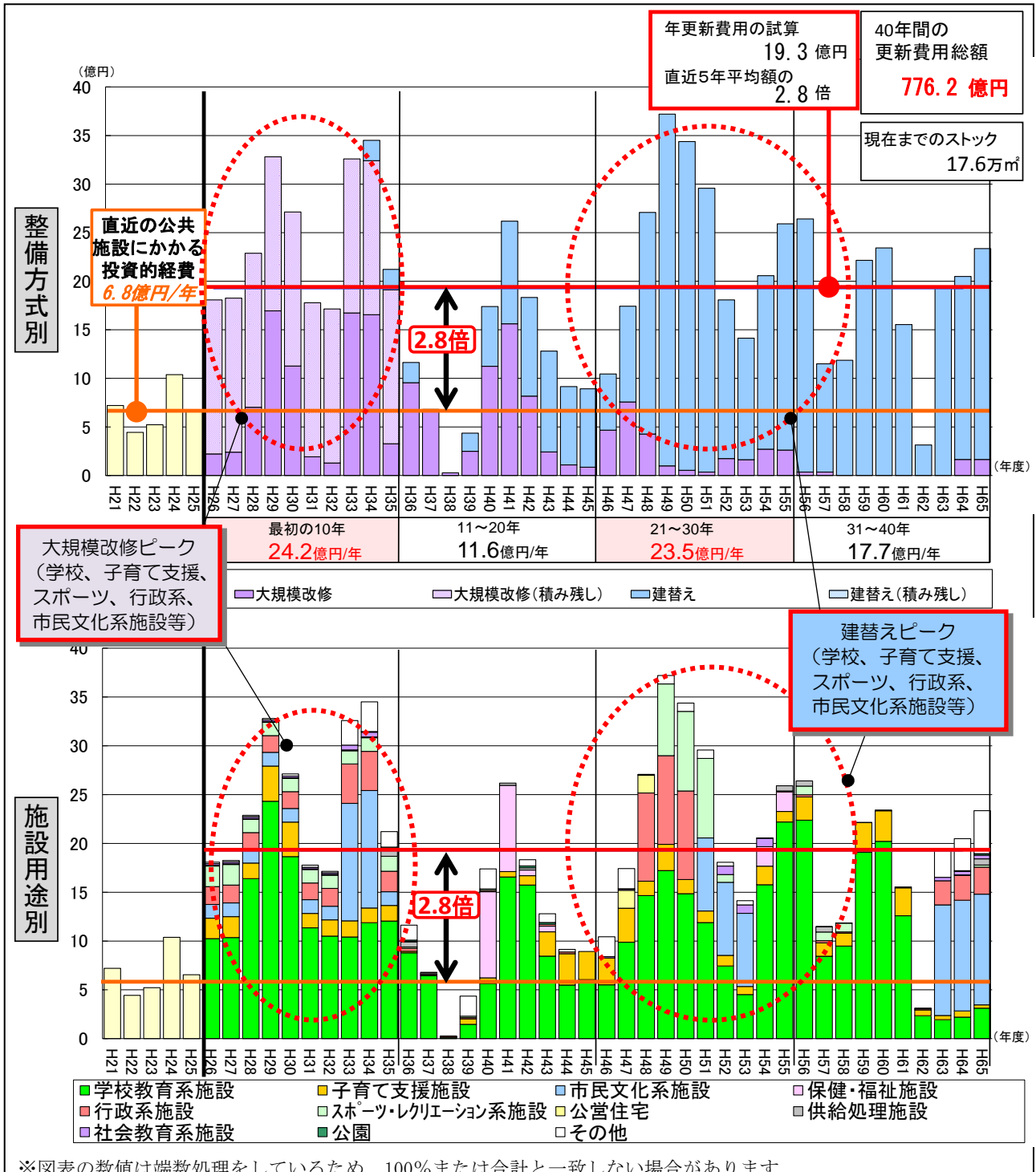
- ・ 子ども関連の施設(学校、幼稚園・保育所等)の更新が喫緊の課題。単純に建替えをすると膨大な費用となるので、工夫が必要(複合化、多機能化)
 ⇒市長の方針でも子育てには力を入れることがうたわれており、基本方針のかなめになる

(3) 将来更新費用試算

<公共施設>

- 本市が保有する公共施設にかかる将来更新費用を、総務省が公表している公共施設等更新費用試算ソフトで算出すると、平成26年度から平成65年度までの40年間で、年平均19.3億円と試算されます。
- これは、過去5年間の公共施設にかかる投資的経費の平均額6.8億円の約2.8倍にあたります。つまり、現状のままでは保有する施設の約3分の1しか更新できないという厳しい状況にあることがわかります。

図表 公共施設の将来更新費用（インフラ施設を除く）



<インフラ資産>

- 本市が保有するインフラ資産（道路[幹線一級・幹線二級市道、その他道路、自転車歩行者専用道]、橋りょう、上水道、下水道）の状況は、次のとおりです。インフラ資産も、公共施設と同様、今後、耐震化及び老朽化等の維持・更新費用が必要とされています。そこで、今後40年間にかかるコストを総務省が公表している試算ソフトにより算出しました。

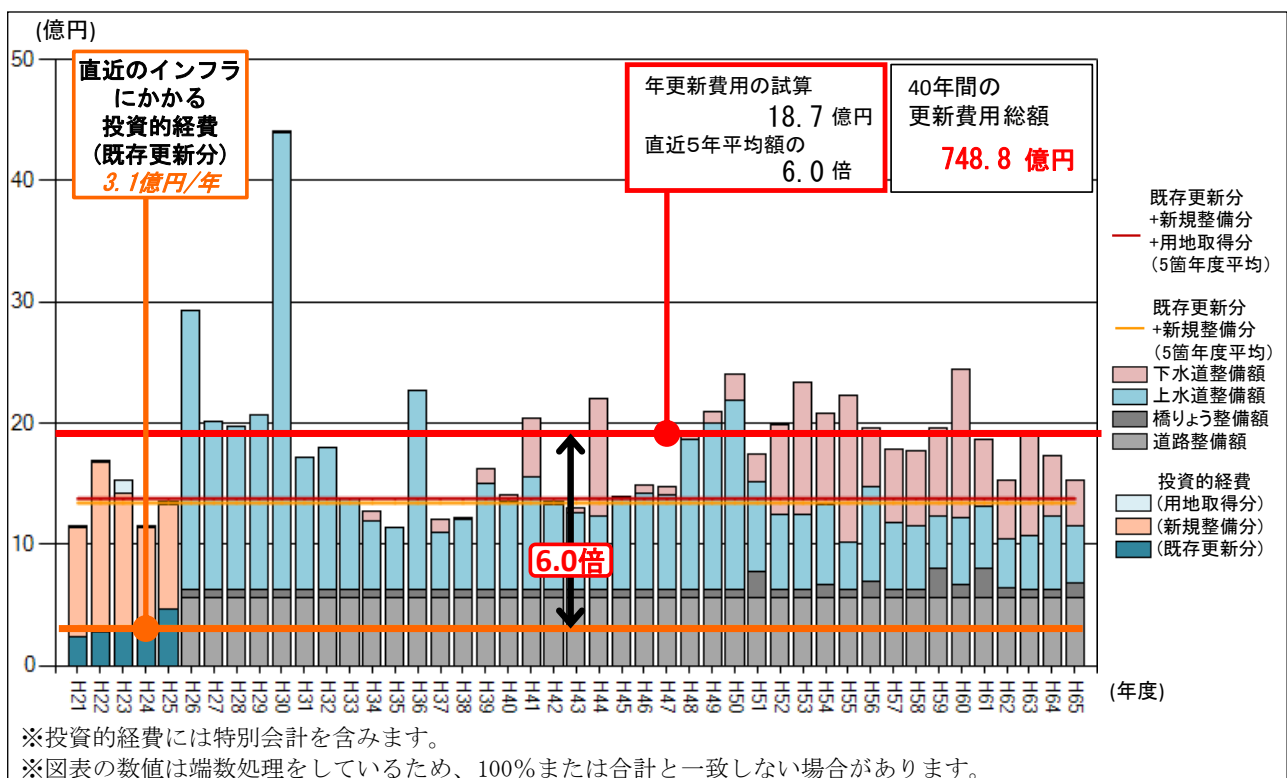
	保有状況			保有状況	
道路	一般道路	1,781,134㎡	上水道	総延長	370,052m
	自転車歩行者専用道	34,325㎡			
橋りょう	橋りょう面積	13,577㎡	下水道	総延長	180,933m

<総務省ソフトの試算条件及び試算結果>

- 道路
全整備面積を15年で割った面積の舗装部分を毎年度更新していくと仮定
40年間総額 225.7億円 年平均5.6億円
- 橋りょう
整備した年度から法定耐用年数60年を経過した年度に更新すると仮定
40年間総額 32.8億円 年平均0.8億円
- 上水道
上水道管は、整備した年度から法定耐用年数40年を経過した年度に更新すると仮定
40年間総額 362.5億円 年平均9.1億円
- 下水道
下水道管は、整備した年度から法定耐用年数50年を経過した年度に更新すると仮定
40年間総額 127.9億円 年平均3.2億円

- 上記の結果、道路等のインフラ整備にかかる費用として今後40年間の総額で748.8億円、年平均約18.7億円が必要と予測されます。これは過去5年間のインフラにかかる投資的経費（既存更新分）の平均額3.1億円の約6.0倍となります。
- なお、インフラ資産については、日常生活を営むうえで最低限必要な施設であることから、長期的な維持管理を実現していくこととしています。

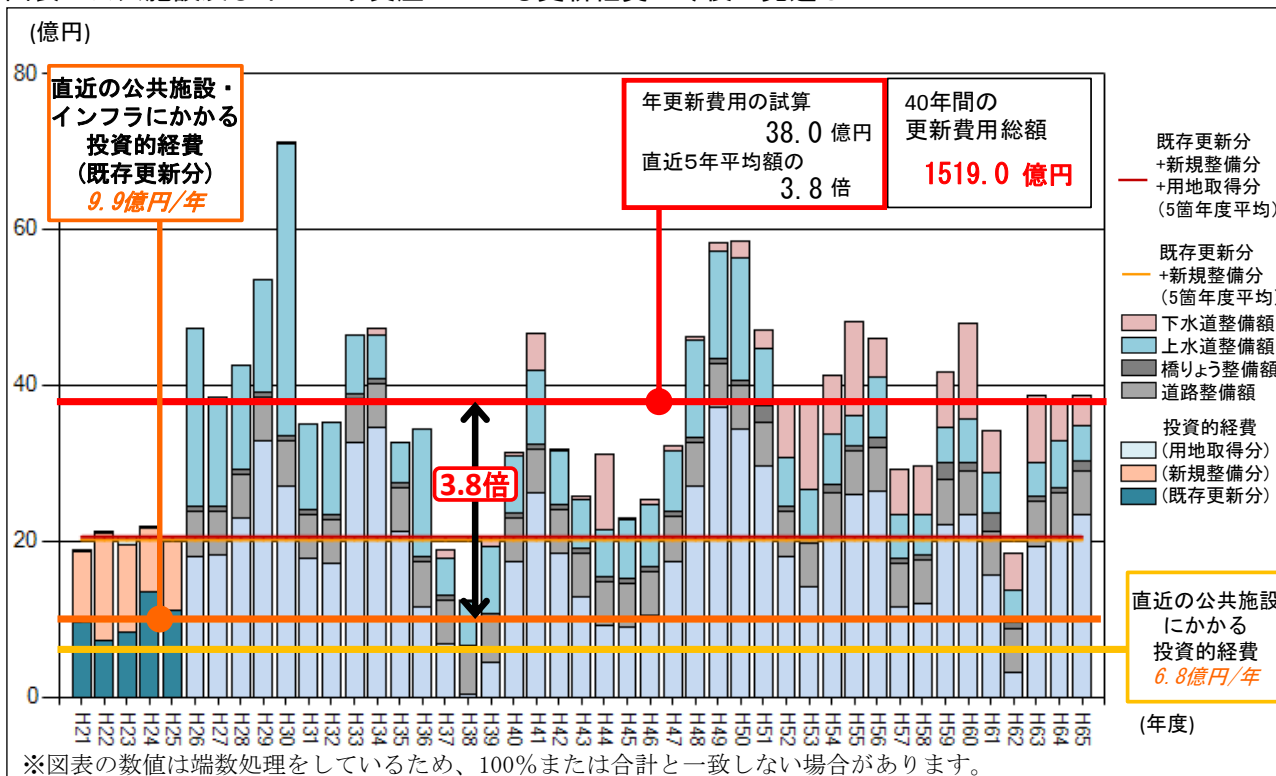
図表 インフラ資産の将来更新費用



<全体（公共施設及びインフラ資産）>

- 公共施設とインフラ資産の全体にかかる将来更新経費は、今後40年間総額で1,519.0億円、年平均38.0億円が必要となり、平成21年度から25年度までの公共施設及びインフラ資産にかかる投資的経費（既存更新分）の平均額9.9億円の約3.8倍と見込まれます。

図表 公共施設及びインフラ資産にかかる更新経費の今後の見通し



[総務省試算ソフトの試算条件]

■公共施設（建築物）

(1)耐用年数の設定

目標耐用年数 60年（日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」）

(2)更新年数の設定

- 建築時より30年後に大規模改修を行い、60年間使用して建替え
- 現時点で、建設時より31年以上、50年未満の施設については、今後10年間で均等に大規模改修を行うと仮定
- 現時点で、建設時より51年以上経過しているものは、建替えの時期が近いので、大規模改修は行わないと仮定

(3)建替え、大規模改修時の単価設定（※建替えについては、解体費含む。）

	建替え	大規模改修
市民文化系、社会教育系、行政系、産業系施設	40 万円/m ²	25 万円/m ²
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉施設	36 万円/m ²	20 万円/m ²
学校教育系、公園、供給処理施設	33 万円/m ²	17 万円/m ²
公営住宅	28 万円/m ²	17 万円/m ²

※単価は、先行して試算に取り組んでいる地方自治体の調査実績や設定単価等をもとに総務省が設定

■インフラ等

(1)道路

- 全整備面積を15年で割った面積の舗装部分を毎年度更新していくと仮定

一般道路	4,700 円/m ²
自転車歩行者道	2,700 円/m ²

(2)橋りょう

- 整備した年度から法定耐用年数60年を経過した年度に更新すると仮定

PC橋、RC橋、石橋、その他	425 千円/m ²
鋼橋	500 千円/m ²

※PC 橋 プレストレスト・コンクリート橋、RC 橋 鉄筋コンクリート橋

(3)上水道

- 上水道管は、整備した年度から法定耐用年数40年を経過した年度に更新すると仮定
- 耐用年数が既に経過している上水道管については、試算した年度から5年間で均等に更新すると仮定
- 上水処理施設の建築部分及びプラント部分については、公共施設の更新年数と同じ年数で更新すると仮定

導水管及び送水管	～300mm未満	100 千円/m
	300～500mm未満	114 千円/m
	500～1000mm未満	161 千円/m
配水管	～150mm以下	97 千円/m
	～200mm以下	100 千円/m
	～250 mm以下	103 千円/m
	～300 mm以下	106 千円/m
	～350 mm以下	111 千円/m
	～400 mm以下	116 千円/m
	～450 mm以下	121 千円/m
	～550 mm以下	128 千円/m
	～600 mm以下	142 千円/m

(4)下水道

- 下水道管は、整備した年度から法定耐用年数50年を経過した年度に更新すると仮定
- 耐用年数が既に経過している下水道管については、試算した年度から5年間で均等に更新すると仮定
- 下水処理施設の建築部分及びプラント部分については、公共施設の更新年数と同じ年数で更新すると仮定

管種別	コンクリート管、塩ビ管、陶管等	124 千円/m
	更生管	134 千円/m

6. 課題のまとめ

1. 本市環境変化の兆しと小学校区別の人口動態格差

- 昭和50年頃から開始してきた宅地開発もほぼ完成し、人口変動もほぼ横ばいになる中で、昼間人口の増加およびJR線駅乗降者数の減少などの変化が見られる。
- 全体人口の将来予測では、平成47年まで微増ながら人口は増え続ける見込み、その中でも高齢者人口が昭和55年より急激に増えており、将来の人口構成割合が現状と大きく異なる。
- 開発時期の違いにより、志都美、関屋、三和、鎌田小学校区の総人口はほぼ横ばいながら、急激な高齢化が進み、二上、旭ヶ丘小学校区では人口は大きく増加しており、年少人口が25%以上を占めている。また、真美ヶ丘西、真美ヶ丘東小学校区はゆるやかな人口の増加で少子高齢化が進んでおり、さらに下田や五位堂小学校区では人口は増加傾向にありながら高齢化が進んでいるなど、小学校区別で人口動態に大きな格差が見られる。



将来、志都美、関屋、三和、鎌田、真美ヶ丘西、真美ヶ丘東、下田、五位堂の小学校区は高齢者増加に対する課題、二上、旭ヶ丘の小学校区は子供数に見合った施設整備の課題など、小学校区別で市民の公共施設に対するニーズの変化にどう対応していくか。また、人口減少や少子高齢化にどのような対策をしていくか。

2. 将来の財政に不安

- 市税収入の大半は個人税と固定資産税によるもので、宅地開発がほぼ完了している中で、今後の税収増加の期待は見込めない。
- 今後も都市計画道路、焼却場、スポーツ公園などの公共施設の整備が行われる予定である。
- この5年間で扶助費が1.6倍に増加しており、将来の高齢化人口の増加予測から、さらに扶助費の増加が見込まれる。
- 財政指標のうち、実質公債費比率と将来負担比率が県下12市の比較において、低い水準である。



税収増加が見込めず、今後もインフラ整備や扶助費の増加により、将来の財政状況が現状より厳しくなる見込みの中、限られた財源でどう対応していくか。

3. 建設時期の片寄りによる老朽化施設の集中

- 本市が保有する公共施設は約17.6万㎡、市民1人当たり2.3㎡と比較的低い水準であるものの、築30年以上の老朽化した施設が全体の半分を占める。
- 築30年以上となる施設の大半は学校施設と子育て支援施設となる。
- 今後40年間ににおける公共施設の年平均更新費用は現状の約2.8倍の試算結果となる。



建設時期の集中により施設の更新時期も集中しており、築30年以上の施設が今後10年間で一斉に大規模改修時期を迎える。また、現状の投資的経費では保有する公共施設の約3分の1しか更新できないため、学校を更新するにも不足となる。財政負担の平準化や更新費用の軽減について、早急に検討する必要がある。

第 2 章 用途別実態把握

第2章 用途別実態把握

1. コスト情報とストック情報の把握

行政コストを削減しながら公共サービスのパフォーマンスを上げるためには、市の保有する公共施設を有効活用していくことが重要です。公共施設の現状を的確に把握して有効活用を図るためには、コスト情報とストック情報の両面から調査・分析を行う必要があります。

そこで、コスト情報の面では建物全体及びそこで行われている行政サービスの人件費や事業費、減価償却相当額も含め、全体でいくらかかっているかを把握します。ストック情報の面では、利用実態、運営実態を把握します。建物の老朽化状況等の物理的な状況は、「第3章 保全の実態把握」の章で詳細に把握します。

コスト情報、ストック情報の両面から公共施設及びそこで行われている行政サービスを把握することで、事務事業の問題点や課題を改めて浮き彫りにし、これらを基に公共施設の有効活用の方向性を明らかにしていくことで、香芝市公共施設マネジメント基本方針へとつなげていきます。

＜用途別実態把握一覧＞

(1) 市民文化系施設	1) 文化施設 2) 中央公民館
(2) 青少年センター	
(3) スポーツ・レクリエーション系施設	1) スポーツ施設 2) 野外活動センター
(4) 保健福祉施設	1) 保健センター 2) 総合福祉センター
(5) 子育て支援施設	1) 保育所・幼稚園 2) 学童保育所 3) 子育て支援センター
(6) 学校	
(7) 駐車場	
(8) 旧公民館(シルバー人材センター)	
(9) その他	

2. 公共施設の配置状況

香芝市 地域実態マップ 【凡例】

赤枠は築30年以上(H26年度時点)

複合施設を示す

<公民館等>の部屋機能を示す

ホール・和室・工芸室

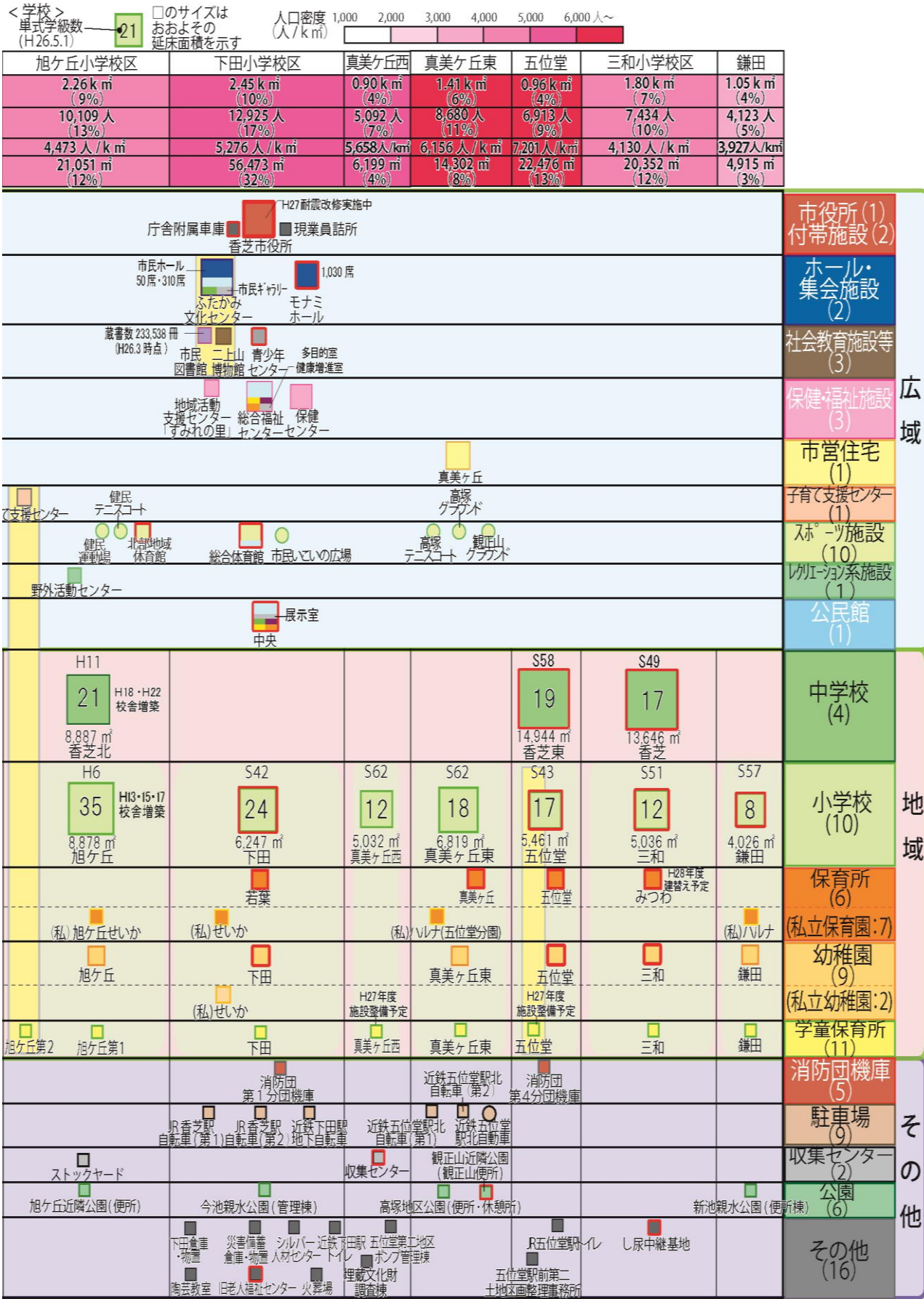
会議室・相談室・調理室

<スポーツ施設・駐車場>建物のない施設(グラウンド等)を示す

市全体		関屋小学校区	二上小学校区	志都美小学校区
24.23 k m ²	面積(%)	5.24 k m ² (22%)	4.37 k m ² (18%)	3.80 k m ² (16%)
77,667 人	人口 (H25.5.1時点)	7,498 人 (10%)	9,086 人 (12%)	5,807 人 (7%)
3,205 人/k m ²	人口密度	1,431 人/k m ²	2,079 人/k m ²	1,528 人/k m ²
175,751 m ²	施設延床面積 (平成26年度末時点)	7,765 m ² (4%)	15,762 m ² (9%)	6,455 m ² (4%)

広域	施設の種類			
	関屋小学校区	二上小学校区	志都美小学校区	備考
広域	市役所(1) 付帯施設(2)			
	ホール・集会施設(2)			
	社会教育施設等(3)			
	保健福祉施設(3)			
	市営住宅(1)			
	子育て支援センター(1)			子育て
	スポーツ施設(10)	総合プール	高山台グラウンド	
	レクリエーション系施設(1)			
公民館(1)				
地域	中学校(4)		S57 13 7,811 m ² 香芝西	
	小学校(10)	S46 12 5,238 m ² 関屋	S44 25 6,225 m ² 二上 H22・24 校舎増築	S37 12 4,317 m ² 志都美
	保育所(6) (私立保育園:7)	(私)あけぼの・保育学院 (私)関屋 H25年度民営化	二上 (私)ハルナ(二上駅前分園)	志都美 H28年度 民営化予定
	幼稚園(9) (私立幼稚園:2)	関屋 (私)ハルナ	二上	志都美
	学童保育所(11)	関屋	二上 H27年度 施設整備予定	志都美
	消防団機庫(5)	消防団 第5分団機庫	消防団 第3分団機庫	消防団 第2分団機庫
	駐車場(9)	近鉄関屋駅 自転車		JR志都美駅西 自転車
	収集センター(2)			
その他	公園(6)		郡ヶ池近隣公園(便所)	
	その他(16)	災害備蓄倉庫・物置 屯鶴峯トイレ		JR志都美駅エレベーター JR志都美駅トイレ

※公共建築物が対象(建物のない公園等は含まない。また、病院・水道の企業会計の施設、道路・橋梁等のインフラ施設などは除く)
 ※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合がある。
 ※人口、面積等は小学校区別人口データの最新年度であるH25.5.1時点に記載している。なお、平成26年の面積から、計測方法の変更と



:計測の基礎となる地図の切り替えが行われた結果、市の面積値は24.26km²に変更されている。

3. 用途別実態把握

(1) 市民文化系施設

1) 文化施設

①施設概要

市民の文化芸術活動及び生涯学習活動の促進に寄与するため、香芝市ではホール機能を持つ文化施設を2施設設置しています。2施設とも指定管理者が運営を行っています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	保有機能					複合施設	
						メインホール (席数)	サブホール	楽屋	会議室	和室		市民ギャラリー
下田	1 香芝市ふたかみ文化センター	藤山一丁目17番17号	8,502.3	平成3	RC	●(移動観覧席 310席)	●(50席)	●	●	●	●	・二上山博物館(1F) ・香芝市民図書館(3F)
下田	2 香芝市モナミホール	下田西三丁目7番18号	2,981.0	昭和54	RC	●(1,030席)		●				
合計			11,483.29									

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

<開館時間等> (平成 24 年度)

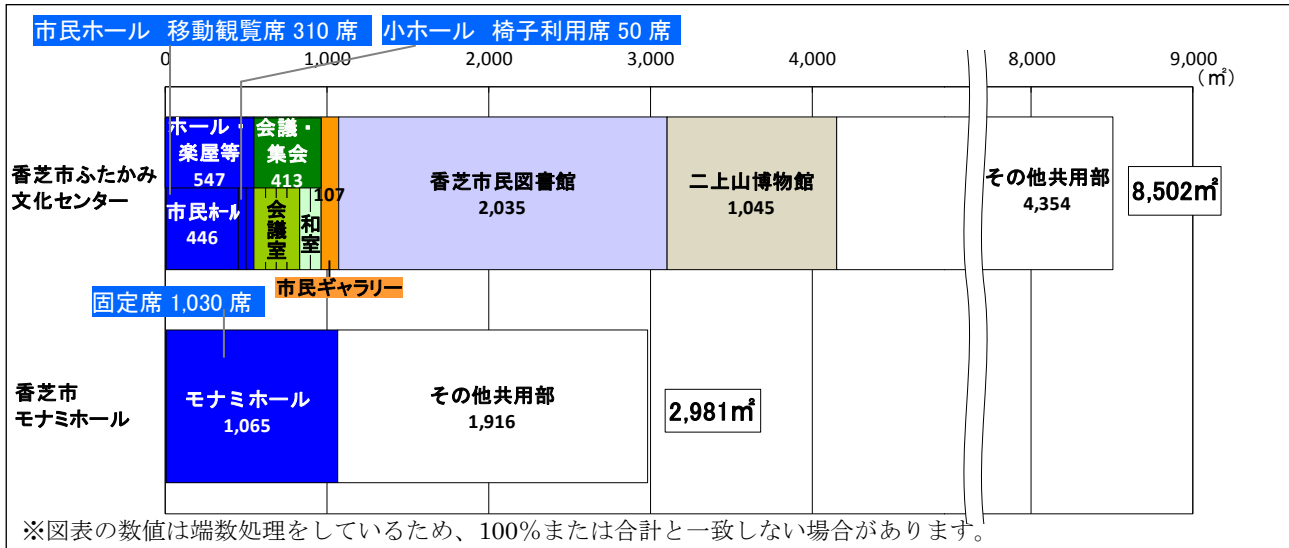
開館時間	休館日	開館日数
午前 9 時から午後 10 時 (窓口受付：午前 9 時から午後 8 時)	毎月第一月曜日	353 日

<スペース構成>

香芝市ふたかみ文化センターは延床面積 8,502 ㎡であり、そのうちホール面積が 547 ㎡ (移動観覧席 310 席、舞台、楽屋等) となっています。その他に会議・集会機能、市民ギャラリーを保有しており、香芝市民図書館や二上山博物館が併設されています。

香芝市モナミホールは延床面積 2,981 ㎡であり、ホールが 1,065 ㎡ (固定席 1,030 席) となっています。

図表 スペース構成(平成 24 年度)



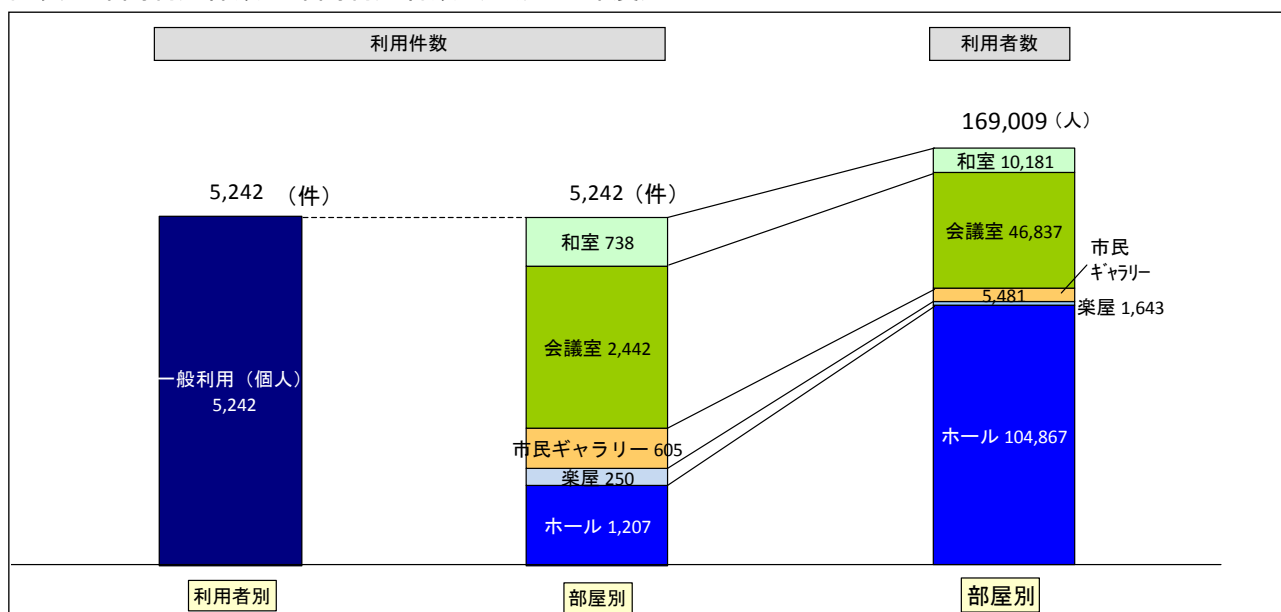
②利用状況

■ 年間利用件数・年間利用者数

年間利用件数は5,242件、利用者数は16万9,009人となっています。

利用目的は一般利用となっており、部屋別の利用者数の内訳をみると、ホールの利用が最も多く10万4,867人、次いで会議室の利用者が4万6,837人となっています。

図表 年間利用件数・年間利用者数（平成24年度）

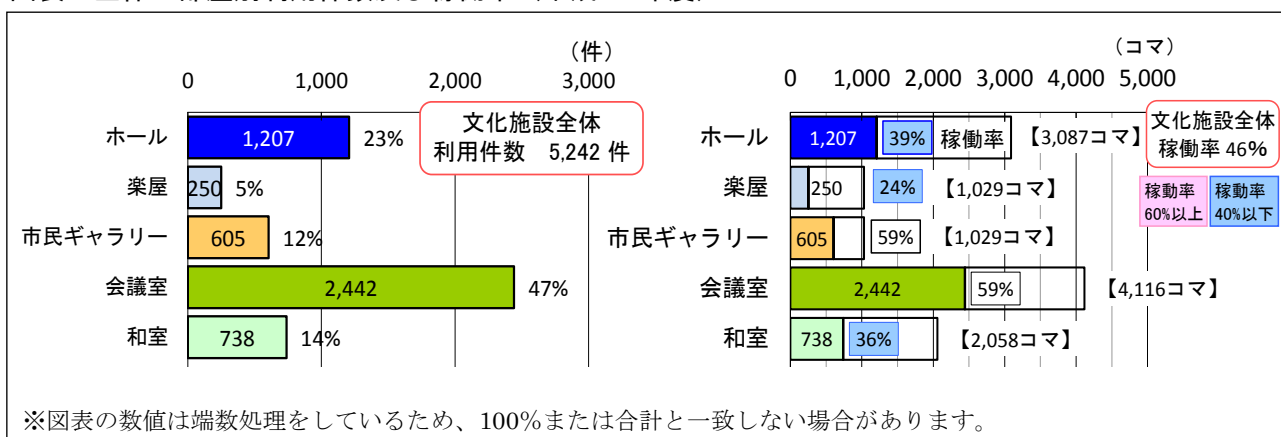


■ 部屋別の利用状況

文化施設全体の部屋別の利用件数をみると、会議室の利用が最も多く、2,442件で全体の47%、次いでホールの利用件数が1,207件で全体の23%を占めています。

部屋別の稼働率をみると、会議室、市民ギャラリーの稼働率が最も高く59%、次いでホールが39%、和室が36%となっています。全体の稼働率は46%となっています。

図表 全体・部屋別利用件数及び稼働率（平成24年度）



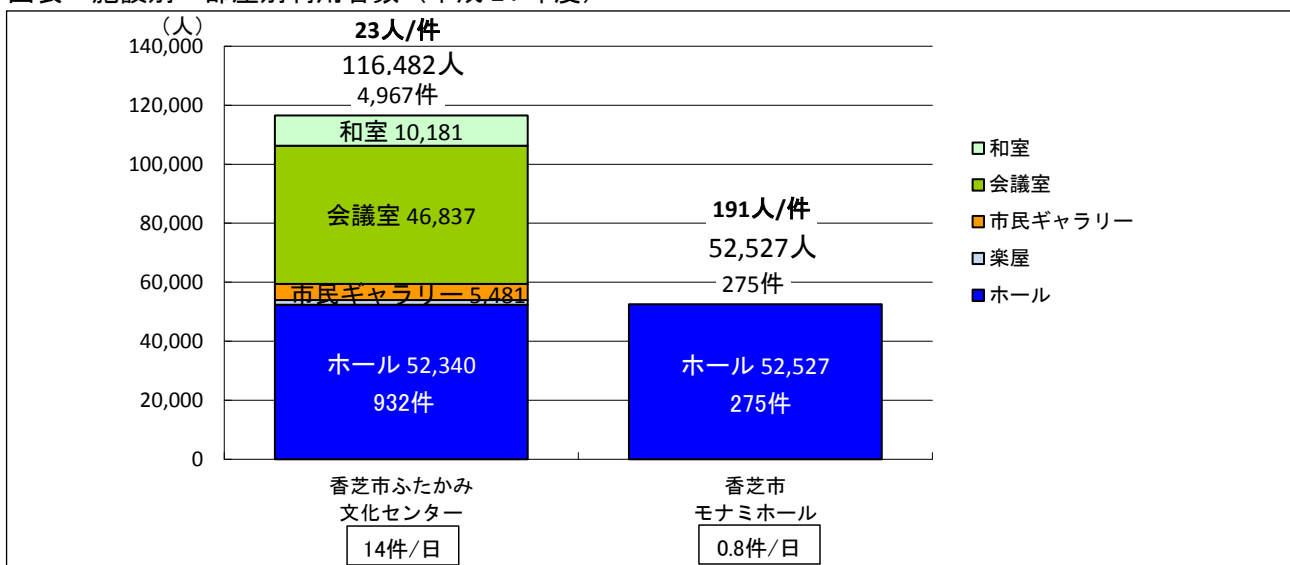
※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

施設別に部屋別の利用者数をみると、香芝市ふたかみ文化センターはホール利用者数が最も多く5万2,340人、次いで会議室の利用者数が46,837人となっています。香芝市モナミホールのホール利用者数は5万2,527人となっています。利用件数をみると、香芝市ふたかみ文化センターは4,967件、利用1件当たりの人数は23人/件となっており、香芝市モナミホールの利用件数は275件、利用1件当たりの人数は191人/件となっています。

1日当たりの利用件数は、香芝市ふたかみ文化センターが14件/日、香芝市モナミホールが0.8件/日となっています。

ホール機能のみに注目すると、香芝市ふたかみ文化センターの利用件数932件は、香芝市モナミホールの利用件数275件の約3.4倍となっています。

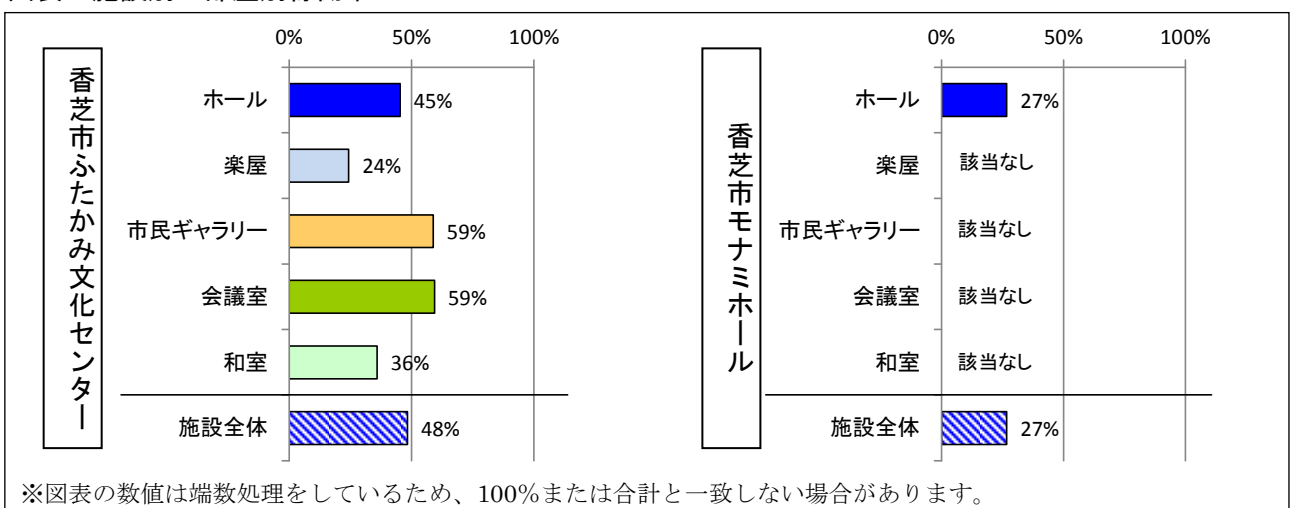
図表 施設別・部屋別利用者数（平成24年度）



施設別の部屋別稼働率をみると、香芝市ふたかみ文化センターの施設全体稼働率が48%となっているのに対し、香芝市モナミホールの施設全体の稼働率は27%となっています。

香芝市ふたかみ文化センターの部屋別稼働率は、市民ギャラリー、会議室が59%と最も高く、その他の部屋は稼働率50%以下となっています。

図表 施設別・部屋別稼働率



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 利用推移

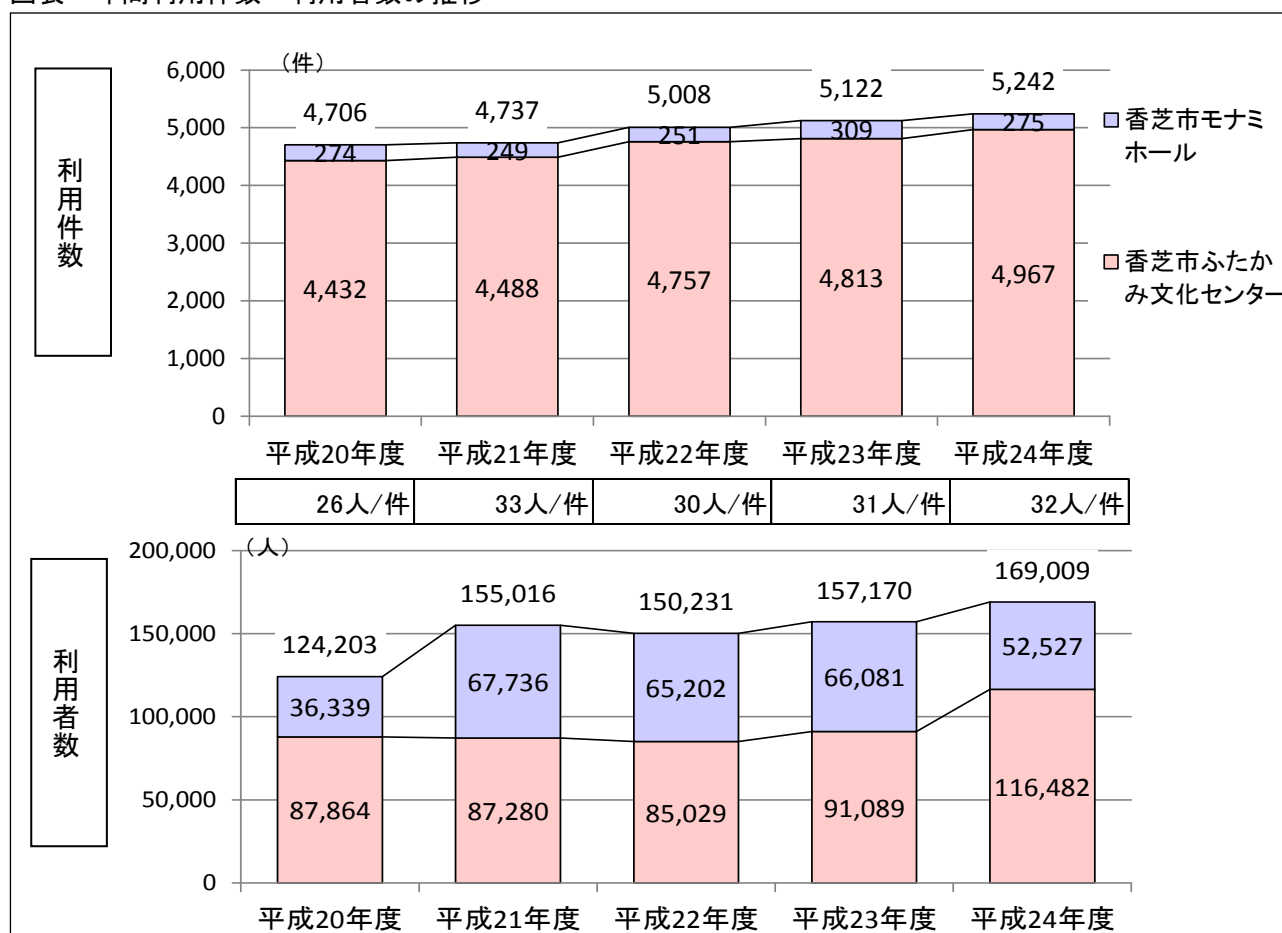
利用件数の推移をみると、平成20年度の4,706件から、平成24年度の5,242件へと増加しています。

利用者数は、平成20年度の約12万人から、平成24年度は約17万人へと増加しています。

利用1件当たりの利用者数は、平成20年度は平均26人/件でしたが、平成21年度以降は平均30~33人/件の間で推移しています。

施設別に推移をみると、香芝市モナミホールの利用件数はほぼ横ばいで推移しているのに対し、香芝市ふたかみ文化センターの利用件数は微増の傾向にあります。

図表 年間利用件数・利用者数の推移



③コスト状況

文化施設の年間総コストは、1億5,874万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は123万円（1%）、指定管理料は9,200万円（58%）、減価償却額は6,551万円です。当該施設から年間183万円の収入があります。

図表 文化施設 施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの
【コストの部】

		香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	0	0	0
	修繕料・役務費	0	0	0
	建物管理委託料	0	0	0
	使用料・賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	備品購入費その他	1,228,500	0	1,228,500
	維持管理費計	1,228,500	0	1,228,500
運営費	人件費	0	0	0
	その他事業運営費	0	0	0
	事業運営費計	0	0	0
指定管理料	68,117,297	23,882,703	92,000,000	
現金収支を伴うコスト計	69,345,797	23,882,703	93,228,500	

【収益の部】

収入		香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
使用料	52,368	0	52,368	
その他	1,318,501	462,271	1,780,772	
収益計	1,370,869	462,271	1,833,140	

II. 現金収支を伴わないもの

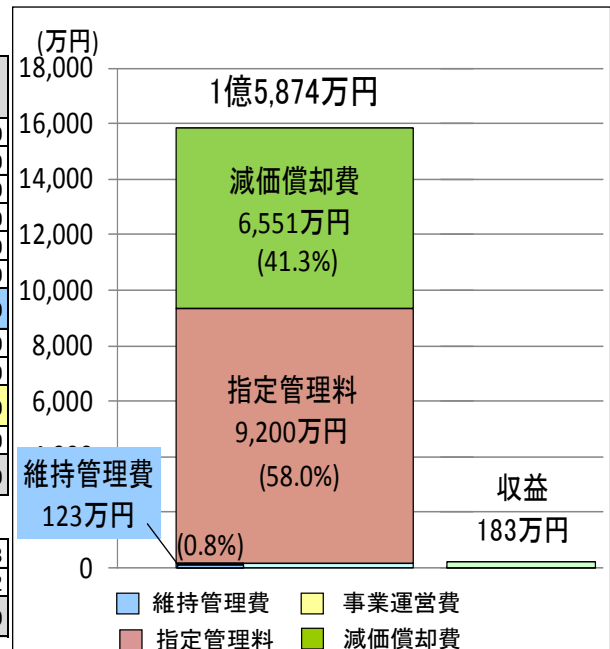
【コストの部】

コスト	香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
減価償却費	37,028,522	28,485,000	65,513,522

III. 総括

項目	香芝市ふたかみ文化センター	香芝市モナミホール	合計
コストの部合計（総コスト）	106,374,319	52,367,703	158,742,022
収支差額	105,003,450	51,905,432	156,908,882

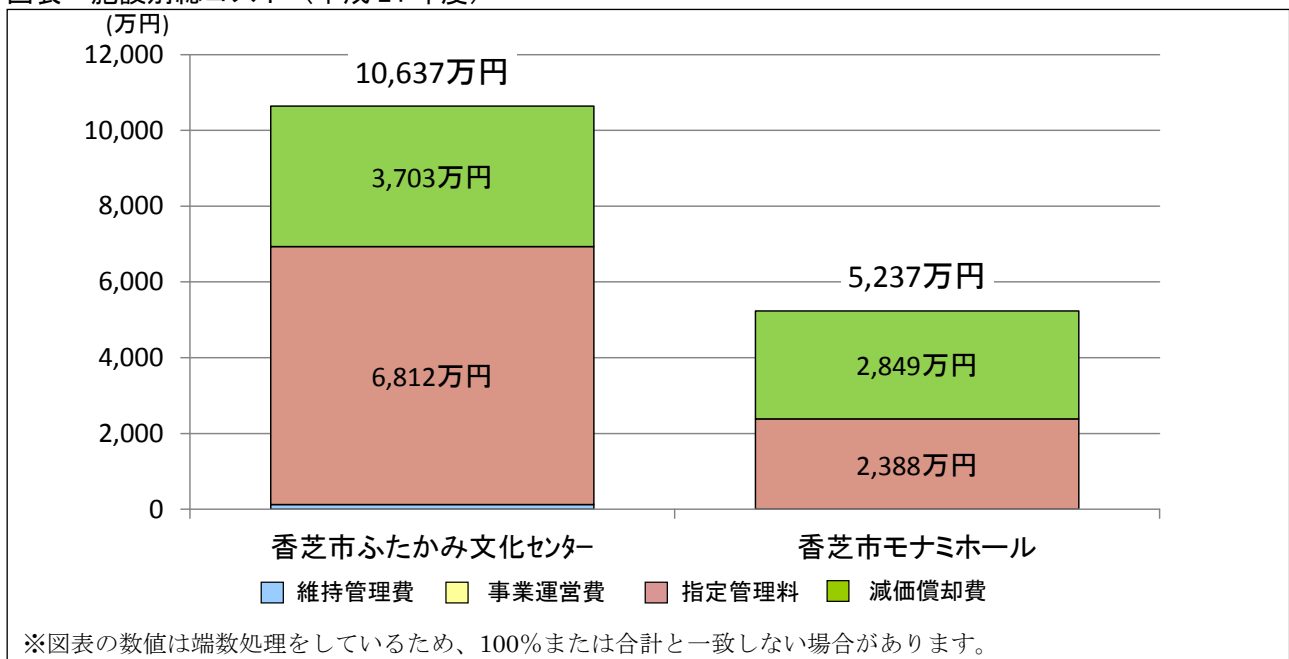
図表 文化施設トータルコスト（平成24年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

施設別の総コストは香芝市モナミホールが5,237万円、香芝市ふたかみ文化センターが1億637万円となっています。

図表 施設別総コスト（平成24年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

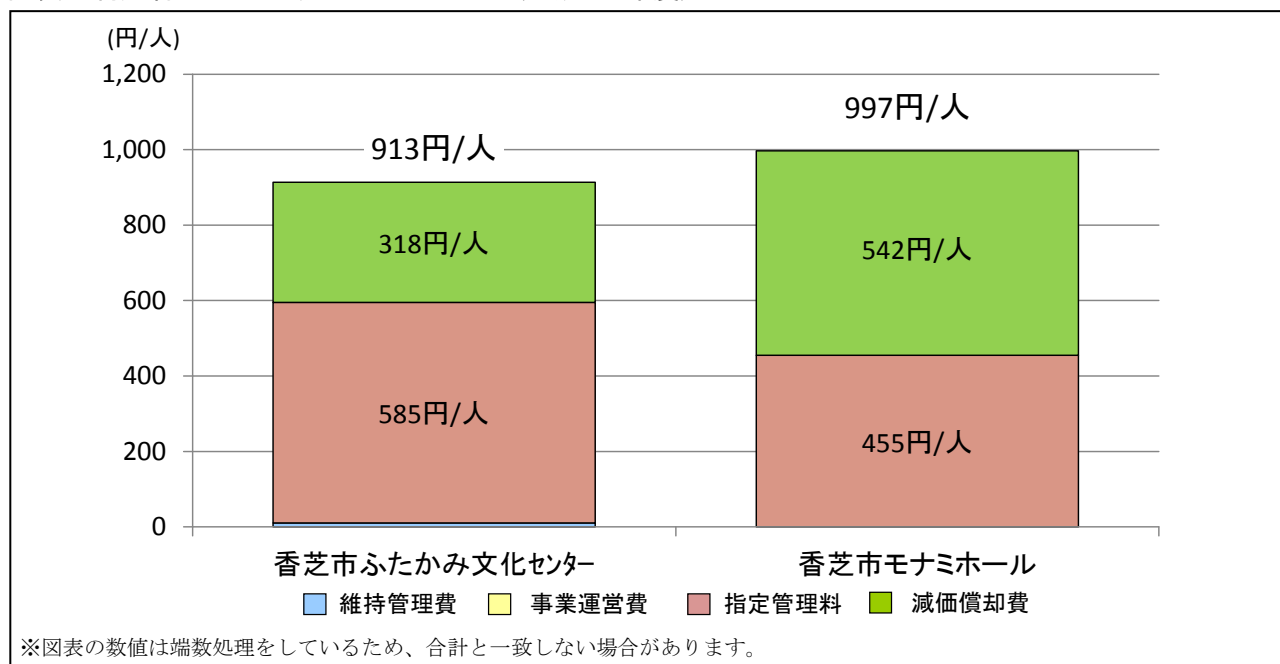
■ 評価・分析

＜利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト＞

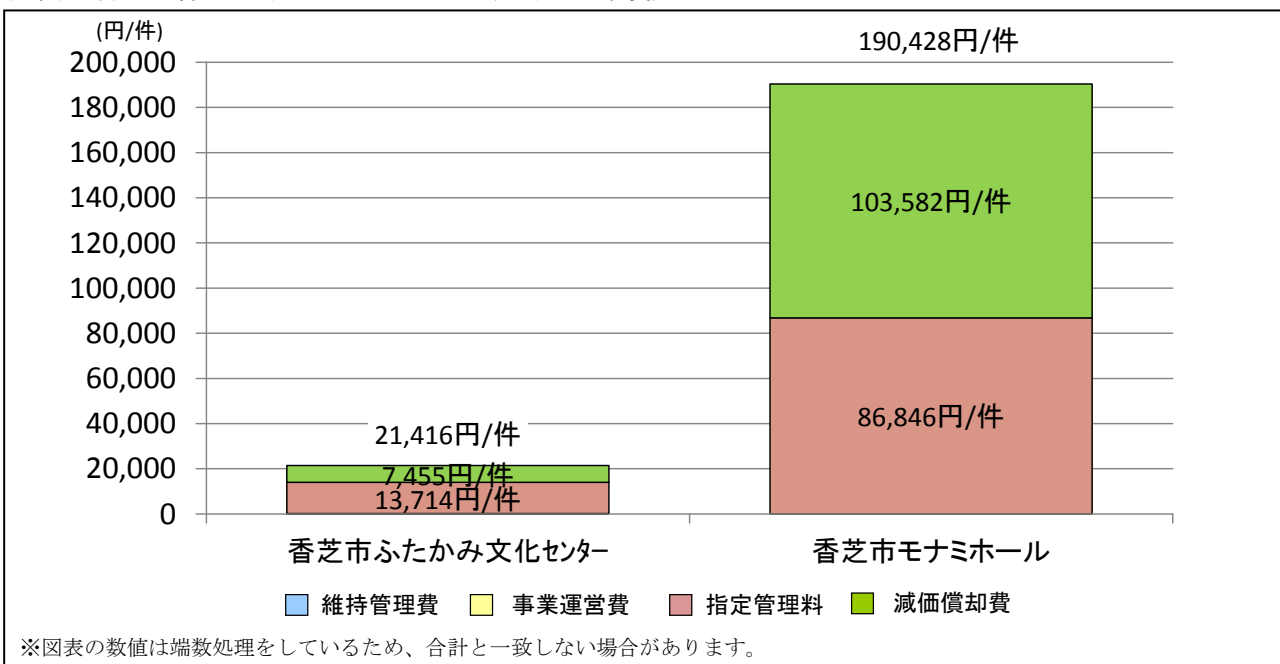
年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、香芝市ふたかみ文化センターが913円/人、香芝市モナミホールが997円/人となっています。

年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、香芝市ふたかみ文化センターが2万1,416円/件、香芝市モナミホールが19万4,288円/件となっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト(平成24年度)



図表 利用1件当たりにかかるコスト(平成24年度)



④複合施設（香芝市ふたかみ文化センター）の状況

■ 香芝市民図書館

香芝市民図書館は、香芝市ふたかみ文化センターの主に3階部分にあり、図書、記録その他必要な資料を収集し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査、研究、レクリエーション等に資することを目的として設置されています。

図書の収集・貸出、予約、リクエスト、レファレンスサービス等のほか、朗読会等の各種行事や館内展示、おはなし会やブックスタート事業等の子ども読書活動推進事業等を行っています。

また、市内の保育所、幼稚園、学童保育所等へ移動図書館車「ぶっくる号」で巡回し、絵本等の貸出を行っています。

<市民図書館スペース構成>

一般図書室	961.3 m ²	書庫（地下1階）	56.7 m ²
児童図書室	268.4 m ²	会議室	21.7 m ²
おはなし室	37.0 m ²	対面朗読室	9.0 m ²
視聴覚室	138.9 m ²	事務室	141.2 m ²
書庫（3階）	82.2 m ²	その他	223.3 m ²
書庫（2階）	95.2 m ²	計	2,034.9 m ²

<開館時間等>（平成25年度）

開館時間	休館日	開館日数
火～金曜日：午前9時30分から午後7時 土日祝日：午前9時30分から午後5時 ※視聴覚室は曜日に関わらず午後5時まで	月曜日（祝日の場合は、その翌日以降で一番近い平日）・毎月第1木曜日（祝日及び休館日に該当する場合は、第2木曜日）・年末年始（12月28日から1月4日）・特別整理期間	283日

<貸出について>（平成25年度）

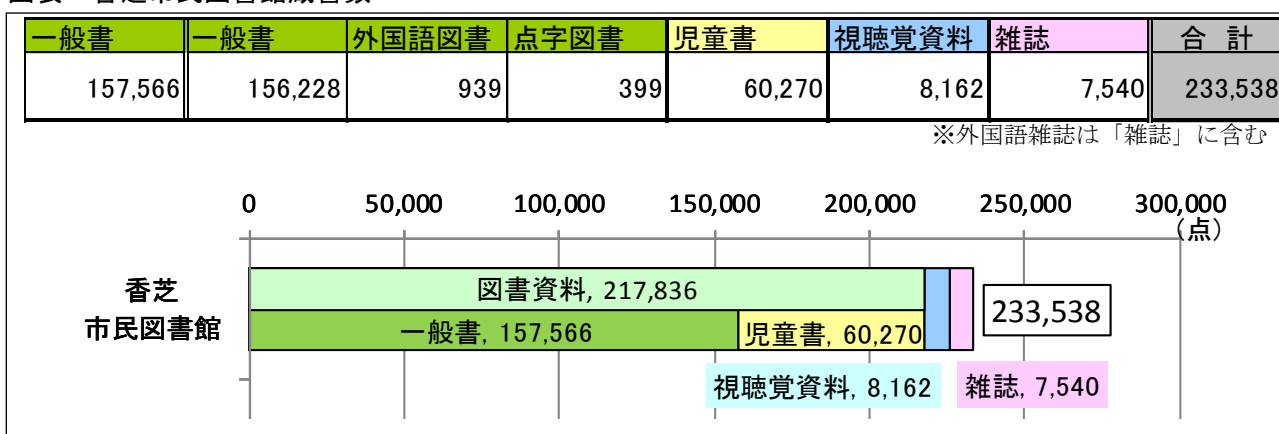
登録	・ 図書の貸出には図書館利用者カードが必要となり、奈良県内に在住の方、香芝市に在学・在勤の方が登録することができる
貸出冊数	・ 貸出冊数は図書は2週間で10冊まで、予約のない資料については、返却日から2週間の延長が可能 ・ ビデオ・DVD・CD・カセットは2週間で4点まで
団体貸出	・ 市内の地域文庫、保育所、幼稚園、小中学校、高校等を対象に、原則として一団体300冊まで4カ月以内で団体貸出を行う
予約	・ 利用したい資料が貸出中等の場合、リクエストを含め1人10点を上限として予約ができる（10点のうち視聴覚資料は4点まで） ・ 図書の予約は、カウンター・電話・インターネットで受付、視聴覚資料は、貸出中の資料のみカウンター・電話で受付しており、予約した資料が返却されしだい、電話・メールで連絡
リクエスト	・ 利用したい図書資料が蔵書の中にない場合、1人1カ月3冊を上限としてリクエストを受け、購入もしくは他館との相互貸借を行い、利用者に提供（市内利用者のみ）。県外等、一部の貸借は、利用者が往復送料を負担

<蔵書数> (平成25年度)

香芝市民図書館の総蔵書数は23万3,538点です。内訳は、図書資料(一般書・外国語資料・点字図書・児童書)が21万7,836点(93%)、視聴覚資料(VHS、LD、CD、DVD、カセットテープ、録音図書)が8,162点(3%)、雑誌(128誌・うち購入113誌)が7,540点(3%)となっています。

また、図書資料のうち、一般書が15万7,566点で約72%、児童書が6万270点が約28%となっています。一般書のうち、外国語図書が939点、点字図書が399点となっています。

図表 香芝市民図書館蔵書数

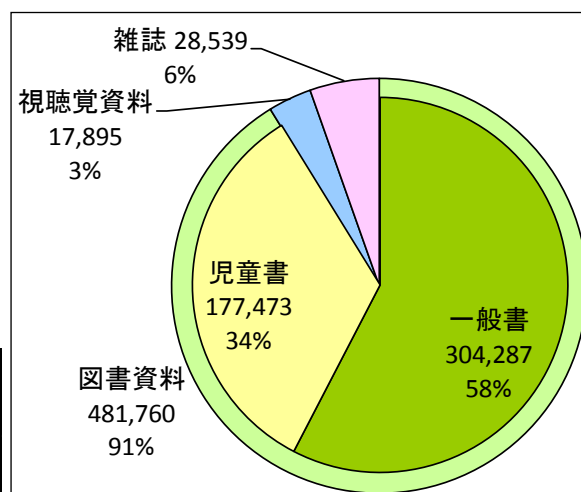


<貸出点数> (平成25年度)

香芝市民図書館の平成25年度の総貸出点数は52万8,194点です。その内訳をみると、一般書が30万4,287点(58%)、児童書が17万7,473点(34%)と、図書資料が48万1,760点で91%を占めています。

図表 香芝市民図書館貸出点数 (平成25年度) (点)

一般書	児童書	視聴覚資料	雑誌	合計
304,287	177,473	17,895	28,539	528,194



<実利用率> (平成25年度)

香芝市民図書館の平成25年度実際に貸出をした人数は一般1万264人、児童3,309人となっています。平均点数は一般38.0点、児童36.0点となっており、1カ月当たり3点以上の利用となります。実利用率は一般37.9%、児童42.9%です。

図表 香芝市民図書館実利用率 (平成25年度)

		一般	児童		
a	資料を借りた人数	10,264人	3,309人	a	延べ人数ではなく、1年間に実際に貸出した人数
b	貸出点数	390,254点	118,987点	b	団体貸出を除く
c	登録者数	27,100人	7,708人	c	団体登録、業務用、除籍者、不明数を除く
b/a	1人の利用者が借りた平均点数	38.0点	36.0点		
a/c	実利用率	37.9%	42.9%		

<登録状況>（平成 25 年度）

香芝市民図書館の平成 25 年度の登録者数は、3 万 5,085 人となっています。内訳をみると、市内登録者が 3 万 411 人（86.7%）を占め、市外の登録者は 4,397 人（12.5%）です。

市内登録者の年齢別の内訳をみると、特に 13～15 歳では、市全体の年齢別人口に占める登録者の比率が 88.1%と高くなっています。その前後の 6～12 歳、16～18 歳の比率も 60%を超えています。また、30～49 歳では特に女性の登録者の比率が高くなっています。

市外登録者の内訳をみると、奈良県内の登録者が 99%となっており、隣接する大和高田市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町の登録者が 3,409 人と県内の登録者の 79%を占めています。

図表 香芝市民図書館登録者数（平成 25 年度）

市内	市外	団体	合計
30,411	4,397	277	35,085
86.7%	12.5%	0.8%	100%

図表 香芝市民図書館市内年齢別・性別登録者数（平成 25 年度）

年齢	男性	女性	合計(A)	年齢別人口(B)	比率(A/B)
0～5歳	326	346	672	5,040	13.3%
6～12歳	2,055	2,201	4,256	6,632	64.2%
13～15歳	1,191	1,308	2,499	2,836	88.1%
16～18歳	690	855	1,545	2,521	61.3%
19～22歳	589	767	1,356	3,124	43.4%
23～29歳	752	1,257	2,009	5,246	38.3%
30～39歳	1,336	3,385	4,721	11,012	42.9%
40～49歳	1,788	3,598	5,386	12,801	42.1%
50～59歳	1,052	1,513	2,565	8,333	30.8%
60～69歳	1,296	1,754	3,050	9,843	31.0%
70～79歳	988	881	1,869	7,101	26.3%
80歳～	249	234	483	3,663	13.2%
合計	12,312	18,099	30,411	78,152	38.9%

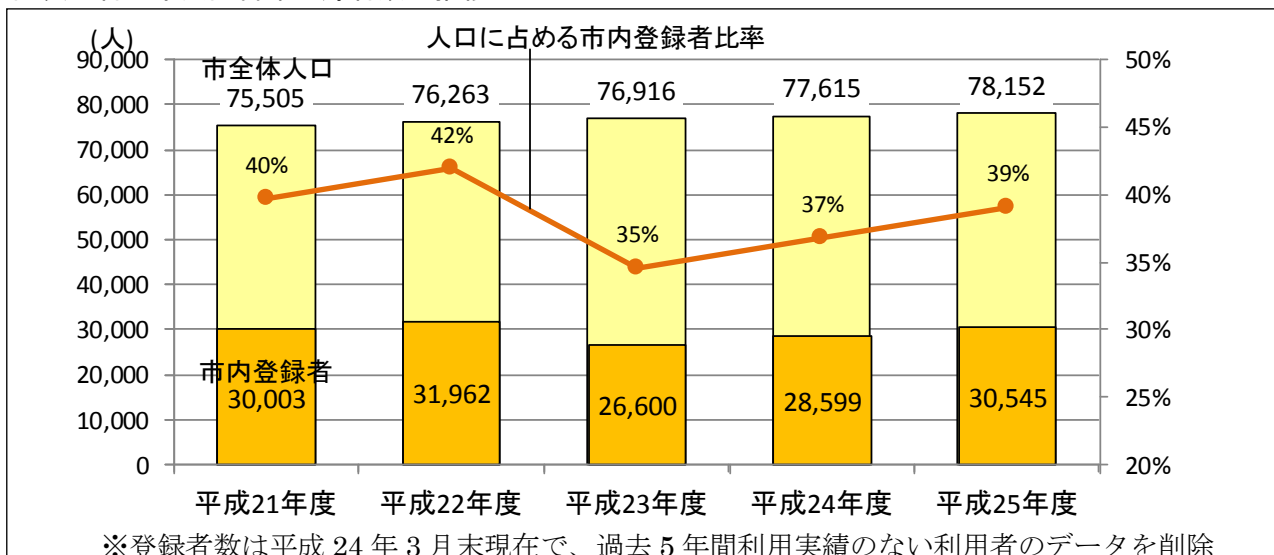
図表 香芝市民図書館市外登録者数（平成 25 年度）

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数			
中和	橿原市	216	北和	奈良市	56	県外	三重県	2
	大和高田市	859		生駒市	17		京都府	1
	桜井市	48		大和郡山市	36		大阪府	57
	葛城市	841		天理市	20	県外小計	60	
	生駒郡平群町	47		宇陀市	19	市外計	4,397	
	生駒郡三郷町	60	北和小計		148	隣接自治体		
	生駒郡斑鳩町	42	南和	五條市	17			
	生駒郡安堵町	18		御所市	67			
	磯城郡川西町	6		吉野郡吉野町	5			
	磯城郡三宅町	15		吉野郡大淀町	13			
	磯城郡田原本町	56		吉野郡下市町	4			
	高市郡高取町	17		吉野郡黒滝村	1			
	高市郡明日香村	5		吉野郡野迫川村	1			
	北葛城郡上牧町	624		吉野郡十津川村	6			
	北葛城郡王寺町	185		吉野郡川上村	0			
北葛城郡広陵町	900	吉野郡東吉野村		1				
北葛城郡河合町	135	南和小計		115				
中和小計	4,074	県内小計		4,337				

＜利用状況の推移＞

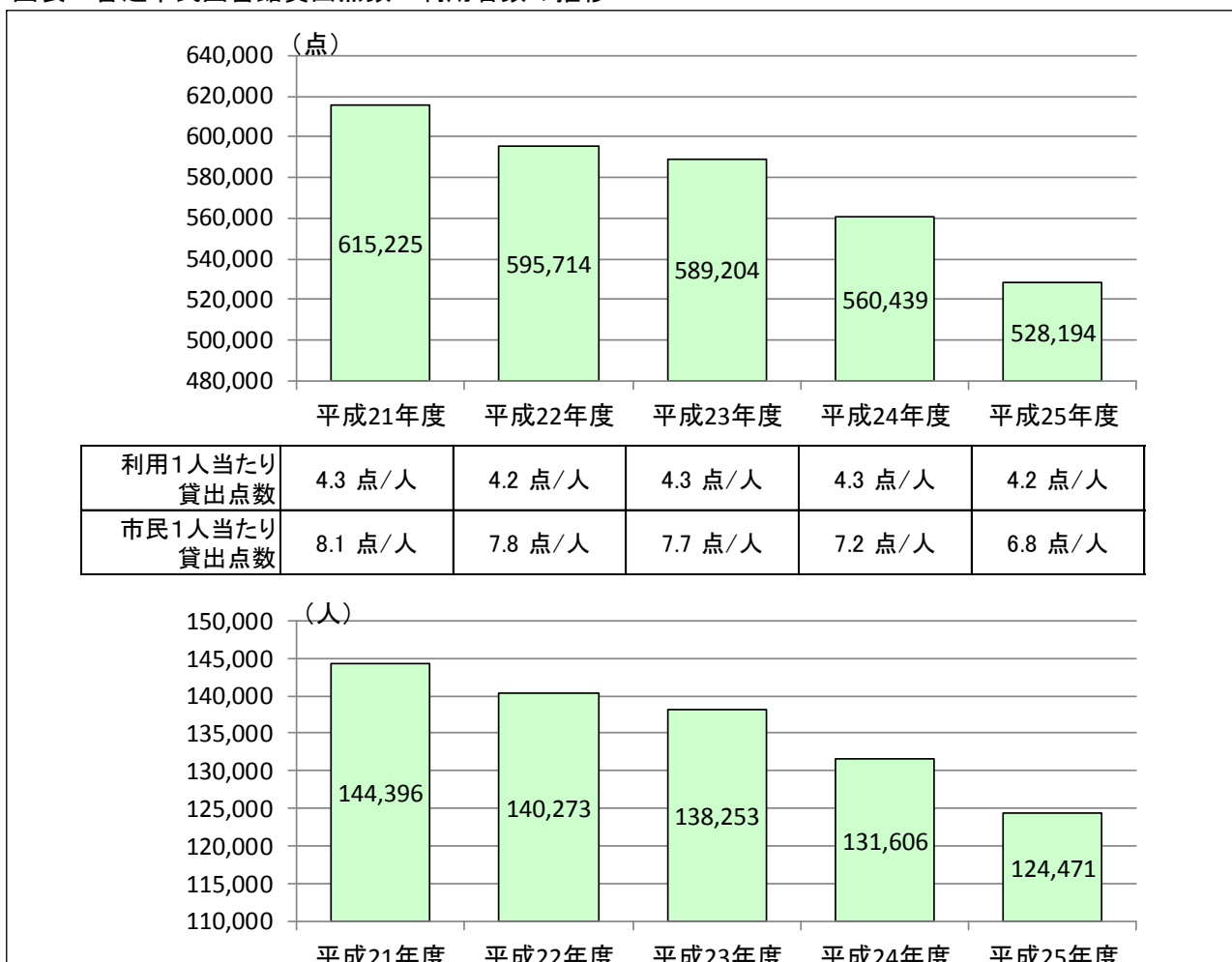
平成21年度から平成25年度の登録者数の推移をみると、市内登録者比率は4割程度となっています。

図表 香芝市民図書館登録者数の推移



平成21年度から平成25年度の貸出点数、貸出人数(延べ人数)の推移をみると、貸出点数、貸出人数ともに減少の傾向にあり、市民1人当たりの貸出点数も減少しています。利用1人当たりの貸出点数をみると、4.2~4.3点/人と横ばいの推移となっています。

図表 香芝市民図書館貸出点数・利用者数の推移



■ 二上山博物館

二上山博物館は、香芝市ふたかみ文化センターの1階部分に位置し、市内及び二上山周辺地域を中心とした考古、歴史等の人間の生活及び文化に関する資料、この地域を構成している自然界に関する資料その他これらに関連する資料について調査研究し、展示し、または保存し、市民の教育、学術及び文化の発展に資するため設置されています。

二上山に分布する火成岩のなかでもサヌカイト、凝灰岩、金剛砂はその後の人類文化の発展に大きく寄与した岩石、鉱物です。この3つの石と人びとの暮らしをテーマに、歴史的風土と自然の特徴を親しみやすく視覚に訴えた博物館となっています。

<二上山博物館スペース構成>

常設展示室	502.1 m ²	収蔵庫、整理作業室等	511.13 m ²
事務室	32 m ²	計	1,045.23 m ²

<開館時間等>

開館時間	休館日
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	月曜日(国民の祝日、振替休日に当たる場合は翌日以降最も近い平日)・年末年始(12月28日～1月4日)

<観覧料>

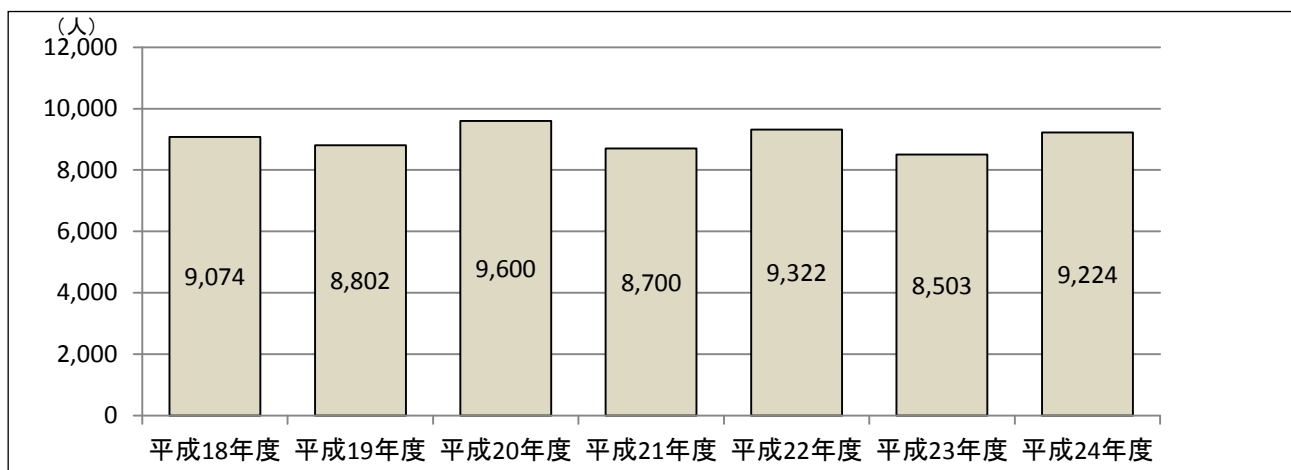
	大人	学生(高校・大学生)	小人(小・中学生)
個人	200円	150円	100円
団体(20名以上)	150円	100円	50円

※次の場合は利用料の減免があります。(詳細はホームページ等をご確認ください)

- ①市内の小学校・中学校・高等学校の児童または生徒が教職員に引率されて入館される場合
- ②市内の小学校・中学校・高等学校の児童または生徒が学校の課題学習に伴い入館される場合
- ③学校週5日制に伴う土曜日に高校生以下の児童または生徒が入館される場合
- ④身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の交付を受けている方が入館される場合
- ⑤「奈良県内(奈良県外)外国人留学生 社寺、文化・観光施設入館無料パスポート」の交付を受けている外国人留学生の方が入館される場合。

<利用推移>

二上山博物館の平成18年度から平成24年度の年間利用者数の推移をみると、8,500人から9,600人の間で推移しています。



■ 複合施設のコスト状況

複合施設も含めた香芝市ふたかみ文化センターの年間総コストは、2億5,506万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は1,434万円(6%)、事業運営費は1億1,454万円(45%)、指定管理料が6,812万円(27%)、減価償却費が2,104万円となっています。当該施設から年間272万円の収益があります。

図表 複合施設 施設経費計算書 (平成24年度)

I. 現金収支を伴うもの (円)

		香芝市民図書館	二上山博物館	香芝市ふたかみ文化センター	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	43,944	0	0	43,944
	修繕料・役務費	0	0	0	0
	建物管理委託料	0	0	0	0
	使用料・賃借料	0	0	0	0
	工事請負費	0	0	0	0
	備品購入費その他	13,069,913	0	1,228,500	14,298,413
	維持管理費計	13,113,857	0	1,228,500	14,342,357
事業運営費	人件費	68,747,908	27,836,749	0	96,584,657
	その他事業運営費	13,019,298	4,933,565	0	17,952,863
	事業運営費計	81,767,206	32,770,314	0	114,537,520
指定管理料	0	0	68,117,297	68,117,297	
現金収支を伴うコスト計	94,881,063	32,770,314	69,345,797	196,997,174	
【収益の部】					
収入	使用料	0	762,950	52,368	815,318
	その他	51,860	532,270	1,318,501	1,902,631
収益計	51,860	1,295,220	1,370,869	2,717,949	

II. 現金収支を伴わないもの

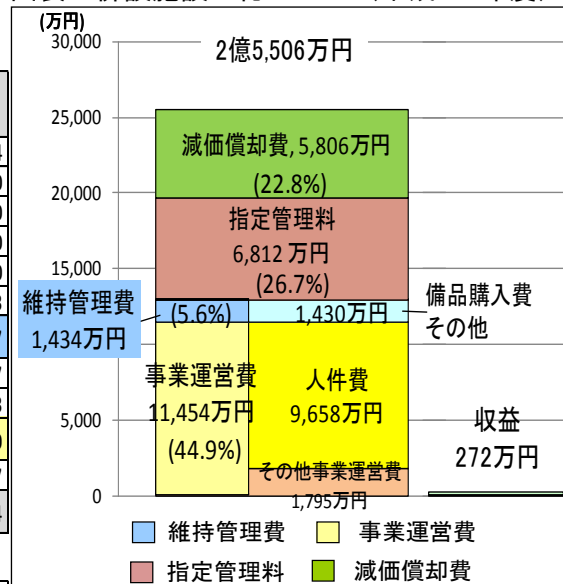
【コストの部】

コスト	香芝市民図書館	二上山博物館	香芝市ふたかみ文化センター	合計
減価償却費	13,897,297	7,138,371	37,028,522	58,064,190

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	香芝市民図書館	二上山博物館	香芝市ふたかみ文化センター	合計
コストの部合計(総コスト)	108,778,360	39,908,685	106,374,319	255,061,364
収支差額	108,726,500	38,613,465	105,003,450	252,343,415

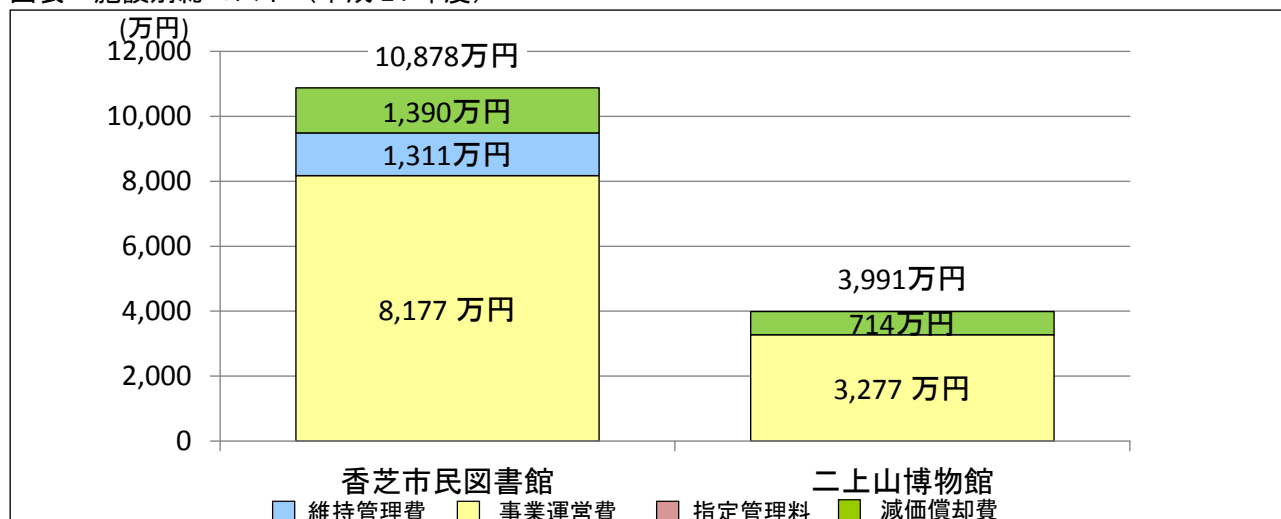
図表 併設施設 総コスト (平成24年度)



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

施設別の総コストは香芝市民図書館が1億878万円、二上山博物館が3,991万円となっています。

図表 施設別総コスト (平成24年度)



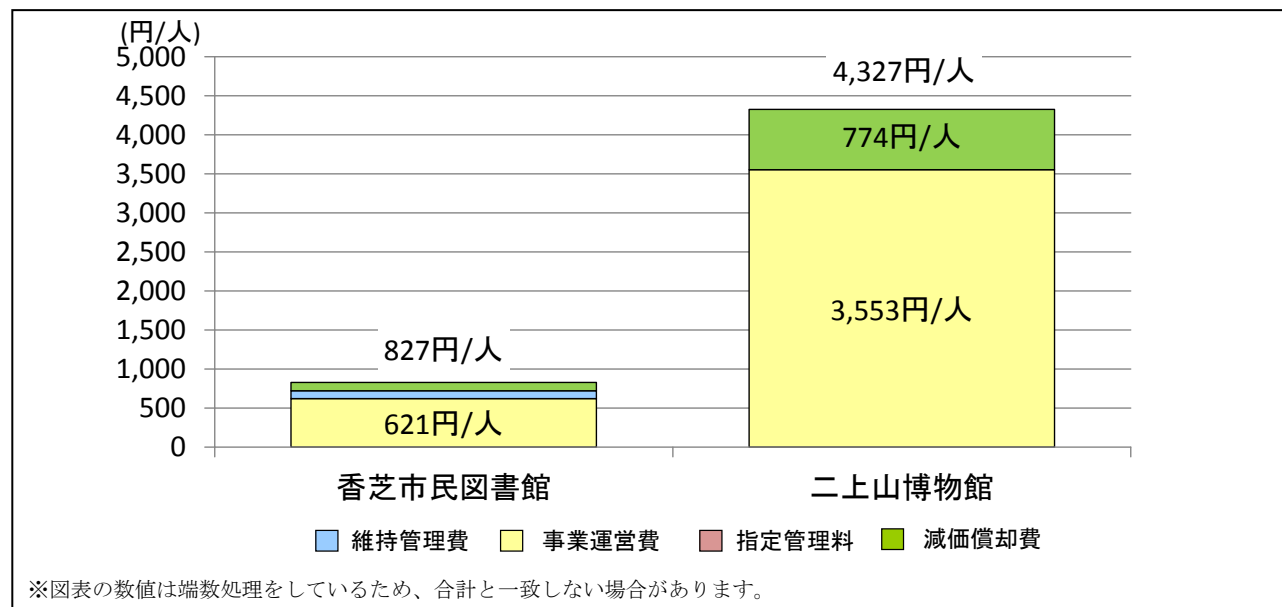
※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

<利用者 1 人当たりにかかるコスト/貸出点数 1 点当たりにかかるコスト>

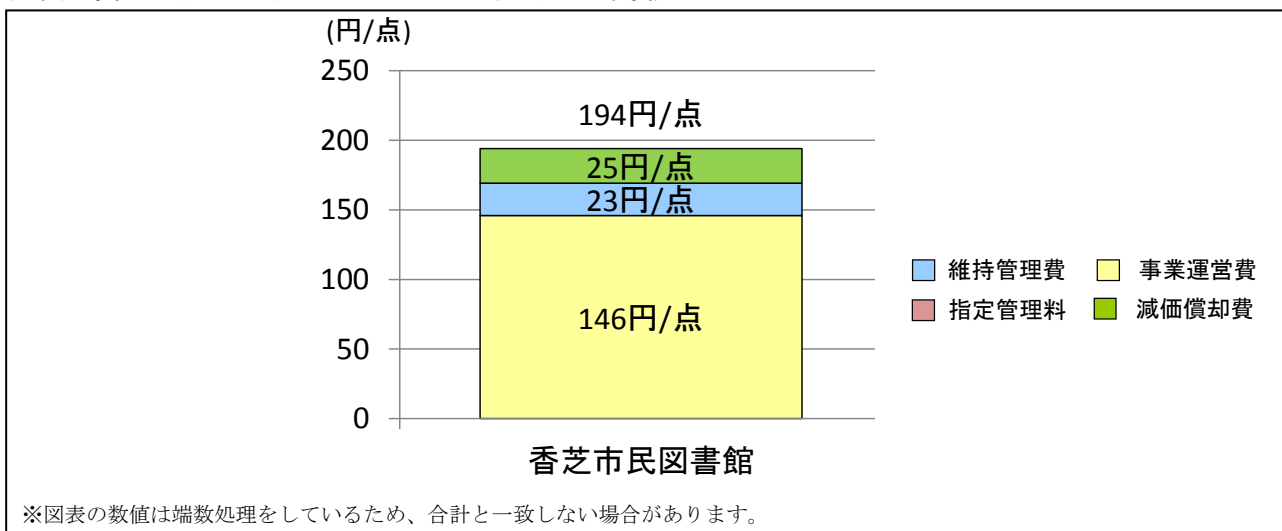
年間利用者数と総コストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、香芝市民図書館が 827 円/人、二上山博物館が 4,327 円/人となっています。

年間貸出点数と総コストから貸出 1 点当たりにかかるコストを算出すると、香芝市民図書館の貸出点数 1 点当たりにかかるコストは 194 円/点となっています。

図表 利用者 1 人当たりにかかるコスト(平成 24 年度)



図表 貸出 1 点当たりにかかるコスト(平成 24 年度)



⑤現状及び課題

- 香芝市モナミホールは築 35 年が経過しており、耐震改修は未実施となっている。
- 香芝市モナミホールは 1 日 1 件に満たない利用となっている。1,030 席という大きなホールの需要はどの程度あるか、近隣市と連携し広域利用できないか等、施設のあり方を検討する必要がある。
- 平成 26 年度から指定管理者が替わり、運営方式の見直しによる効果がどのように表れているか、今後注目していく必要がある。

2) 中央公民館

①施設概要

香芝市の住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興及び社会福祉の増進を図るため、公民館を設置しています。

香芝市中央公民館は市の直営となっています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 香芝市中央公民館	下田西三丁目7番 5号	2,634.60	昭和54	RC	平成29年度耐震改修予定

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

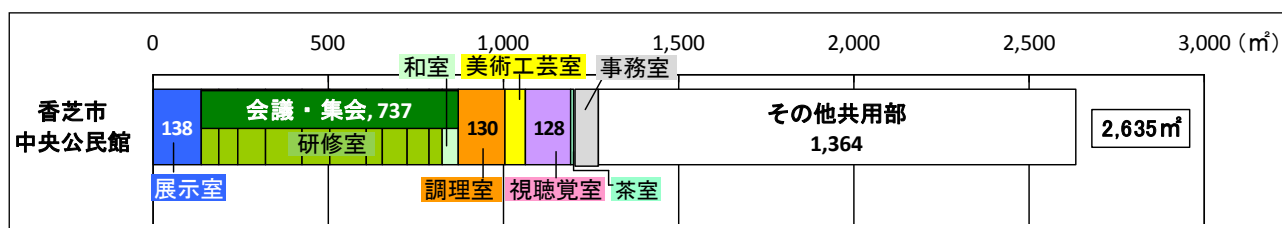
<開館時間等> (平成 24 年度)

施設名	開館時間	休館日	開館日数
香芝市中央公民館	午前 9 時から午後 9 時	毎週木曜日 年末年始(12月28日～1月4日)	306 日

<スペース構成>

香芝市中央公民館は延床面積 2,635 ㎡であり、そのうち会議・集会機能（研修室、和室等）を 737 ㎡保有しています。その他に展示室、調理室、美術工芸室、視聴覚室、茶室を保有しています。

図表 スペース構成



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

②利用状況

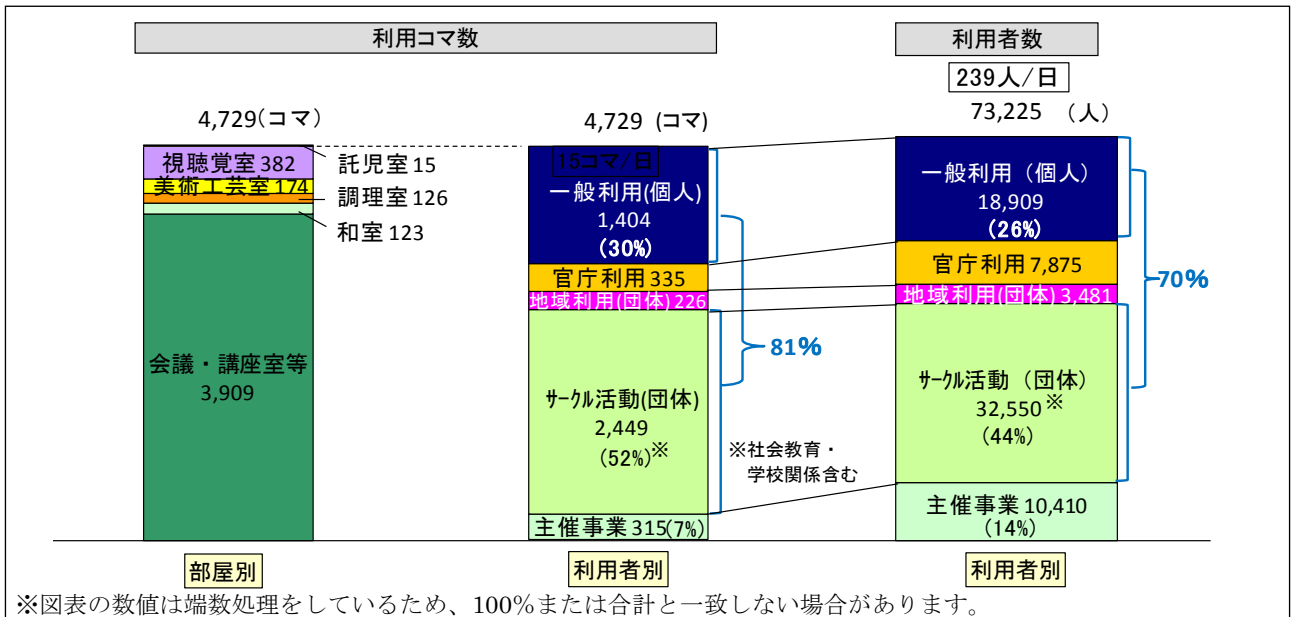
■ 年間利用コマ数・年間利用者数

<中央公民館>

中央公民館の年間利用コマ数は4,729コマ、利用者数は7万3,225人となっています。1日当たりの利用コマ数は15コマ/日、1日当たりの利用人数は239人/日となっています。

利用目的別の内訳をみると、主催事業の利用コマ数は315コマ(7%)、利用者数は10,410人(14%)で割合が低くなっています。一方、サークル活動(団体)と一般利用(個人)の利用コマ数は3,853件(81%)、利用者数は5万1,459人(70%)で大半を占めています。

図表 中央公民館 年間利用件数・年間利用者数(平成24年度)

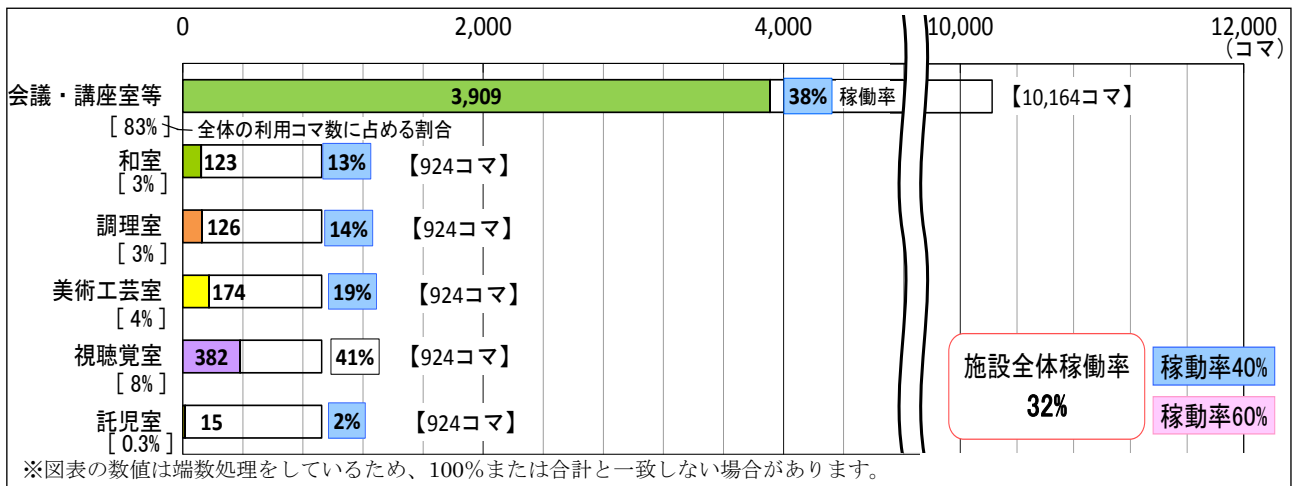


■ 部屋別の利用状況

部屋別の利用コマ数をみると、全体の年間利用コマ数4,729コマのうち、会議・講座室等の利用コマ数は3,909コマ(83%)、視聴覚室が382コマ(8%)となっています。

部屋別の稼働率をみると、会議・講座室等は38%、視聴覚室は41%となっており、その他の部屋は20%以下の稼働率となっています。施設全体の稼働率は32%です。

図表 中央公民館・部屋別稼働率(平成24年度)



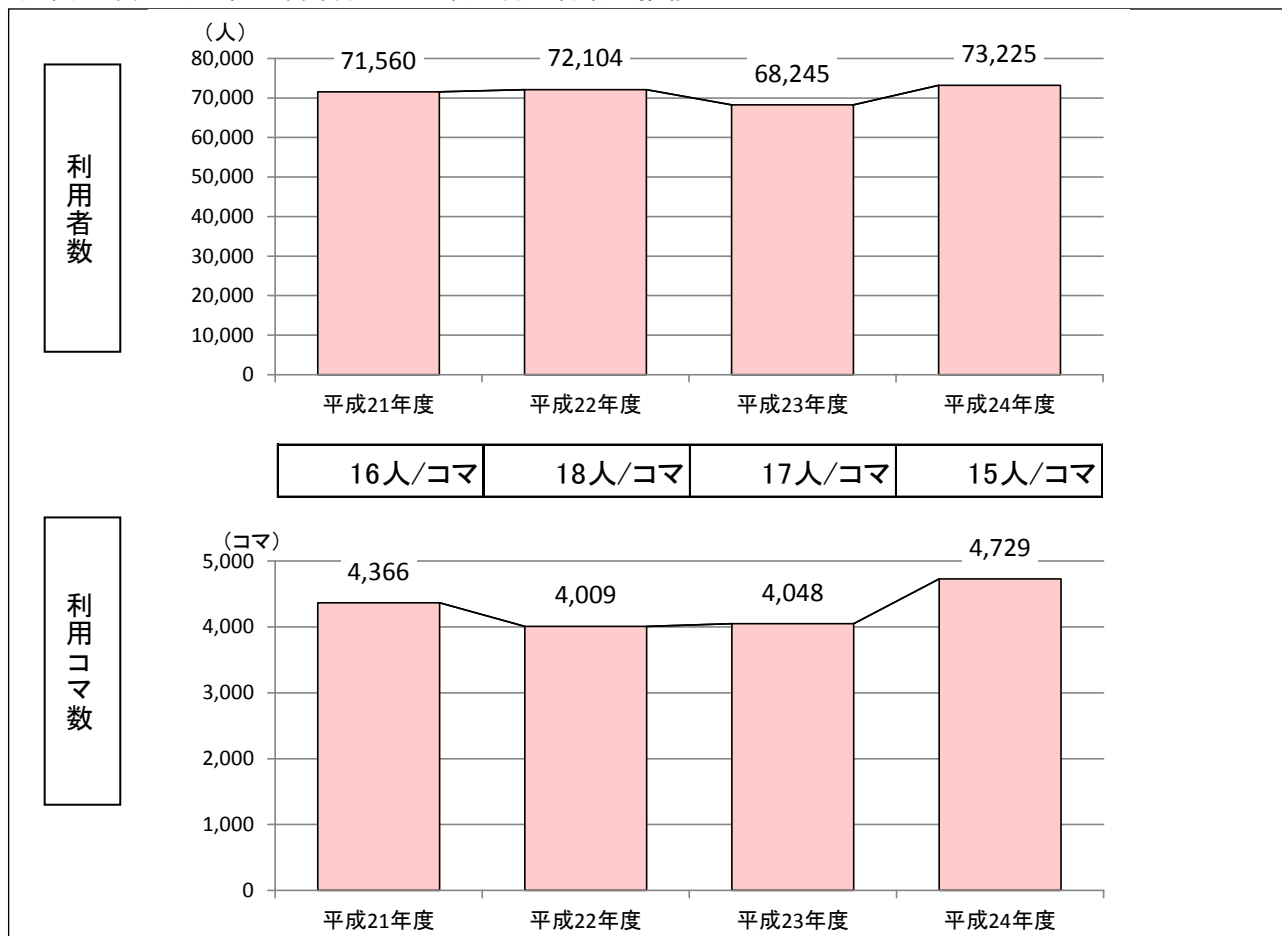
■ 利用推移

利用コマ数の推移をみると、平成21年度の4,366コマから、平成24年度の4,729コマへと増加しています。

利用者は、平成21年度の約7.2万人から、平成24年度は約7.3万人へと増加しています。

利用1コマ当たりの利用者は、平成21年度以降平均15~18人/コマの間で推移しています。

図表 中央公民館 年間利用コマ数・利用者数の推移



③コスト状況

中央公民館の年間総コストは、6,803万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（修繕料、光熱水費等）は 1,052 万円（16%）、事業運営費（人件費等）は 2,902 万円（43%）、減価償却費は 2,849 万円です。当該施設から年間 519 万円の収入があります。

図表 公民館 施設経費計算書（平成 24 年度）
I. 現金収支を伴うもの (円)

		中央公民館
維持管理費	燃料費・光熱水費	2,918,816
	修繕料・役務費	369,913
	建物管理委託料	6,455,400
	使用料・賃借料	135,954
	工事請負費	492,240
	備品購入費その他	149,137
	維持管理費計	10,521,460
	事業運営費	人件費
	その他事業運営費	2,741,163
	事業運営費計	29,018,789
	指定管理料	0
	現金収支を伴うコスト計	39,540,249

【収益の部】

収入	使用料	4,460,830
	その他	725,664
	収益計	5,186,494

II. 現金収支を伴わないもの

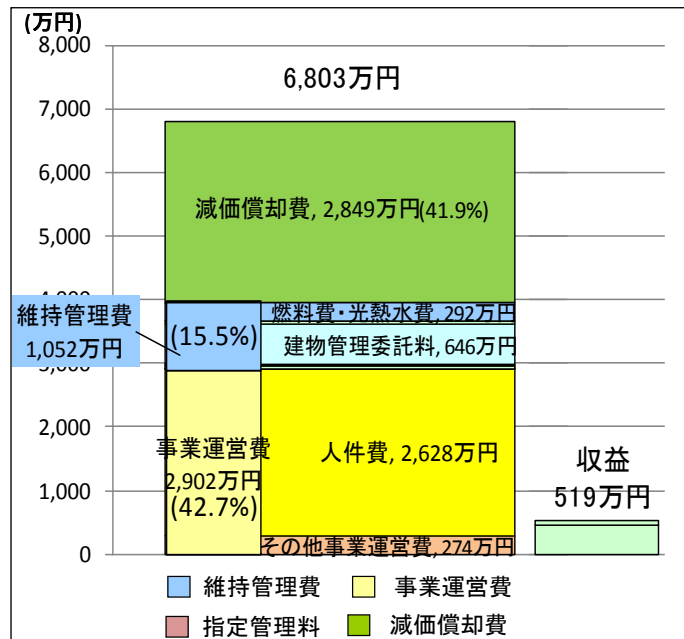
【コストの部】

コスト	減価償却費	28,485,000
-----	-------	------------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	68,025,249
収支差額	62,838,755

図表 中央公民館総コスト（平成 24 年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

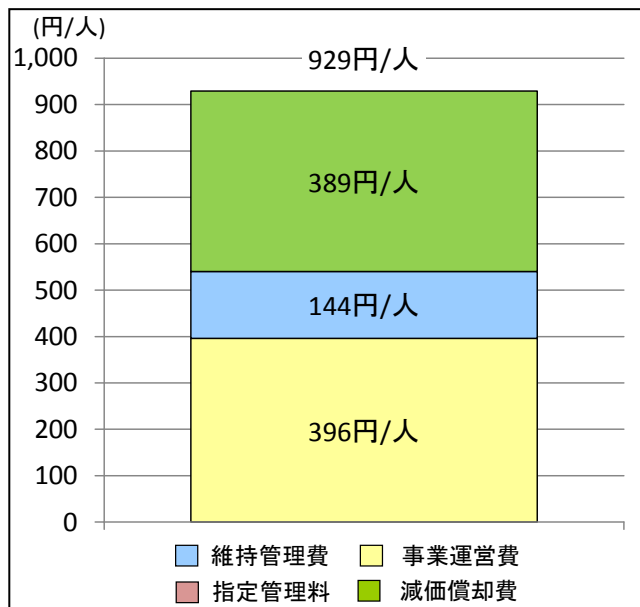
■ 評価・分析

＜利用者1人当たりにかかるコスト／利用1コマ当たりにかかるコスト＞

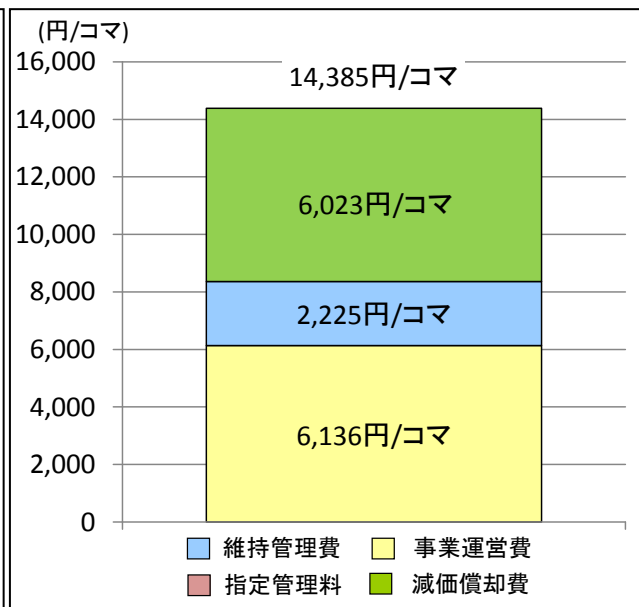
中央公民館の年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、929円/人となっています。

中央公民館の年間利用コマ数と総コストから利用1コマ当たりにかかるコストを算出すると、1万4,385円/コマとなっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト
 (平成24年度)



図表 利用1コマ当たりにかかるコスト
 (平成24年度)



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

④現状及び課題

- 築30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。
- 中央公民館は平成29年度に耐震改修の予定。
- 部屋別にみると、会議・集会機能の利用が主であり、その他の部屋の稼働率は低い。
- 中央公民館は主催事業の利用が少なく、サークル・一般利用が大半となっている。

(2) 青少年センター

①施設概要

青少年センターでは、青少年の豊かな人格の形成を目指して、青少年の非行化を防止し、健全な育成を図るための活動を行っています。広報啓発として「少年の主張」市民集会や青少年健全育成推進大会、子ども体験事業として、わくわくキッズ体験学習、ファミリー雪体験等の事業を行っています。

また、生徒指導支援室の事業として、併設している適応指導教室(すみれ教室)があり、市内小・中学校と緊密な連携を図りながら、学校に行けなくなったり、行きにくくなっている子供たちと、その保護者に対して、相談活動や学校生活への復帰を援助する支援を行っています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 青少年センター	下田西二丁目1-12	936.5	昭和55	RC	

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

<開館時間等> (平成 24 年度)

開館時間	休館日	開館日数
午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分	土・日・祝日	244 日

②コスト状況

青少年センターの年間総コストは、2,671万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（光熱水費、使用料・賃借料等）は453万円（17%）、事業運営費（人件費等）は1,770万円（66%）、減価償却費は448万円です。

図表 青少年センター施設経費計算書(平成25年度)

I. 現金収支を伴うもの (円)
【コストの部】

		青少年センター
維持管理費	燃料費・光熱水費	937,996
	修繕料・役務費	504,643
	建物管理委託料	759,869
	使用料・賃借料	2,332,403
	工事請負費	0
	備品購入費その他	0
	維持管理費計	4,534,911
事業運営費	人件費	16,329,814
	その他事業運営費	1,367,145
	事業運営費計	17,696,959
指定管理料		0
現金収支を伴うコスト計		22,231,870

【収益の部】

収入	使用料	0
	その他	0
収益計		0

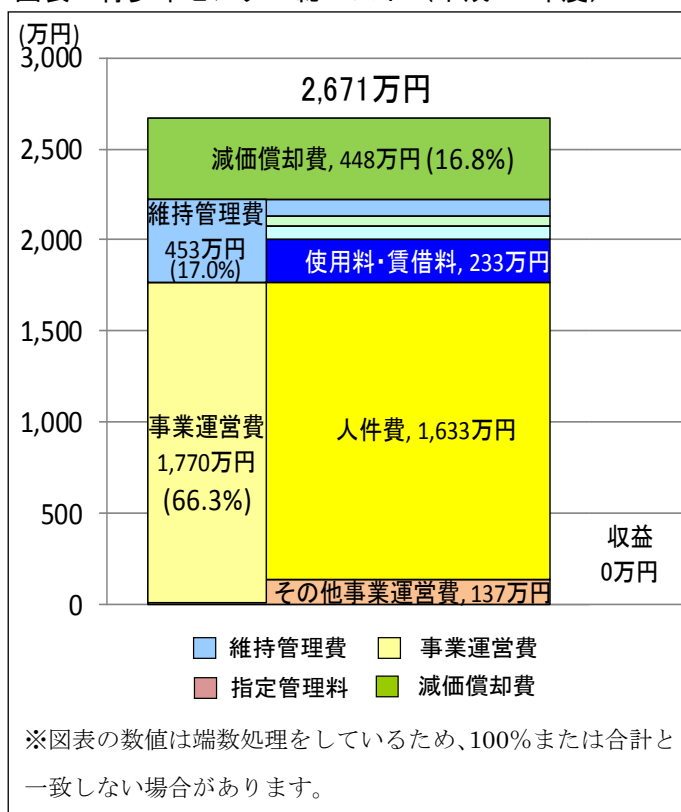
II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】	
コスト	減価償却費 4,477,416

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	26,709,286
収支差額	26,709,286

図表 青少年センター総コスト(平成25年度)



(3) スポーツ・レクリエーション系施設

1) スポーツ施設

①施設概要

本市では、市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健全な発達に寄与するため、スポーツ施設が10施設設置されています。

保有機能は体育館、トレーニング室、テニスコート、多目的運動場、プール等、様々な機能を保有しています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	屋内施設			屋外施設			備考
						競技 メイン 場	競技 サブ 場	トレ ー ニ ン グ 室	プ ー ル	テ ニ ス コ ー ト	ボ ー ル 場	
下田	1 香芝市総合体育館	本町1437番地	6,127.2	昭和52	RC	●	●	●				
旭ヶ丘	2 香芝市 北部地域体育館	上中273-1	839.8	昭和53	RC	●						
関屋	3 総合プール	穴虫2864番地の1	744.0	昭和59	RC				●			※平成25年度 休止
旭ヶ丘	4 健民テニスコート	上中273番地1	-	-	-					●		
真美ヶ丘東	5 高塚テニスコート	真美ヶ丘六丁目 11番	-	-	-					●		
下田	6 市民いこいの広場	下田西二丁目397 番地2	-	-	-						●	
旭ヶ丘	7 健民運動場	上中273番地1	-	-	-							●
二上	8 高山台グラウンド	高山台三丁目	-	-	-							●
真美ヶ丘東	9 高塚グラウンド	真美ヶ丘六丁目 11番	-	-	-							●
真美ヶ丘東	10 観正山グラウンド	真美ヶ丘三丁目4 番	-	-	-							●
合計			7,711.03									

※昭和 59：建築年度の赤字は築30年以上を示す

<運営時間等>

施設名	機能	運営時間	休館日
香芝市総合体育館	屋内競技場、トレーニング室、会議室	午前9時から午後10時	毎月第1木曜日（※ただし、第1木曜日が祝日の場合は開館し翌日以降で最初の平日を休館）、12月28日から翌年1月4日まで
香芝市北部地域体育館	屋内競技場	午前9時から午後10時	
総合プール	屋外プール	午前9時30分から午後5時	7月第3土曜日から8月31日まで無休
健民テニスコート	テニスコート	午前7時から午後7時 (10月～4月は午後5時まで)	毎月第1木曜日（※ただし、第1木曜日が祝日の場合は開館し翌日以降で最初の平日を休館）、12月28日から翌年1月4日まで
高塚テニスコート	テニスコート	午前7時から午後9時	
市民いこいの広場	ゲートボール場	午前8時から午後6時	
健民運動場	多目的運動場	午前8時から午後6時	
高山台グラウンド	多目的運動場	午前8時から午後6時	
高塚グラウンド	他目的運動場	午前8時から午後9時	
観正山グラウンド	多目的運動場	午前8時から午後6時	

②利用状況

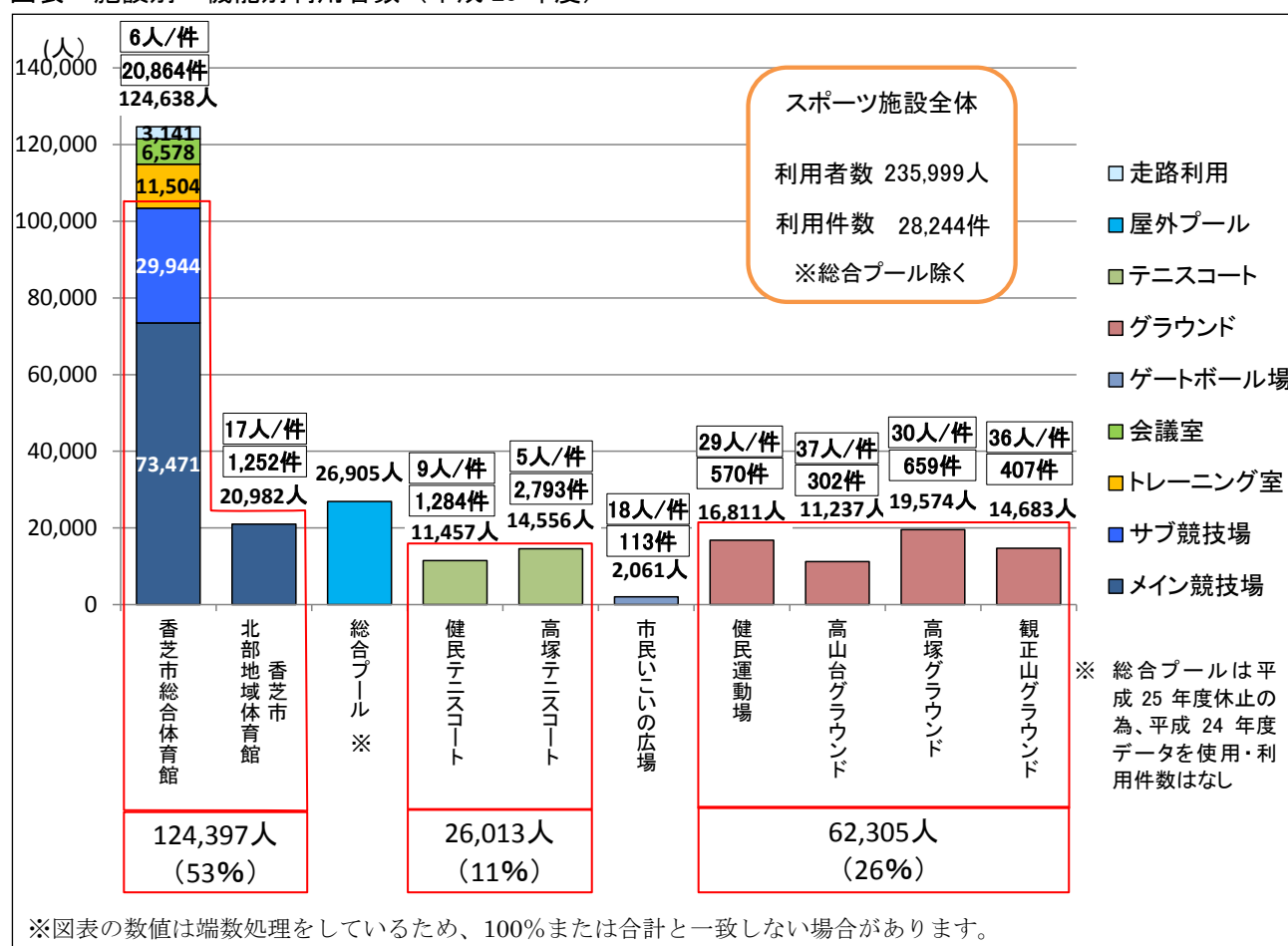
■ 全体の利用状況

平成 25 年度のスポーツ施設の年間利用件数は 2 万 8,244 件、利用者数は 23 万 5,999 人となっています。総合プールは平成 25 年度に休止しており、平成 24 年度の利用者数は 2 万 6,905 人です。

施設別にみると、香芝市総合体育館の利用者が 12 万 4,638 人と全体の約 53%を占めています。

機能別にみると、屋内競技場の利用が 12 万 4,397 人（約 53%）、グラウンドの利用が 6 万 2,305 人（約 26%）、テニスコートの利用は 2 万 6,013 人（約 11%）となっています。

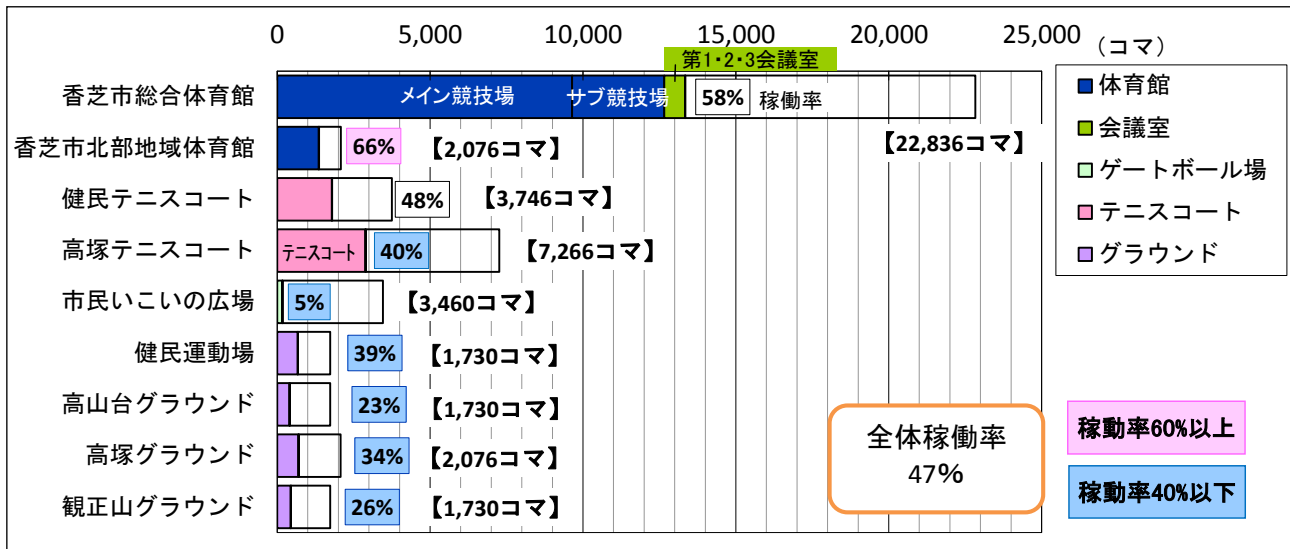
図表 施設別・機能別利用者数（平成 25 年度）



■ 施設別稼働率

スポーツ施設の施設別の稼働率をみると、香芝市北部地域体育館が最も高く 66%、次いで香芝市総合体育館が 58%となっています。屋内施設の方が利用が高い傾向にあり、屋外施設の中でも比較的テニスコートの利用が高くなっています。スポーツ施設全体の稼働率は 47%です。

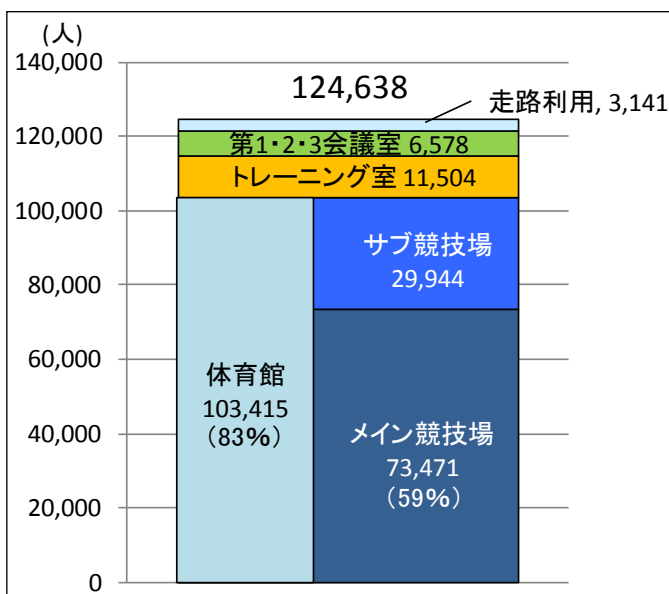
図表 施設別稼働率（平成 25 年度）



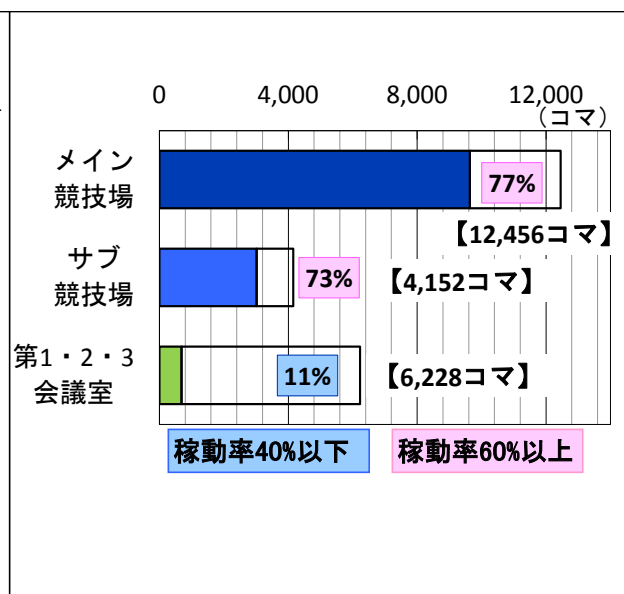
■ 香芝市総合体育館の利用状況

香芝市総合体育館の部屋別の利用者数をみると、体育館機能の利用者が 10 万 3,415 人で約 83%を占めています。部屋別の稼働率をみても、メイン競技場は 77%、サブ競技場は 73%と稼働率が高くなっています。会議室機能の利用者数は 6,578 人（約 5%）、稼働率は 11%と、利用が低くなっています。

図表 総合体育館・部屋別利用者数（平成 25 年度）



図表 総合体育館・部屋別稼働率（平成 25 年度）



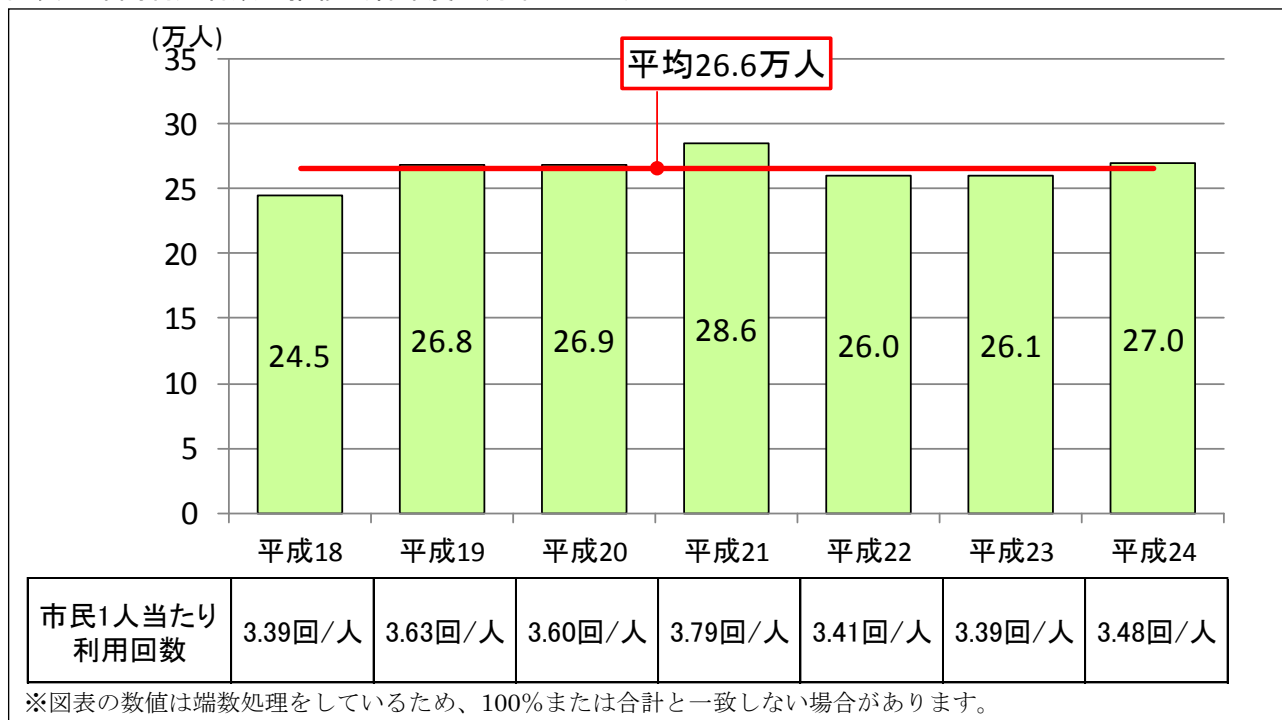
※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 利用推移

利用者数の推移をみると、平成18年度の24.5万人から、平成24年度の27.0万人へ、24万人から29万人の間で推移しています。平均すると26.6万人となっています。

市民1人当たりの利用回数は、平成21年度の3.79回/人をピークに、平成24年度は3.48回/人と、微減の傾向にあります。

図表 年間利用者数の推移（各年度3月末日人口）



③コスト状況

スポーツ施設の年間総コストは、1億2,234万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（修繕料、建物管理委託料等）は571万円（5%）、指定管理料は6,727万円（55%）、減価償却費は4,930万円です。

図表 スポーツ施設 施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

		香芝市 総合体育館	香芝市北部 地域体育館	総合プール	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	0	0	0	0
	修繕料・役務費	576,450	0	865,305	1,441,755
	建物管理委託料	0	0	357,000	357,000
	使用料・賃借料	0	0	0	0
	工事請負費	0	0	3,913,350	3,913,350
	備品購入費その他	0	0	0	0
	維持管理費計	576,450	0	5,135,655	5,712,105
事業費	人件費	0	0	0	0
	その他事業運営費	37,589	22,411	0	60,000
	事業運営費計	37,589	22,411	0	60,000
指定管理料	46,259,612	6,340,388	14,667,555	67,267,555	
現金収支を伴うコスト計	46,873,651	6,362,799	19,803,210	73,039,660	

【収益の部】

収入	使用料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
収益計		0	0	0	0

II. 現金収支を伴わないもの

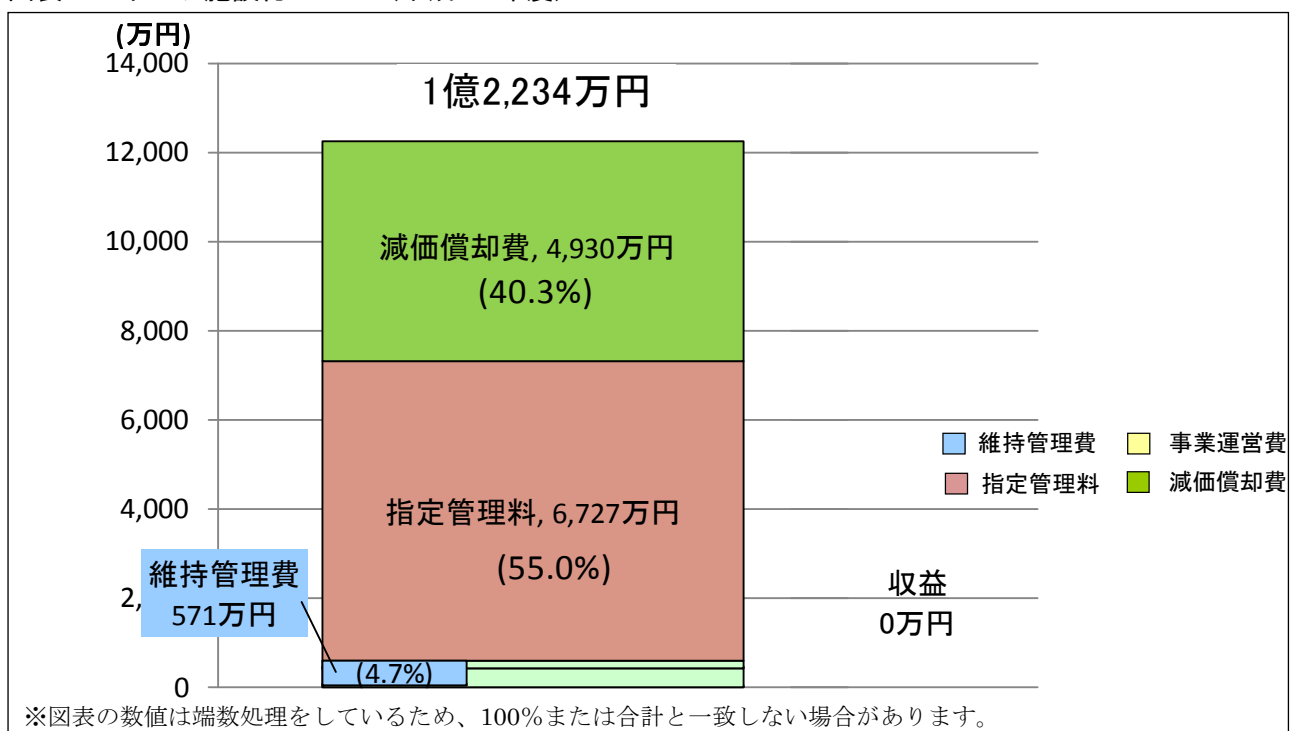
【コストの部】

コスト	減価償却費	40,937,890	4,798,459	3,562,272	49,298,621
-----	-------	------------	-----------	-----------	------------

III. 総括

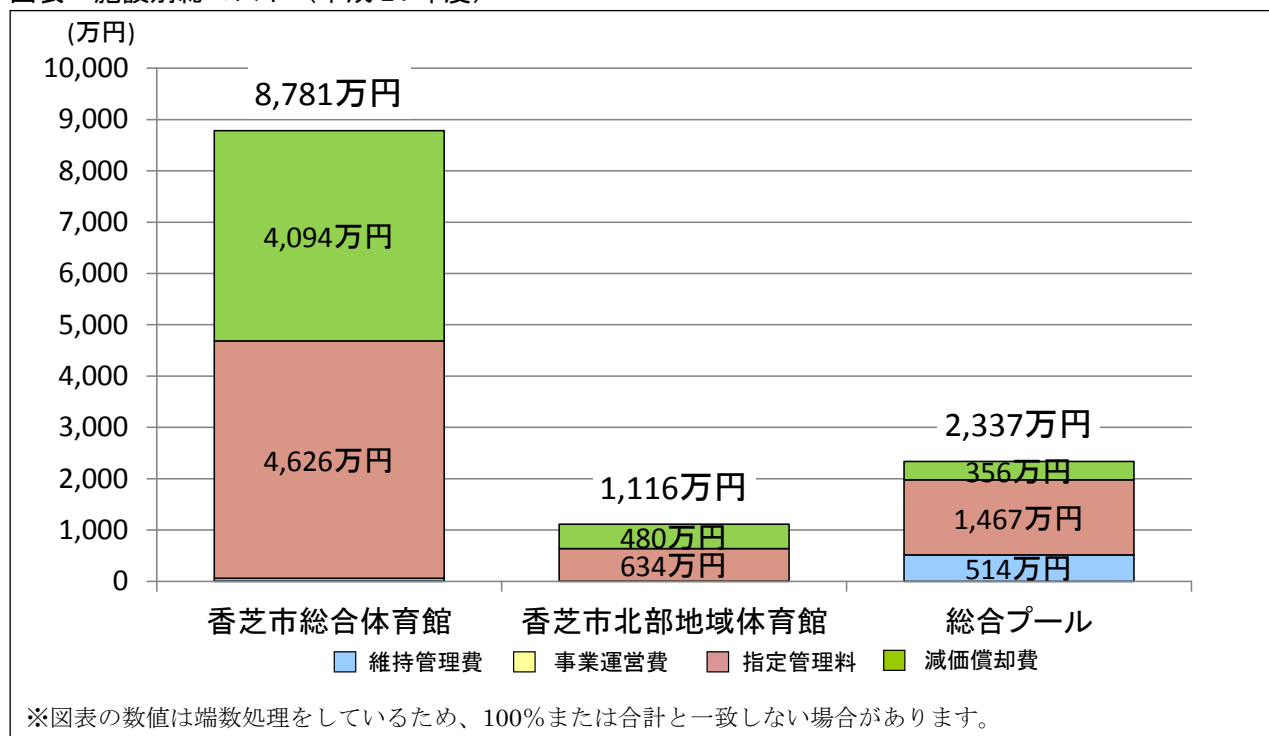
コストの部合計（総コスト）	87,811,541	11,161,258	23,365,482	122,338,281
収支差額	87,811,541	11,161,258	23,365,482	122,338,281

図表 スポーツ施設総コスト（平成24年度）



施設別の総コストをみると、北部地域体育館の1,116万円から、総合体育館の8,781万円と
 なっています。

図表 施設別総コスト（平成24年度）



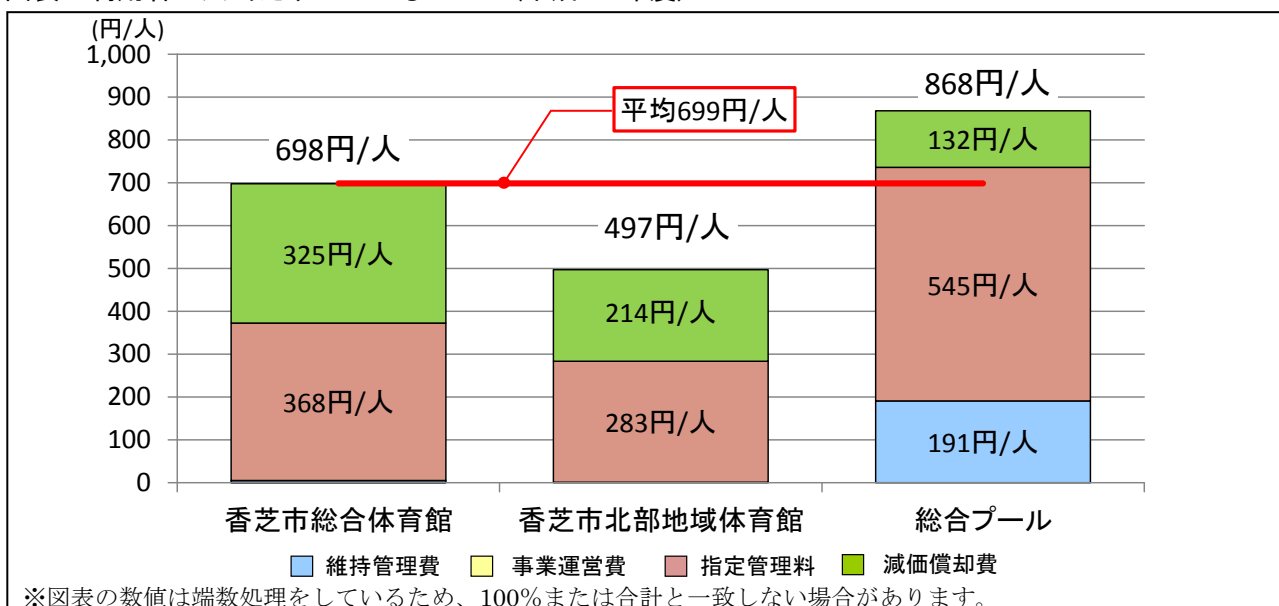
■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト>

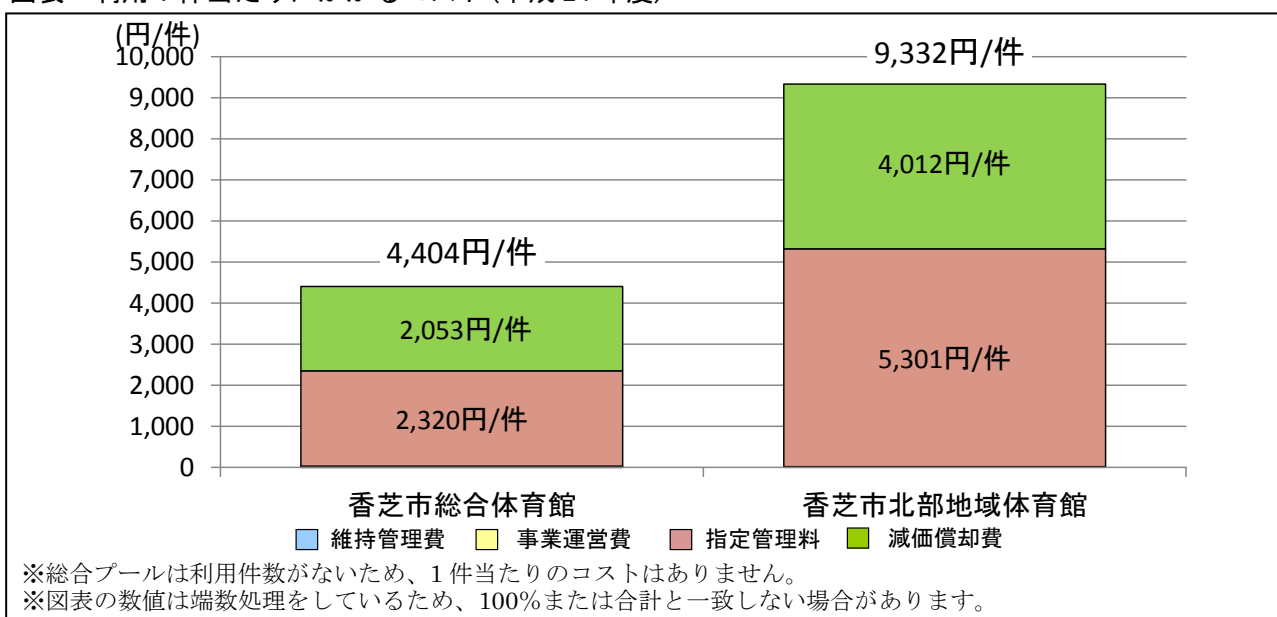
年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、総合体育館が698円/人、北部地域体育館が497円/人、総合プールが868円/人となっており、平均すると699円/人となっています。

年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、総合体育館が4,404円/件、北部地域体育館が9,332円/件となっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト(平成24年度)



図表 利用1件当たりにかかるコスト(平成24年度)



④現状及び課題

- 3施設とも築30年以上経過しており、老朽化が懸念される。
- 香芝市総合体育館は耐震化未実施。
- 体育館機能の稼働率は高い一方、会議・集会機能の稼働率は低い。
- 方針を考える上で、今後整備予定のスポーツ公園についても同時に検討する必要がある。

2) 野外活動センター

①施設概要

本市では、青少年の野外活動を通して、自然とふれあい、仲間づくりを大切にし、豊かな心でたくましい若者を育成することを目的とした野外活動センターが設置されています。

市内の社会教育関係団体（ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会、PTA、スポーツ少年団）等、その他教育委員会が適当と認めた団体が使用できますが、使用1ヶ月前にて使用団体がいない場合は、市内在住で18歳未満のお子様がいる家族も使用が可能となっています。

テントサイト、かまど、洗い場、トイレ、ファイヤー場が設置されています。

運営は市の直営となっています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
旭ヶ丘	1 野外活動センター	上中1045-1	144.0	平成9	S	

<運営時間等>

運営時間	休館日	運営日数
午前10時から午後9時30分	年末年始 ※3月第3土曜日から5月GWまでは一般開放期間	282日

②利用状況

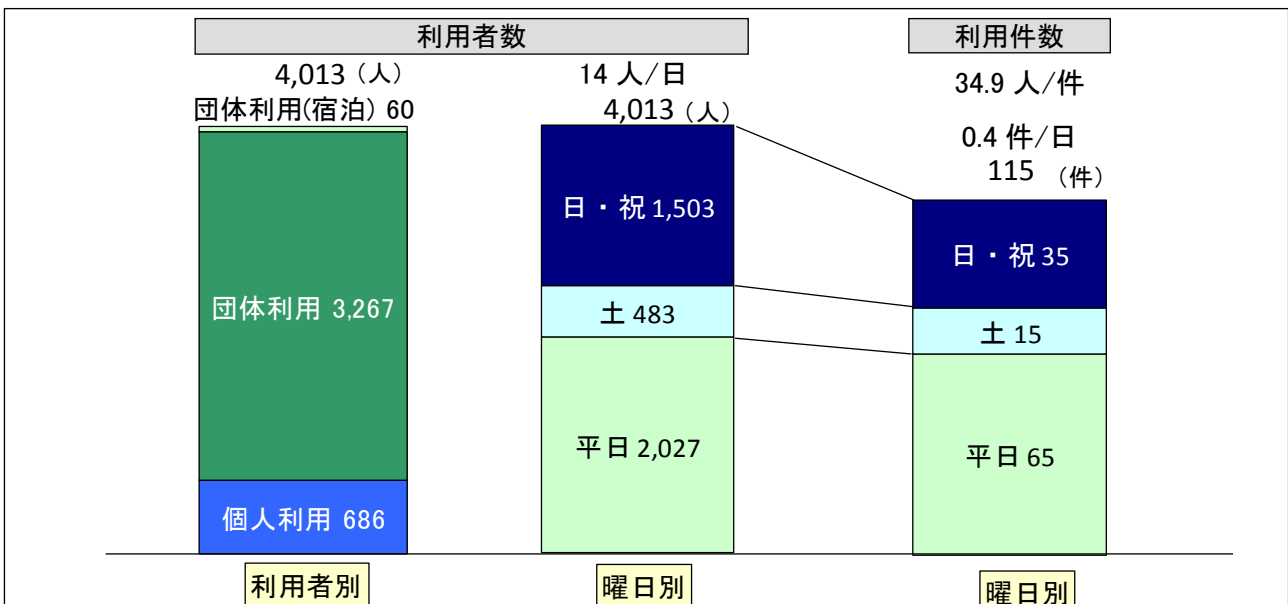
■ 全体の利用状況

平成24年度の野外活動センターの年間利用件数は115件、利用者数は4,013人となっています。1日当たりの利用件数は0.4件/日、1日当たりの利用者数は14人/日です。1件当たりの利用者数は34.9人/件です。

利用者別にみると、団体利用者が3,267人(81%)、宿泊の団体利用者が60人(1%)となっており、個人利用者が686人(17%)となっています。

曜日別にみると、平日の利用が2,027人(51%)で65件、土曜日の利用が483人(12%)で15件、日曜・祝日の利用は1,503人(37%)で35件となっています。

図表 曜日別利用者数・利用件数（平成24年度）



③コスト状況

野外活動センターの年間総コストは、199万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（建物管理委託料、使用料・賃借料等）は184万円（92%）、減価償却費は16万円です。

図表 野外活動センター 施設経費計算書

（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (円)

		野外活動センター
維持管理費	燃料費・光熱水費	0
	修繕料・役務費	0
	建物管理委託料	364,800
	使用料・賃借料	1,473,063
	工事請負費	0
	備品購入費その他	0
	維持管理費計	1,837,863
	事業費	0
事業費	人件費	0
	その他事業運営費	0
事業費計	0	
指定管理料	0	
現金収支を伴うコスト計	1,837,863	

【収益の部】

収入	使用料	0
	その他	0
収益計	0	

II. 現金収支を伴わないもの

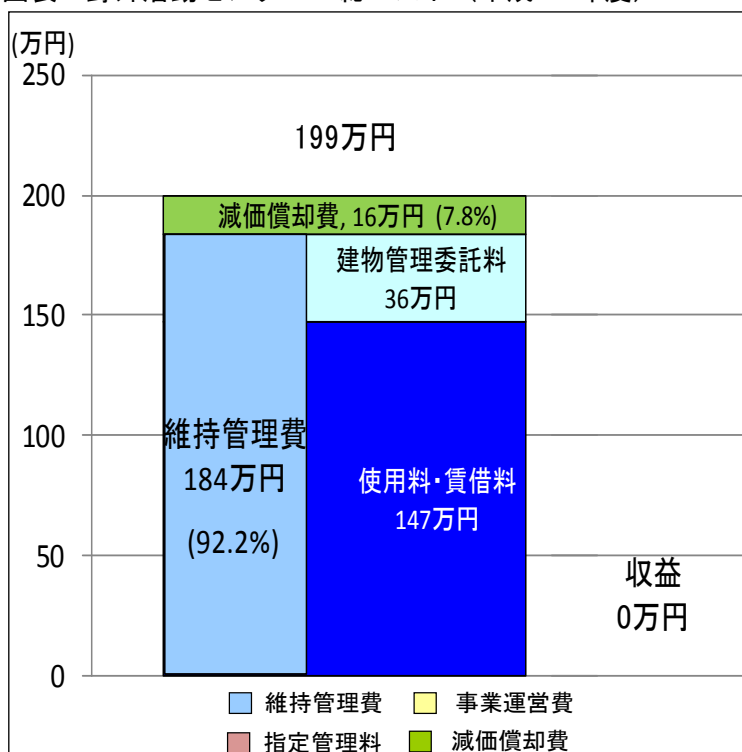
【コストの部】

コスト	減価償却費	155,129
-----	-------	---------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	1,992,992
収支差額	1,992,992

図表 野外活動センター 総コスト（平成24年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

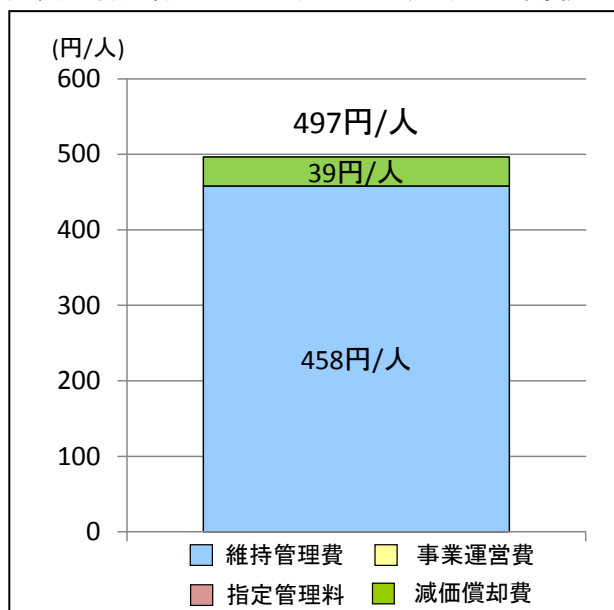
■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト>

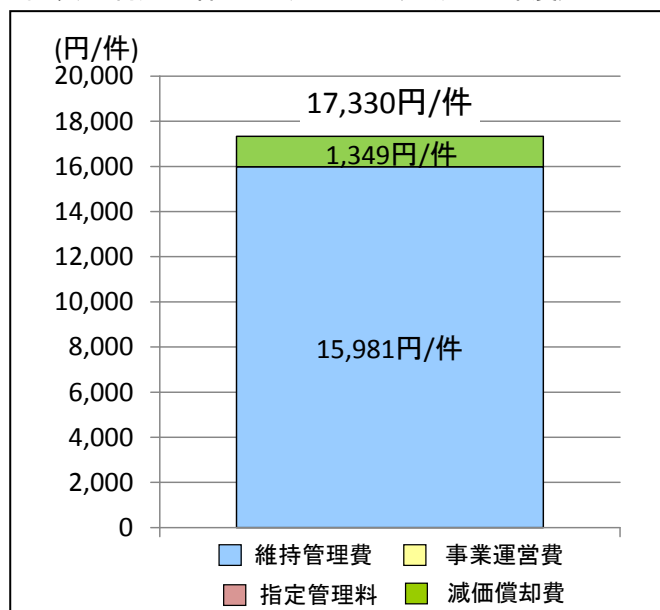
年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、497円/人となっています。

年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、1万7,330円/件となっています。

図表 利用者1人当たりコスト(平成24年度)



図表 利用1件当たりコスト(平成24年度)



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

(4) 保健福祉施設

1) 保健センター

①施設概要

香芝市保健センターは、乳幼児からお年寄りまで、住民の健康管理を行うため、乳幼児健診や生活習慣病健診等の各種健康診査。病気の早期発見のための各種検診等や、心の健康相談室や乳幼児相談等の健康相談、栄養指導相談、予防接種などを行い、市民の健康保持及び増進に寄与するとともに、市民の健康づくりへの意識向上を図ることを目的として設置されています。また、妊産婦向け事業や子育て支援事業として、母親教室、妊産婦・新生児訪問指導、子育て交流会等も実施しています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 香芝市保健センター	逢坂一丁目506番地1	1,996.4	平成24	RC	・心の健康相談室 78.8㎡

<開館時間等> (平成 25 年度)

開館時間	休館日	開館日数
午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分	土・日・祝・年末年始(12月29日～1月3日) 但し健診等により開館していることがあります。	244 日

②利用状況

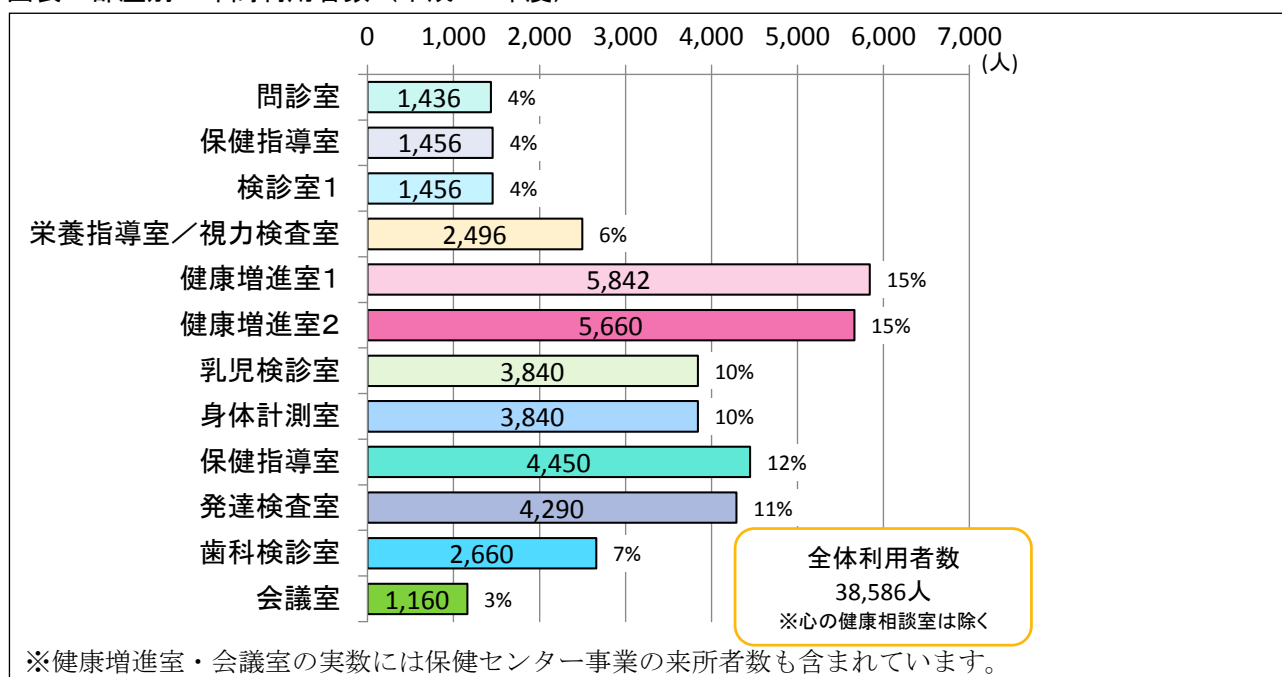
■ 年間利用件数・年間利用者数

年間利用者数は3万8,586人となっています。

部屋別の利用者数で見ると、発達検査室や乳児検診施設等の子育てに関する部屋の利用が比較的高くなっています。

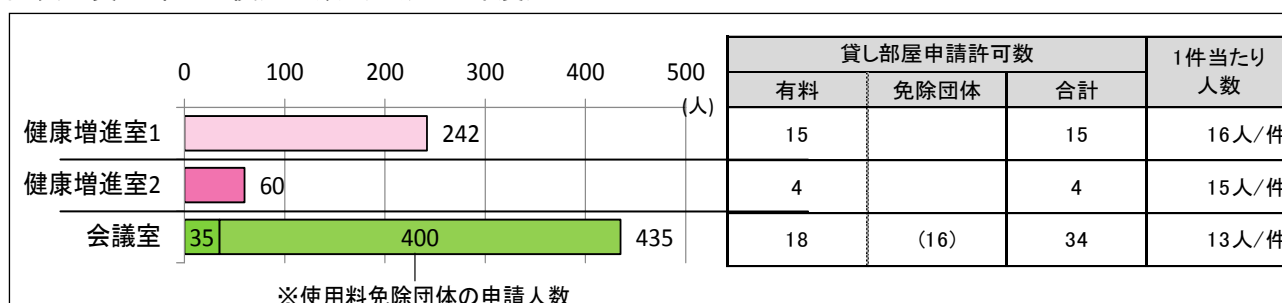
健康増進室、会議室は貸し部屋となっていますが、健康増進室は主に保健センター事業での利用が多くなっています。会議室の利用者数は、約6割が保健センター事業の来所者であり、貸し部屋としては主に使用料免除団体が使用しています。

図表 部屋別 年間利用者数（平成25年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

図表 貸し部屋 使用人数（平成25年度）



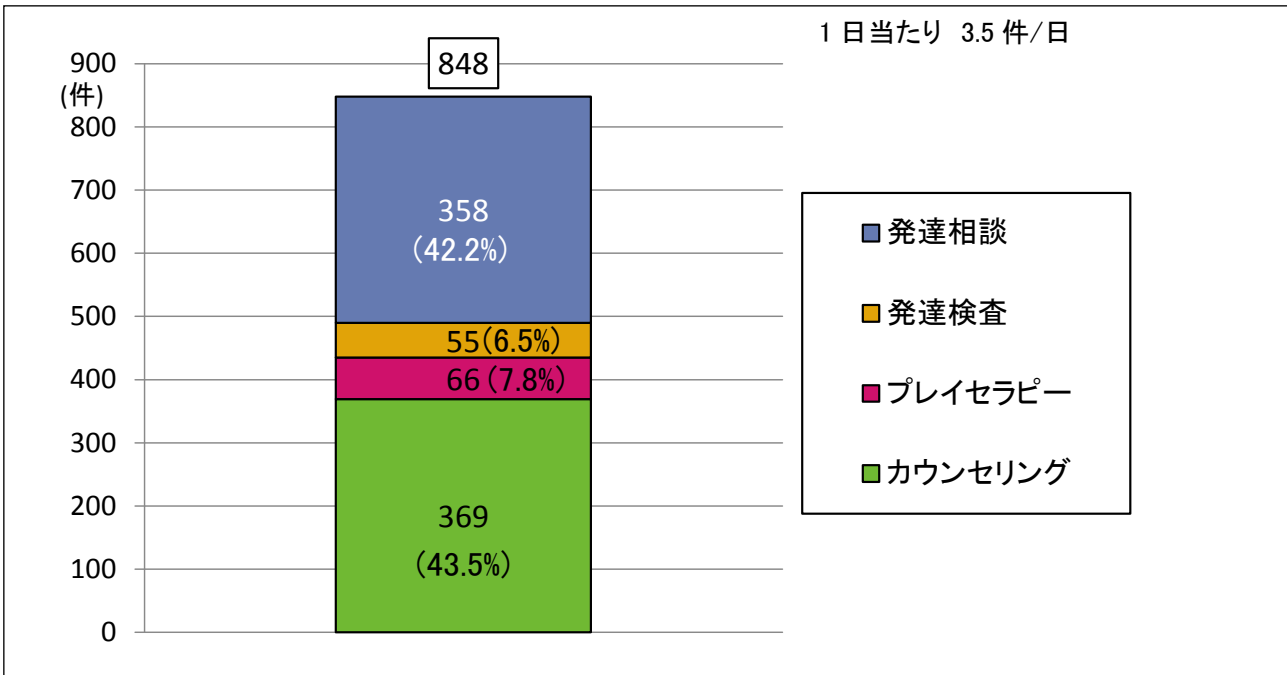
■ 心の健康相談室利用状況

心の健康相談室の利用件数をみると、年間の利用件数は 848 件となっています。そのうちカウンセリング等の利用は 369 件（44%）、プレイセラピー66 件（8%）、発達相談が 358 件（42%）、発達検査が 55 件（7%）です。

カウンセリングの利用件数が最も多く、次いで発達相談の利用となっており、合わせて 80% 以上を占めています。

1 日当たりの利用件数は 3.5 件/日、相談室は 6 室あり、その内訳は相談室 3 室、プレイルーム 2 室、コンサルテーション室 1 室となっています。

図表 心の健康相談室利用状況（平成 25 年度）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

④コスト状況

香芝市保健センターの年間総コストは、2億1,773万円です。

年間総コストのうち、維持管理費(光熱水費、修繕料、建物管理委託料等)は2,813万円(13%)、事業運営費(人件費、その他事業運営費等)は1億7,892万円(82%)、減価償却費は1,067万円です。年間総コストのうち、心の健康相談室事業にかかるコストは1,103万円(5%)です。当該施設から検診等の手数料として年間225万円の収入があります。

図表 香芝市保健センター 施設経費計算書(平成25年度)

I. 現金収支を伴うもの (円)

【コストの部】		香芝市保健センター	心の健康相談室	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	2,303,478	94,557	2,398,035
	修繕料・役務費	146,460	0	146,460
	建物管理委託料	21,700,780	890,808	22,591,588
	使用料・賃借料	1,945,334	79,855	2,025,189
	工事請負費	0	393,750	393,750
	備品購入費その他	330,000	249,692	579,692
	維持管理費計	26,426,052	1,708,662	28,134,714
事業費	人件費	139,256,019	0	139,256,019
	その他事業運営費	30,763,227	8,903,830	39,667,057
	事業運営費計	170,019,246	8,903,830	178,923,076
指定管理料	0	0	0	
現金収支を伴うコスト計	196,445,298	10,612,492	207,057,790	

【収益の部】

収入	使用料	15,600	0	15,600
	その他	1,990,200	246,000	2,236,200
収益計		2,005,800	246,000	2,251,800

II. 現金収支を伴わないもの

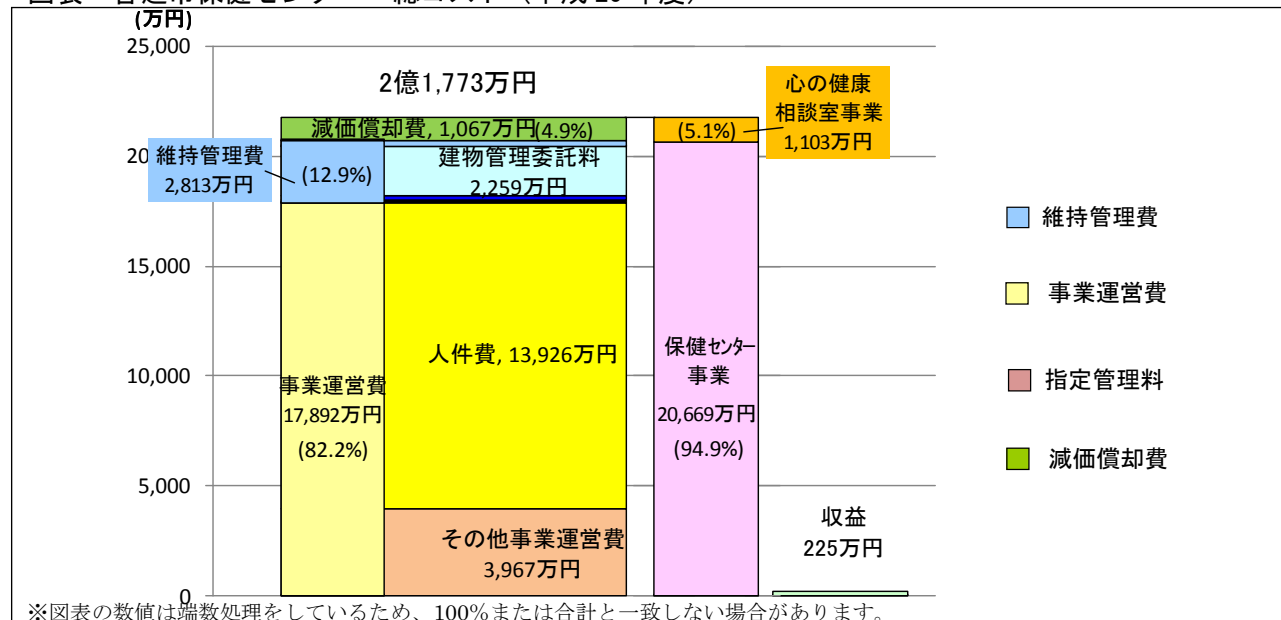
【コストの部】

コスト	減価償却費	10,248,945	420,687	10,669,632
-----	-------	------------	---------	------------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	206,694,243	11,033,179	217,727,422
収支差額	204,688,443	10,787,179	215,475,622

図表 香芝市保健センター 総コスト(平成25年度)



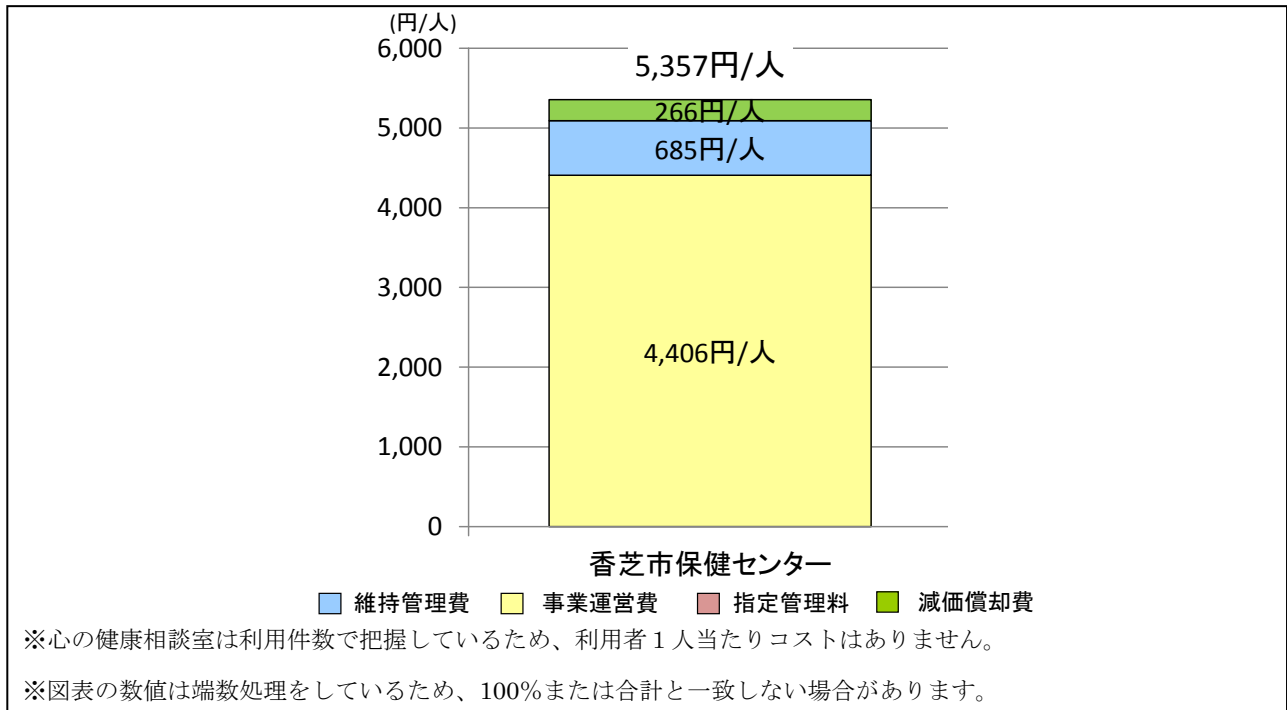
■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト／利用1件当たりにかかるコスト>

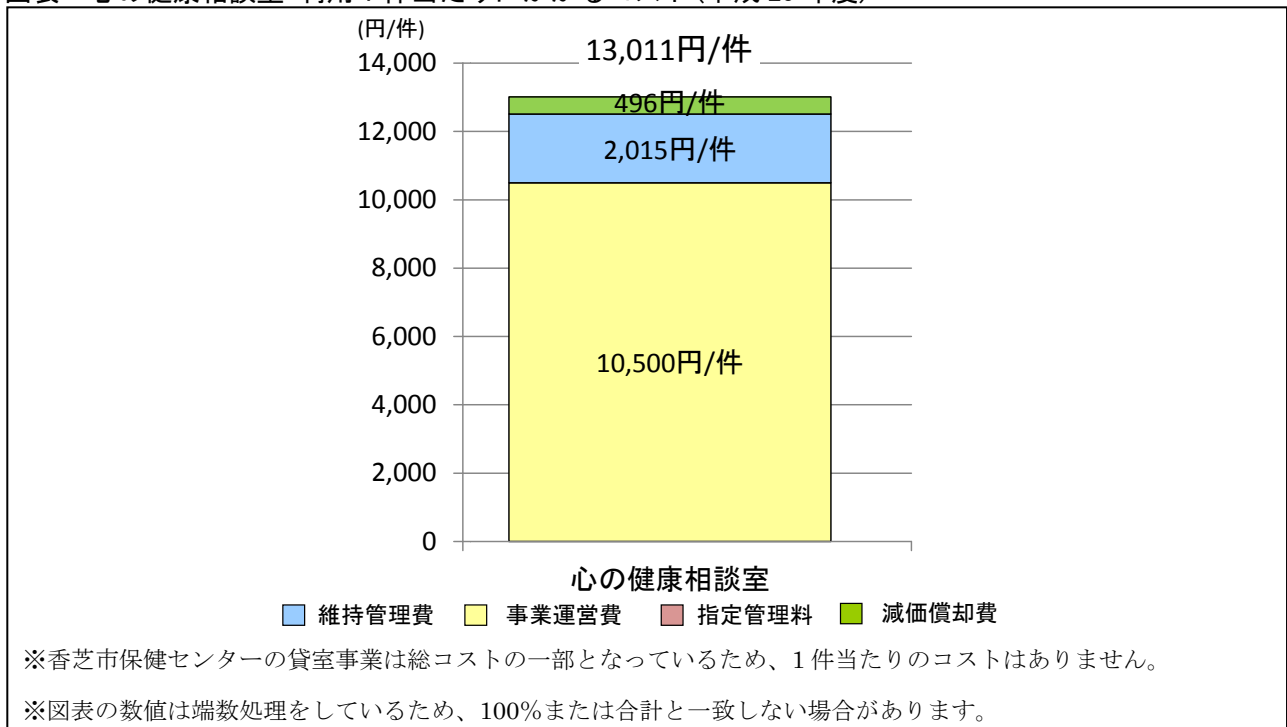
香芝市保健センターの年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、5,357円/人となっています。

心の相談室の年間利用件数と総コストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、1万3,011円/件となっています。

図表 香芝市保健センター 利用者1人当たりにかかるコスト(平成25年度)



図表 心の健康相談室 利用1件当たりにかかるコスト(平成25年度)



2) 総合福祉センター

①施設概要

市民の福祉及び健康の増進を図るとともに、世代間のふれあいと憩いの場を提供し、もって社会福祉の推進に寄与するため、香芝市総合福祉センターが設置されています。

香芝市総合福祉センターでは、多目的室、視聴覚室、会議室等の貸室機能の他、ゲートボール場、かしば・屯鶴峯温泉が併設されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	機能							備考		
						多 目 的 室	視 聴 覚 室	工 芸 室	創 作 室	増 進 室	健 康 室	実 習 室		会 議 室	ゲ ー ト ボ ー ル 場
下田	香芝市 総合福祉センター	逢坂一丁目374番 地1	8,837.37	平成10	RC	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●(889㎡)

<開館時間等> (平成 25 年度)

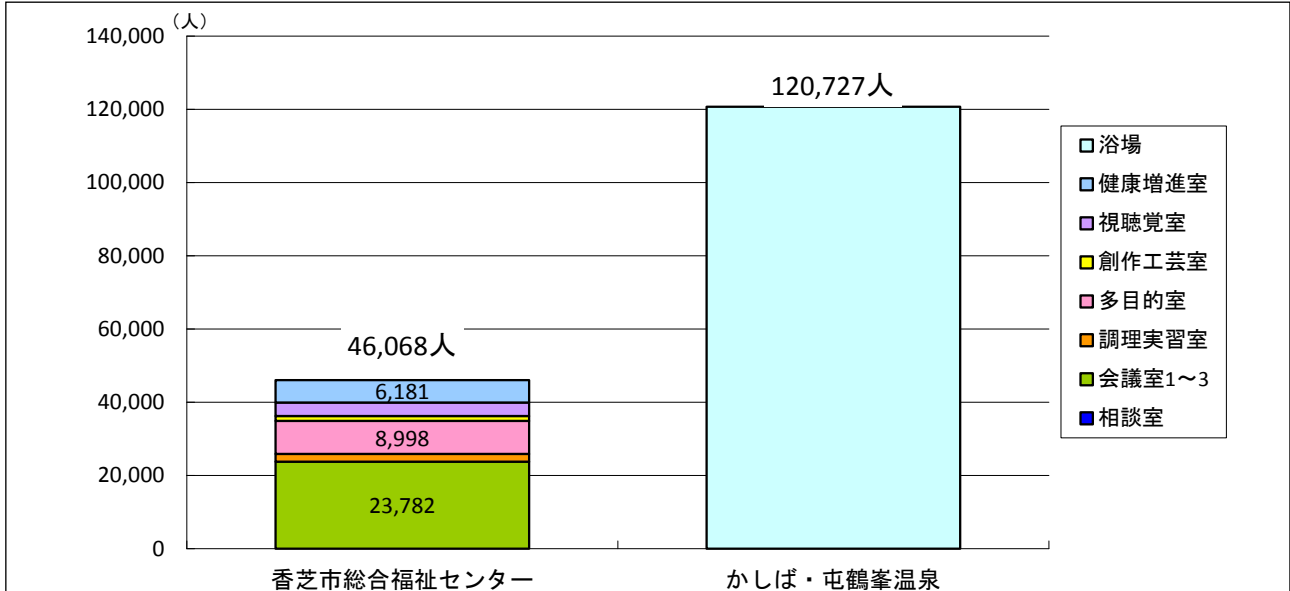
施設名	開館時間	休館日	開館日数
総合福祉 センター (行政)	午前 8 時 30 分から 午後 5 時 15 分	毎週土・日曜・祝日及び年末・年始	244 日
総合福祉 センター (貸室)	午前 9 時から午後 5 時	建国記念の日、春分の日、昭和の日、こどもの日、海の日、秋分の日、勤労感謝の日、年末年始	352 日
かしば・ 屯鶴峯温泉	午前 11 時から午後 8 時 (受付終了午後 7 時 30 分)	毎週木曜日 建国記念の日、春分の日、昭和の日、こどもの日、海の日、秋分の日、勤労感謝の日 12 月 28 日から翌年 1 月 4 日までの期間 ※設備点検のため臨時休業有り	295 日

②利用状況

■ 年間利用利用者数

香芝市総合福祉センターの利用者数は4万6,068人、かしば・屯鶴峯温泉の利用者数は12万727人となっています。

図表 年間利用者数（平成25年度）

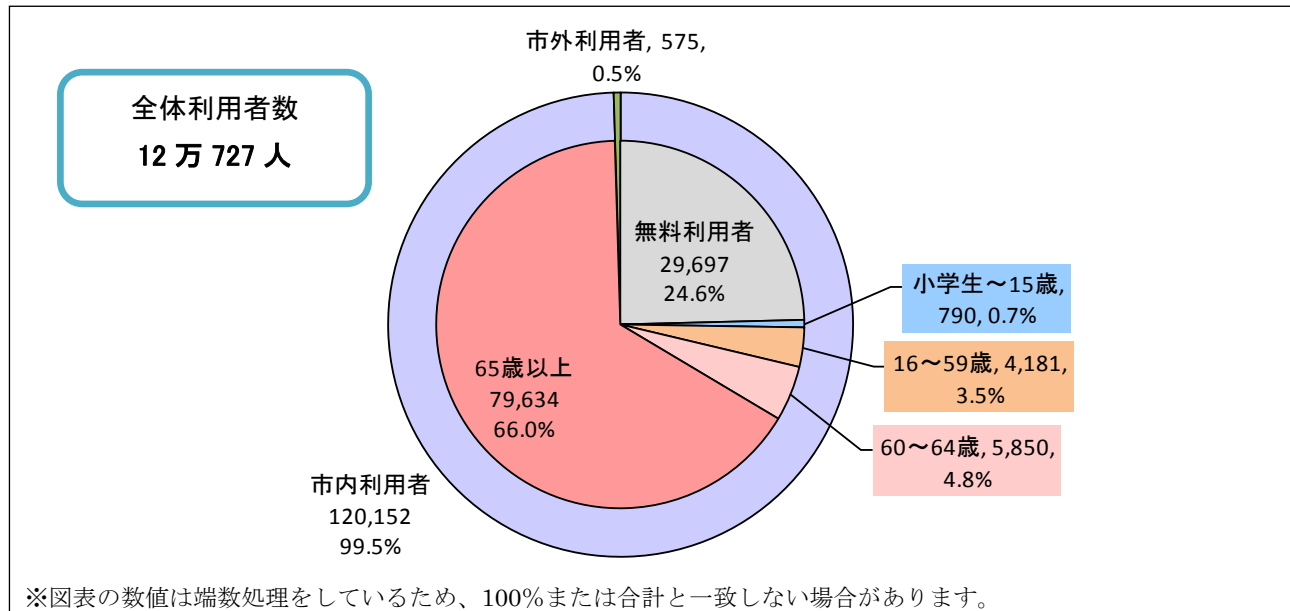


■ かしば・屯鶴峯温泉の年間利用者内訳

かしば・屯鶴峯温泉の利用者の内訳をみると、市内の利用者が12万152人（97.5%）となっています。市外の利用者は575人（0.5%）です。

市内利用者の中でも、特に65歳以上の利用者が多く、7万9,634人で66.0%を占めています。また、幼児や身体障害者手帳等の保持者等の無料利用者は2万9,697人（24.6%）となっています。

図表 かしば・屯鶴峯温泉利用者の内訳（平成25年度）



■ 総合福祉センター 部屋別の利用状況

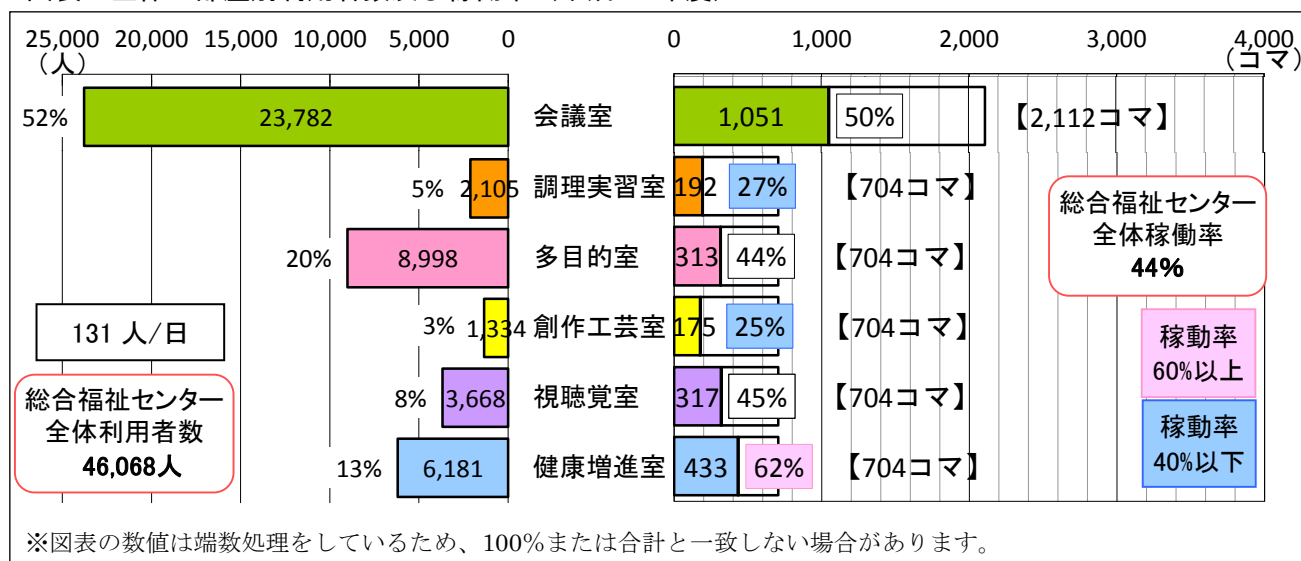
総合福祉センターの部屋別の利用者数をみると、会議室(※)の利用が最も多く、2万3,782人で全体の52%、次いで多目的室の利用者数が8,998人(20%)、健康増進室が6,181人(13%)となっています。

部屋別の稼働率をみると、健康増進室の稼働率が最も高く62%、次いで会議室が50%、視聴覚室が45%、多目的室が44%となっています。施設全体の稼働率は44%です。

一日当たりの利用人数は約131人/日となっています。

※会議室1~3の合計

図表 全体・部屋別利用者数及び稼働率(平成25年度)



③コスト状況

総合福祉センターの年間総コストは、2億106万円です。

年間総コストのうち、維持管理費（修繕料、光熱水費等）は1億2,866万円（64%）、事業運営費（人件費、その他委託費等）は856万円（4%）、減価償却費は6,384万円です。当該施設から年間2,635万円の収入があります。

図表 総合福祉センター 施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (円)

		香芝市総合福祉センター	かしば・屯鶴峯温泉	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	38,004,133	4,029,185	42,033,318
	修繕料・役務費	0	352,275	352,275
	建物管理委託料	48,483,800	5,422,759	53,906,559
	使用料・賃借料	4,560,083	510,031	5,070,114
	工事請負費	23,979,089	2,681,985	26,661,074
	備品購入費その他	576,965	64,532	641,497
維持管理費計		115,604,070	13,060,767	128,664,837
事業運営費	人件費	0	0	0
	その他事業運営費	7,954,496	601,734	8,556,230
	事業運営費計	7,954,496	601,734	8,556,230
指定管理料		0	0	0
現金収支を伴うコスト計		123,558,566	13,662,501	137,221,067

【収益の部】

収入	使用料	4,251,690	20,474,260	24,725,950
	その他	1,401,131	221,200	1,622,331
収益計		5,652,821	20,695,460	26,348,281

II. 現金収支を伴わないもの

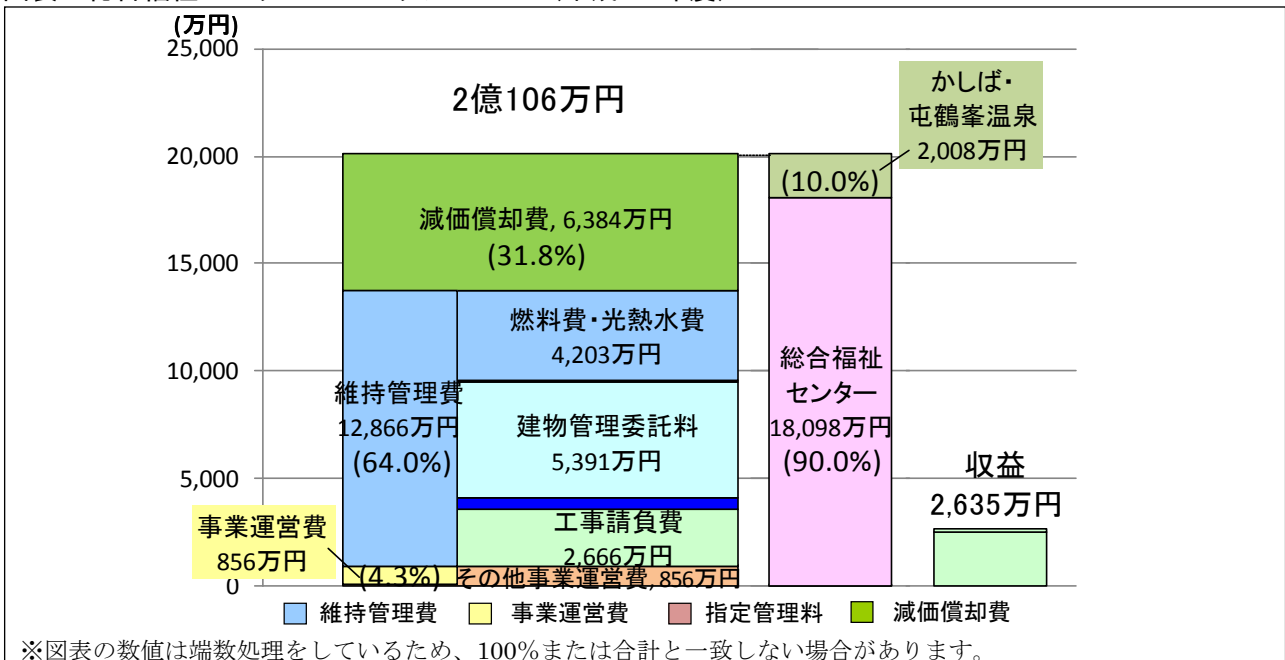
【コストの部】

コスト	減価償却費	57,420,042	6,422,293	63,842,335
-----	-------	------------	-----------	------------

III. 総括

コストの部合計（総コスト）	180,978,608	20,084,794	201,063,402
収支差額	175,325,787	(610,666)	174,715,121

図表 総合福祉センター トータルコスト（平成24年度）

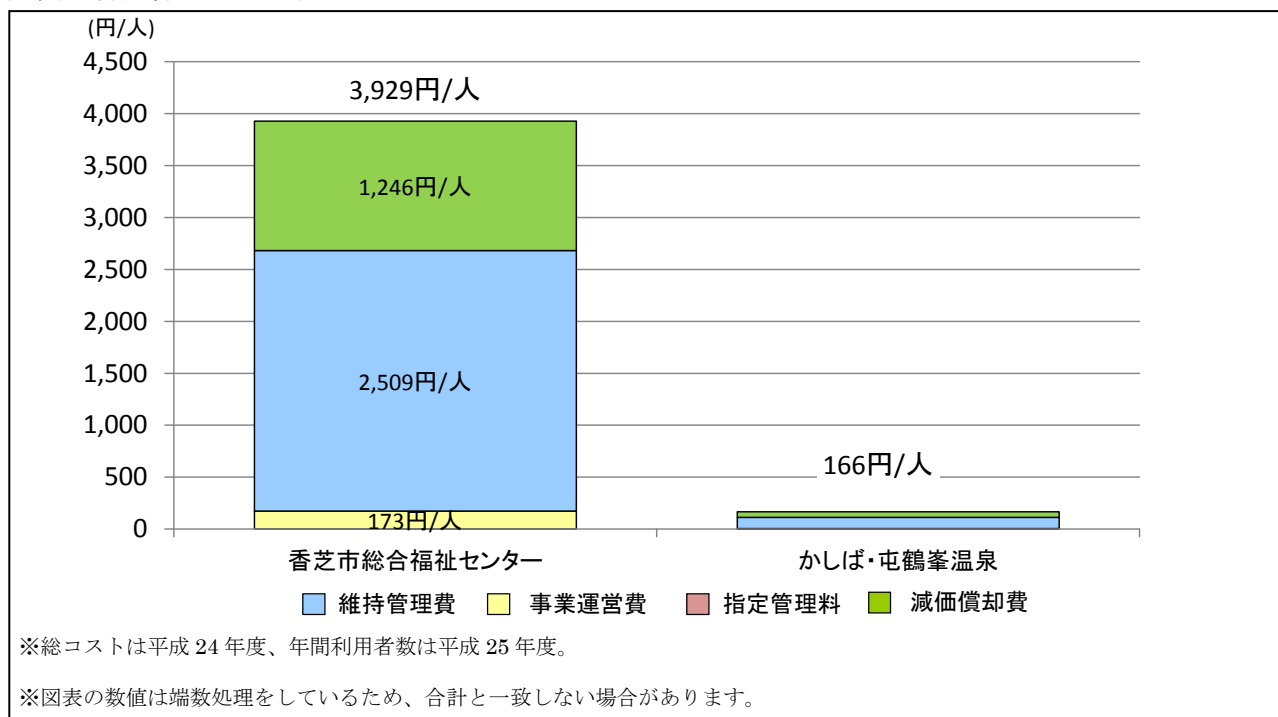


■ 評価・分析

<利用者1人当たりにかかるコスト>

年間利用者数と総コストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、香芝市総合福祉センターが3,929円/人、かしば・屯鶴峯温泉が166円/人となっています。

図表 利用者1人当たりにかかるコスト※



(5) 子育て支援施設

1) 保育所・幼稚園

① 施設概要

■ 保育所

本市では、市立保育所を6施設設置しており、延床面積は4,788㎡です。

施設別の延床面積は、みつわ保育所の564㎡から若葉保育所の1,051㎡となっています。市立保育所全体の認可定員は720人で、平成26年4月1日の入所園児数は809人、入所率は約112%となっています。

私立の保育所(園)は5施設あり、入園園児数は867人、入園率は105%となっています。

図表 施設一覧(平成24年度)

小学校区	名称	所在地	延床面積(㎡)	建築年度(年度)	構造(主たる建物)	入所園児数(H.26.4.1現在)						認可定員(人) A/B	入園率 A/B	備考	
						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				計 A
市立	五位堂 1 五位堂保育所	五位堂三丁目464-1	773.1	昭和51	S	9	20	23	26	25	22	125	120	104%	
	下田 2 若葉保育所	下田西二丁目6-27	1,050.7	昭和52	S	8	24	30	38	40	44	184	150	123%	
	三和 3 みつわ保育所	良福寺419	563.7	昭和42	S	7	20	28	28	25	27	135	120	113%	平成28年度建替予定
	二上 4 二上保育所	畑四丁目545	903.8	昭和57	S	9	18	22	30	29	28	136	120	113%	
	志都美 5 志都美保育所	今泉382	570.9	昭和46	S	3	5	17	23	17	16	81	60	135%	平成28年度民営化予定
	真美ヶ丘東 6 真美ヶ丘保育所	真美ヶ丘六丁目9-1	925.3	昭和59	S	8	20	24	30	32	34	148	150	99%	
合計			4,787.51			44	107	144	175	168	171	809	720	112%	
私立	関屋 1 関屋保育所	関屋396										90		平成25年度に民営化	
	鎌田 2 ハルナ保育園	鎌田281-1										197		分園(二上駅前、五位堂)が二ヶ所あり	
	関屋 3 あげぼの・保育学院	関屋北5-8-3										300			
	下田 4 せいか保育園	北今市五丁目508-1										120			
	旭ヶ丘 5 旭ヶ丘せいか保育園	旭ヶ丘一丁目12-2										120			
合計												867	827	105%	

※昭和59: 建築年度の赤字は築30年以上を示す

■ 幼稚園

本市では、市立幼稚園を9園設置しており、延床面積は8,707㎡です。施設別の延床面積は二上幼稚園の597㎡から旭ヶ丘幼稚園の1,448㎡となっています。市立幼稚園全体の認可定員は1,645人で、入所園児数が717人、入園率は約44%となっています。

私立幼稚園は2施設設置されています。

図表 施設一覧（平成24年度）

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	入所園児数 (H.26.5.1) A	認可 定員 B	入園率 A/B	備考	
市立	下田	1 下田幼稚園	下田西二丁目9番23号	1,129.6	昭和45	S	120	210	57%	
	五位堂	2 五位堂幼稚園	五位堂二丁目345番地の1	868.2	昭和46	S	68	140	49%	
	二上	3 二上幼稚園	畑四丁目608番地	597.2	昭和47	S	109	140	78%	
	志都美	4 志都美幼稚園	今泉78番地	729.1	昭和48	S	38	140	27%	平成27年度までに耐震化実施予定
	関屋	5 関屋幼稚園	関屋北五丁目6番4号	897.7	昭和50	S	44	140	31%	
	三和	6 三和幼稚園	良福寺666番地	975.4	昭和50	S	65	175	37%	
	真美ヶ丘東	7 真美ヶ丘東幼稚園	真美ヶ丘三丁目3番24号	1,243.0	昭和62	S	126	280	45%	
	鎌田	8 鎌田幼稚園	鎌田364番地の1	818.2	昭和62	S	36	140	26%	
	旭ヶ丘	9 旭ヶ丘幼稚園	旭ヶ丘三丁目11番地の1	1,448.4	平成16	RC	111	280	40%	
合計			8,706.79			717	1,645	44%		
私立	関屋	1 ハルナ幼稚園	上中1176-1							
	下田	2 せいか幼稚園	逢坂四丁目958							

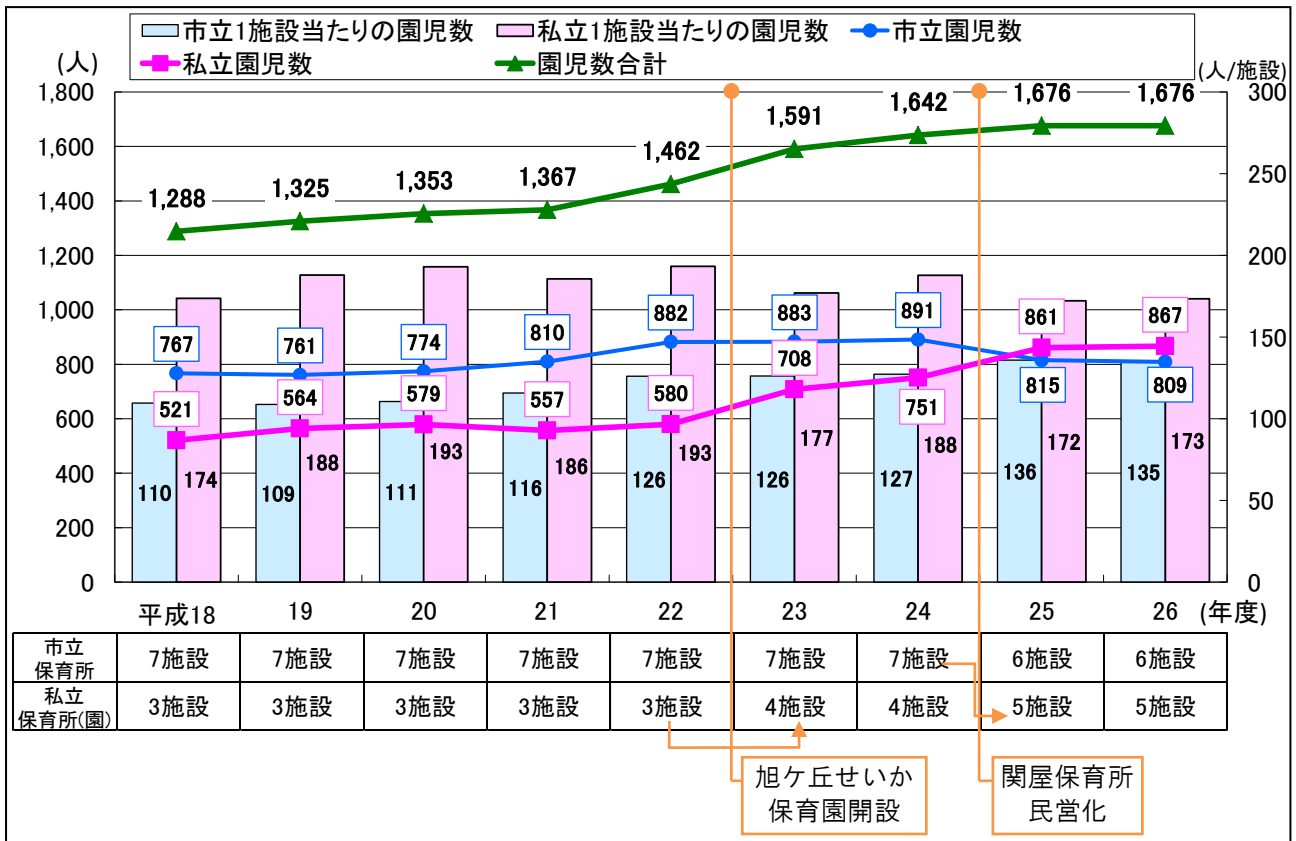
② 利用状況

■ 保育所(園)入所園児数の推移

市立・私立保育所(園)あわせに入所園児数の推移をみると、平成18年度は1,288人でしたが、平成26年度には1,676人まで増加しています。市立保育所の入所園児は平成18年度の767人から平成24年度には891人まで増加しており、平成25年度の関屋保育所民営化によって減少していますが、全体的には増加傾向にあります。私立保育所(園)は、平成23年度の旭ヶ丘せいか保育所の開設により大きく増加し、平成26年度の867人まで増加を続けています。

また、1施設当たりの入所園児数をみると、市立保育所は平成18年度の110人/施設から、平成26年度の135人/施設まで増加しています。私立保育所(園)は平成22年度に193人/施設まで増加しますが、旭ヶ丘せいか保育所の開設や関屋保育所の民営化等により、平成26年度には173人/施設と平成18年度と同程度になっています。

図表 保育所(園)の入所園児数の推移 (各年4月1日現在)



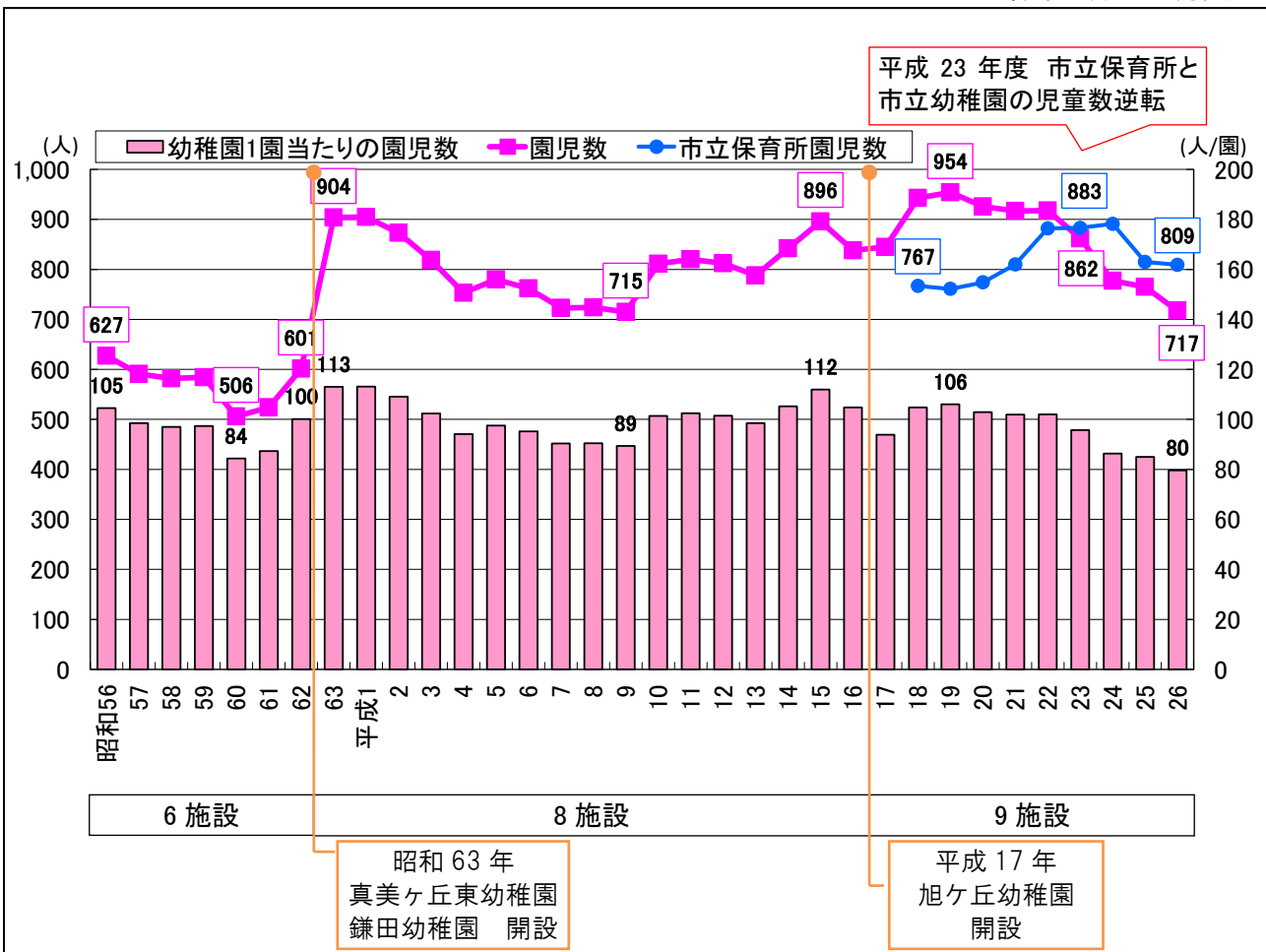
■ 幼稚園の入所園児数の推移

市立幼稚園の入所園児数の推移をみると、昭和56年は627人でしたが、昭和63年に真美ヶ丘東幼稚園、鎌田幼稚園が開設したことにより急増し、平成17年の旭ヶ丘幼稚園の開設で平成19年に954人とピークを迎えますが、その後は減少の傾向にあり、平成26年には717人となっています。

幼稚園1園当たりの園児数の推移をみると、昭和63年の113人/園がピークとなっており、平成26年は80人/園まで減少しています。

図表 幼稚園の入所園児数の推移

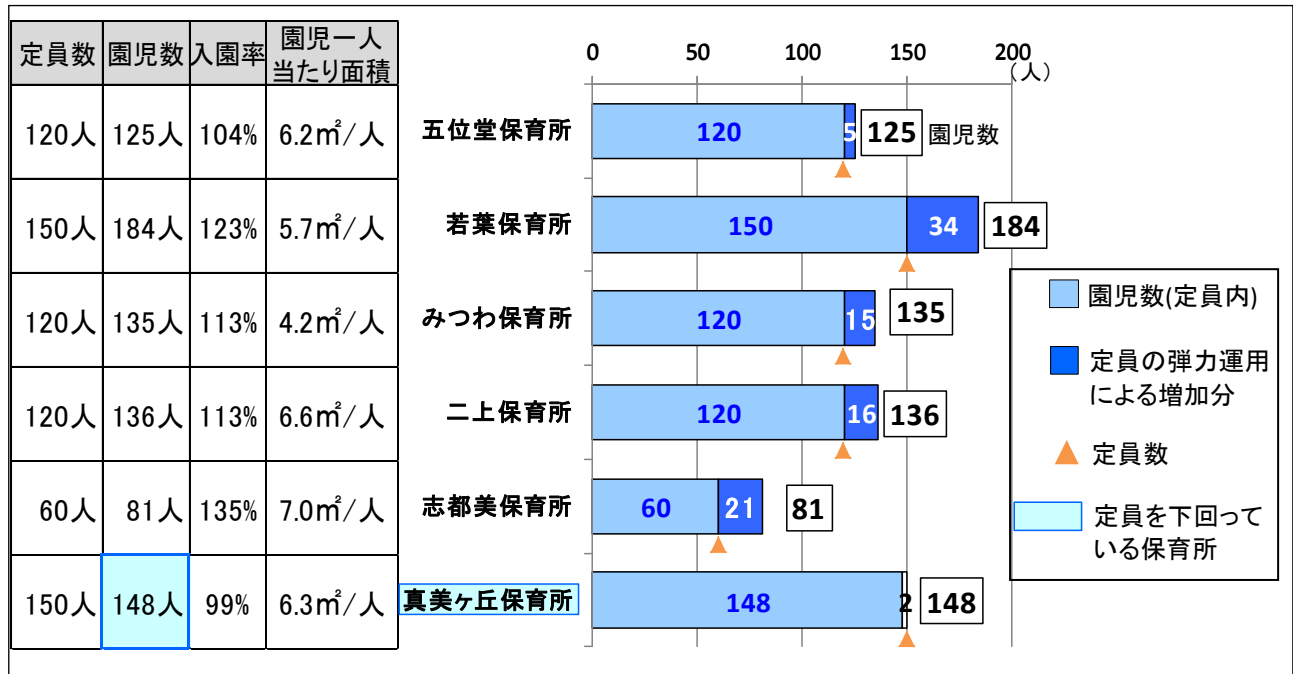
(各年5月1日現在)



■ 保育所の施設別入園状況

市立保育所の施設別の定員数と園児数は、6施設中5施設が定員を超えており、定員の弾力的運用により運営を行っています。真美ヶ丘保育所は定員を僅かに下回り、入園率は99%となっています。

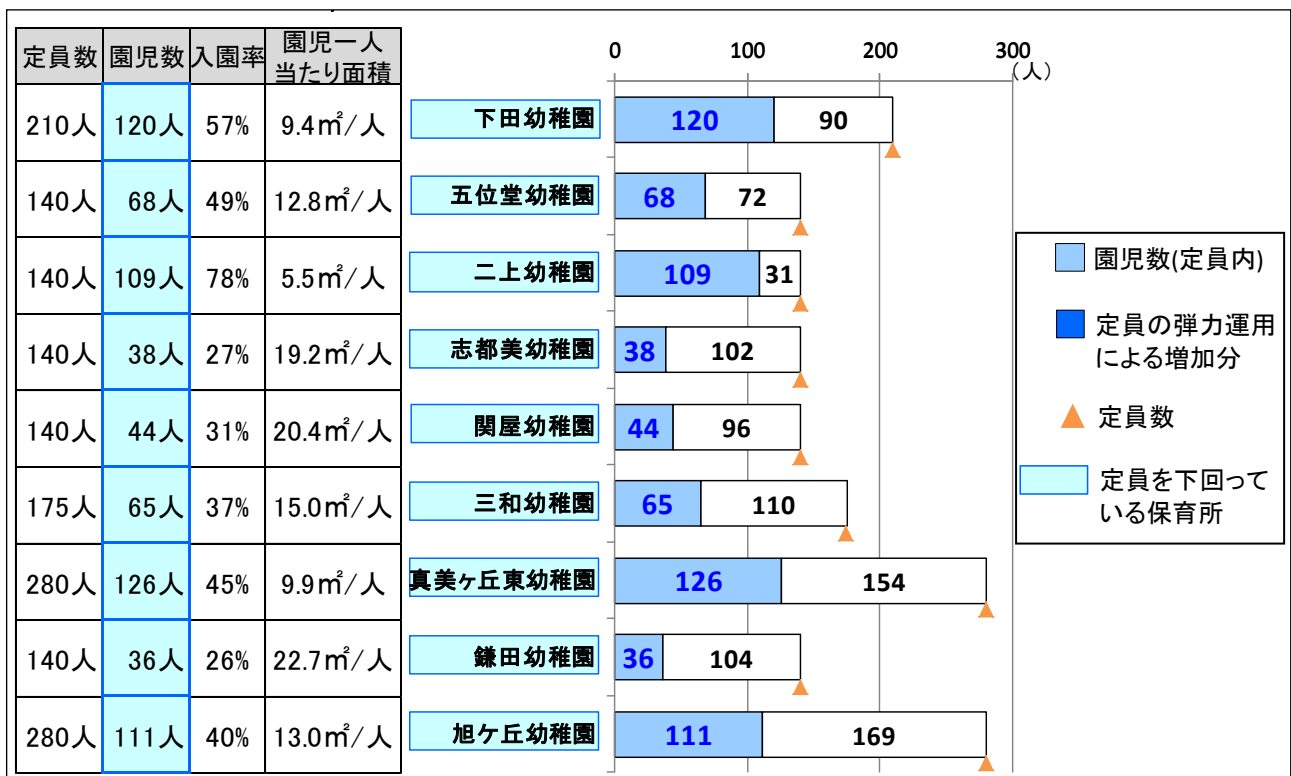
図表 市立保育所の定員及び園児数（平成26年4月1日現在）



■ 幼稚園の施設別入園状況

私立幼稚園の施設別の定員数と園児数をみると、9施設全てで定員数を下回っています。下田幼稚園と二上幼稚園を除き、入園率は半分以下となっています。

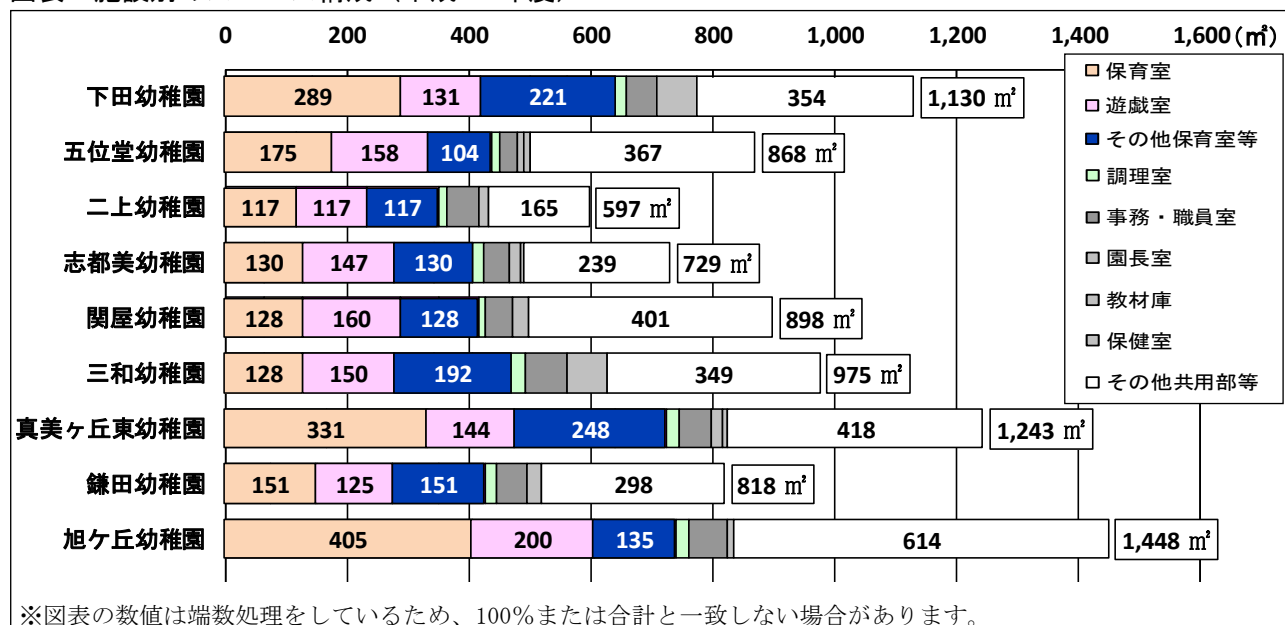
図表 市立幼稚園の定員及び園児数（平成26年5月1日現在）



■ 幼稚園のスペース構成

市立幼稚園 1 施設あたりの平均規模は 967 m²で、スペース構成は、保育室、遊戯室、調理室、事務室となっています。

図表 施設別のスペース構成（平成 24 年度）



■ 運営時間

保育所の入所対象者は、市立・私立ともに0歳児から就学前までの児童で、開所日は月曜日から土曜日、施設によっては日曜日・祝日も開所しています。

市立保育所の保育時間は、長時間保育及び延長保育を含め、最長午前7時30分から午後7時まで保育を実施しています。また、私立保育所(園)の保育時間は、同様に長時間保育及び延長保育を含め、最長午前7時から午後8時まで保育を実施している所もあります。

幼稚園の入所対象者は、市立幼稚園では4歳児から就学前までの児童で、私立幼稚園では、幅広いところで1歳から就学前となっています。平成27年度から、関屋幼稚園と鎌田幼稚園で3歳児保育を始める予定となっています。開園日は月曜日から金曜日です。私立幼稚園では場所によって土曜日に短縮保育を実施しているところがあります。

市立幼稚園の開園時間は、午前9時から午後14時までとなっています。私立保育園の開園時間は、主に午前8時30分から午後2時となっており、延長保育として早いところでは午前7時30分から、午後6時まで保育を実施しており、午後6時以降も連携している保育園に預けることが可能となっています。

図表 保育所・幼稚園運営時間（平成26年度）

		7時	8時		12時	14時		16時		19時
市立保育所(6施設) (平均規模:798㎡) 対象年齢 0歳～就学前 開園日 月～土曜日 入園児数 135/施設 入園率 112.4%	平日	7:00	8:30		12:30	14:00		16:30		18:00
	土曜	7:30	9:00		12:00					19:00
	最大 11時間30分									
私立保育所(園)(5施設) 対象年齢 0歳～就学前 開園日 月～土曜日 入園児数 173/施設 入園率 104.8%	平日									
	土曜									
	日・祝									
最大 13時間										
※ハルナ保育園のみで実施										
市立幼稚園(9施設) (平均規模:967㎡) 対象年齢 4歳～就学前※1 開園日 月～金曜日 入園児数 80/施設 入園率 44%	平日									
	最大 5時間									
私立幼稚園(2施設) 対象年齢 1歳～就学前※2 開園日 月～金曜日	平日									
	土曜									
最大 10時間30分										
※せいか幼稚園で第1・3・5土曜日のみ短縮保育実施										

※1:平成27年度から関屋幼稚園、鎌田幼稚園で3歳児保育が始まります。

※2:ハルナ幼稚園では1歳～就学前、せいか幼稚園では2歳～就学前

③ コスト状況

■ 総コスト

<保育所の総コスト>

保育所の年間総コストは、7億3,740万円です。1施設当たり平均1億2,290万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は2,879万円(4%)、事業運営費は6億8,625万円(93%)、減価償却費が2,236万円となっています。当該施設から年間1億9,526万円の収入があります。

図表 施設別 保育所施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

(円)

【コストの部】

		五位堂 保育所	若葉保育所	みつわ 保育所	二上保育所	志都美 保育所	真美ヶ丘 保育所	合計
維持 管理 費	燃料費・光熱水費	3,094,855	3,790,802	2,687,763	3,400,661	2,425,461	2,952,023	18,351,565
	修繕料・役務費	0	618,744	235,903	632,780	302,958	445,379	2,235,764
	建物管理委託料	227,000	306,800	227,000	306,800	227,000	290,000	1,584,600
	使用料・賃借料	0	442,512	0	0	0	392,994	835,506
	工事請負費	0	441,294	604,800	799,102	0	1,122,975	2,968,171
	備品購入費その他	84,200	722,060	396,710	773,592	147,658	686,335	2,810,555
維持管理費計		3,406,055	6,322,212	4,152,176	5,912,935	3,103,077	5,889,706	28,786,161
運 営 費	人件費	107,129,823	145,233,929	98,296,029	103,598,074	86,014,114	137,336,700	677,608,669
	その他事業運営費	1,405,795	1,582,493	1,395,026	1,412,828	1,329,781	1,516,283	8,642,206
	事業運営費計	108,535,618	146,816,422	99,691,055	105,010,902	87,343,895	138,852,983	686,250,875
指定管理料		0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト計		111,941,673	153,138,634	103,843,231	110,923,837	90,446,972	144,742,689	715,037,036

【収益の部】

収入	使用料	35,204,400	43,426,500	25,200,000	32,480,000	18,318,000	40,635,000	195,263,900
	その他	0	0	0	0	0	0	0
収益計		35,204,400	43,426,500	25,200,000	32,480,000	18,318,000	40,635,000	195,263,900

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

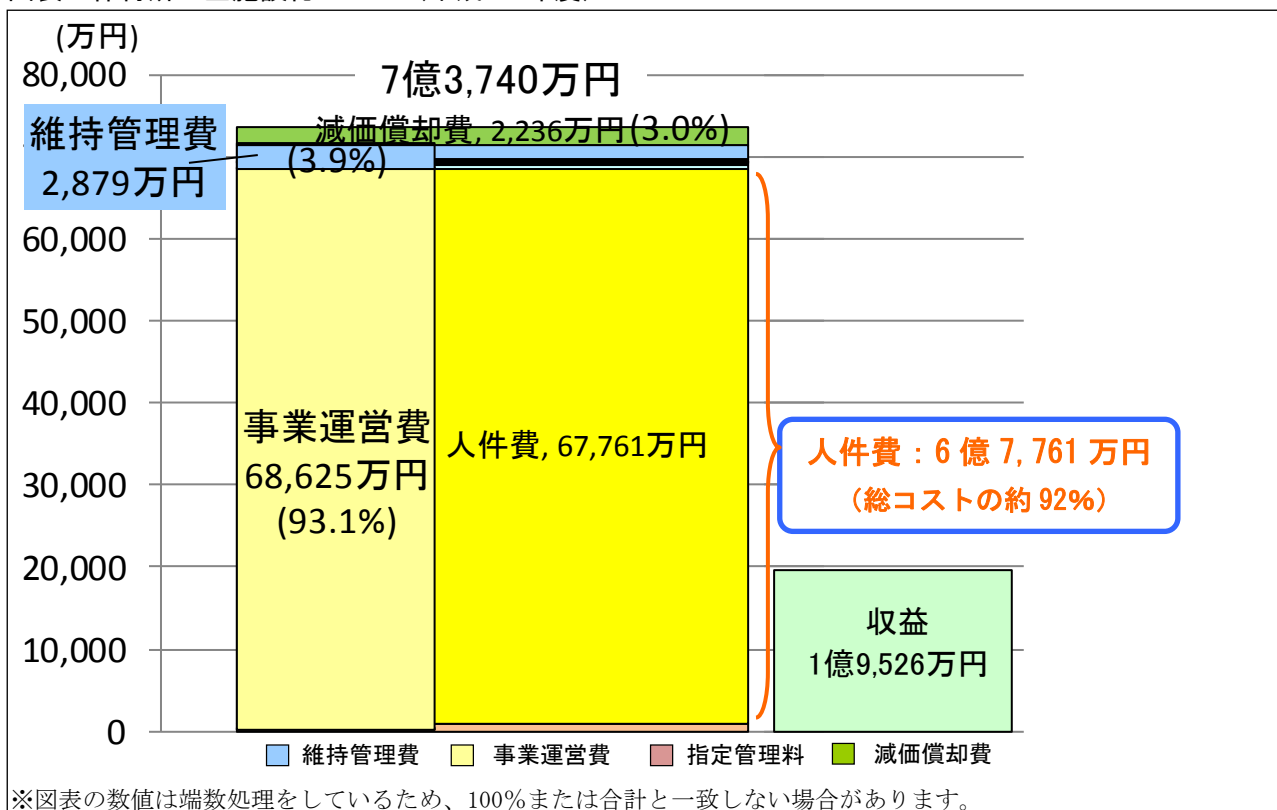
コスト	減価償却費	2,364,792	6,159,668	4,215,653	3,725,696	3,524,793	2,372,692	22,363,294
-----	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

III. 総括

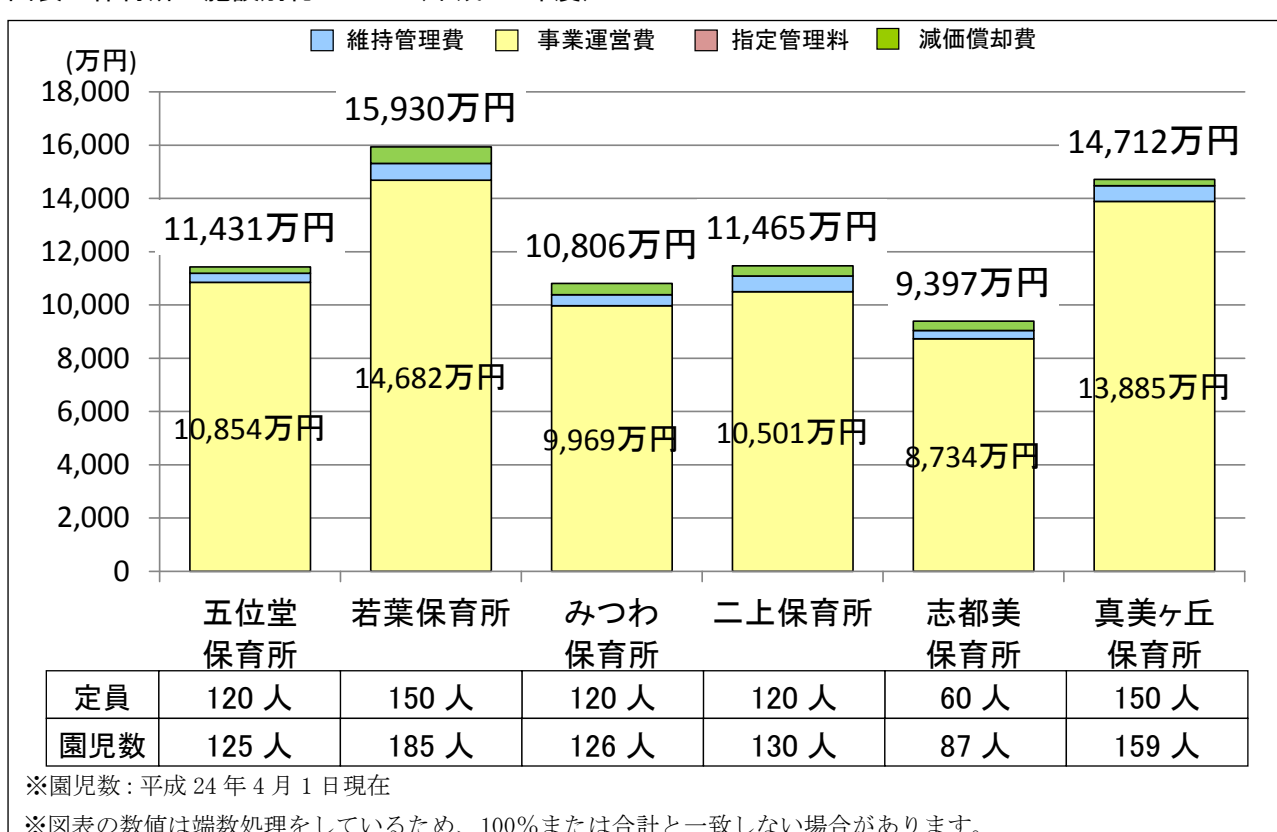
コストの部合計(総コスト)		114,306,465	159,298,302	108,058,884	114,649,533	93,971,765	147,115,381	737,400,330
収支差額		79,102,065	115,871,802	82,858,884	82,169,533	75,653,765	106,480,381	542,136,430

保育所の全施設総コストのうち、人件費が6億7,761万円で全体の約92%を占めています。
 施設別総コストでは、志都美保育所の7,914万円から真美ヶ丘保育所の1億2,961万円となっています。

図表 保育所 全施設総コスト（平成24年度）



図表 保育所 施設別総コスト（平成24年度）



<幼稚園の総コスト>

幼稚園の年間総コストは、3億9,775万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は1,917万円(5%)、事業運営費は3億3,755万円(85%)、減価償却相当額が4,103万円となっています。当該施設から年間5,736万円の収入があります。

図表 施設別 幼稚園施設経費計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの

(円)

【コストの部】

		下田幼稚園	五位堂幼稚園	二上幼稚園	志都美幼稚園	関屋幼稚園	三和幼稚園	真美ヶ丘東幼稚園
維持管理費	燃料費・光熱水費	834,356	776,320	1,123,847	703,443	898,157	982,142	928,652
	修繕料・役務費	64,490	56,175	186,375	296,230	117,090	219,022	669,932
	建物管理委託料	0	0	0	0	0	0	0
	使用料・賃借料	109,494	0	0	64,890	0	0	95,886
	工事請負費	1,345,470	0	0	0	1,206,240	464,887	809,182
	備品購入費その他	332,567	662,242	399,150	306,218	316,906	371,797	364,011
	維持管理費計	2,686,377	1,494,737	1,709,372	1,370,781	2,538,393	2,037,848	2,867,663
運営費	人件費	45,154,137	35,784,478	37,757,939	20,107,006	17,601,819	20,847,882	47,375,553
	その他事業運営費	6,948,916	6,729,949	4,086,727	3,649,320	6,273,343	4,993,752	1,693,988
	事業運営費計	52,103,053	42,514,427	41,844,666	23,756,326	23,875,162	25,841,634	49,069,541
	指定管理料	0	0	0	0	0	0	0
	現金収支を伴うコスト計	54,789,430	44,009,164	43,554,038	25,127,107	26,413,555	27,879,482	51,937,204

【収益の部】

収入	使用料	9,542,500	6,012,000	8,583,000	3,408,500	4,340,000	4,334,500	7,507,500
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	収益計	9,542,500	6,012,000	8,583,000	3,408,500	4,340,000	4,334,500	7,507,500

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト	減価償却費	7,077,018	5,536,052	2,091,092	2,511,678	3,173,839	3,744,589	5,731,644
-----	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	61,866,448	49,545,216	45,645,130	27,638,785	29,587,394	31,624,071	57,668,848
収支差額	52,323,948	43,533,216	37,062,130	24,230,285	25,247,394	27,289,571	50,161,348

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(円)

		鎌田幼稚園	旭ヶ丘幼稚園	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	873,223	1,407,134	8,527,274
	修繕料・役務費	268,905	389,445	2,267,664
	建物管理委託料	0	0	0
	使用料・賃借料	0	154,854	425,124
	工事請負費	0	350,043	4,175,822
	備品購入費その他	266,562	759,209	3,778,662
	維持管理費計	1,408,690	3,060,685	19,174,546
運営費	人件費	17,241,875	55,298,866	297,169,555
	その他事業運営費	3,527,089	2,477,906	40,380,990
	事業運営費計	20,768,964	57,776,772	337,550,545
	指定管理料	0	0	0
	現金収支を伴うコスト計	22,177,654	60,837,457	356,725,091

【収益の部】

収入	使用料	2,237,500	11,394,000	57,359,500
	その他	0	0	0
	収益計	2,237,500	11,394,000	57,359,500

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

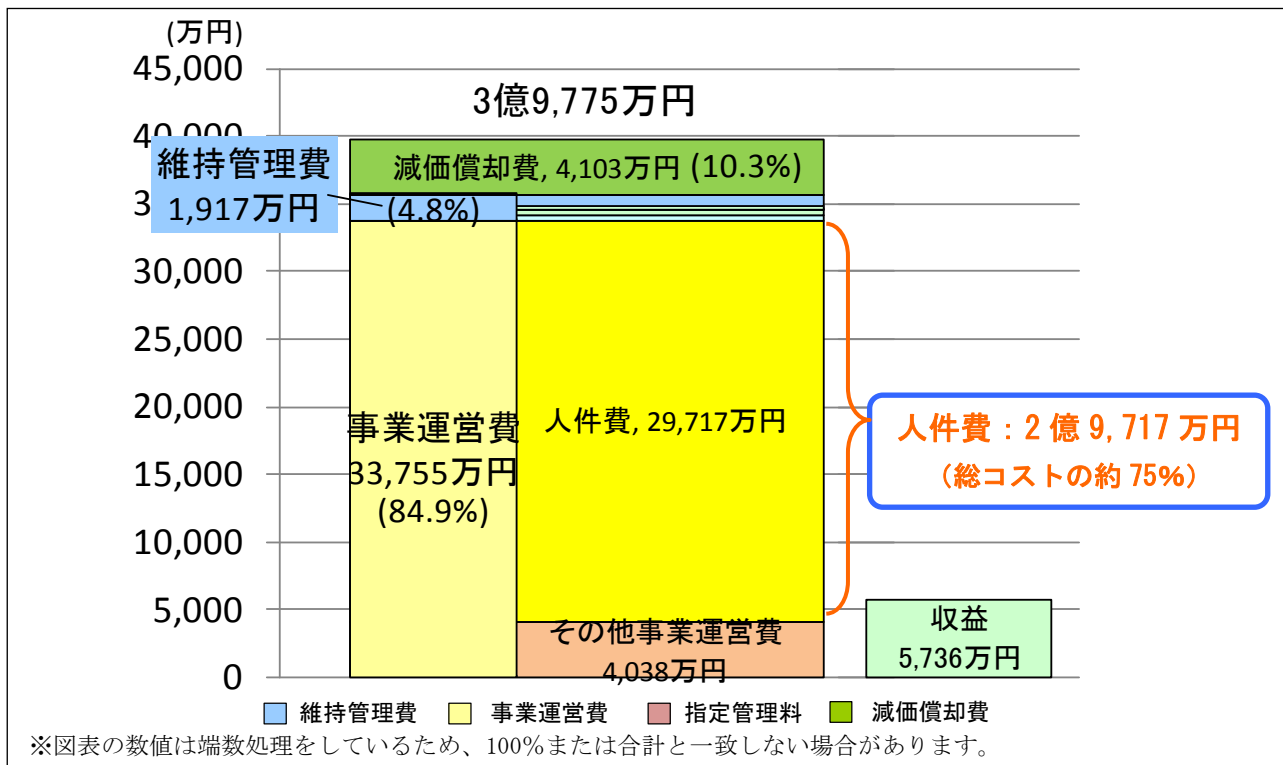
コスト	減価償却費	4,154,412	7,005,957	41,026,281
-----	-------	-----------	-----------	------------

III. 総括

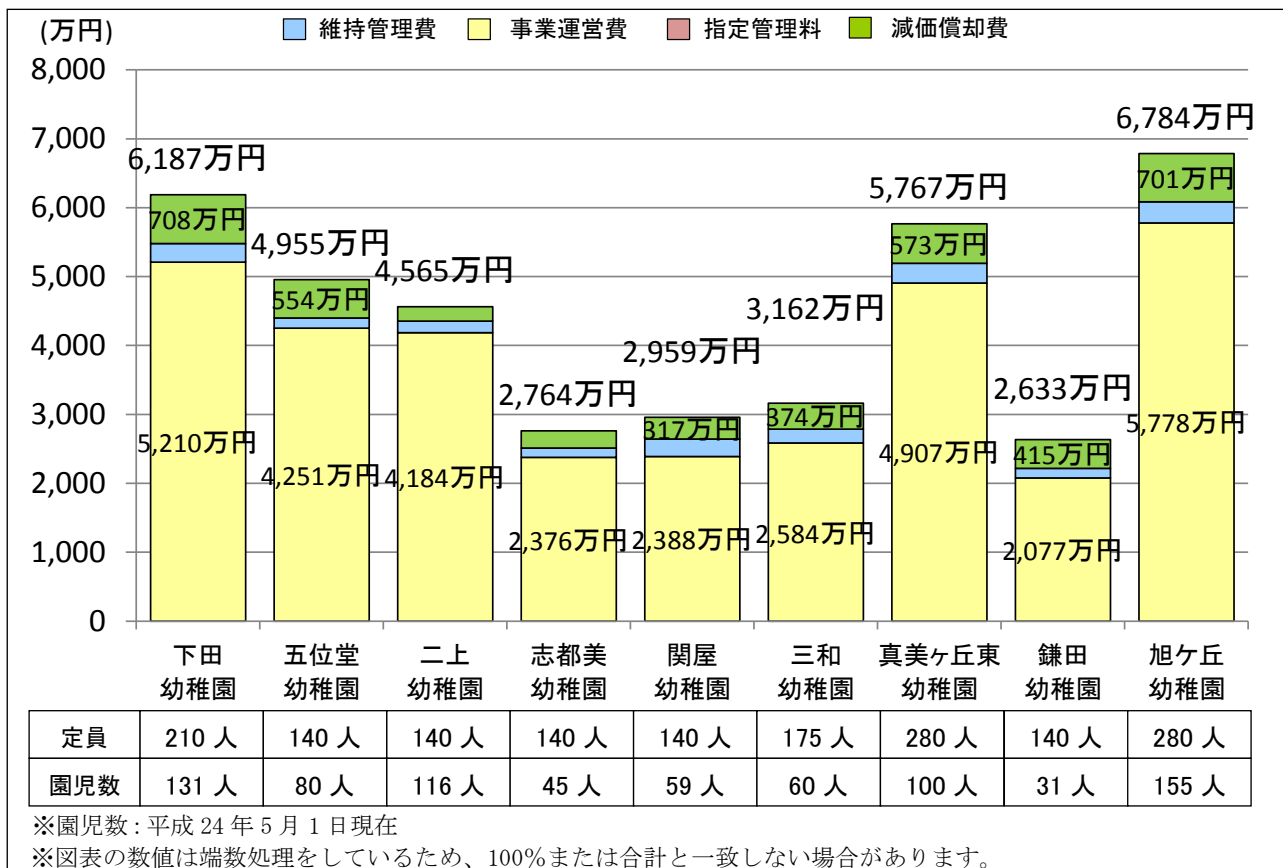
コストの部合計(総コスト)	26,332,066	67,843,414	397,751,372
収支差額	24,094,566	56,449,414	340,391,872

幼稚園の全施設総コストのうち、人件費が2億9,717万円で全体の約75%を占めています。
施設別総コストでは鎌田幼稚園の2,633万円から旭ヶ丘幼稚園の6,784万円となっています。

図表 幼稚園 全施設総コスト（平成24年度）



図表 施設別総コスト（平成24年度）

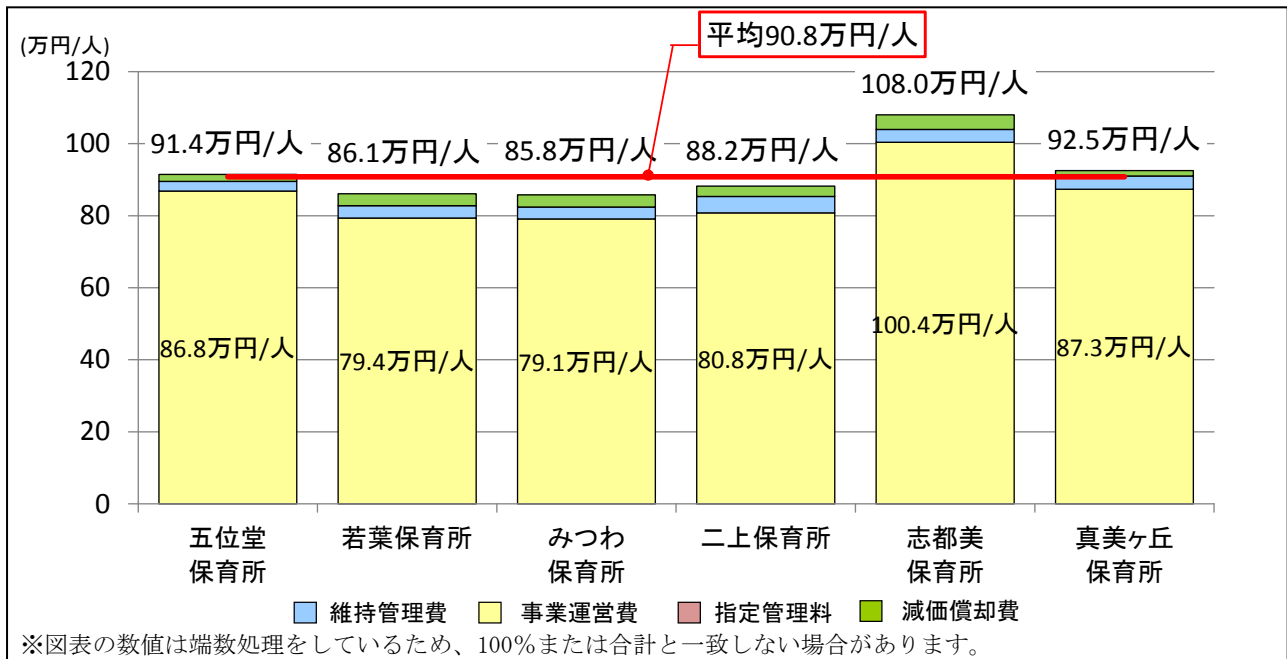


■ 園児 1 人当たりにかかるコスト

< 保育所 >

園児数と総コストから園児 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 90.8 万円です。施設別では、みつわ保育所の 85.8 万円/人から志都美保育所の 108.0 万円/人となっています。

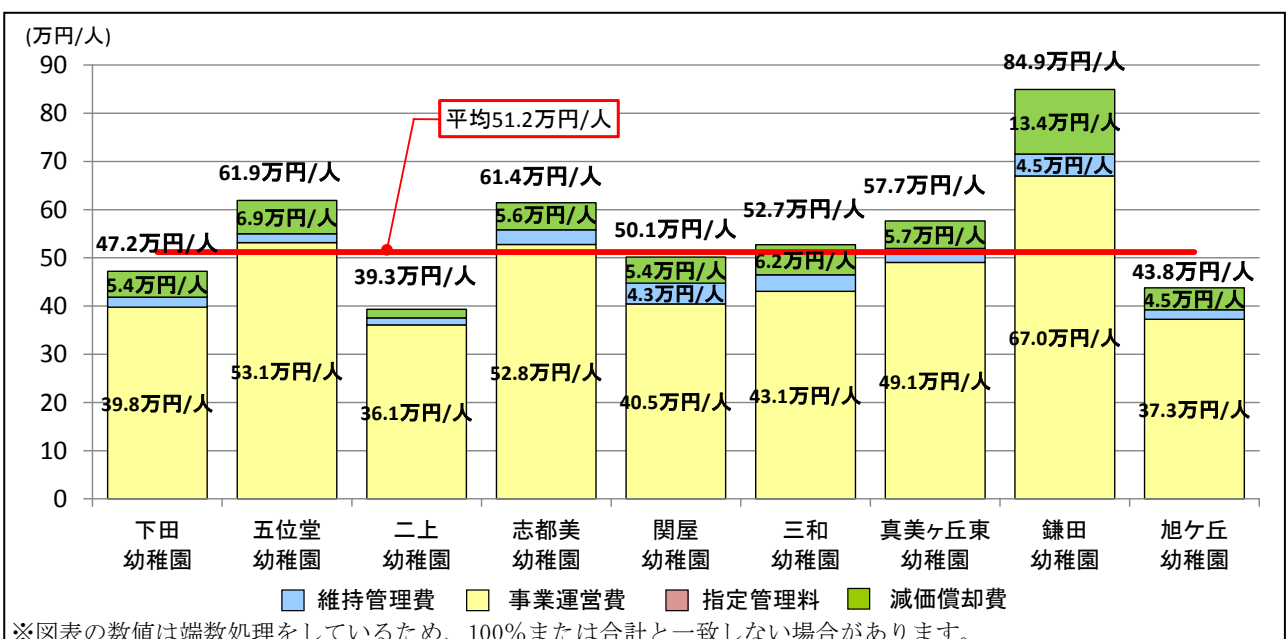
図表 園児 1 人当たりにかかるコスト (平成 24 年度)



< 幼稚園 >

園児数と総コストから園児 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 51.2 万円/人です。施設別にみると二上幼稚園の 39.3 万円/人から鎌田幼稚園の約 84.9 万円/人となっています。

図表 園児 1 人当たりにかかるコスト (平成 24 年度)



④現状及び課題

- 老朽化が進んでいる施設が多くなっている。保育所は6施設全て、幼稚園は9施設中6施設が築30年以上経過している。
- 耐震化未実施の施設が2施設あり、志都美幼稚園は平成27年度に耐震化予定、みつわ保育所は平成28年度建替え予定。
- 志都美保育所は平成28年度に民営化予定。
- 保育所の入所園児数が増加している一方、幼稚園の入所園児数が減少しており、平成23年には保育所の入所園児数が幼稚園の入所園児数を上回り逆転している。また、保育所はほぼ定員を超えているが、幼稚園は9施設中7施設の入園率が半分を超えていない。ニーズの変化に対応し、平成27年度から関屋幼稚園、鎌田幼稚園で実施される3年保育や、こども園の導入等を検討する等、保育所と幼稚園のありかたについて見直す必要がある。

2) 学童保育所

①施設概要

学童保育所では、昼間保護者が労働等で不在のため、保育できない家庭の小学校低学年児童（1年生～3年生）等に健全な遊びや生活の指導を行い、一定時間保育をしています。香芝市には11カ所の市立学童保育所があり、私立の学童保育所が3施設あります。

平成26年度の市立学童保育所の登録児童数は、全施設合計で699人となっており、入所率は108%です。私立学童保育所の登録児童数は、全施設合計で135人です。

国の基準や待機児童への対応のため、平成27年度には五位堂学童保育所、二上学童保育所、真美ヶ丘西学童保育所の施設整備計画が予定されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設		H26年度			備考		
						小学校	その他	児童数 A	定員 B	入所率 A/B			
市立	下田 1	下田学童保育所	北今市五丁目553-3	273.0	平成16	S			87	90	97%		
	関屋 2	関屋学童保育所	関屋北五丁目7番1号	67.8	平成23	RC	●	関屋小内	49	45	109%		
	五位堂 3	五位堂学童保育所	五位堂二丁目300番地の1	87.0	昭和57	RC	●	五位堂小内	70	45	156%	平成27年度施設整備計画あり	
	二上 4	二上学童保育所	畑四丁目568-1	94.3	平成14	S			74	55	135%	平成27年度施設整備計画あり	
	鎌田 5	鎌田学童保育所	鎌田370	58.0	昭和63	S			35	45	78%		
	真美ヶ丘東	6	真美ヶ丘東学童保育所	真美ヶ丘三丁目2-13	197.6	平成2	S			74	90	82%	
	真美ヶ丘西	7	真美ヶ丘西学童保育所	真美ヶ丘五丁目4-16	98.9	昭和63	S			54	45	120%	平成27年度施設整備計画あり
	旭ヶ丘	8	旭ヶ丘第1学童保育所	旭ヶ丘三丁目11番地の1	139.6	平成15	S			141	70	101%	香芝市子育て支援センター内
	旭ヶ丘	9	旭ヶ丘第2学童保育所	旭ヶ丘四丁目12番地20	207.1	平成19	S	●		70			
	三和	10	三和学童保育所	良福寺665-2	58.0	昭和60	S			65	45	144%	
	志都美	11	志都美学童保育所	今泉363番地	368.9	平成26	S			50	45	111%	
合計				1,650.05					699	645	108%		
私立	関屋 1	太陽の丘児童館	関屋北5-8-3				●		78			あけぼの・保育学院内	
	下田 2	Seika after school	北今市五丁目518番地1				●		44			せいか保育園内	
	鎌田 3	ハルナ保育園(学童)	鎌田281番地1				●		13			ハルナ保育園内	
合計									135				

※昭和59：建築年度の赤字は築30年以上を示す

<開所時間等>

開所時間		休所日
月～土曜日	放課後から午後6時まで ※延長保育午後6時30分まで(土曜日以外)	日曜日・祝日・夏期(8月13日～15日)・年末年始(12月29日～1月3日)及びその他市が定める日
学校休業日	午前8時30分から午後6時まで ※延長保育午後6時30分まで(土曜日以外)	

<利用方法及び使用料>

入所資格は、市内に在住する小学生で、昼間つねに保護者(両親または、これにかわる者)が就労等により不在のため保育できない家庭の児童となっています。

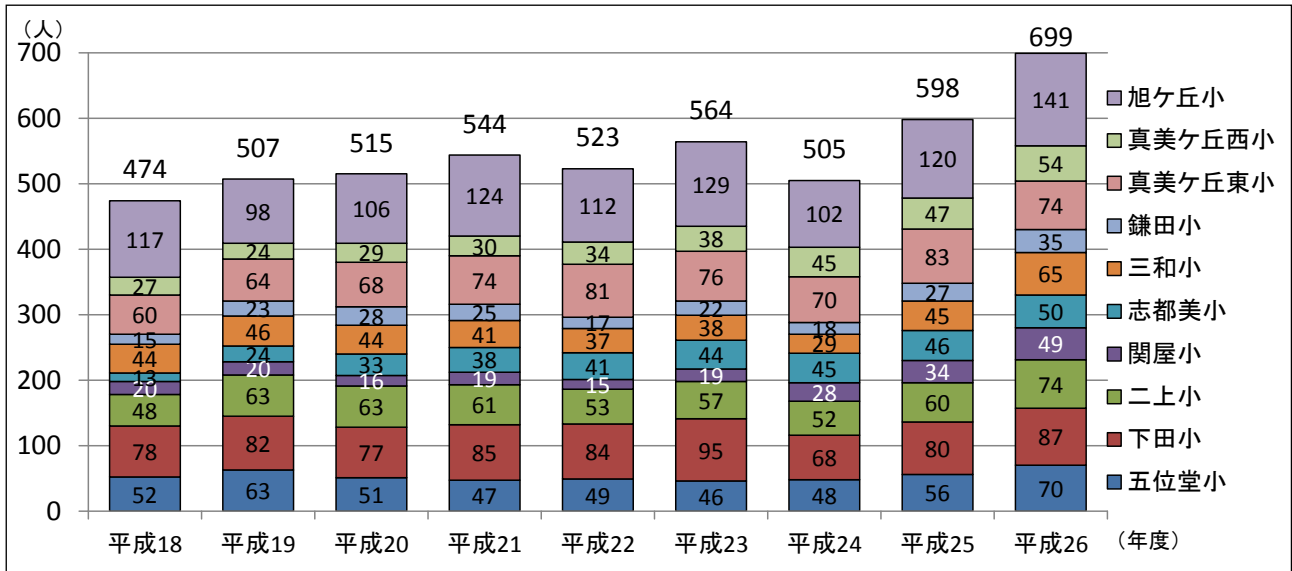
使用料は、児童一人につき月額3,500円(延長保育利用者4,500円)と、その他におやつ代、教材料として月額2,000円となっています。

②利用状況

＜児童数の推移＞

小学校別に学童保育児童数の推移をみると、平成18年から平成26年にかけて全体的には増加の傾向にあります。平成18年の474人から、平成26年には699人へ、約1.5倍に増加しています。

図表 小学校別学童保育児童数の推移

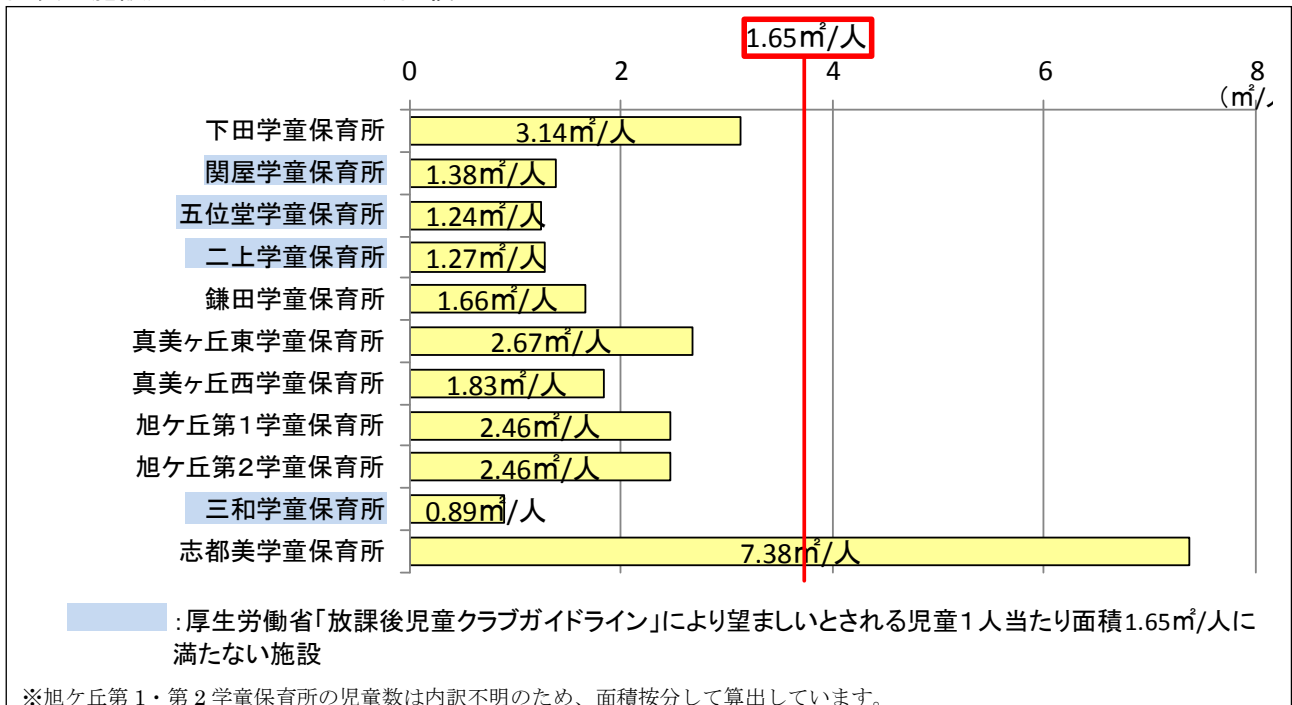


＜児童1人当たり面積＞

施設別に児童1人当たり面積をみると、厚生労働省「放課後児童クラブガイドライン」により望ましいとされる1.65㎡/人を下回る施設が11施設中4施設あります。

今後改修等を行う際に、基準への対応も図っていく必要があります。

図表 施設別 児童1人当たり面積



④コスト状況

■ 学童保育所の総コスト

学童保育所の年間総コストは、5,652 万円です。1 施設当たり平均 514 万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は 433 万円(8%)、事業運営費は 4,628 万円(82%)、減価償却費が 591 万円となっています。当該施設から年間 2,334 万円の収入があります。

図表 施設別 学童保育所施設経費計算書（平成 24 年度）

I. 現金収支を伴うもの

(円)

【コストの部】

		下田 学童保育所	関屋 学童保育所	五位堂 学童保育所	二上 学童保育所	鎌田 学童保育所	真美ヶ丘東 学童保育所	真美ヶ丘西 学童保育所
維持 管理 費	燃料費・光熱水費	289,912	112,744	201,328	229,514	80,530	306,018	181,195
	修繕料・役務費	50,900	0	18,900	90,353	47,250	0	0
	建物管理委託料	89,933	34,974	62,454	71,197	24,983	94,930	56,208
	使用料・賃借料	9,176	3,568	6,372	7,264	2,549	9,686	5,735
	工事請負費	0	0	0	156,975	0	0	493,500
	備品購入費その他	39,708	15,442	27,575	31,436	11,032	41,914	24,818
維持管理費計		479,629	166,728	316,629	586,739	166,344	452,547	761,456
運 営 費	人件費	5,953,366	2,315,198	4,134,282	4,713,081	1,653,711	6,284,109	3,720,854
	その他事業運営費	333,918	129,856	231,887	264,352	92,758	352,470	208,699
	事業運営費計	6,287,284	2,445,054	4,366,169	4,977,433	1,746,469	6,636,579	3,929,553
指定管理料		0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト計		6,766,913	2,611,782	4,682,798	5,564,172	1,912,813	7,089,126	4,691,009

【収益の部】

収入	使用料	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3,198,500	1,214,500	2,241,500	2,447,500	836,500	3,446,500	2,008,000
収益計		3,198,500	1,214,500	2,241,500	2,447,500	836,500	3,446,500	2,008,000

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト	減価償却費	2,264,294	40,039	327,361	615,844	182,056	746,800	182,063
-----	-------	-----------	--------	---------	---------	---------	---------	---------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	9,031,207	2,651,821	5,010,159	6,180,016	2,094,869	7,835,926	4,873,072
収支差額	5,832,707	1,437,321	2,768,659	3,732,516	1,258,369	4,389,426	2,865,072

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(円)

		旭ヶ丘第1 学童保育所	旭ヶ丘第2 学童保育所	三和 学童保育所	志都美 学童保育所	合計
維持 管理 費	燃料費・光熱水費	193,275	233,540	128,850	177,168	2,134,074
	修繕料・役務費	0	0	46,641	16,170	270,214
	建物管理委託料	59,956	72,446	39,970	54,959	662,010
	使用料・賃借料	6,117	7,392	4,078	5,607	67,544
	工事請負費	0	0	253,365	0	903,840
	備品購入費その他	26,472	31,987	17,648	24,266	292,298
維持管理費計		285,819	345,365	490,552	278,171	4,329,980
運 営 費	人件費	3,968,911	4,795,768	2,645,941	3,638,169	43,823,390
	その他事業運営費	222,613	268,989	148,408	204,062	2,458,015
	事業運営費計	4,191,524	5,064,757	2,794,349	3,842,231	46,281,405
指定管理料		0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト計		4,477,343	5,410,122	3,284,901	4,120,402	50,611,386

【収益の部】

収入	使用料	0	0	0	0	0
	その他	2,016,500	2,482,000	1,433,500	2,017,500	23,342,500
収益計		2,016,500	2,482,000	1,433,500	2,017,500	23,342,500

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト	減価償却費	72,895	1,103,394	192,704	183,741	5,911,191
-----	-------	--------	-----------	---------	---------	-----------

III. 総括

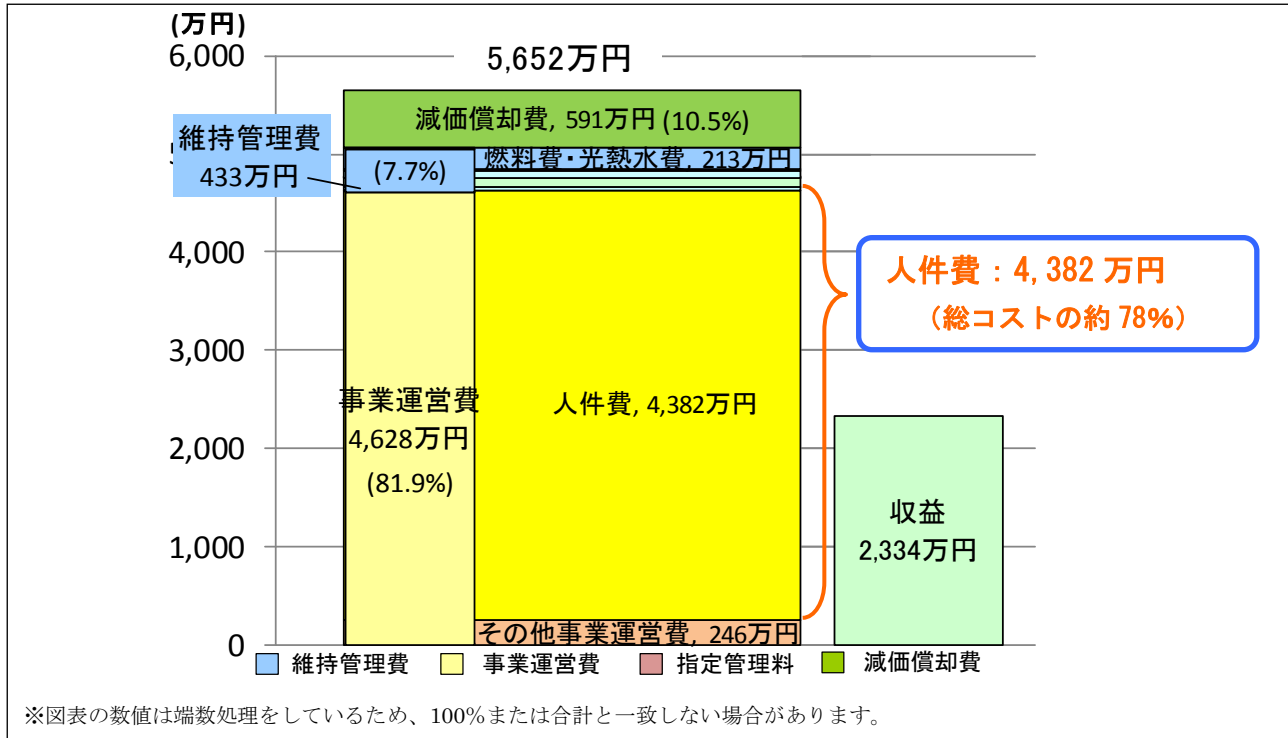
コストの部合計(総コスト)	4,550,238	6,513,516	3,477,605	4,304,143	56,522,578
収支差額	2,533,738	4,031,516	2,044,105	2,286,643	33,180,078

※ 志都美学童保育所は、
建て替え前のコストと
なっています。

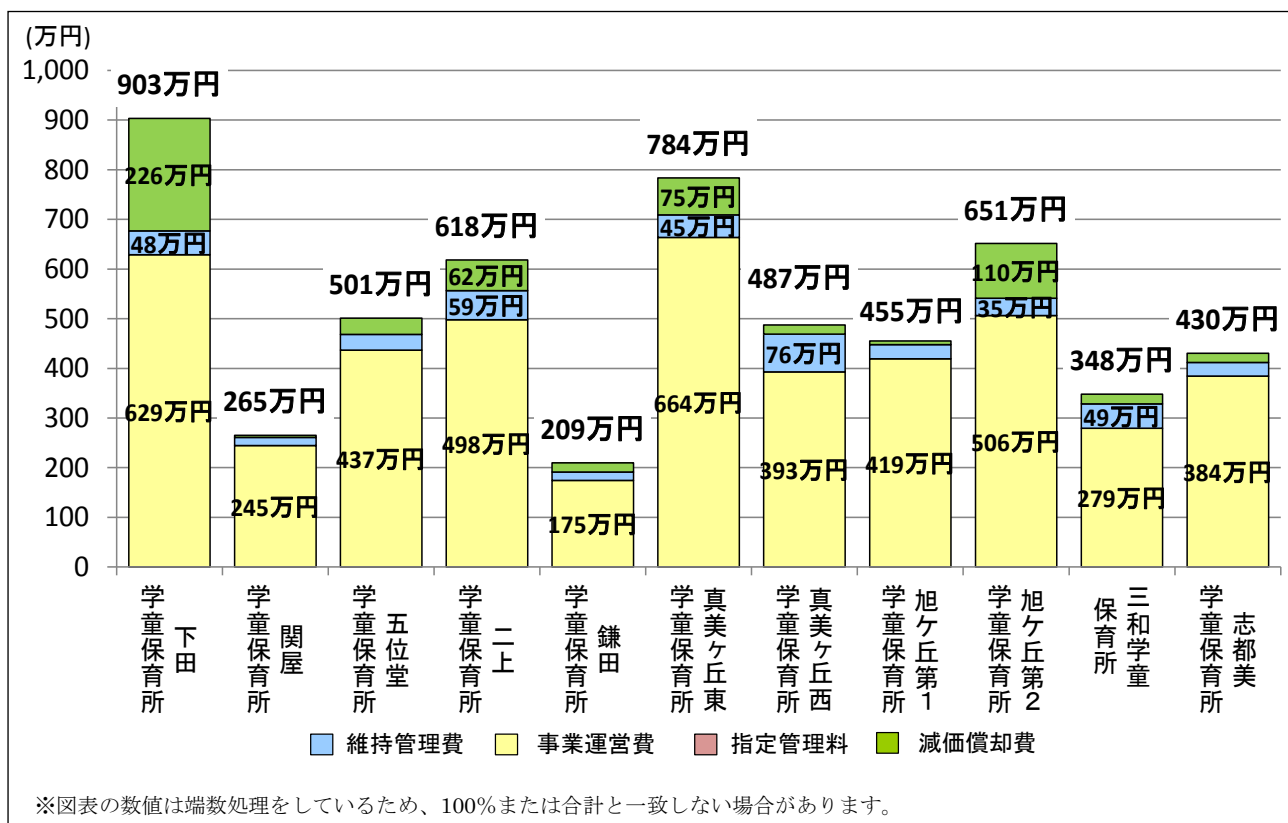
学童保育所の全施設総コストのうち、事業運営にかかるコストが 4,382 万円で全体の約 78%を占めています。

施設別総コストでは、鎌田学童保育所の 209 万円から下田学童保育所の 903 万円となっています。

図表 全施設総コスト（平成 24 年度）



図表 施設別トータルコスト（平成 24 年度）

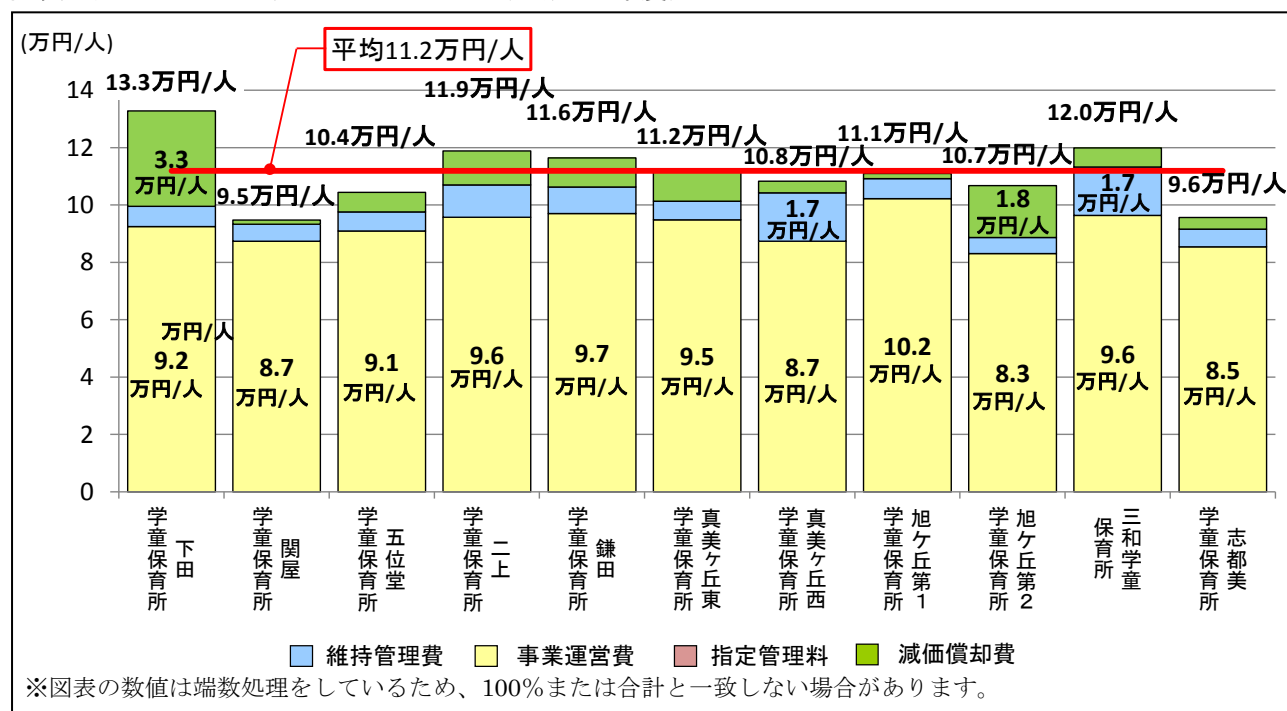


■ 評価・分析

＜児童1人当たりにかかるコスト＞

児童数と総コストから児童1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は約11.2万円/人です。施設別では、関屋学童保育所の9.5万円/人から下田学童保育所の13.3万円/人となっています。

図表 児童1人当たりにかかるコスト（平成24年度）



⑤現状及び課題

- 五位堂学童保育所は築30年以上が経過しており、その他に築20年以上経過した施設が4施設あり、老朽化が進んでいる。
- 児童1人当たり面積等、国基準への対応がまだ完了していない施設がある。
- 児童数は増加の傾向にあり、11施設中8施設が定員を超えている。
- 待機児童の解消や全学年受け入れ、国基準への対応等のため、施設整備計画が実施される。

3) 子育て支援センター

①施設概要

香芝市では、子育てに関する支援を行うとともに、子育てに係る交流の場を提供することにより、家庭における福祉の増進を図るため、子育て支援センターが設置されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
旭ヶ丘	香芝市子育て支援センター	旭ヶ丘四丁目12番地20	197.2	平成19	S	旭ヶ丘第2学童保育所併設

<開館時間等> (平成24年度)

開館時間	休館日
午前9時から午後5時まで	土日・祝日・年末年始

②コスト状況

年間総コストは、457万円であり、そのうち維持管理費は43万円(9%)、事業運営費は309万円(68%)、減価償却費相当額は105万円となっています。

図表 子育て支援センター 施設経費計算書

I. 現金収支を伴うもの (平成24年度) (円)

		香芝市子育て支援センター
維持管理費	燃料費・光熱水費	294,253
	修繕料・役務費	0
	建物管理委託料	133,740
	使用料・賃借料	0
	工事請負費	0
	備品購入費その他	0
	維持管理費計	427,993
事業費	人件費	0
	その他事業運営費	3,093,198
	事業運営費計	3,093,198
指定管理料		0
現金収支を伴うコスト計		3,521,191

【収益の部】

収入	使用料	0
	その他	0
収益計		0

II. 現金収支を伴わないもの

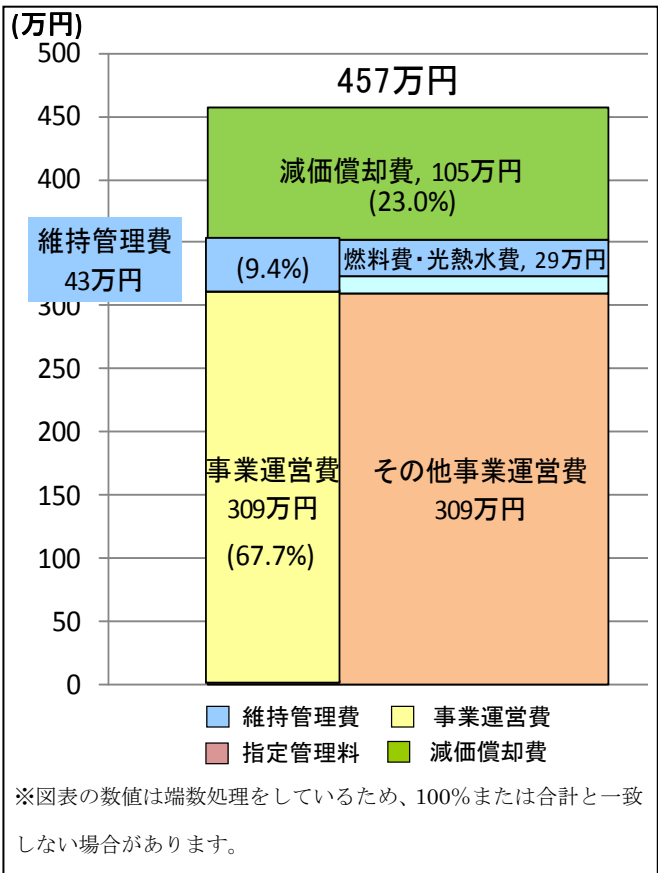
【コストの部】

コスト	減価償却費	1,050,651
-----	-------	-----------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	4,571,842
収支差額	4,571,842

図表 子育て支援センター 総コスト(平成24年度)



(6) 学校

①施設概要

本市には、小学校 10 校、中学校 4 校の合計 14 校が設置され、延床面積の合計は 10 万 2,563 ㎡となっています。施設規模をみると、小学校の延床面積は、鎌田小学校の 4,020 ㎡(8 学級)から旭ヶ丘小学校の 8,878 ㎡(35 学級)、中学校の延床面積は、香芝西中学校の 7,811 ㎡(13 学級)から香芝東中学校の 1 万 4,944 ㎡(19 学級)となっています。

図表 施設一覧

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

名称		住所	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒 数(人)	単式学級 数(学級)	
小 学 校	1	五位堂小学校	五位堂二丁目300番地の1	11,203	5,461	昭和43	481	17
	2	下田小学校	下田西二丁目9番41号	19,006	6,247	昭和42	763	24
	3	二上小学校	畑四丁目573番地	12,076	6,225	昭和44	826	25
	4	関屋小学校	関屋北五丁目7番1号	23,129	5,238	昭和46	389	12
	5	志都美小学校	今泉104番地の1	8,765	4,317	昭和37	347	12
	6	三和小学校	良福寺665番地の2	14,011	5,036	昭和51	387	12
	7	鎌田小学校	鎌田370番地	18,064	4,020	昭和57	199	8
	8	真美ヶ丘東小学校	真美ヶ丘三丁目2番70号	29,052	6,819	昭和62	587	18
	9	真美ヶ丘西小学校	真美ヶ丘五丁目4番20号	21,062	5,032	昭和62	332	12
	10	旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘三丁目1番地の3	21,069	8,878	平成6	1,187	35
小学校 計			177,437	57,274		5,498	175	
中 学 校	1	香芝中学校	磯壁一丁目1058番地の2	5,851	13,646	昭和49	635	17
	2	香芝西中学校	穴虫3096番地の2	4,334	7,811	昭和57	457	13
	3	香芝東中学校	真美ヶ丘二丁目12番27号	8,631	14,944	昭和58	736	19
	4	香芝北中学校	旭ヶ丘四丁目14番地	4,486	8,887	平成11	842	21
中学校 計			23,303	45,288		2,670	70	
学校施設 合計			200,740	102,563		8,168	245	

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

※「建築年度」は、校舎棟（または特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記入

②実態把握

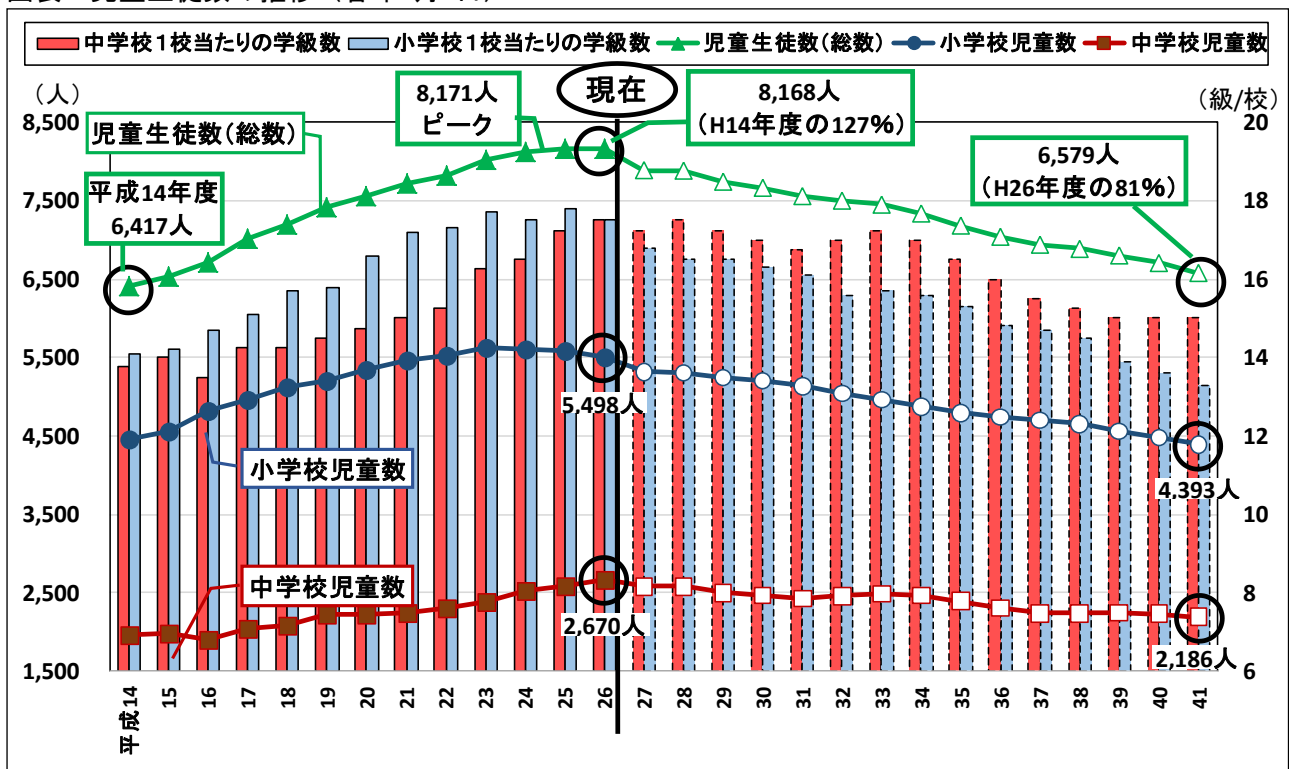
■ 児童生徒数及び学級数の状況

<児童生徒数の推移>

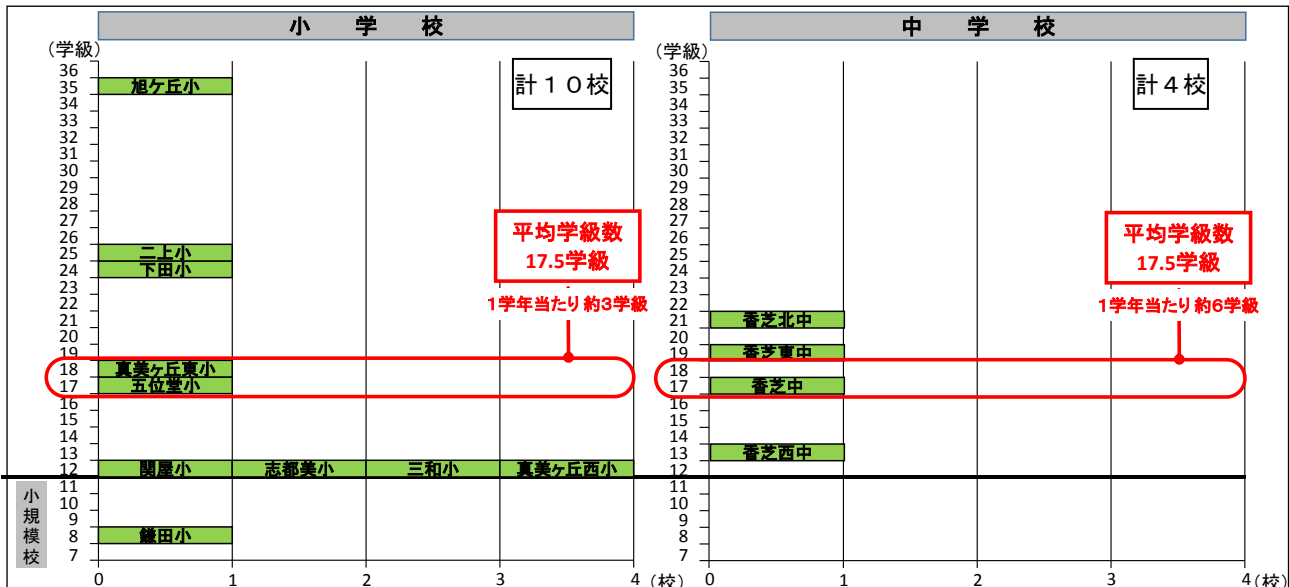
小・中学校の児童生徒数は、平成14年度の6,417人から、平成25年度の8,171人まで約1.3倍増加しています。児童生徒数は、平成25年度をピークに減少に転じ、平成26年5月1日時点では、8,168人となっており、今後も減少が見込まれています。平成41年度には、6,579人（現在の81%）まで減少する予測となっています。

平成26年度の学校別単式学級数では、小学校が平均17.5学級（1学年当たり約3学級）、中学校が平均17.5学級（1学年当たり約6学級）です。11学級以下の小規模校が、小学校は1校（鎌田小学校）となっています。

図表 児童生徒数の推移（各年5月1日）



図表 単式学級数の状況（平成26年5月1日）



※ 小学校1年は35人、その他は40人で学級編成

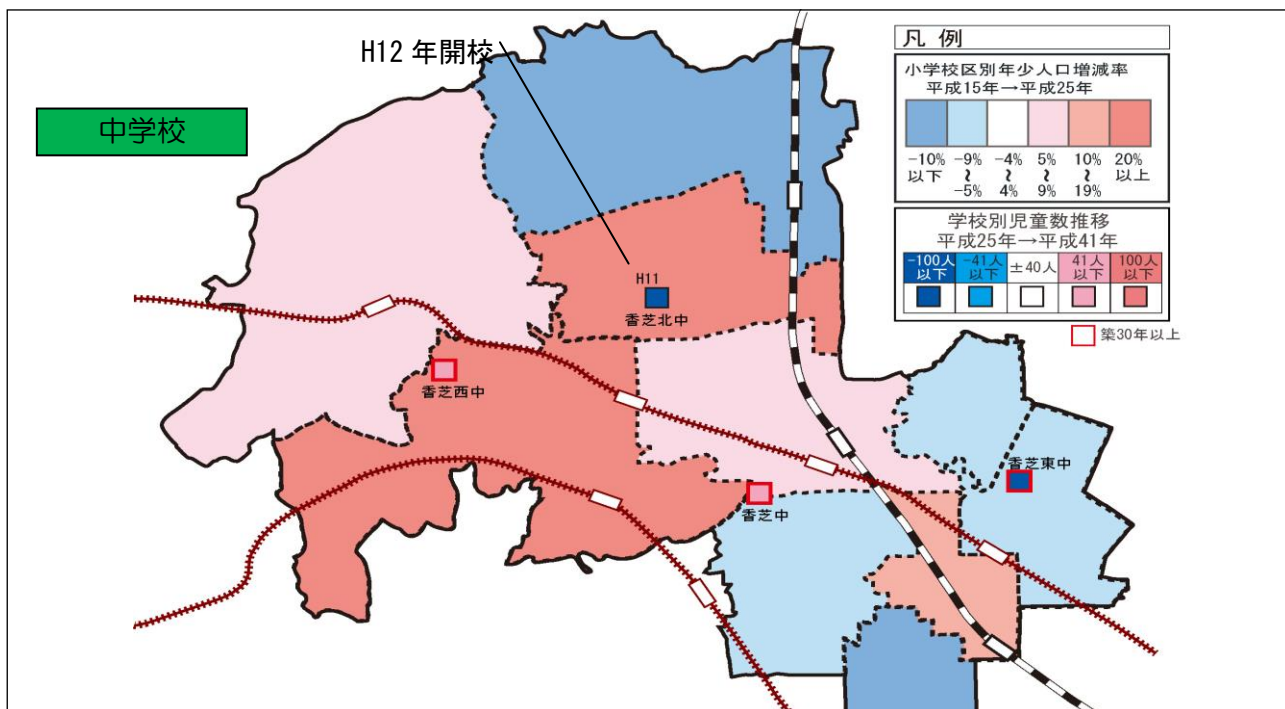
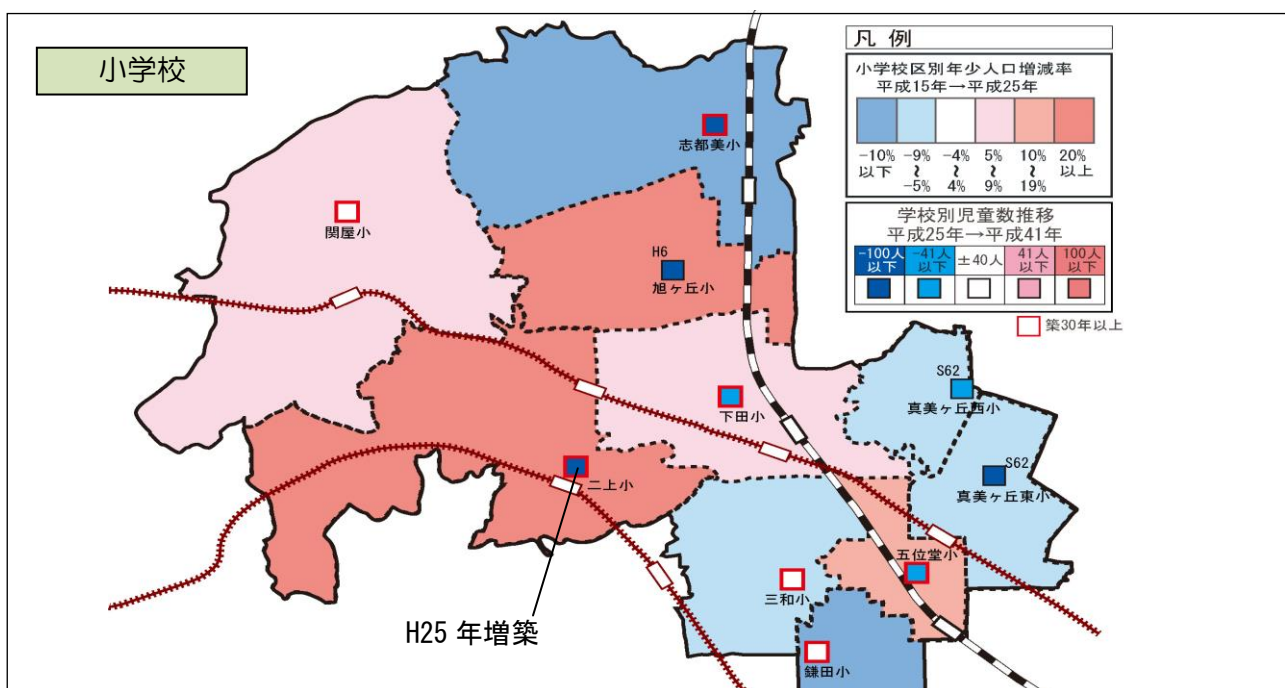
<学校別将来推計>

平成15年から平成25年の過去10年間の小学校区別年少人口変化をみると、旭ヶ丘小学校区・二上小学校区は90%以上の大幅な増加となっており、二上小は、平成25年度に一部校舎の増築を行っています。

平成26年から平成41年の将来の学校別児童推計をみると、旭ヶ丘小学校、二上小学校、志都美小学校、真美ヶ丘東小学校では、今後児童生徒数は大幅に減少の見込みとなっています。一方で、関屋小学校、鎌田小学校、三和小学校の将来児童数は大きく変動はしない見込みです。

中学校の将来の学校別児童推計をみると、香芝北中学校と香芝東中学校では、大幅な減少が見込まれていますが、香芝西中学校、香芝中学校は増加となっています。

図表 学校別将来児童推計（H26-H41）及び小学校区別年少人口増減率（H15-H25）

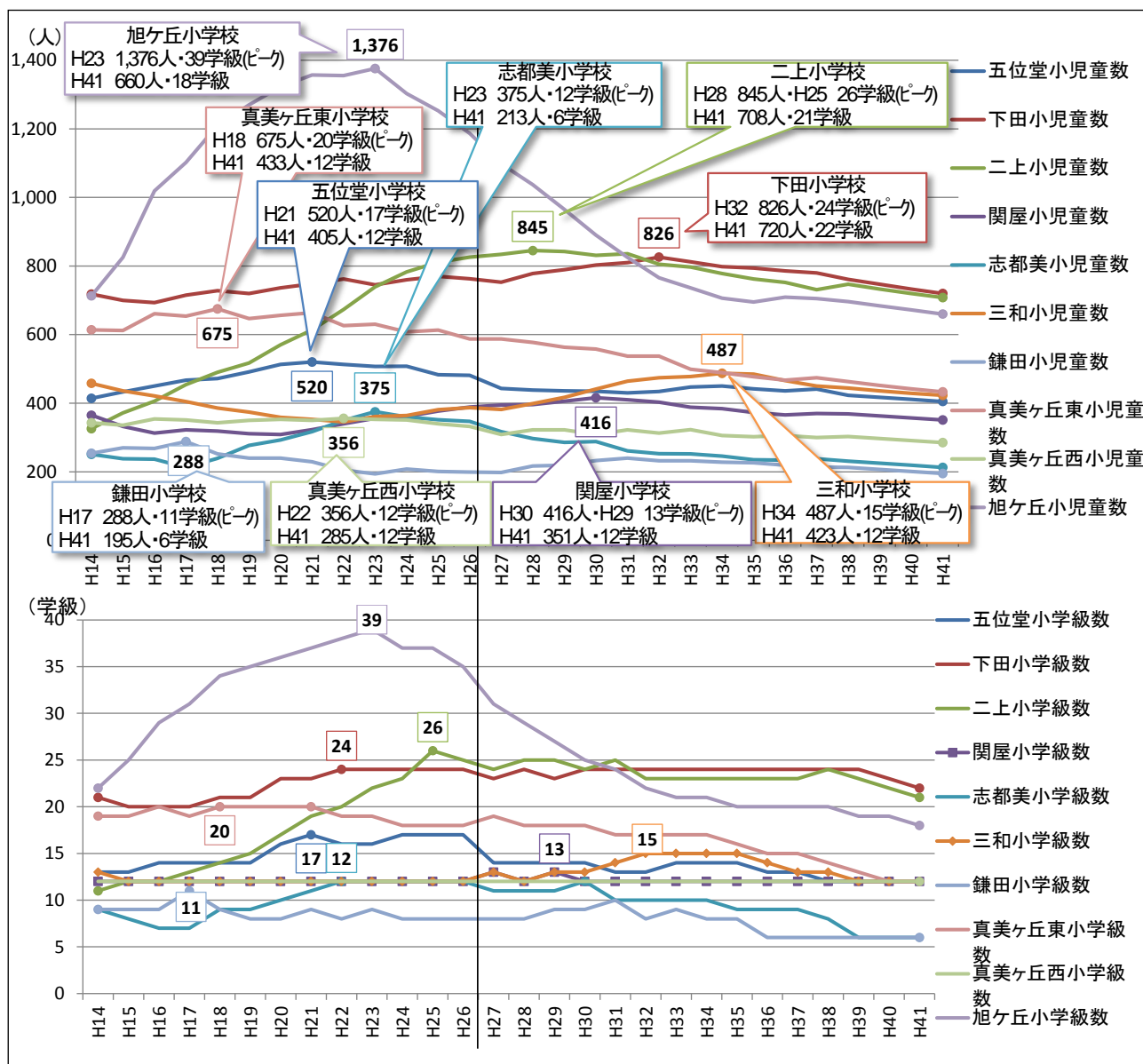


<学校別児童数及び単式学級数の推移>

小学校別に児童数及び単式学級数の推移をみると、児童数のピークを既に迎えている小学校は6校あり、特に平成7年に開設された旭ヶ丘小学校では今後急激に減少が大きくなり、平成31年には下田小学校、二上小学校を下回る見込みです。平成27年度以降児童数がピークとなる小学校は4校となっています。

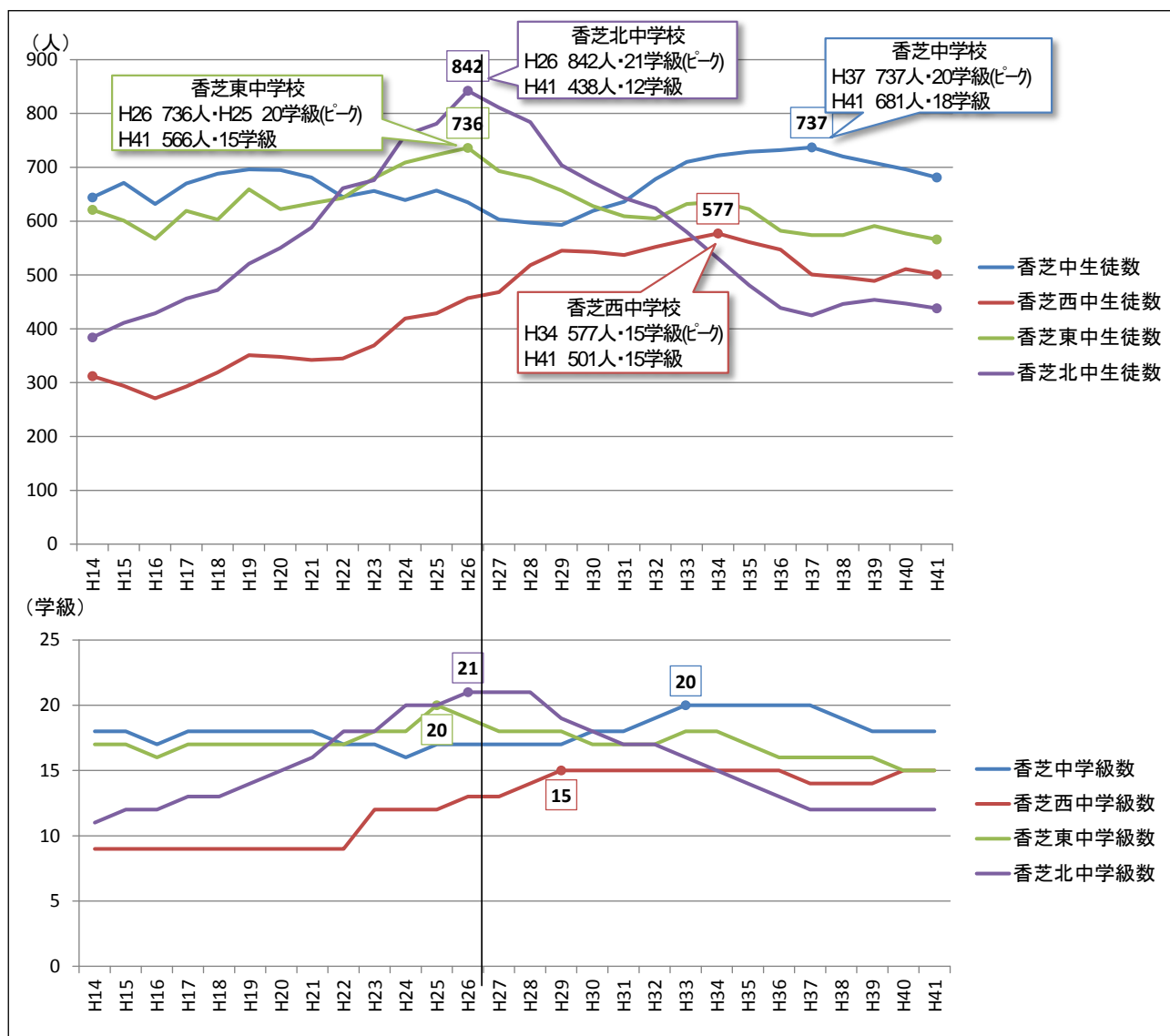
平成27年度以降学級数がピークとなる小学校は2校となっています。鎌田小学校、関屋小学校では、12学級程度であまり変動しない見込みです。下田小学校、二上小学校の大規模校2校は25学級程度で推移しますが、平成38年度頃には減少が始まる予測となっています。旭ヶ丘小学校では、平成41年度には平成23年度のピーク時39学級から半減し、18学級にまで減少する見込みです。鎌田小学校に加え、志都美小学校も小規模校になる予測となっています。

図表 小学校別児童数及び単式学級数推移



中学校別に生徒数及び単式学級数の推移をみると、平成 26 年度をピークに、香芝北中学校、香芝東中学校の生徒数は減少に転じています。特に平成 12 年度に開設された香芝北中学校の減少が大きく、平成 26 年度は一番生徒数の多い中学校となっていますが、生徒数は 48%と半分近く減少し、平成 34 年度には一番生徒数が少なくなる見込みです。

図表 中学校別生徒数及び単式学級数推移



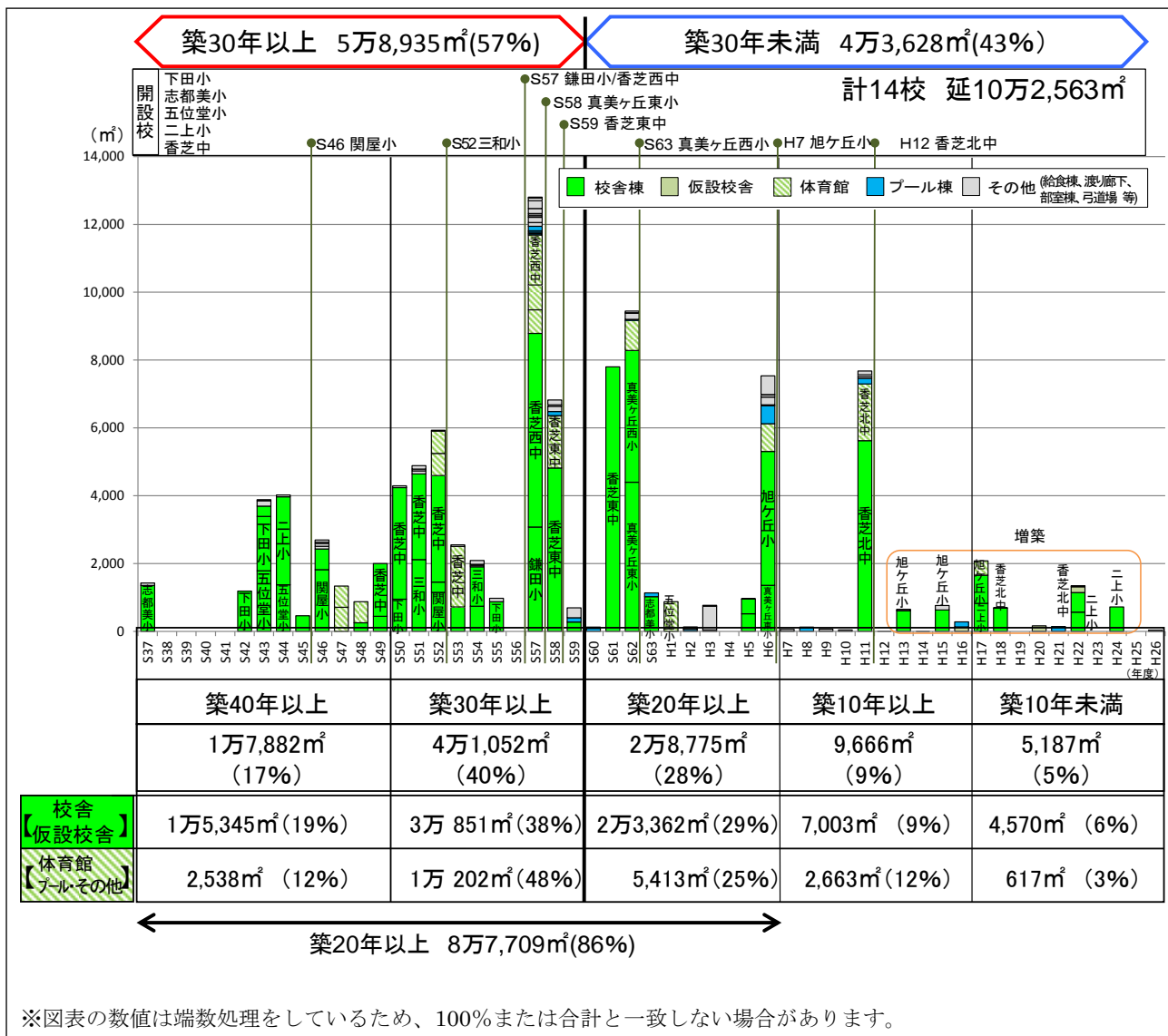
■ 施設の整備状況

学校施設の整備状況は、築30年以上の建物が約5.9万㎡と全体の約57%、築20年以上まで含めると約8.8万㎡（約86%）となっており、大半の施設が老朽化対策等を行う必要があります。

最も老朽化した校舎は、志都美小学校で築52年が経過しています。

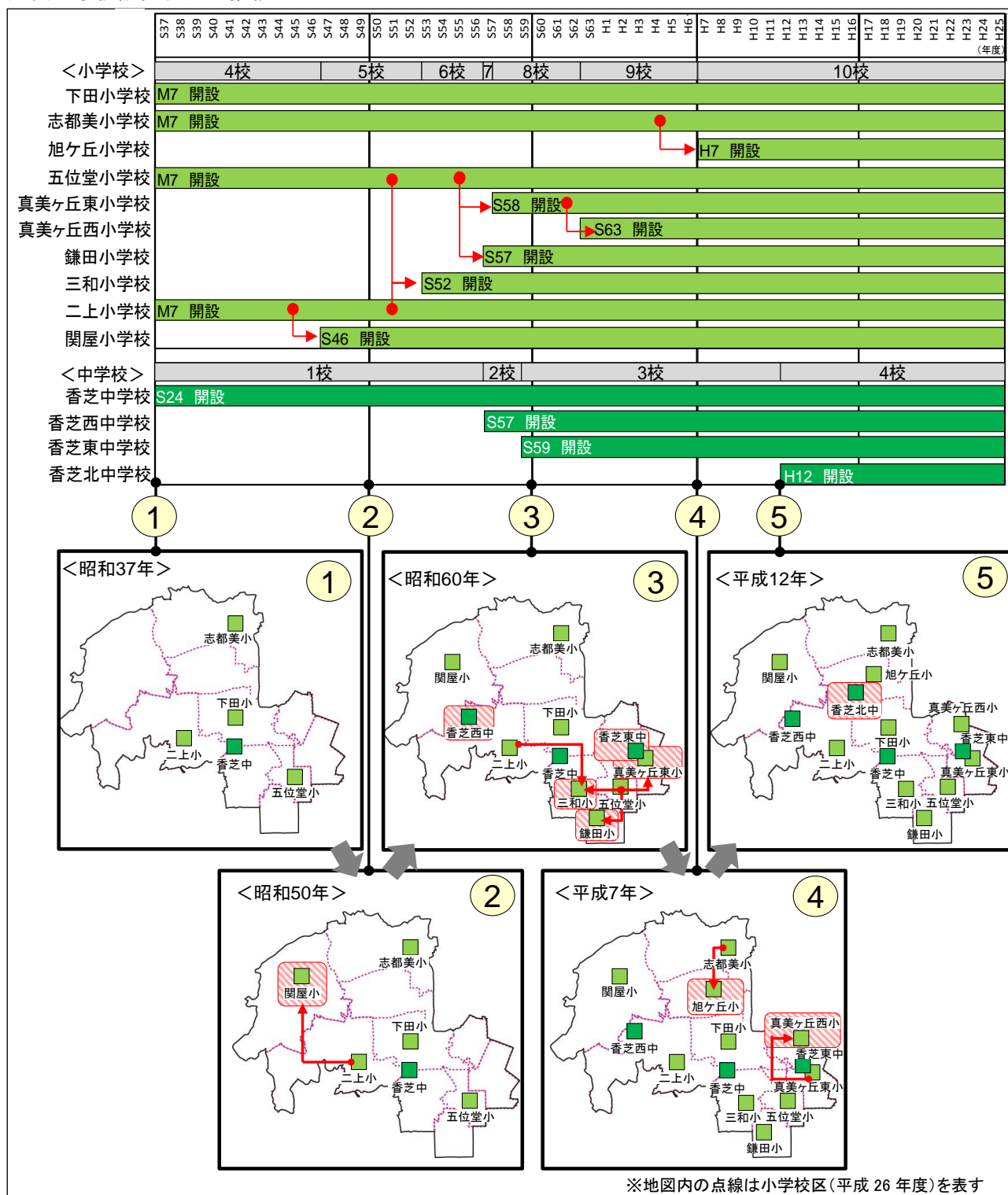
校舎棟、体育館・プール・その他棟別の整備状況では、校舎棟は約4.6万㎡（約57%）、体育館・プール・その他棟は約1.3万㎡（約59%）が築30年以上を経過しています。

図表 築年別整備状況



学校の設置状況の推移をみると、昭和37年度時点では小学校4校（下田小、志都美小、五位堂小、二上小）、中学校1校（香芝中学校）が開設されており、昭和46年度に二上小学校から分離し、関屋小学校が開設されました。昭和50～59年度（30～40年前）の間に小学校3校、中学校2校が集中して開設し、小学校8校、中学校3校に増加しました。その後、昭和63年度に真美ヶ丘西小学校、平成7年度に旭ヶ丘小学校、平成12年度に香芝北中学校が開設され、現在の小学校10校、中学校4校となりました。

図表 学校設置状況の推移

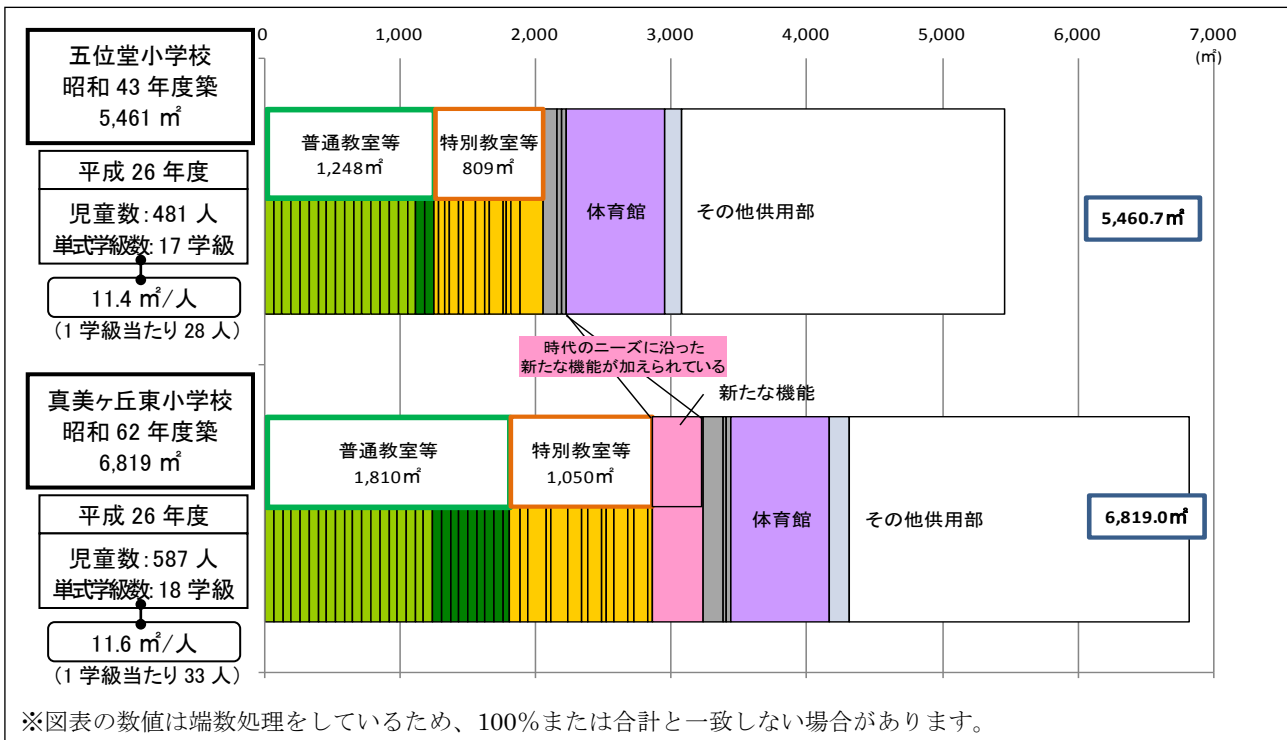


<スペース構成>

近年に建設した学校のスペース構成は、総合的な学習形態に対応するため、昭和 30 年代から 50 年代に整備された学校施設と比べると大きく変化しています。

昭和 43 年築の五位堂小学校と比べ、昭和 62 年築の真美ヶ丘東小学校では、普通教室の 5 倍以上の広さを持った多目的室など、これまでになかった新たな機能を追加していることが分かります。

図表 スペース構成比較（小学校）



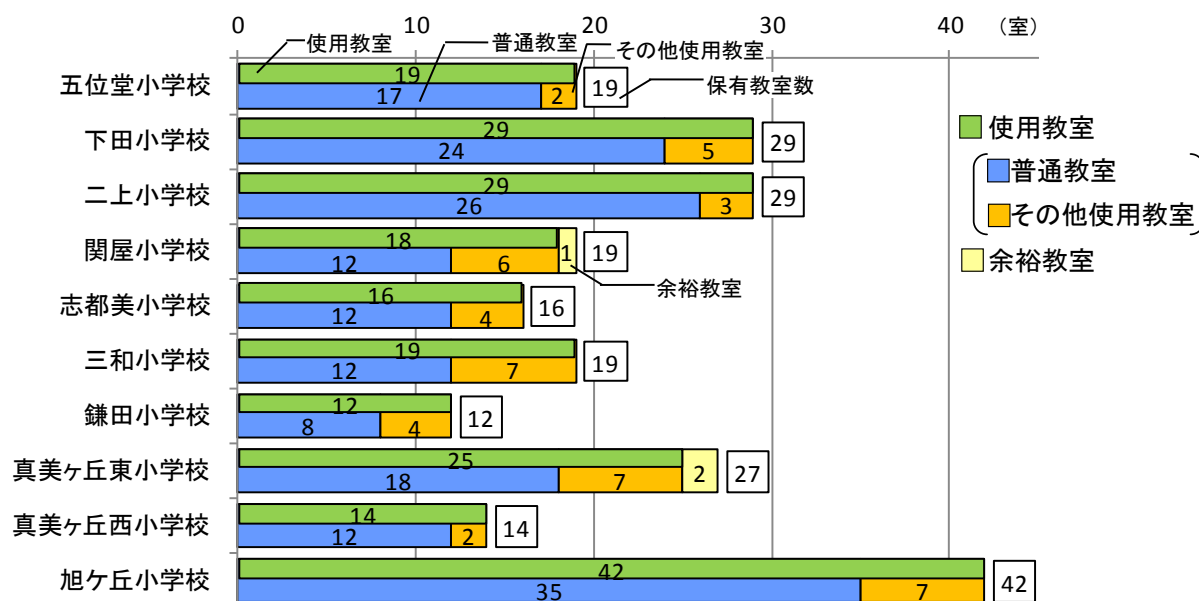
■ 教室の使用状況

＜小学校＞

小学校の教室の使用状況をみると、小学校全体では保有普通教室数は226室あり、そのうち使用教室数は223室、余裕教室は3室（約1%）となっています。使用教室の内訳をみると、176室（約78%）が普通教室、47室（約21%）が特別支援教室や少人数教室として使われています。

図表 小学校別余裕教室の活用状況

	保有普通 教室数	使用教室数				余裕教室数		
		普通教室	その他使用教室	普通教室	その他使用教室	余裕教室数		
五位堂小学校	19	19	17	(89%)	2	(11%)	0	(0%)
下田小学校	29	29	24	(83%)	5	(17%)	0	(0%)
二上小学校	29	29	26	(90%)	3	(10%)	0	(0%)
関屋小学校	19	18	12	(63%)	6	(32%)	1	(5%)
志都美小学校	16	16	12	(75%)	4	(25%)	0	(0%)
三和小学校	19	19	12	(63%)	7	(37%)	0	(0%)
鎌田小学校	12	12	8	(67%)	4	(33%)	0	(0%)
真美ヶ丘東小学校	27	25	18	(67%)	7	(26%)	2	(7%)
真美ヶ丘西小学校	14	14	12	(86%)	2	(14%)	0	(0%)
旭ヶ丘小学校	42	42	35	(83%)	7	(17%)	0	(0%)
小学校 計	226	223	176	(78%)	47	(21%)	3	(1%)



(その他使用教室)

特別支援教室、少人数教室、プレイルーム、民俗資料室、外国語教室、児童会室、教材室、更衣室、多目的室 等

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

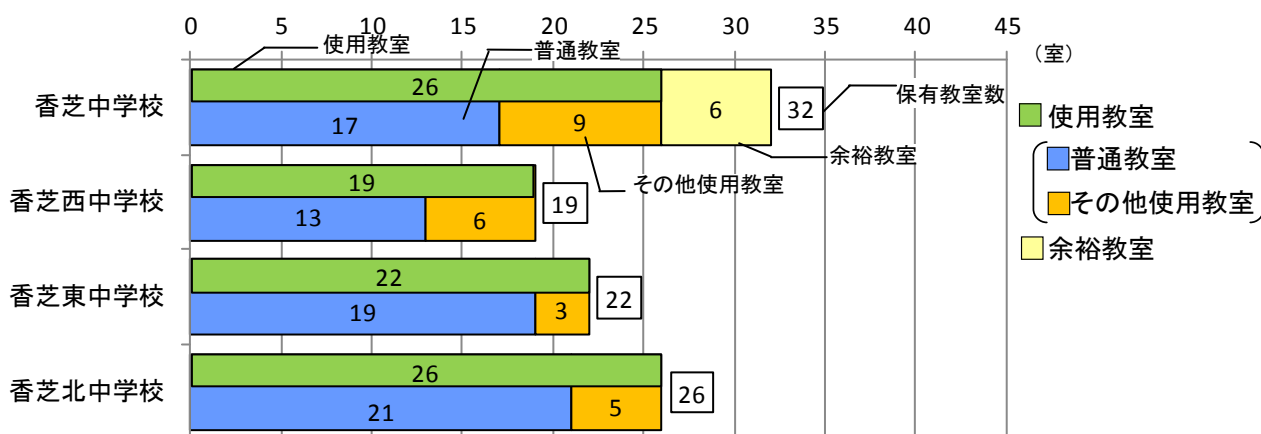
<中学校>

中学校の教室の使用状況をみると、中学校全体では保有普通教室数は99室あり、そのうち使用教室数は93室、余裕教室は6室（約6%）となっています。使用教室の内訳をみると、普通教室としての使用が70室（約71%）、その他の使用教室が23室（約23%）となっています。

香芝中学校では余裕教室が6室（約19%）あり、主に学習室として使われています。

図表 中学校別余裕教室の活用状況

	保有普通 教室数	使用教室数			余裕教室数	
		普通教室	その他使用教室			
香芝中学校	32	26	17 (53%)	9 (28%)	6	(19%)
香芝西中学校	19	19	13 (68%)	6 (32%)	0	(0%)
香芝東中学校	22	22	19 (86%)	3 (14%)	0	(0%)
香芝北中学校	26	26	21 (81%)	5 (19%)	0	(0%)
中学校 計	99	93	70 (71%)	23 (23%)	6	(6%)



(その他使用教室)

特別支援教室、少人数教室、生徒会室、更衣室、心の教室、学習室 等

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

③コスト状況

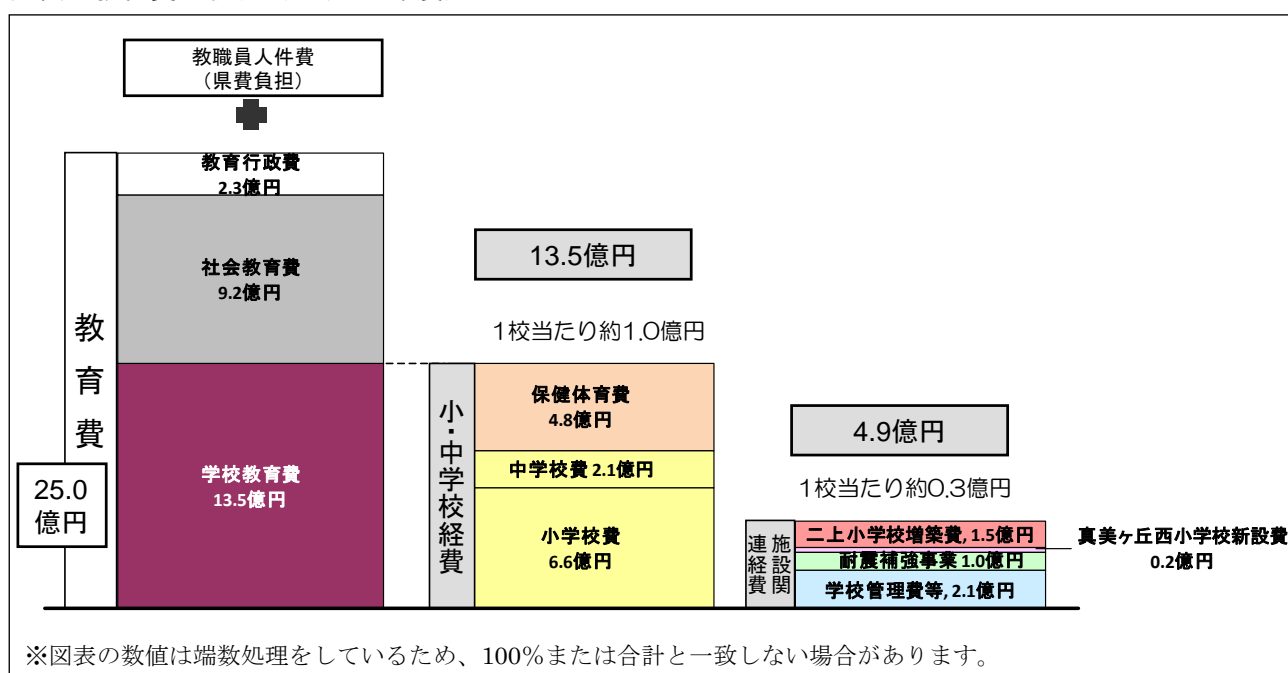
＜教育費の状況（一般会計）＞

平成25年度決算による教育費は、約25.0億円（一般会計歳出の約11%）です。内訳は、教育行政費約2.3億円、社会教育費9.2億円、学校教育費約13.5億円となっています。

小・中学校費のうち、光熱水費・修繕料・建物等管理委託料・学校建設費等の施設に関する「施設関連経費」は、約4.9億円（教育費の約36%）で、1校当たり約3千万円となっています。

施設関連経費としては、学校管理費（光熱水費・修繕料等）が約3.1億円、耐震補強事業費が約2.7億円、真美ヶ丘西小新設費0.2億円、二上小増築費1.5億円となっています。

図表 教育費の状況（平成25年度）



＜施設関連経費の状況＞

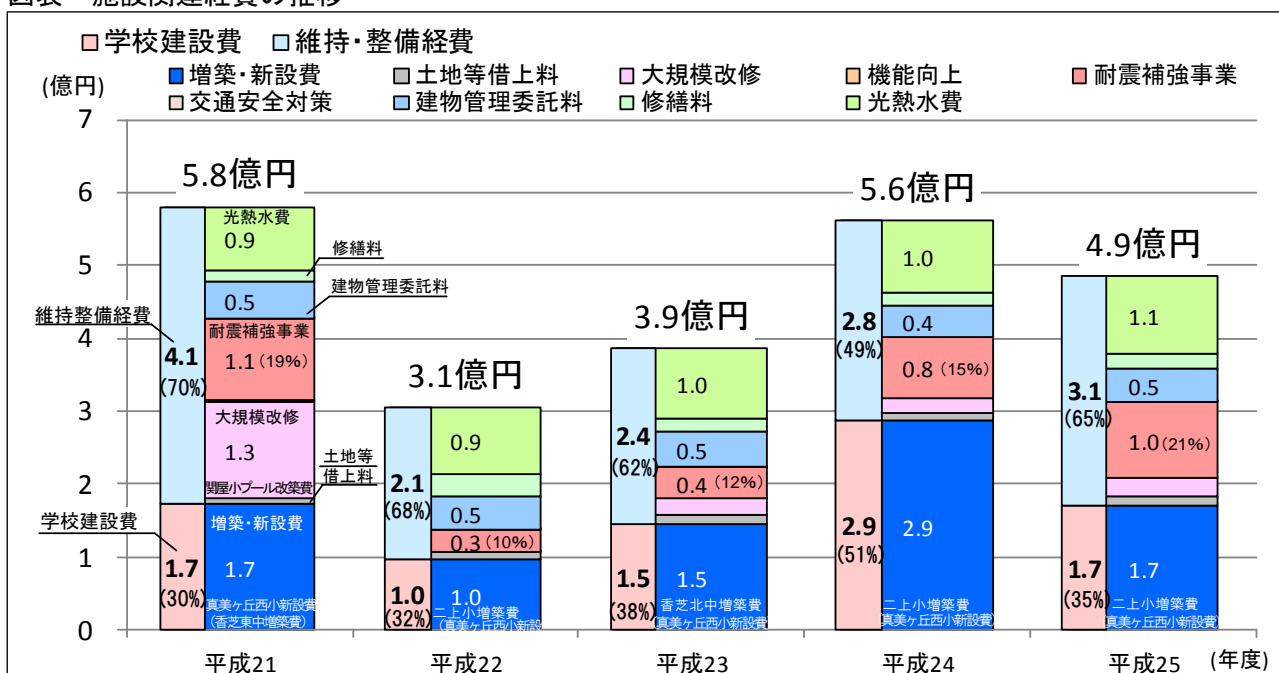
平成 25 年度の施設関連経費約 4.9 億円のうち学校建設費 1.7 億円は、二上小学校の増築費と、真美ヶ丘西小学校の新設費(公団立替施行による償還金及び利子)です。

平成 21 年度から平成 25 年度の推移をみると、施設にかかる経常的経費(光熱水費・修繕料・建物管理委託料等)は、毎年約 1.5 億円から約 1.7 億円とほぼ同程度で推移しています。

平成 21 年度から香芝市学校施設等耐震化推進計画(計画期間:平成 21 年度～平成 27 年度)が進められており、耐震補強工事が順次行われています。耐震補強事業にかかる金額は、平均して約 15%程度を占めています。

校舎の増築・新設費は、平均して約 37%程度を占めており、主に児童生徒増加に伴う校舎の増築費に使用されています。今後は児童生徒数が減少する見込みで、学校の新築や増築を行う可能性が低く、また、香芝市学校施設等耐震化推進計画によると、平成 27 年度には耐震化が完了する予定であるため、今後現状の経費を維持した場合には、これらの費用を老朽化した校舎の大規模改修や建替え等に充てる等の対応ができると考えられます。

図表 施設関連経費の推移



(円)

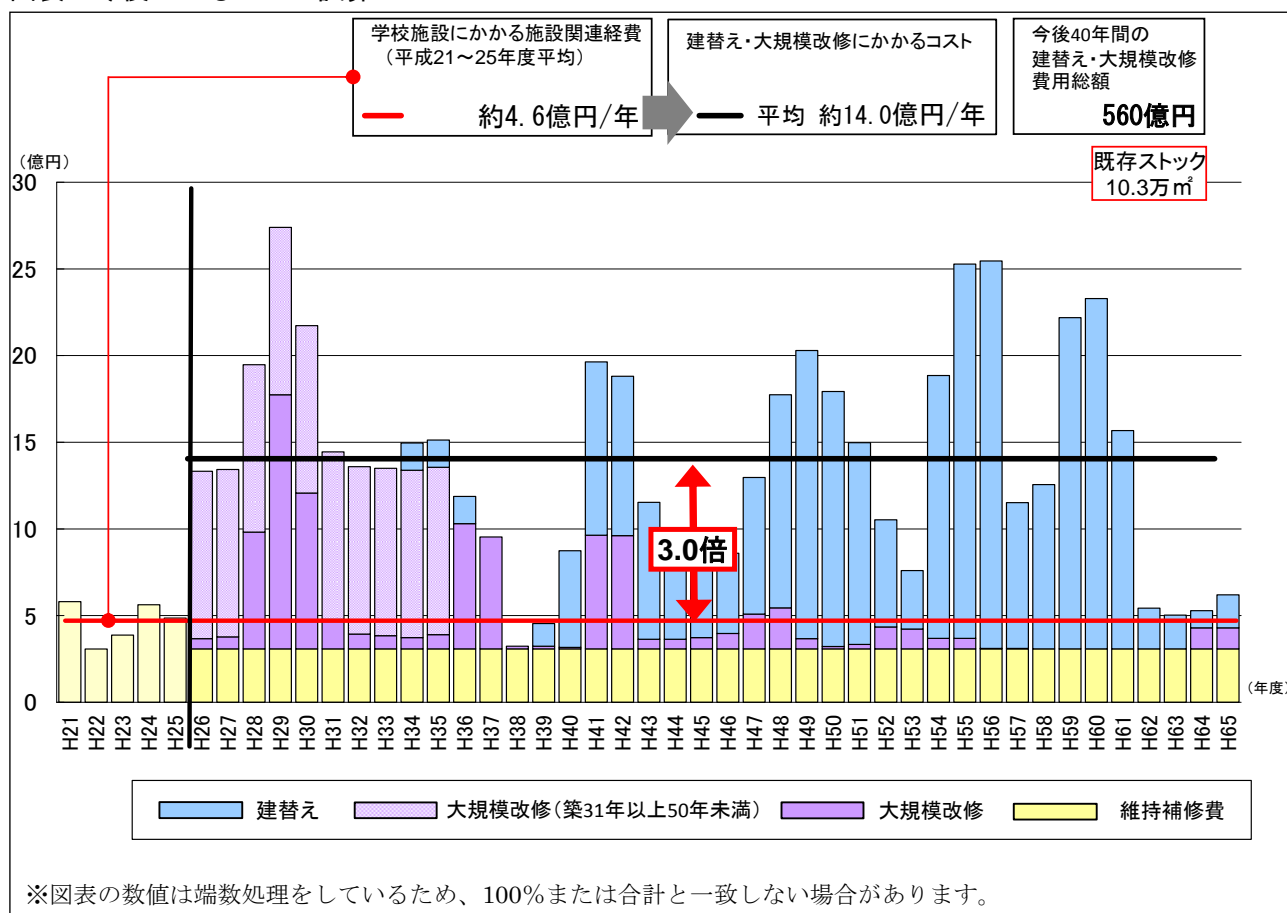
		平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	
維持・整備経費	経常的経費	光熱水費	88,928,013	94,024,372	98,475,507	101,130,114	108,396,351
		修繕料	14,751,010	29,870,584	17,943,114	16,772,436	19,673,158
		建物管理委託料	50,684,891	46,273,971	46,641,223	43,267,963	46,811,785
		小計	154,363,914	170,168,927	163,059,844	161,170,513	174,881,294
	安全対策費	耐震補強事業	111,096,405	29,172,150	44,911,650	83,763,750	101,935,050
		交通安全対策	345,681	396,186	262,846	175,350	177,450
	機能向上	環境整備工事費、福祉環境整備に基づく改修工事費	2,590,350	0	0	0	0
	大規模改修	校舎大規模改造事業・校舎改修等	133,525,009	1,449,000	21,969,192	20,045,554	26,494,542
	校舎借上料		5,355,000	5,355,000	8,076,600	8,076,600	7,927,601
	用地借上料		1,270,200	3,235,200	3,850,200	3,876,000	3,876,000
学校建設費	校舎増築・新設費	173,103,770	98,080,865	146,214,970	286,714,057	171,657,310	
合計		581,650,329	307,857,328	388,345,302	563,821,824	486,949,247	

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

< 今後 40 年間にかかるコスト試算 (シミュレーション) >

今後 40 年間にかかるコストを試算すると、年平均約 14.0 億円のコストが必要になります。これは、平成 25 年度の施設関連経費約 4.6 億円と比べると、毎年度約 9.4 億円不足します。

図表 今後かかるコスト試算



<< 試算条件 >>

a) 前提

- 現状の施設規模・施設内容を維持することを前提としてコスト試算を行う。
- 施設の統廃合による施設数の増減、および増減築による建物面積の増減については考慮していない。

b) 条件

- 建築物の耐用年数は 60 年と仮定する。大規模改修は、建設後 30 年で行い、その後 30 年で建替える と仮定する。
- 建替え及び大規模改修費用は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、
建替え : 3 年間
大規模改修 : 2 年間 に振り分けて計上する。
- 平成 25 年度以前に大規模改修の時期を迎えている施設のうち、築 31 年以上 50 年経過した施設については、最初の 10 年間 (平成 26 年度から平成 35 年度) で均等に大規模改修を実施する。

c) 単価

	建替え	大規模改修	維持補修費
学校教育系	33 万円/㎡	17 万円/㎡	3,000 円/㎡

④現状及び課題

- 小・中学校は 14 校中 10 校が築 30 年以上経過しており、そのうち 6 校が築 40 年以上経過している。
- 児童生徒数の推計をみると、今後急激な減少に転じ、平成 41 年度には平成 26 年度現在から約 19%減少となる。
- 学校別に児童生徒数、学級数の推移をみると、既に減少している学校、増加を続ける学校等大きく状況が異なる。特に比較的近年開設された旭ヶ丘小学校、香芝北中学校では、平成 41 年度までにピーク時から半分近く児童生徒数が減少する大きな変化がみられる。人口増加に合わせて増えてきた学校が今後供給過多となる見込み。
- 耐震化は平成 27 年度に完了する予定。
- 今後児童生徒数の減少に伴い、増加すると思われる余裕教室をどう扱っていくか検討が必要。
- 学校施設に今後 40 年間でかかるコストを試算すると、年平均約 14.0 億円であり、これは平成 21 年度から平成 25 年度の施設にかかる経費の約 3 倍となっている。

(7) 駐車場

①施設概要

香芝市では、自動車駐車場が2施設、自転車の駐車場が7施設、計9施設の駐車場を保有しています。

近鉄五位堂駅北自動車駐車場とJR志都美駅西自動車駐車場は市の直営、その他は指定管理者により運営されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
真美ヶ丘東	1 近鉄五位堂駅北自動車駐車場	瓦口2159、2160	-	-	-	
真美ヶ丘東	2 近鉄五位堂駅北自動車駐車場	瓦口2169	-	-	-	
真美ヶ丘東	3 近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第1)	瓦口2140	2,375.3	平成3	S	
真美ヶ丘東	4 近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第2)	瓦口2127	392.0	平成5	S	
下田	5 JR香芝駅自転車駐車場(第1)	下田西一丁目1番3号	1,454.0	平成16	S	
下田	6 JR香芝駅自転車駐車場(第2)	下田西一丁目293番地4	116.4	平成16	S	
下田	7 近鉄下田駅地下自転車駐車場	下田西四丁目186番地1	1,966.2	平成9	RC	
関屋	8 近鉄関屋駅自転車駐車場	関屋1581番地1	628.7	平成12	S	
志都美	9 JR志都美駅西自転車駐車場	上中160-3、161-2	305.52	平成22	S	
合計			7,238.13			

※昭和59：建築年度の赤字は築30年以上を示す

②コスト状況

駐車場の年間総コストは、7,884万円です。1施設当たり平均1,314万円です。

年間総コストのうち、維持管理費は321万円(4%)、事業運営費は852万円(11%)、指定管理料が4,660万円(59%)、減価償却費が2,050万円となっています。

図表 施設別 駐車場施設経費計算書 (平成24年度)

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(円)

		近鉄五位堂駅北自動車駐車場	近鉄五位堂駅北自転車駐車場(第1・第2)	JR香芝駅自転車駐車場(第1・第2)	近鉄下田駅地下自転車駐車場	近鉄関屋駅自転車駐車場	JR志都美駅西自転車駐車場	合計
維持管理費	燃料費・光熱水費	203,719	0	0	0	0	348,500	552,219
	修繕料・役務費	156,240	27,300	0	377,475	175,350	0	736,365
	建物管理委託料	0	0	0	0	0	0	0
	使用料・賃借料	591,987	0	8,300	0	279,900	882	881,069
	工事請負費	0	0	0	0	0	0	0
	備品購入費その他	765,000	207,900	69,300	0	0	0	1,042,200
	維持管理費計	1,716,946	235,200	77,600	377,475	455,250	349,382	3,211,853
事業費	人件費	6,501,600	0	0	0	0	1,330,799	7,832,399
	その他事業運営費	476,788	5,663	3,213	4,023	1,286	199,472	690,445
	事業運営費計	6,978,388	5,663	3,213	4,023	1,286	1,530,271	8,522,844
指定管理料	0	18,601,416	10,556,017	13,216,531	4,226,036	0	46,600,000	
現金収支を伴うコスト計	8,695,334	18,842,279	10,636,830	13,598,029	4,682,572	1,879,653	58,334,697	

【収益の部】

収入	使用料	10,098,500	44,994,250	11,865,400	9,474,150	3,115,800	355,800	79,903,900
	その他	0	0	0	0	0	3,000	3,000
収益計		10,098,500	44,994,250	11,865,400	9,474,150	3,115,800	358,800	79,906,900

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

コスト	減価償却費	0	6,361,994	3,783,147	7,915,661	1,666,055	773,996	20,500,853
-----	-------	---	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	------------

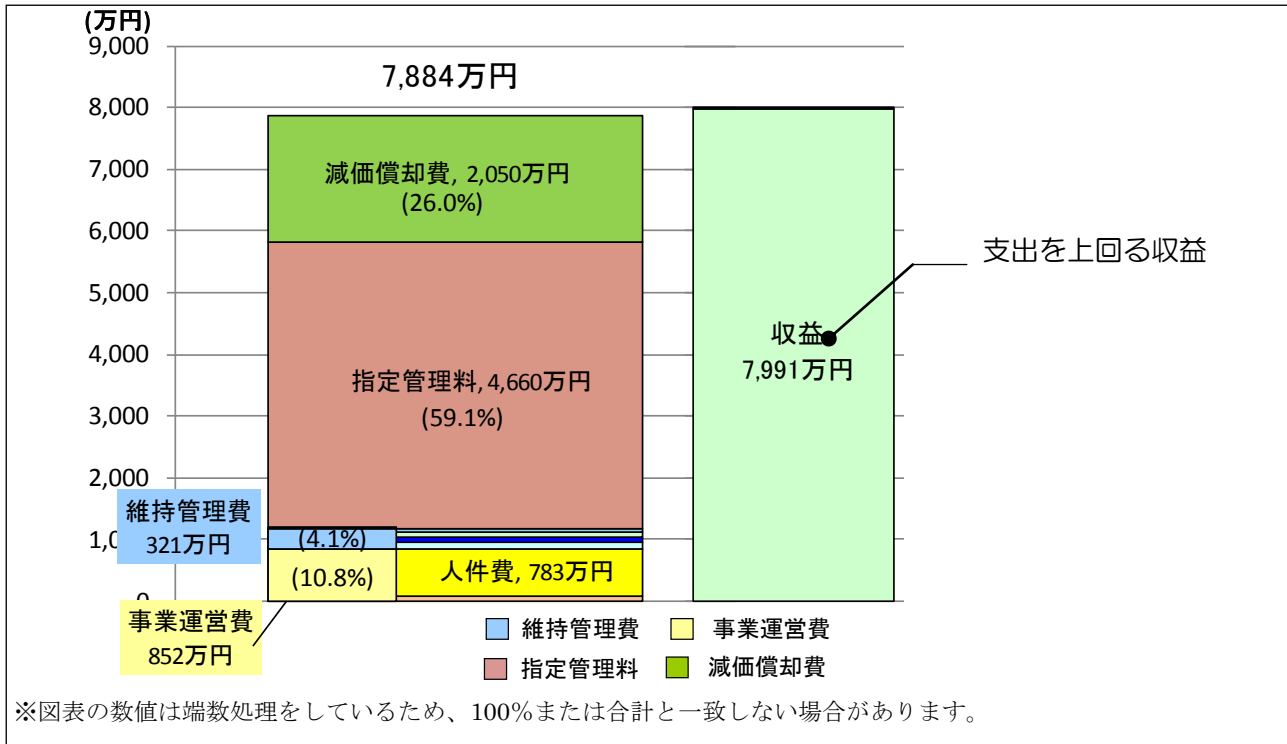
III. 総括

コストの部合計(総コスト)	8,695,334	25,204,273	14,419,977	21,513,690	6,348,627	2,653,649	78,835,550
収支差額	(1,403,166)	(19,789,977)	2,554,577	12,039,540	3,232,827	2,294,849	(1,071,350)

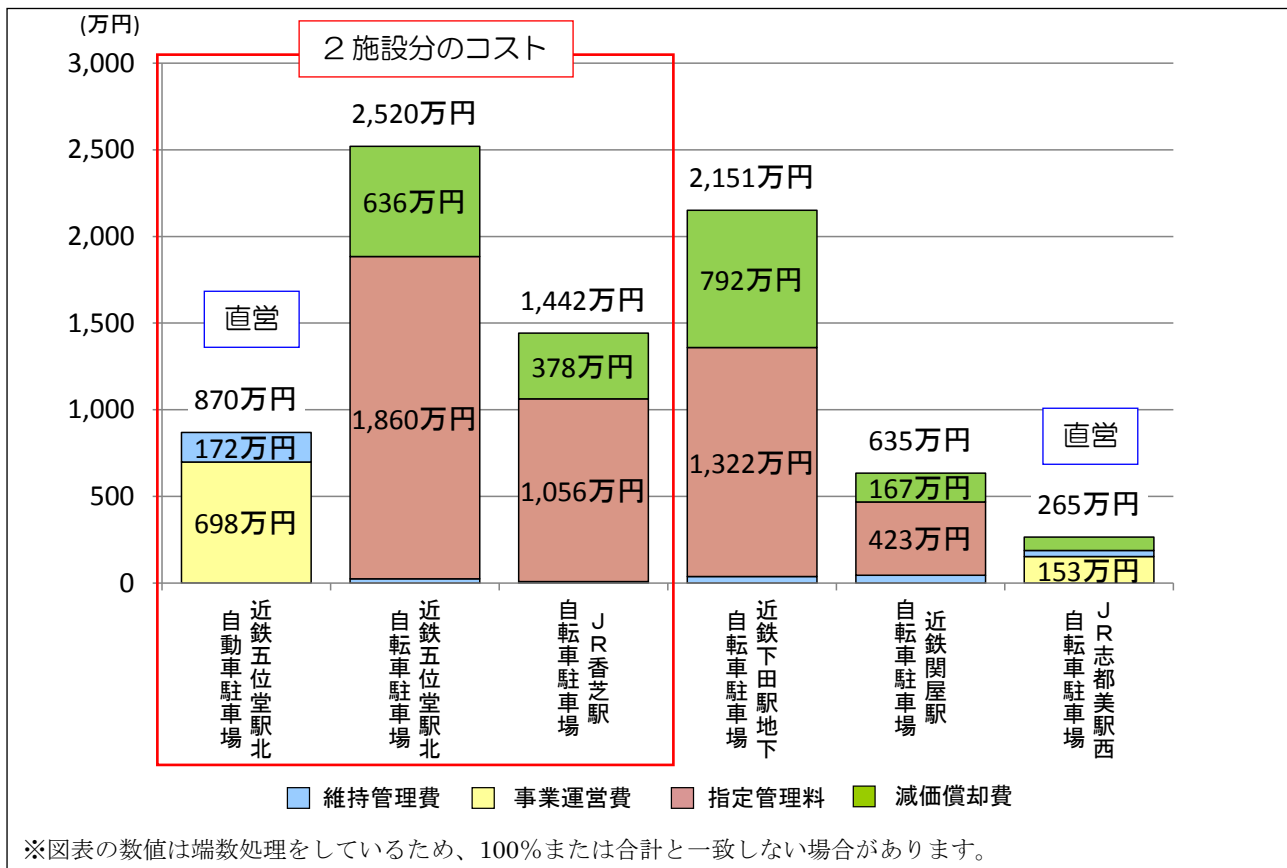
※近鉄五位堂駅北自動車駐車場は平成25年度データ。

駐車場の全施設総コストのうち、指定管理料が4,660万円で全体の約59%を占めています。
 施設別総コストは、志都美駅西自転車駐車場の265万円から、近鉄下田駅地下自転車駐車場の2,151万円となっています。

図表 全施設総コスト（平成24年度）



図表 施設別総コスト（平成24年度）



(8) 旧公民館(シルバー人材センター)

①施設概要

香芝市では、旧公民館を利用して、シルバー人材センターが設置されています。
シルバー人材センターは公益社団法人により運営されています。

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	備考
下田	1 旧公民館(シルバー人材センター)	下田西二丁目1番22号	431.3	昭和37	RC	

※昭和 59：建築年度の赤字は築 30 年以上を示す

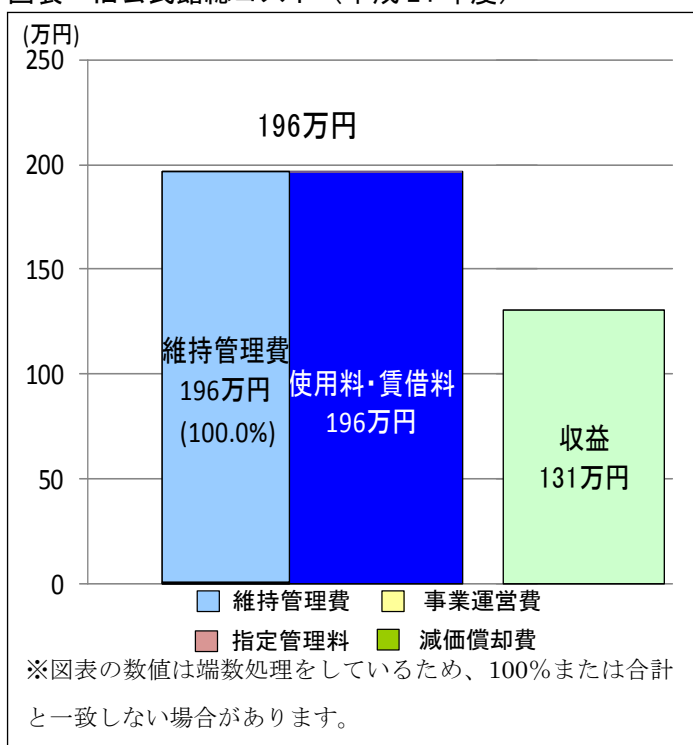
②コスト状況

旧公民館(シルバー人材センター)の年間総コストは、196 万円です。
年間総コストのうち、維持管理費が 196 万円(100%)となっています。当該施設から年間 131 万円の収益があります。

図表 施設経費計算書 (平成 24 年度)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		(円)	旧公民館(シ ルバー人材 センター)
維持 管理 費	燃料費・光熱水費	0	
	修繕料・役務費	0	
	建物管理委託料	0	
	使用料・賃借料	1,962,461	
	工事請負費	0	
	備品購入費その他	0	
	維持管理費計	1,962,461	
営 業 運 費	人件費	0	
	その他事業運営費	0	
	事業運営費計	0	
指定管理料	0		
現金収支を伴うコスト計		1,962,461	
【収益の部】			
収入	使用料	0	
	その他	1,308,388	
収益計		1,308,388	
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】			
コスト	減価償却費	0	
III. 総括			
コストの部合計(総コスト)		1,962,461	
収支差額		654,073	

図表 旧公民館総コスト (平成 24 年度)



③現状及び課題

- 現在旧公民館はシルバー人材センターが使用しているが、今後は青少年センターの敷地も含め、一体的な利用等の検討を行っていく必要がある。

(9) その他

図表 施設一覧

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	備考
下田	1 庁舎	本町1397番地	8,662.14	昭和51	RC	耐震補強等改修工事 実施中 (平成26年9月29日～平成28年3月31日 まで)
下田	2 庁舎附属車庫	本町1397番地	144.0	平成13	S	
下田	3 現業員詰所	本町1397番地	78.7	昭和58	S	
下田	4 下田倉庫・物置	下田西二丁目2番23号	306.7	平成5	S	
下田	5 旧老人福祉センター	下田西一丁目10-39	946.5	昭和51	W	
下田	6 火葬場	下田東五丁目690番地	549.8	平成16	SRC	
三和	7 し尿中継基地	良福寺575番地1	72.6	昭和63	RC	
真美ヶ丘東	8 市営住宅	真美ヶ丘三丁目2番43号	2,167.2	平成17	RC	
真美ヶ丘西	9 収集センター	五ヶ所507番地	918.9	昭和58	RC	
旭ヶ丘	10 ストックヤード	旭ヶ丘一丁目1-1	275.8	平成11	S	
下田	11 消防団第1分団機庫	下田西一丁目1番23号	85.0	平成6	S	
志都美	12 消防団第2分団機庫	上中312番地1外	81.0	平成3	S	
二上	13 消防団第3分団機庫	畑四丁目571番1	90.5	平成7	S	
五位堂	14 消防団第4分団機庫	五位堂五丁目151番地1	68.2	平成6	S	
関屋	15 消防団第5分団機庫	関屋1302番地	78.0	平成6	S	
下田	16 災害備蓄倉庫・物置	本町1397番地	104.7	平成10	S	
下田	17 香芝市地域活動支援センターすみれの里	逢坂一丁目509番地の1	573.6	平成12	S	
五位堂	18 五位堂駅前第二土地区画整理事務所	狐井410	268.6	平成13	S	
五位堂	19 五位堂駅前第二土地区画ポンプ管理棟	下田東三丁目(五位堂駅前第二土地区画整理事業施行地区内8街区1号公園)	37.9	平成17	RC	
五位堂	20 JR五位堂駅トイレ	五位堂五丁目50-1	6.8	平成18	S	
下田	21 今池親水公園	下田西三丁目238-1	234.0	平成12	W	
真美ヶ丘東	22 観正山近隣公園	真美ヶ丘三丁目4番	24.0	昭和60	RC	
鎌田	23 新池親水公園	鎌田515番1	19.0	平成17	S	
二上	24 郡ヶ池近隣公園	高山台三丁目14番12	40.0	平成4	RC	
旭ヶ丘	25 旭ヶ丘近隣公園	旭ヶ丘二丁目5番	34.0	平成4	S	
関屋	26 災害備蓄倉庫・物置 (関屋学童保育所)	関屋北五丁目1-35	91.2	昭和60	S	
下田	27 香芝市陶芸教室	下田西二丁目9-17	90.3	平成6	S	
真美ヶ丘西	28 埋蔵文化財調査棟	真美ヶ丘五丁目4番	110.9	平成16	S	
志都美	29 JR志都美駅トイレ	上中146番	33.7	平成22	RC	
志都美	30 JR志都美駅エレベーター	上中146番	48.0	平成22	S	
下田	31 近鉄下田駅トイレ	下田西四丁目181番地5	14.20	平成23	S	
関屋	32 屯鶴峯トイレ	穴虫2646番地2	19.90	平成23	W	
合計			7,613.65			

※昭和59：建築年度の赤字は築30年以上を示す

第3章 保全の実態把握

第3章 保全の実態把握

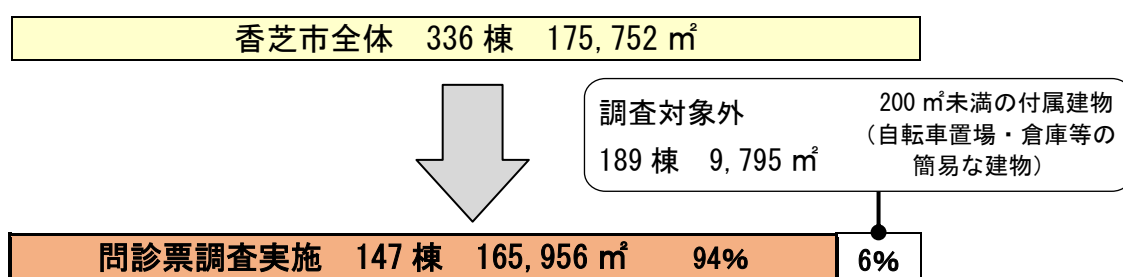
1. 劣化状況評価の進め方

(1) 劣化問診票

① 調査対象の選定

当該建物の機能の不具合により行政サービスに影響があり、かつ建物の不具合を修繕・改修することが財政的に大きい影響があると思われる「延床面積 200 m²以上の建物」及び「200 m²未満で管理運営上調査が必要と思われる建物」を劣化問診票の調査対象とします。

香芝市全体の保有施設、336 棟、延床面積約 17.6 万m²の内、延床面積で 94%にあたる、147 棟、延床面積約 16.6 万m²を対象に問診票調査を実施します。



分類	用途	全体保有施設		問診票対象施設	
		棟数	延床面積	棟数	延床面積
市民文化系施設	文化施設	2棟	11,483m ²	2棟	11,483m ²
	公民館	1棟	2,635m ²	1棟	2,635m ²
社会教育系施設	青少年センター	3棟	936m ²	2棟	913m ²
	その他	1棟	111m ²	-	-
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	6棟	7,711m ²	4棟	7,531m ²
	野外活動センター	1棟	144m ²	-	-
保健福祉施設	保健センター	1棟	1,996m ²	1棟	1,996m ²
	福祉施設	12棟	9,411m ²	3棟	9,019m ²
子育て支援施設	子育て支援センター	1棟	404m ²	1棟	404m ²
	幼稚園	19棟	8,707m ²	14棟	8,664m ²
	保育所	28棟	4,788m ²	8棟	4,540m ²
	学童保育所	12棟	1,443m ²	11棟	1,148m ²
行政系施設	庁舎	9棟	8,662m ²	4棟	8,535m ²
	消防詰所、現業員詰所、災害備蓄倉庫等	5棟	403m ²	-	-
	その他	5棟	419m ²	-	-
学校教育施設	学校（校舎棟）	65棟	81,721m ²	61棟	81,188m ²
	学校（屋内運動場等）	17棟	15,003m ²	16棟	14,869m ²
	学校（その他付属建屋等）	84棟	5,839m ²	4棟	1,202m ²
市営住宅	市営住宅	4棟	2,167m ²	2棟	2,124m ²
公園	公園	16棟	510m ²	-	-
供給処理施設	収集センター、ストックヤード	11棟	1,195m ²	2棟	653m ²
その他	駐車場・駐輪場	18棟	7,238m ²	5棟	6,816m ²
	シルバー人材センター、陶芸教室、火葬場、旧老人福祉センター等	15棟	2,826m ²	6棟	2,235m ²
	計	336棟	175,752m ²	147棟	165,956m ²

②問診票調査の方法

多くの建物調査を専門家に依頼すると、多大なコストがかかります。建物ごとに1枚の簡単な調査票を配布し、施設管理者または所管課に回答を求めることで、劣化状況等を確認し、問題のある建物を抽出できます。そのため、建築の専門知識が無くても抵抗なく記入できる簡易な調査票とし、写真等を交え、専門用語を避けた分かりやすい記入マニュアルを用意します。今後、調査票の書式やマニュアルをカスタマイズし、継続的な実態把握につなげます。

問診票サンプル

番号		XXXX	平成26年度調査			
施設名		〇〇施設	調査日	平成26年8月1日		
主管課名		〇〇課	記入者	〇〇		
棟名		〇〇館	建築年度	昭和60年度(1985年度)		
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,300 m ²	階数	地上 3階 地下 0階	

部位ごとに、仕様と劣化状況を選択(■)し、故障回数・劣化か所数を「数」欄に、及び直近の工事履歴を記入して下さい。

部位	仕様 (該当する場合のみ)	劣化状況 (複数回答可)	数	直近の工事履歴	
				年度	工事内容
1 屋根・屋上	<input checked="" type="checkbox"/> 保護防水(屋上に常時出られる) <input type="checkbox"/> 上記以外の屋上(露出防水等) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(金属板葺き等) <input type="checkbox"/> その他の屋根()	<input checked="" type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある	3	H20	防水改修 部分修繕
		<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
		<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ等がある			
		<input type="checkbox"/> 屋根材に錆・損傷がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 石またはタイル張りがある (壁全面または落下の危険性があるような部分に限る) <input checked="" type="checkbox"/> 吹付け <input type="checkbox"/> その他の外壁()	<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		H20	外壁改修 部分修繕
		<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
		<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
		<input checked="" type="checkbox"/> 大きな亀裂がある	10		
3 外部開口部	<input type="checkbox"/> 普通サッシ、単板ガラス <input checked="" type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス	<input checked="" type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある	5		建具改修 部分修繕
		<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆が多くみられる			
4 内部仕上げ (室内)	<input type="checkbox"/> 高い天井の大空間(ホールや体育室等)がある	<input type="checkbox"/> コンクリートの床・壁にヒビがある			便所改修 全面改修
		<input type="checkbox"/> 天井が破損し落下の危険がある			
		<input type="checkbox"/> 床仕上材に使用上の支障がある			
5 電気設備	<input type="checkbox"/> 照明器具の改修をしたことがある <input checked="" type="checkbox"/> 特殊な電気設備(高圧引き込み、蓄電池等)がある <input checked="" type="checkbox"/> 自家発電設備がある	<input type="checkbox"/> 機器が全面的に錆びている			照明改修 受変電改修
		<input type="checkbox"/> 照明器具落下の危険がある			
		<input type="checkbox"/> 機器が頻繁に故障する			
		<input type="checkbox"/> 業者や行政庁から指摘がある			
6 給水設備	<input type="checkbox"/> 直結方式(ポンプ、水槽等が無い) <input checked="" type="checkbox"/> ポンプ、受水槽、高置水槽がある	<input type="checkbox"/> 水質・水量等で使用に支障がある			ポンプ交換 配管改修
		<input checked="" type="checkbox"/> ポンプで異音、漏水がある	1		
		<input type="checkbox"/> 業者や行政庁から指摘がある			
7 排水設備	<input checked="" type="checkbox"/> 下水道接続 <input type="checkbox"/> 浄化槽がある	<input type="checkbox"/> 衛生器具等で使用に支障がある			ポンプ交換 配管改修
		<input type="checkbox"/> ポンプで異音、漏水がある			
		<input type="checkbox"/> 業者や行政庁から指摘がある			
8 空調設備	<input type="checkbox"/> 個別方式(パッケージ空調機) <input checked="" type="checkbox"/> 中央方式(空調機械室または屋外に大型の機器がある)	<input type="checkbox"/> 空調機等で使用に支障がある			空調改修
		<input checked="" type="checkbox"/> 機器に異音、異臭、漏水がある	1		
		<input type="checkbox"/> 業者や行政庁から指摘がある			
9 その他設備	<input checked="" type="checkbox"/> エレベーター等の昇降機がある <input type="checkbox"/> 機械式の駐車設備がある <input checked="" type="checkbox"/> 融雪装置がある	<input type="checkbox"/> 通常の使用に支障がある			エレベーター改修
		<input type="checkbox"/> 機器が頻繁に故障する			
		<input type="checkbox"/> 業者や行政庁から指摘がある			
10 外構	<input type="checkbox"/> 粗積造・CB造の塀がある <input checked="" type="checkbox"/> 擁壁がある	<input type="checkbox"/> 地盤沈下による不具合がある			
		<input type="checkbox"/> 塀・擁壁に倒壊の危険がある			
		<input checked="" type="checkbox"/> 舗装に凹凸があり危険	8		

その他の不具合等があれば自由に記入して下さい。

- ・建物周囲に10cm程度の地盤沈下がある。
- ・コンクリート製の庇がひび割れており、落下の危険性がある。
- ・外灯のポール部分が腐食し、倒れる危険性がある。
- ・屋上に土砂が堆積し雑草が生えている。
- ・テラスの木の柱が蟻害によって腐朽している。

③問診票調査結果

- 全体の8割の建物で不具合を把握しています。
- 設備の不具合に関する回答は比較的少ないですが、適切な改修・補修がされているか確認する必要があります。
- 劣化事象別には、屋根・屋上の雨漏り、外壁の亀裂、内部の床・壁の亀裂が多く見られます。
- 築30年以上の建物に劣化事象が多く見られます。
- 築40年前後の建物で屋根、外壁の改修実績が多くあり、その中で特に学校施設に多く見られます。耐震補強にからめて行われているようです。
- 全体的に劣化が進行している施設があります。
- 外壁は雨漏り箇所が多く、特に学校で劣化が進んでいます。
- 築年のわりに劣化が進んでいる施設が数棟あります。

2. 用途・部位別建物状況

(1) 用途別建物状況

建物用途の細分類で、保有状況、劣化状況、仕様と修繕・改修履歴の観点で建物の実態を把握し、課題認識を行います。

①市民文化系施設

ア 文化施設 (2 施設、2 棟、1.1 万㎡)

建物概要								工事履歴										耐震計画		
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
35	香芝市ふたかみ文化センター	文化センター	1991	23	RC	3	1	8,502											不要	不要
36	香芝市モナミホール	ホール	1979	35	RC	3	1	2,981	不明	不明	不明								実施済み	未実施(予定なし)

■保有状況

- 香芝市の文化施設は 2 棟、1.1 万㎡で、いずれも保全対象です。
- 「香芝市モナミホール」は築 35 年で、「香芝市ふたかみ文化センター」は築 23 年となっており、「香芝市ふたかみ文化センター」は比較的新しい施設です。
- 構造は 2 施設とも RC 造で、いずれも地上 3 階、地下 1 階の 4 層の建物です。
- 「香芝市ふたかみ文化センター」はホール以外に、1 F に二上山博物館、3 F に香芝市図書館等があり、多目的利用施設となっています。



築後年数 23 年の
「香芝市ふたかみ文化センター」



築後年数 35 年の
「香芝市モナミホール」

「香芝市ふたかみ文化センター」

主な劣化状況

屋上防水の劣化



シート防水が劣化している。雨漏りもあるため、早急な改修を検討する必要がある。

屋外設備の劣化



排煙機及びダクトの錆が発生している。

外壁開口部周辺のひび割れ



開口部周辺にひび割れが見られる。雨水が浸入し、躯体の劣化につながる恐れがある。

外壁のひび割れ



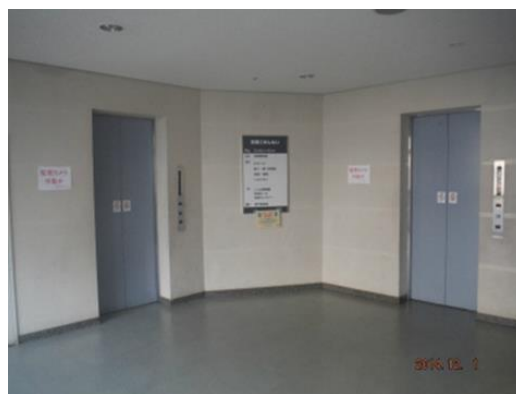
大きなタイルのひび割れが見られる。構造的にも影響している可能性があるため、詳細な診断が必要である。

はめ殺し窓の劣化



ガラス窓、ブロックガラスの目地シール材の劣化が多数見られる。

エレベーターの既存不適格



E Vに遮煙性能が設けられていない。

■劣化状況

- シート防水が劣化し、雨漏りもあります。
- 外壁タイルに大きなひび割れが見られ、構造的にも影響している可能性があります。
- エレベーター設備の既存不適格等、点検業者や行政庁からの指摘があります。
- 排煙設備の作動不良、非常用照明の不点灯等の不具合があります。

■仕様

- 構造はRC造となっています。
- 屋根・屋上は保護防水となっています。
- 外壁はタイル貼りとなっています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスの他、断熱サッシ、省エネガラスが設けられています。
- 空調は中央方式で、自家発電設備を備えています。

■維持管理

- 直近では、修繕・改修工事は行われていません。

■課題

- 屋上・屋根から漏水しており、躯体等への影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要です。
- 外壁においても漏水、ひび割れ等の劣化があるため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- エレベーター設備等の既存不適格があり、安全性の観点から、改善の検討が必要です。
- 建築設備の不具合が多数見られ、点検業者や行政庁からの指摘があるため、早急な対応が必要です。
- 築年のわりに全体的に劣化が進んでおり、計画的な修繕・改修工事がが必要です。

「香芝市モナミホール」

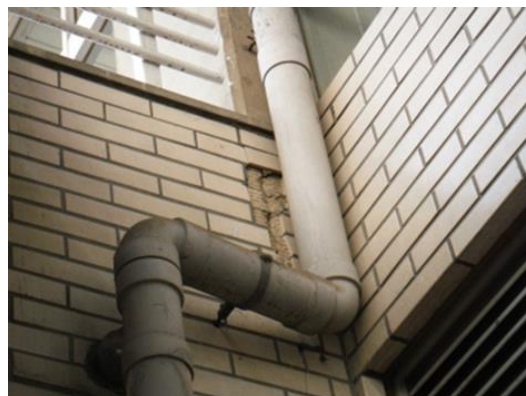
主な劣化状況

屋根材の劣化



折板屋根の錆による腐食が多数見られる。既に雨漏りもあるため、早急な改修を検討する必要がある。

外壁タイルの剥離



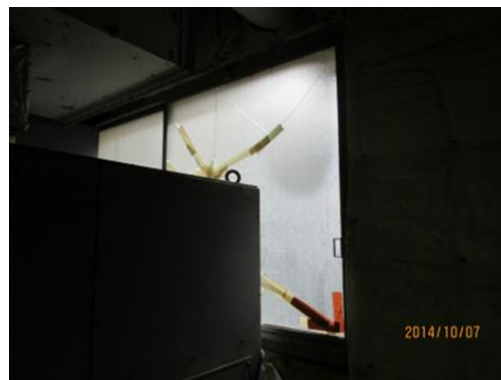
外壁タイルが剥離している。タイルが落下し事故につながる恐れがある。

内部仕上げのひび割れ



壁面にひび割れが発生している。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。

開口部の劣化



ガラスが破損し、サッシも劣化している。雨水が浸入し躯体の劣化につながる恐れがある。

屋外床タイルの劣化



屋外床タイルが剥がれている。美観を損なうだけでなく、歩行者への影響も懸念される。

屋外設備の劣化



膨張タンク及びファン機器本体架台が錆で劣化している。

■劣化状況

- 折板屋根の錆による腐食が多数見られます。既に雨漏りもあるため、早急な改修が必要です。
- 外壁においても漏水、ひび割れ等の劣化があります。
- 建築設備の不具合が多数見られ、点検業者や行政庁からの指摘があります。
- 屋外床タイルの著しい劣化がみられます。
- 外周の雨水管の破損が多数あります。

■仕様

- 構造は2施設ともにRC造です。
- 屋根・屋上は金属葺きとなっています。
- 外壁はタイル貼りとなっています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスとなっています。
- 空調は中央方式となっています。

■維持管理

- 屋根・屋上の防水工事、外壁及び内部仕上げの部分修繕が行われています（工事実施年度は不明）。

■課題

- 旧耐震の建物ですが、耐震補強が図られていないため、計画の策定及び工事の実施が必要です。
- 屋上・屋根から漏水しており、躯体等への影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要です。
- 外壁においても漏水、ひび割れ等の劣化があるため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- 建築設備の不具合が多数見られ、点検業者や行政庁からの指摘があるため、早急な対応が必要です。

イ 公民館（1施設、1棟、0.3万㎡）

建物概要									工事履歴								耐震計画			
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
138	香芝市中央公民館	公民館	1979	35	RC	3	0	2,635	H22	H25			H23	H25		H23	(H22)		実施済み	実施予定

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象の公民館は「香芝市中央公民館」の1棟です。
- 築35年でRC造の建物となっています。

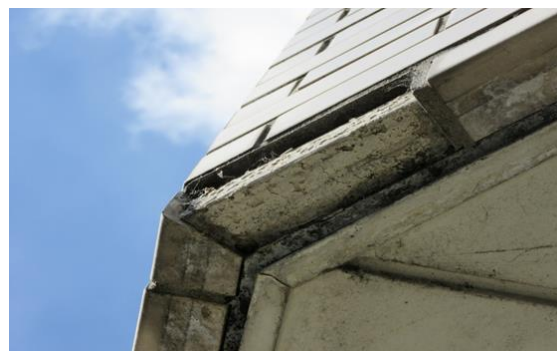
主な劣化状況

屋根材の劣化



屋根の錆による腐食が多数見られる。既に雨漏りもあるため、早急な改修を検討する必要があります。

タイルの割れ・剥れ



エントランスポーチのタイルの割れ・剥がれがみられる。落下し事故につながる恐れがあるため、注意が必要である。

■劣化状況

- 折板屋根の錆による腐食が多数見られます。既に雨漏りもあるため、早急な改修が必要です。
- 屋上に土砂が堆積し雑草が生えています。
- 外壁においても漏水、ひび割れ等の劣化があります。
- エントラスポーチのタイルに割れ・剥がれがあります。

■仕様

- 構造はRC造となっています。
- 屋根・屋上は保護防水、金属屋根葺き等となっています。
- 外壁はタイル貼り及び吹きつけとなっています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスとなっています。
- 屋外受変電設備を備えています。

■維持管理

- 近年において、屋根・屋上、外壁の部分修繕のほか、電気、給水、空調等設備の改修工事が実施されています。

■課題

- 屋上の小規模修繕を繰り返し実施しましたが、降雨時には漏水しています。
- 外壁においても漏水、鉄筋露出等の劣化があるため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- エントラスのポーチタイルの割れ・剥がれがある危険箇所については、人が近づかないなどの対策が必要です。

②社会教育系施設（1施設、2棟、0.1万㎡）

建物概要									工事履歴								耐震計画			
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
93	青少年センター	既存	1980	34	RC	3	0	654											実施済み	未実施(予定なし)
94		増築	1991	23	RC	3	0	259					(H3)				(H3)		実施済み	不要

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とする棟は青少年センターの1施設、2棟、0.1万㎡です。
- 構造がRC、地上3階の建物です。
- 築年は34年で、平成3年に増築されています。

主な劣化状況

廊下のひび割れ



既存棟

3階廊下で大きなひび割れが見られる。ひび割れ幅が拡大しないよう経過観察が必要である。

天井の結露痕



既存棟

1F女子トイレの天井漏水痕が見られる。

外壁開口部周辺のひび割れ



増築棟

外壁開口部がひび割れしており、錆汁も確認できる。美観を損なうだけでなく、ひび割れから浸水し、躯体の劣化を進行させる恐れがある。

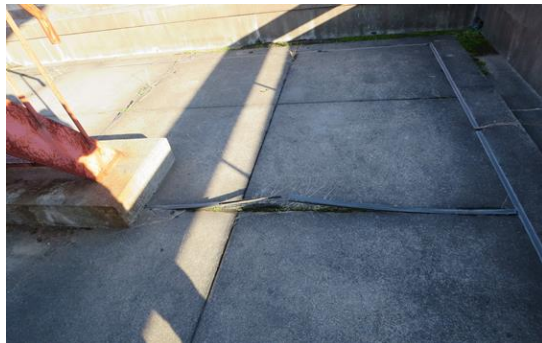
雨水の浸入



増築棟

暴風雨時に外壁から雨水が進入している。躯体の劣化につながるため早急な対応が必要である。

屋上保護防水の劣化



増築棟

屋上保護防水のゴムがめくれ上がっている。現時点で雨漏りはないが、躯体等への影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要である。

内部仕上げのひび割れ



増築棟

3階多目的室の内部仕上げで大きなひび割れが見られる。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。

■劣化状況

- 全体的に屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化が進行しています。
- 外壁開口部からの著しい漏水が見られます。
- 「増築棟」の屋上保護防水がめくれています。
- 建築設備に関する不具合はありません。

■仕様

- 屋根・屋上はアスファルト防水（非歩行用）となっています。
- 外壁は吹付けとなっています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスとなっています。
- 浄化槽が設けられています。

■維持管理

- 「増築棟」において電気設備、その他設備の工事履歴がみられます。

■課題

- 屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化が進行しているため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- 特に、外壁及び開口部廻りでの漏水が見られ、早急な対応が必要です。
- 設備の不具合に関する回答はほとんどありませんが、適切な修繕・改修がされているか確認する必要があります。

③スポーツ施設

ア 体育館（2施設、3棟、0.7万㎡）

建物概要								工事履歴										耐震計画		
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
140	香芝市総合体育館	体育館	1977	37	RC	3	0	5,747	不明	不明		不明	不明		(不明)				実施済み	未実施(予定なし)
141		サブ体育館	1977	37	S	2	0	380	H20	不明		不明							実施済み	不要
142	香芝市北部地域体育館	体育館	1978	36	RC	1	0	660	H22	不明	不明	不明							実施済み	実施済み

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とする棟は2施設、3棟、0.7万㎡です。
- 築年でみると、いずれも30年以上となっています。
- 構造でみると「香芝市総合体育館（メイン）」「香芝市北部地域体育館」はRCで、「香芝市総合体育館（サブ）」はS造となっています。
- 「香芝市総合体育館（メイン）」は約5,700㎡の延床面積で、観覧席やトレーニングルームが設けられています。
- 「香芝市総合体育館（メイン）」は耐震補強工事が必要ですが、工事予定は未定となっています。



築後年数37年の
「香芝市総合体育館（メイン）」



築後年数36年の
「香芝市北部地域体育館」

主な劣化状況

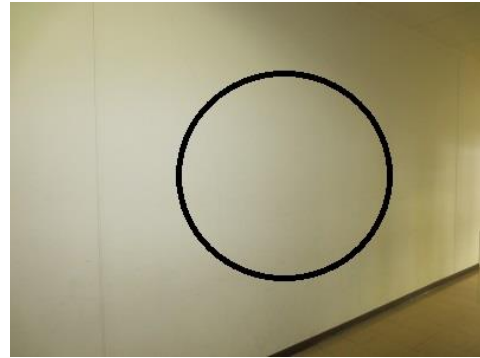
外壁のひび割れ



香芝市総合体育館（メイン）

ひび割れ幅は小さいが、長さが大きいので、構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。上記写真箇所以外にも数箇所と同様のひび割れがみられる。

内部仕上げのひび割れ



香芝市総合体育館（メイン）

ひび割れ幅は小さいが、長さが大きいので、構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。上記写真箇所以外にも数箇所と同様のひび割れがみられる。

外壁のひび割れ



香芝市総合体育館（サブ）

外壁の目地に沿ったひび割れや部材先端での大きなひび割れがみられる。錆のような汚れもあり、鉄筋にまで影響している可能性が高い。

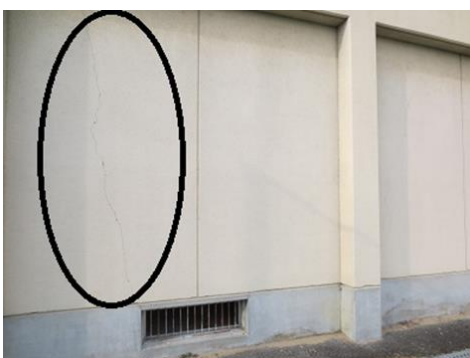
内部仕上げの劣化



香芝市総合体育館（サブ）

雨漏りによる石膏ボード板剥離と雨漏り跡がみられる。躯体への影響が懸念される。

外壁のひび割れ



香芝市北部地域体育館

通気口に向かって大きなひび割れがみられる。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。上記写真箇所以外にも数箇所と同様のひび割れがみられる。

内部仕上げのひび割れ



香芝市北部地域体育館

内部仕上げで大きなひび割れがみられる。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。上記写真箇所以外にも数箇所と同様のひび割れがみられる。

■劣化状況

- 各棟ともに外壁、内部仕上げの劣化が進行しており、「香芝市北部地域体育館」では吹き降りによる雨が館内まで漏ることがあります。
- 「香芝市総合体育館（メイン・サブ）」では採光式の屋根からの雨漏りがあります。
- 外壁、内部仕上げのひび割れについては、比較的長い寸法のものが見られます。
- 「香芝市総合体育館（メイン）」では、自家発電設備及び空調設備に関する不具合があります。
- 「香芝市総合体育館（メイン）」では、屋外に数箇所ある街路灯等が経年劣化により使用不可の状態です。

■仕様

- 屋根・屋上は「香芝市総合体育館（メイン）」、「香芝市北部地域体育館」が金属葺き、「香芝市総合体育館（サブ）」保護防水となっています。
- 外壁は各棟とも吹付けとなっています。
- 外部開口部は各棟とも普通サッシ、単板ガラスとなっています。

■維持管理

- 外壁および内部仕上げのひび割れ部分については、各棟ともに塗装による修理跡がみられます（工事実施年度不明）。

■課題

- 「香芝市総合体育館（メイン）」は耐震補強工事が必要であるため、計画の策定及び工事の実施が必要です。
- 各棟で雨漏りがみられ、外壁、内部仕上げの劣化が進行しており、躯体等の劣化の影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要です。
- 「香芝市総合体育館（メイン）」では、自家発電設備、空調設備、屋外街路灯等に関する不具合があるため、適切な修繕・改修を実施する必要があります。

イ プール施設（1施設、1棟、0.1万㎡）

建物概要								工事履歴										耐震計画		
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
146	総合プール	管理事務所棟	1984	30	RC	2	1	744											不要	不要

■保有状況

- 保全対象とする棟は1施設、1棟、0.1万㎡です。
- 構造がRC、地上2階地下1階の建物で、築年は30年となっています。
- 耐震補強工事は不要となっています。



築後年数30年の
「総合プール」

主な劣化状況

外壁のひび割れ



外壁で小さなひび割れがみられる。上記写真箇所以外にも数箇所と同様のひび割れがみられるため、拡大しないよう経過観察が必要である。

内部仕上げのひび割れ



外壁と同様、内部の壁面でも小さなひび割れがみられる。上記写真箇所以外にも数箇所と同様のひび割れがみられるため、拡大しないよう経過観察が必要である。

床面のひび割れ



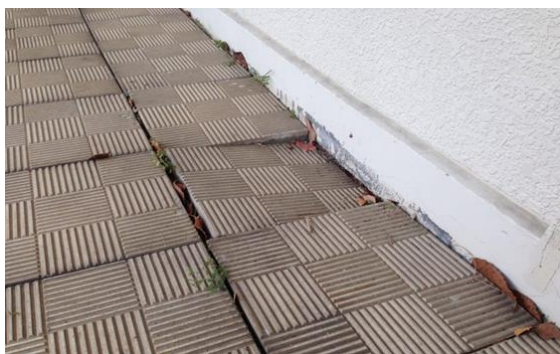
床面タイルが劣化し、ひび割れがみられる。上記写真箇所以外にも数箇所と同様のひび割れがみられるため、拡大しないよう経過観察が必要である。

プールサイド壁面の劣化



壁面の大きなひび割れがみられる。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。

プールサイド床の劣化



プールサイド床タイルが陥没している。上記写真箇所以外にもインターロッキングのひび割れが10箇所以上で見られる。歩行者が怪我する恐れがあるため、改修の検討が必要である。

プールサイド日よけテントの劣化



日よけテントの鉄柱で錆が発生しており、強度や安全性が低下している。

- 外壁、内部仕上げの劣化が進行しており、多数のひび割れがみられます。
- プールサイドが全体的（床、日よけテント等）に劣化しています。
- 建築設備に関する不具合はありません。

■仕様

- 屋根・屋上はアスファルトシングル葺及びアスファルト防水の上磁器タイル貼となっています。
- 外壁は吹付けとなっています。

■維持管理

- 修繕・改修工事は行われていません。

■課題

- 外壁、内部仕上げで多数のひび割れがみられるため、ひび割れ幅が拡大しないよう経過観察が必要です。
- プールサイドが全体的（床、日よけテント等）に劣化しているため、適切な修繕・改修を実施する必要があります。

④保健福祉施設（3施設、4棟、1.1万㎡）

建物概要								工事履歴								耐震計画				
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
80	香芝市総合福祉センター	総合福祉センター	1998	16	RC	3	0	7,978											-	-
88		ゲートボール場	1998	16	S	1	0	467												
91	香芝市地域活動支援センターすみれの里	すみれの里	2000	14	S	2	0	574	H25										-	-
92	香芝市保健センター	保健センター	2012	2	RC	3	0	1,996											-	-

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とする棟は3施設、4棟、1.1万㎡です。
- いずれの棟も築年数が20年未満で比較的新しく、「保健センター」については築年数が2年となっています。



築後年数16年の
「香芝市総合福祉センター」



築後年数2年の
「香芝市保健センター」

主な劣化状況

屋上テラスパネルの劣化



香芝市地域活動支援センターすみのの里
 屋上テラスパネルが劣化し、錆で腐食している。上記写真箇所以外にも数箇所同様の劣化が見られるため、躯体への影響が懸念される。

天井の雨漏り



香芝市総合福祉センター
 訓練室天井で雨漏りが見られる。上記写真箇所以外にも数箇所同様の雨漏りがみられるため、早急な対応が必要である。

外壁パネルのひび割れ



香芝市総合福祉センター
 外壁で大きなひび割れが数箇所みられる。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。

鉄骨の錆



香芝市総合福祉センター（ゲートボール場）
 屋根の骨組みで全体的に錆が見られる。腐食が進行する前に錆を落とし、塗装の塗り替えが必要である。

開口部付近の雨漏り



香芝市総合福祉センター
 女子更衣室内窓で雨漏りが見られる。躯体への影響が懸念される。

建築設備の劣化



香芝市総合福祉センター
 給水ポンプの漏水や、浴場循環濾過装置の不具合等、建築設備の劣化が多数見られる。施設運営に大きく影響するため、早急な対応が必要である。

■劣化状況

- 全体的に屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化が進行しています。
- 「総合福祉センター」では外壁開口部で、「地域活動支援センターすみれの里」では屋根・屋上から漏水が見られます。
- 「総合福祉センター」では、給水ポンプの漏水等の不具合が数点見られます。

■仕様

- 屋根・屋上は「ゲートボール場」をのぞき、アスファルト防水となっています。
- 外壁は「総合福祉センター」、「地域活動支援センターすみれの里」では吹付け、「香芝市保健センター」ではタイル及び複層塗材となっています。
- 外部開口部は、「香芝市保健センター」では断熱サッシとなっています。

■維持管理

- 「地域活動支援センターすみれの里」では、H25年に屋根・屋上の工事履歴がありますが、現時点で漏水の劣化事象があります。

■課題

- 築年数が新しいため、全体的に劣化の度合いは小さいですが、屋根・屋上及び外壁開口部廻りでの漏水が見られる箇所については、早急な対応が必要です。
- 「総合福祉センター」では、給水ポンプの漏水等の不具合が数点あるため、適切な修繕・改修を実施する必要があります。

⑤子育て支援施設

ア 子育て支援センター（1施設、1棟、0.04万㎡）

建物概要								工事履歴								耐震計画				
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
51	香芝市子育て支援センター(旭ヶ丘第2学童保育所を含む)	子育て支援センター	2007	7	S	2	0	404											不要	不要

■保有状況

- S造、地上2階建てで、延床面積が404㎡の建物です。
- 築年7年の新しい建物です。



築後年数7年の
「子育て支援センター」

主な劣化状況

外壁の雨漏り



雨が降ると、南西の内壁と床の境目から結露ではない雨漏れ等と思われる漏水があり、床面の絨毯が濡れることがある。

開口部廻りの雨漏り



窓・ドア廻りでの漏水が1箇所みられる。

■劣化状況

- 外壁からの雨漏りと思われる漏水がみられます。
- 窓・ドア廻りでの漏水が1箇所みられます。

■仕様

- 屋根・屋上はカラーガルバリウム鋼板となっています。
- 外壁はALC標準パネルとなっています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスとなっています。

■維持管理

- 修繕・改修工事は行われていません。

■課題

- 築年7年の新しい建物ではありますが、外壁及び開口部廻りでの漏水が見られ、早急な対応が必要です。

イ 保育所・幼稚園（15施設、22棟、1.3万㎡）

建物概要								工事履歴										耐震計画		
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
52	五位堂保育所	北園舎	1990	24	S	1	0	254											—	—
53		東園舎	1977	37	S	2	0	472											実施済み	実施済み
58	若葉保育所	南園舎	1977	37	S	2	0	320	(H16)	(H16)	(H16)	(H16)	(H16)	(H16)	(H16)	(H25)	(H24)		実施済み	—
59		北園舎	1980	34	S	2	0	676											実施済み	—
65	みつわ保育所	保育所	1967	47	S	1	0	514									(H24)		実施済み	実施予定
68	二上保育所	保育所	1982	32	S	2	0	879									(H24)		—	—
72	志都美保育所	保育所	1971	43	S	1	0	520	(H13)	(H13)	(H13)	(H13)		(H13)	(H13)	(H13)	(H13)		実施済み	実施済み
78	真美ヶ丘保育所	保育所	1984	30	S	2	0	905	H25								(H24)		—	—
317	下田幼稚園	保育・管理棟	1970	44	S	2	0	878	H24	H24	(H25)	(H25)		H24	H24				実施済み	実施済み
318		保育棟	1986	28	S	2	0	252											実施済み	実施済み
319	五位堂幼稚園	園舎	1971	43	S	2	0	868	H25	H25	H25		H25						実施済み	実施済み
320	二上幼稚園	保育棟	1972	42	S	2	0	573	H23	H23	(H23)	(H23)		H23	(H23)	(H23)	(H23)		実施済み	実施済み
323	志都美幼稚園	保育棟	1973	41	S	2	0	471									(H12)		実施済み	実施予定
324		保育・管理棟	1987	27	S	2	0	245											—	—
327	関屋幼稚園	保育棟	1975	39	S	2	0	683	H24	H24	H24	(H24)	H24	(H24)	(H24)	(H24)	(H24)		実施済み	実施済み
328		保育棟	1978	36	S	2	0	210						(H25)	(H25)				実施済み	実施済み
330	三和幼稚園	保育棟	1975	39	S	2	0	655		(H24)	(H24)	(H24)		(H24)	(H24)		(H24)		実施済み	実施済み
331		保育棟	1987	27	S	2	0	320											—	—
332	真美ヶ丘東幼稚園	保育・管理棟	1987	27	S	2	0	1,037											—	—
333		保育棟	1992	22	S	2	0	206											—	—
334	鎌田幼稚園		1987	27	S	2	0	818											—	—
335	旭ヶ丘幼稚園	園舎	2004	10	RC	2	0	1,448											—	—

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保育所・幼稚園施設で保全対象とする棟は 15 施設、22 棟、1.3 万㎡です。
- 築年は 30～40 年以上が大半を占めます。
- 構造で見ると「旭ヶ丘幼稚園（園舎）」を除く全ての棟が S 造です。
- 「旭ヶ丘幼稚園（園舎）」は築年 10 年で最も新しく、構造は RC となっています。
- 規模は概ね 1,000 ㎡以下となっています。
- 耐震補強工事は概ね完了しており、「みつわ保育所」、「志都美幼稚園」は今後実施予定となっています。



築後年数 47 年の
「みつわ保育所」



築後年数 10 年の
「旭ヶ丘幼稚園」

主な劣化状況

漏水跡、雨樋の劣化



真美ヶ丘東幼稚園

軒先の雨樋が劣化し、漏水痕が見られる。躯体の劣化に大きく影響している可能性があるため、早急な改修を検討する必要がある。

外壁のひび割れ



真美ヶ丘保育所

外壁で大きなひび割れが数箇所見られる。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。

外壁塗装の浮き



志都美幼稚園

外壁吹付材の浮きがみられる。雨水等がコンクリート中に浸入し、躯体の耐久性に影響を及ぼす恐れがあるため、詳細な診断が必要である。

天井ブレースの劣化



下田幼稚園

廊下天井ブレースが錆で劣化している。劣化が進行すれば、ブレースのたわみや破断が起り、構造強度の低下を招く恐れがある。

内部床面のひび割れ



二上保育所

廊下床材のひび割れが見られる。つまずいたり、足を怪我する恐れがあるため、注意が必要である。

屋外階段の劣化



鎌田幼稚園

全面的に錆が発生しており、強度や安全性が低下している恐れがある。落下事故等につながる恐れがあるため、注意が必要である。

■劣化状況

- 全体的に屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化が進行しています。
- 外壁で大きなひび割れが数箇所見られ、構造的なひび割れの可能性があります。
- 雨樋が錆で劣化している棟が数棟で見られます。
- 建築設備に関する不具合はほぼありません。

■仕様

- 屋根・屋上は金属葺きが多くを占めています。
- 外壁は吹付けが多くを占めています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスが多くを占めています。

■維持管理

- 約半数の棟で屋上・屋根、外壁、建築設備の改修工事が行われています。
- 工事が実施されて棟では、概ね不具合に関する回答はありません。

■課題

- 耐震化実施予定の棟については、計画通り実施する必要があります。
- 築年 30～40 年以上が大半を占めており、屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化が進行しているため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- 改修工事が行われている棟では、概ね不具合に関する回答はありませんでしたが、その他の棟でも、同様に改修を実施していく必要があると考えられます。
- 設備の不具合に関する回答はほとんどありませんが、適切な修繕・改修がされているか確認する必要があります。

ウ 学童保育所（10 施設、11 棟、0.1 万㎡）

建物概要								工事履歴										耐震計画		
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
125	下田学童保育所	保育所	2004	10	S	1	0	273											-	-
127	関屋学童保育所	保育所	2011	3	RC	1	0	68												
128	五位堂学童保育所	保育所	1982	32	RC	1	0	87												
129	二上学童保育所	保育所	2002	12	S	1	0	94											-	-
131	鎌田学童保育所	保育所	1988	26	S	1	0	58											-	-
132	真美ヶ丘東学童保育所	保育所	1990	24	S	1	0	99											-	-
133	真美ヶ丘東学童保育所	保育所	2009	5	S	1	0	99											-	-
134	真美ヶ丘西学童保育所	保育所	1988	26	S	1	0	99											-	-
135	旭ヶ丘第1学童保育所	保育所	2003	11	S	1	0	140											-	-
136	三和学童保育所	保育所	1985	29	S	1	0	58											-	-
137	志都美学童保育所	保育所	1985	29	S	1	0	73											-	-

■保有状況

- 学童保育所で保全対象とする棟は 11 施設、10 棟、0.1 万㎡です。
- 築年は各棟様々ですが、約半数が、築年 10 数年以下の比較的新しい建物となっています。
- 構造で見ると概ね S 造で、「関屋学童保育所」、「五位堂学童保育所」が RC 造となっています。
- 全て地上 1 階の建物で、規模は概ね 100 ㎡以下となっています。
- 全て耐震化工事は不要です。

主な劣化状況

外部開口部の劣化



真美ヶ丘西学童保育所

コーキング処理の跡が多数見られるが、処理跡が劣化しており、雨水の浸入が懸念される。

屋根・屋上の劣化



真美ヶ丘東学童保育所

雨漏り箇所が多数みられる。下地材の腐食等、躯体の劣化が進行している可能性がある。

床部材の劣化



真美ヶ丘西学童保育所

床の下地が腐食し、たわんでいる箇所が多くある。

内部仕上げの劣化



真美ヶ丘東学童保育所

ブレーカー付近の壁から水漏れが見られ、危険である。

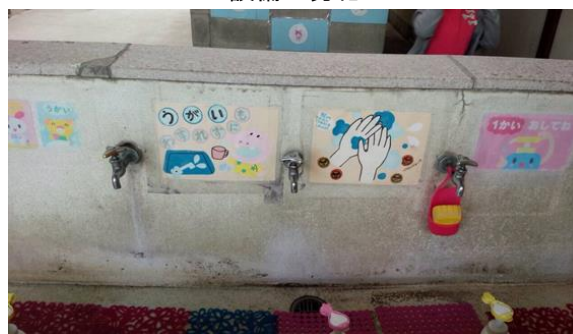
トタン屋根の劣化



真美ヶ丘東学童保育所

ネジがはずれ、強風時にめくれあがることもある。

設備の劣化



五位堂学童保育所

劣化が進んでおり、コンクリートにひび、また、蛇口も錆びており、衛生面での問題も懸念される。

■劣化状況

- 約半数で屋根・屋上、内部仕上げの劣化が進行しています。
- 築年が新しい建物については、比較的不具合は少ないですが、「関屋学童保育所」では、築年3年にもかかわらず雨漏りしています。
- 内部仕上げの不具合事象では、床のたわみや壁面のはがれ等が数棟で見られます。
- 一部の棟で、電気設備、給水設備、空調設備の不具合が見られます。

■仕様

- 屋根・屋上はほとんどが鉄板葺ですが、「下田学童保育所」では日本瓦、「旭ヶ丘第1学童保育所」では塗膜防水となっています。
- 外壁はほとんどサイディングボードですが、「下田学童保育所」及び「旭ヶ丘第1学童保育所」ではタイルとなっています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスが多くを占めています。

■維持管理

- 修繕・改修工事は行われていません。

■課題

- 屋根・屋上の劣化が進行しているため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- 特に雨漏りがある「関屋学童保育所」、「五位堂学童保育所」、「真美ヶ丘東学童保育所」では早急な対応が必要です。
- 床のたわみ、外部トタン屋根の劣化、外部手洗い場の破損、天井扇風機の劣化等については、児童の安全衛生面に大きく影響するため、早急な対応が必要です。
- 設備の不具合に関する回答はほとんどありませんが、適切な修繕・改修がされているか確認する必要があります。

⑥行政系施設（1施設、4棟、0.9万㎡）

建物概要								工事履歴								耐震計画				
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
1	庁舎	庁舎	1976	38	RC	6	1	6,732	H22	(H3)			(H11)			H11	(H21)		実施済み	実施予定
3		書庫棟	1991	23	S	2	0	293	(H21)	H26									-	-
4		会議室棟	1991	23	S	2	0	1,481	(H21)										-	-
5		本庁舎・会議室棟連絡橋	1992	22	S	2	0	29											-	-

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とする棟は「庁舎」の1施設、4棟、0.9万㎡です。
- 「庁舎棟」は築年数が38年で、構造はRC造、地上6階地下1階の建物となっています。
- 「庁舎棟」については、現在、耐震補強等改修工事を実施中です（H26.10～H28.3）。



築後年数 38 年の
「庁舎棟」



築後年数 23 年の
「書庫棟」

主な劣化状況

防水層のふくれ



庁舎棟

屋上の塗膜防水のふくれが多数見られる。雨漏りの原因であると考えられるため、早急な対応が必要である。

開口部付近のひび割れ



庁舎棟

階段踊り場の開口部付近でひび割れがある。雨漏りもあり、躯体等への影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要である。

内部床面のひび割れ



書庫棟

床面に比較的大きな亀裂が見られる。つますいたり、足を怪我する恐れがあるため、注意が必要である。

基礎立ち上がり部分の劣化



書庫棟

基礎立ち上がり部分が劣化し、外部からの漏水がある。躯体の劣化進行につながるため、早急な処置を検討する必要がある。

外部鉄骨柱の錆



本庁舎・会議室棟連絡橋

外部の鉄骨柱で錆が見られる。腐食が進行する前に錆を落とし、塗装の塗り替えが必要である。

シャッターレールの劣化



会議室棟

シャッターレールの著しい劣化が見られる。

■劣化状況

- 「庁舎棟」では屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化が進行しており、内部壁においては雨漏りがあるほどの大きなひび割れが数箇所で見られます。
- 他の棟でも、床、壁のひび割れなど、内部仕上げの劣化が見られます。
- 「庁舎棟」では電気設備について点検業者や行政庁から指摘があります。

■仕様

- 屋根・屋上は「庁舎棟」ではアスファルト防水（歩行用）、「書庫棟」及び「会議室棟」では折板葺、「本庁舎・会議室棟連絡橋」ではアルミ笠木となっています。
- 外壁は「庁舎棟」ではタイル、「書庫棟」及び「会議室棟」では吹付、「本庁舎・会議室棟連絡橋」ではALC版となっています。
- 外部開口部は各棟とも普通サッシ、単板ガラスとなっています。
- 空調設備は「庁舎棟」では中央式、その他の棟では個別式となっています。
- 給水設備は「庁舎棟」では重力給水方式、「会議室棟」では直結式となっています。
- 「庁舎棟」及び「会議室棟」では、屋内受変電設備、自家発電設備があります。
- 「庁舎棟」では、その他設備としてエレベーター等の昇降機があります。

■維持管理

- 近年において、各棟で屋根・屋上の工事履歴がありますが、「庁舎棟」では、現時点で漏水の劣化事象があります。
- H26年に「書庫棟」にて外壁のシーリング工事が実施されています。

■課題

- 内部壁において雨漏りがあるほどの大きなひび割れが数箇所で見られ、躯体等への影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要です。
- 「庁舎棟」の電気設備については、点検業者や行政庁からの指摘があるため、早急な対応が必要です。

⑦学校教育施設

ア 学校（校舎棟）（14 施設、61 棟、8.1 万㎡）

建物概要										工事履歴										耐震計画	
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強	
151	五位堂小学校	管理教室棟	1968	46	RC	3	0	1,785	(H24)	(H4)	(H3)	(H3)							実施済み	実施済み	
152		教室棟	1969	45	RC	3	0	1,373	(H4)	(H4)	(H4)	(H4)				(H24)			実施済み	実施予定	
153		教室棟	1973	41	RC	3	0	253	(H4)	(H4)	(H4)	(H4)							実施済み	実施予定	
154		教室棟	1978	36	RC	3	0	279											実施済み	—	
155		教室棟	1978	36	RC	3	0	439											実施済み	—	
164	下田小学校	教室棟	1967	47	RC	3	0	1,187	(H13)	(H13)	(H13)	(H13)							実施済み	実施済み	
165		管理教室棟	1968	46	RC	3	0	1,603	(H13)	(H13)	(H13)	(H13)							実施済み	実施済み	
167		教室棟	1970	44	RC	1	0	460	(H7)	(H7)	(H7)	(H7)							実施済み	実施済み	
168		教室棟	1975	39	RC	3	0	951	(H7)	(H7)	(H7)	(H7)							実施済み	実施済み	
171		教室棟	1980	34	RC	3	0	873											実施済み	実施予定	
174	二上小学校	管理教室棟	1969	45	RC	3	0	1,386	H21	H21	(H25)	(H25)		H18					実施済み	実施済み	
175		管理教室棟	1969	45	RC	3	0	1,212	H21	H21	(H25)	(H25)							実施済み	実施済み	
177		校舎棟	2005	9	S	3	0	829											—	—	
178		校舎	2010	4	S	2	0	568											—	—	
185		特別教室棟	1993	21	RC	2	0	520											—	—	
186		給食室及び特別教室棟	2012	2	S	3	0	719											—	—	
189	関屋小学校	教室棟	1971	43	RC	2	0	394											実施済み	—	
190		教室棟	1974	40	RC	2	0	446											実施済み	—	
191		管理教室棟	1971	43	RC	2	0	1,424											実施済み	—	
196		教室棟	1977	37	RC	3	0	1,151											実施済み	—	
197		教室棟	1979	35	RC	3	0	740											実施済み	—	
205	志都美小学校	普通教室棟	1962	52	RC	2	0	1,354	H20	(H19)					(H20)	(H25)			実施済み	実施済み	
207		普通・特別教室棟1F	1968	46	RC	1	0	302											実施済み	実施済み	
208		普通・特別教室棟2、3F	1971	43	RC	3	0	613	不明										実施済み	実施済み	
214		管理教室棟	1988	26	RC	3	0	1,022											—	—	
215	三和小学校	管理教室棟	1976	38	RC	3	0	2,118											実施済み	実施済み	
216		管理教室棟	1977	37	RC	3	0	302											実施済み	実施済み	
223		教室及び特別教室棟	1979	35	RC	3	0	1,164											実施済み	実施予定	
224		教室棟	1984	30	RC	3	0	273											—	—	
228	鎌田小学校	管理教室棟	1982	32	RC	3	0	3,079											—	—	
236	真美ヶ丘東小学校	校舎棟	1987	27	RC	3	0	4,398											—	—	
242		増築棟	1994	20	RC	3	0	586											—	—	
243		多目的教室棟	1994	20	SRC	2	0	770											—	—	
245	真美ヶ丘西小学校	校舎棟	1987	27	RC	3	0	3,883	H25	(H24)									—	—	
250	旭ヶ丘小学校	校舎棟	1994	20	RC	3	0	3,951	H25							H25			—	—	
252		図書館	1994	20	RC	1	0	556											—	—	
256		校舎棟	2001	13	RC	3	0	614											—	—	
257		校舎棟2F廊下	2003	11	RC	3	0	332											—	—	
258		校舎棟	2003	11	RC	3	0	300											—	—	
260		校舎棟	2005	9	S	3	0	827											—	—	

建物概要								工事履歴										耐震計画				
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強		
264	香芝中学校	教室棟	1974	40	RC	4	0	1,553	(H12)	(H12)	(H12)	(H12)								実施済み	実施済み	
265		教室棟	1975	39	RC	4	0	997												実施済み	実施済み	
266		教室棟	1975	39	RC	4	0	2,289	(H12)	(H12)	(H12)	(H12)									実施済み	実施済み
269		管理及び特別教室棟	1976	38	RC	4	0	2,525	H26	H26											実施済み	実施予定
271		特別教室棟	1977	37	RC	3	0	1,306	(H13)	(H13)	(H13)	(H13)									実施済み	実施済み
272		特別教室棟	1977	37	RC	2	0	634	(H13)	(H13)	(H13)	(H13)									実施済み	不要
273		特別教室棟	1977	37	RC	3	0	1,201	(H13)	(H13)	(H13)	(H13)									実施済み	実施済み
279	香芝西中学校	管理棟	1982	32	RC	3	0	1,211							(H13)					実施済み	実施予定	
280		普通教室棟	1982	32	RC	3	0	2,284												実施済み	不要	
281		特別教室棟	1982	32	RC	3	0	1,870	(H23)											実施済み	実施予定	
282		特別教室棟	1982	32	RC	2	0	344	(H24)											実施済み	不要	
293	香芝東中学校	校舎棟	1983	31	SRC	3	0	4,820												不要	不要	
301		増築棟	1986	28	RC	3	0	7,800												不要	不要	
303		校舎増築棟(美術室、音楽室)	1993	21	RC	2	0	386												不要	不要	
304		校舎増築棟(職員室)	1993	21	S	1	0	46												不要	不要	
305	香芝北中学校	普通教室棟	1999	15	RC	3	0	1,705												不要	不要	
306		特別教室棟	1999	15	RC	3	0	1,292												不要	不要	
307		特別教室棟	1999	15	RC	3	0	2,244												不要	不要	
308		多目的教室棟	1999	15	RC	1	0	385												不要	不要	
315		普通教室棟	2006	8	RC	3	0	683												不要	不要	
316		普通教室棟	2010	4	RC	3	0	578												不要	不要	

※ () は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 耐震補強工事は7割完了し、順次実施予定です。
- 香芝市の校舎棟の施設は65棟、8.2万㎡です。
- その内、保全対象とする棟は61棟、8.1万㎡です。
- 構造で見るとほぼRC造となっています。
- 築後10年未満でS造の校舎棟も増えてきています。
- 半数以上の校舎棟が築後30年以上で、築後40年以上が14棟、築後50年以上が1棟あります。
- 「二上小学校」の一部校舎、「旭ヶ丘小学校」、「香芝北中学校」については比較的新しい校舎となっています。
- 各校舎棟の規模は500㎡程度から約8,000㎡まで様々です。



築後年数52年の
「志都美小学校（普通教室棟）」



築後年数15年の
「香芝北中学校（普通教室棟）」

主な劣化状況

天井の雨漏り



関屋学校（管理教室棟）

漏水により天井面が腐食。躯体の劣化を促進するだけでなく、カビが発生する原因にもなり、衛生面でも問題である。

外壁の剥落



香芝西中学校（特別教室棟）

基礎と地上躯体の間のモルタルが剥落し鉄筋が露出している。躯体の劣化進行につながるため、早急な処置を検討する必要がある。

庇裏の劣化



関屋小学校（教室棟）

庇裏の塗装・モルタルが剥離し鉄筋が露出している。劣化が進行すれば児童に破片が落下する恐れがある。

外壁開口部周辺のひび割れ



三和小学校（教室棟及び特別教室棟）

外壁開口部がひび割れしており、錆汁も確認できる。美観を損なうだけでなく、ひび割れから浸水し、躯体の劣化を進行させる恐れがある。

内部仕上げのひび割れ



旭ヶ丘小学校（校舎棟）

ひび割れ幅の寸法が大きく、塗装もはがれている。鉄筋腐食の原因となり、躯体の劣化を進行させる可能性があるため、詳細な診断が必要である。

屋外階段の劣化



真美ヶ丘西小学校（校舎棟）

全面的に錆が発生しており、強度や安全性が低下している。手すり部分も錆で劣化しており、落下事故等につながる恐れがある。

■劣化状況

- 全体的に劣化が進行しており、特に築後 30 年以上の棟において、外壁、内部仕上げの劣化が進行しています。
- 「関屋小学校」、「二上小学校」、「五位堂小学校」、「下田小学校」、「香芝中学校」、「香芝東中学校」では外壁からの雨漏りもあり、早急な対応が必要です。
- 特に香芝西中学校区では、外壁の劣化からの漏水がある棟が多数見られます。
- 近年設立された「香芝北中学校」や「旭ヶ丘小学校」がある香芝北中学校区では、外部からの漏水等の著しい劣化はありません。
- 当初から開設されている、「志都美小学校」、「下田小学校」、「五位堂小学校」、「二上小学校」、「香芝中学校」の古い校舎棟では工事履歴があり、築年のわりに他の校舎棟と比べて劣化状況が改善されている傾向がみられます。
- 外壁、内部仕上げの劣化については、窓などの開口部周辺で多数見られます。
- 庇裏の塗装・モルタルが剥離し鉄筋が露出している棟があります。
- 建築設備に関する不具合はほとんどありません。
- 屋外階段の錆による劣化が多数見られます。

■仕様

- 屋根・屋上は保護防水（アスファルト防水）が多くを占めています。
- 近年建てられた建物では、工事費用が安いセメント瓦や、長期耐久性に優れたガルバリウム鋼板等、使用が多様化している傾向が見られます。
- 外壁は吹付けが多くを占めています。
- 近年建てられた建物では、耐久性に優れたタイル貼りの仕様が見られます。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスが多くを占めています。

■維持管理

- 修繕・改修が行われている棟は半数以下です。
- 主に築 40 年以上の棟で工事履歴がみられます。
- 主な修繕・改修工事箇所は屋根、外壁、内装・建具で、10 年以上前に実施されているものが多くみられます。
- 建築設備の修繕・改修はほとんど実施されていません。

■課題

- 耐震化実施予定の校舎棟については、耐震化基本方針の目標通り、平成 27 年度に耐震化率 100%とすることが必要です。
- 築後 30 年以上の校舎棟において外壁、内部仕上げの劣化が進行しているため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- 特に築 30～40 年程度で工事履歴がない校舎棟において、優先的に工事を実施する必要があります。
- 躯体・モルタルの剥落、屋外階段の錆による劣化等がみられる危険箇所については、人が近づかないなどの対策が必要です。
- 雨漏りが数棟でみられ、躯体等の劣化の影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要です。
- 設備の不具合に関する回答は比較的少ないですが、適切な修繕・改修がされているか確認する必要があります。

イ 学校（屋内運動場等）（14 施設、16 棟、1.5 万㎡）

建物概要			工事履歴														耐震計画			
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
161	五位堂小学校	屋内運動場	1989	25	RC	2	0	872											-	-
170	下田小学校	屋内運動場	1972	42	S	1	0	708											実施済み	実施済み
176	二上小学校	屋内運動場	1972	42	S	1	0	629											実施済み	実施済み
194	関屋小学校	屋内運動場	1973	41	S	1	0	619											実施済み	実施済み
210	志都美小学校	屋内運動場	1977	37	S	2	0	656	(H12)	(H12)									実施済み	実施済み
222	三和小学校	屋内運動場	1977	37	S	1	0	656											実施済み	実施済み
232	鎌田小学校	屋内運動場	1982	32	S	1	0	693	(H25)										-	-
238	真美ヶ丘東小学校	体育館	1982	32	SRC	1	0	732	H24										-	-
248	真美ヶ丘西小学校	体育館	1987	27	RC	1	0	886	H25										-	-
251	旭ヶ丘小学校	屋内運動場	1994	20	RC	1	0	818	不明										-	-
261		屋内運動場	2005	9	S	1	0	425											-	-
274	香芝中学校	屋内運動場	1978	36	RC	2	0	1,783											実施済み	実施済み
278		武道場	1991	23	S	1	0	704											-	-
286	香芝西中学校	体育館	1982	32	RC	2	0	1,479											実施済み	実施予定
295	香芝東中学校	屋内運動場	1983	31	S	1	0	1,541											-	-
309	香芝北中学校	屋内運動場	1999	15	RC	2	0	1,668											-	-

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 香芝市の屋内運動場等の施設は 17 棟、1.5 万㎡です。
- その内、保全対象とする棟は 16 棟、1.5 万㎡です。
- 構造で見るとRC造が6棟、S造が9棟、SRC造が1棟となっています。
- 中学校の屋内運動場は 1,000 ㎡以上となっています。



築後年数 42 年の
「二上小学校（屋内運動場）」



築後年数 9 年の
「旭ヶ丘小学校（屋内運動場）」

主な劣化状況

防水層の劣化



五位堂小学校（屋内運動場）

接着密度が低下し、浮きが見られる。雨漏りが発生すれば躯体が劣化し、補修費用がかさむため、早急な改修を検討する必要がある。

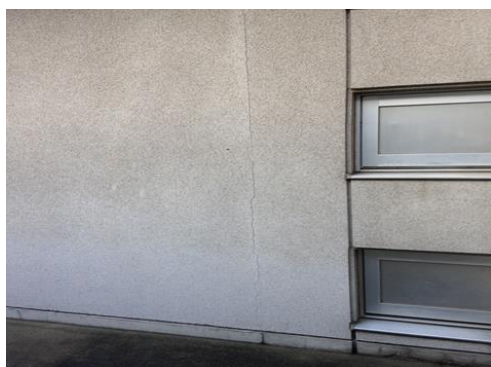
天井の雨漏り



真美ヶ丘西小学校（体育館）

更衣室天井の雨漏り痕。雨漏りがおこると下地材が腐食し、躯体の劣化につながる恐れがある。

外壁のひび割れ



旭ヶ丘小学校（屋内運動場）

比較的大きなひび割れが発生している。雨水が浸入すれば鉄筋腐食の原因となり、躯体の劣化を進行させる恐れがある。

庇の劣化



香芝西中学校（体育館）

庇の先端が剥離し鉄筋が露出している。劣化が進行すれば児童に破片が落下する恐れがある。

内部仕上げの劣化



香芝東中学校（屋内運動場）

妻側壁面が損傷している。損傷規模が広がり、破片が落下する恐れがある。

床の劣化



二上小学校（屋内運動場）

床材が腐食し劣化している。児童がつまずくなど怪我につながる恐れがある。

■劣化状況

- 全体的に劣化が進行しており、屋根・屋上、外壁、内部仕上げの劣化が進行しています。
- 近年設立された「香芝北中学校」や「旭ヶ丘小学校」がある香芝北中学校区では、外部からの漏水等の著しい劣化はありません。
- 「五位堂小学校」、「二上小学校」、「香芝西中学校」、「香芝中学校」、「香芝西中学校」、「香芝東中学校」では雨漏りもあり、早急な対応が必要です。
- 工事履歴がある棟では、外部からの漏水等の著しい劣化はありません。
- 外壁、内部仕上げのひび割れについては、比較的長い寸法のものが見られます。
- 「香芝西中学校」では、一部庇の先端が剥離し鉄筋が露出しています。
- 「二上小学校」では、一部床材が腐食し劣化しています。
- 建築設備に関する不具合はありません。

■仕様

- 屋根・屋上は金属葺きが多くを占めています。
- 外壁は吹付けが多くを占めています。
- 外部開口部は普通サッシ、単板ガラスが多くを占めています。

■維持管理

- 5棟で屋上・屋根の改修工事が行われています。
- 屋上・屋根の改修工事が行われた棟では、現在、雨漏りはありません。
- 建築設備の工事は行われていません。

■課題

- 耐震化実施予定の屋内運動場については、耐震化基本方針の目標通り、平成27年度に耐震化率100%とすることが必要です。
- 雨漏りが数棟でみられ、躯体等の劣化の影響が危惧されるため、躯体を保護する外部仕上げの修繕・改修が必要です。
- 築後30年以上の屋内運動場において外壁、内部仕上げの劣化が進行しているため、定期的な点検を実施し、計画的な改修が必要です。
- 床材の腐食等、施設利用に影響する劣化がみられるため、早急な対応が必要です。
- 躯体・モルタルの剥落等がみられる危険箇所については、人が近づかないなどの対策が必要です。
- 設備の不具合に関する回答はありませんが、適切な修繕・改修がされているか確認する必要があります。

ウ 学校（その他附属建屋等）（3施設、4棟、0.1万㎡）

建物概要									工事履歴								耐震計画			
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
156	五位堂小学校	昇降口棟	1968	46	RC	2	0	159	(H3)	(H4)	(H3)	(H3)							実施済み	実施予定
172	下田小学校	給食室棟	1984	30	S	2	0	289											—	—
253	旭ヶ丘小学校	プール専用附属室	1994	20	RC	1	0	528											—	—
254		給食室	1994	20	RC	1	0	227											—	—

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とするその他附属建屋等は4棟、0.1万㎡です。
- 構造で見るとRC造が3棟、S造が1棟となっています。
- 概ね500㎡以下の小規模の建物となっています。



築後年数30年の「下田小学校（給食室棟）」



築後年数20年の「旭ヶ丘小学校（給食室）」

主な劣化状況

屋外階段の劣化



下田小学校（給食室棟）

全面的に錆が発生しており、強度や安全性が低下している。手すり部分も錆で劣化しており、落下事故等につながる恐れがある。

内壁のひび割れ



旭ヶ丘小学校（給食室）

内部仕上げのひび割れ箇所が多数見られる。定期的な点検により、漏水がないか確認が必要である。

■劣化状況

- 外部からの漏水等の著しい劣化はありませんが、外壁、内部仕上げのひび割れが数箇所で見られます。
- 「下田小学校（給食室棟）」では、屋外階段の錆による劣化が見られます。

■仕様

- 屋根・屋上は「五位堂小学校（昇降口棟）」でアスファルト防水、その他の棟は鉄板板葺、折板となっています。
- 外壁は吹付けが多くを占めています。

■維持管理

- 「五位堂小学校（昇降口棟）」で、H3～4年に建築部分の工事履歴があります。
- 建築設備の工事は行われていません。

■課題

- 漏水等の著しい劣化はありませんが、外壁及び内部仕上げのひび割れについては、定期的な点検により、ひび割れ幅が拡大しないよう経過観察が必要です。

⑧市営住宅（1施設、2棟、0.2万㎡）

建物概要									工事履歴								耐震計画			
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
13	市営住宅	市営住宅	2005	9	RC	3	0	2,054											-	-
14		集会所	2005	9	S	1	0	70											-	-

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とする棟は「市営住宅」の1施設、2棟、0.2万㎡です。
- 「市営住宅」は築年数が9年で、構造はRC造、地上3階の建物となっています。
- 「集会所」は「市営住宅」と同様、築年数が9年で、構造はS造、地上1階の建物となっています。



築後年数9年の「市営住宅」



築後年数9年の「集会場」

主な劣化状況

外壁のひび割れ



市営住宅

外壁で大きなひび割れがみられる。構造的なひび割れの可能性もあるため、詳細な診断が必要である。

袖壁のひび割れ



市営住宅

共用廊下の袖壁で多数のひび割れが見られる。ひび割れ幅が拡大しないよう経過観察が必要である。

■劣化状況

- 「市営住宅」では、外壁及び共用廊下の袖壁等において多数の亀裂が見られます。
- 「集会所」では特に劣化事象等の不具合はありません。

■仕様

- 屋根・屋上は各棟ともに鉄板板葺となっています。
- 外壁は「市営住宅」では吹付、「集会所」では特殊吹付タイルとなっています。
- 外部開口部は各棟とも普通サッシ、単板ガラスとなっています。
- 空調設備は各棟ともに個別式となっています。
- 給水設備は「市営住宅」では加圧給水方式、「集会場」では直結式となっています。
- 「市営住宅」では、その他設備としてエレベーター等の昇降機があります。

■維持管理

- 各棟ともに工事履歴はありません。

■課題

- 築年数9年の新しい建物で、雨漏り等の著しい劣化はありませんが、外壁等で多数みられるひび割れについては、ひび割れ幅が拡大しないよう経過観察が必要です。

⑨供給処理施設（2施設、2棟、0.07万㎡）

建物概要								工事履歴								耐震計画				
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
24	収集センター	事務所	1983	31	RC	2	0	443											-	-
31	ストックヤード	車庫	1999	15	S	1	0	210												

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とする棟は2施設、2棟、0.07万㎡です。
- 「収集センター（事務所）」は築年数が31年で、構造はRC造、地上2階の建物となっています。
- 「ストックヤード（車庫）」は築年数が19年で、構造はS造、地上1階の建物となっています。



築後年数31年の
「収集センター（事務所）」

主な劣化状況

建物周辺の沈下



収集センター（事務所）

犬走りが2~3cm沈下している。

排水設備の劣化



収集センター（事務所）

排水の流れが悪く、すぐにあふれる。また、排水管のジョイント部分から水漏れがあり、13年以上経った状態が続いている。

内部仕上げのひび割れ



収集センター（事務所）

内部壁のひび割れが見られる。定期的な点検により、漏水がないか確認が必要である。

内部サッシの劣化



収集センター（事務所）

内部サッシが劣化し、窓が閉まらない。

内部仕上げの劣化



収集センター（事務所）

内部仕上げが劣化し、クロスがめくれている。美観を損なうだけでなく、壁面の劣化の促進が懸念される。

外構舗装のひび割れ



収集センター（事務所）

コンクリート舗装のひび割れが多数見られる。破片が隣地へ飛び散っており危険である。

■劣化状況

- 「収集センター（事務所）」では、外壁開口部からの漏水、ひび割れやクロスのめくれ等の内部仕上げの劣化が見られます。
- 排水の流れの悪化や排水管からの漏水等、排水設備の著しい劣化が見られます。
- 犬走りの沈下や外構舗装のひび割れなど建物周辺における劣化が見られます。
- 「ストックヤード（車庫）」では特に劣化事象等の不具合はありません。

■仕様

- 屋根・屋上は「収集センター（事務所）」ではカラーベスト葺、「ストックヤード（車庫）」では石綿スレート大波葺となっています。
- 外壁は「収集センター（事務所）」では吹付、「ストックヤード（車庫）」では石綿セレート小波葺となっています。

■維持管理

- 各棟ともに工事履歴はありません。

■課題

- 外壁開口部の漏水箇所や排水設備の著しい劣化については早急に修繕・改修が必要です。
- 多数のひび割れが見られる外構のコンクリート舗装については、舗装の打ち換え等の補修が必要です。
- 「ストックヤード（車庫）」については、劣化部位や設備の不具合に関する回答はありませんでしたが、築年数が19年経過しており、劣化が進行している可能性があるため注意が必要です。

⑩その他（10 施設、11 棟、0.9 万㎡）

建物概要									工事履歴									耐震計画		
No.	施設名	棟名	建築年度	築年	構造種別	地上	地下	延床面積	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水	排水	空調設備	その他設備	外構	耐震診断	耐震補強
17	旧公民館(シルバー人材センター)	事務所	1962	52	RC	2	0	431	(H16)	(H15)	(H16)	(H15)				(H16)			未実施(予定なし)	未実施(予定なし)
18	下田倉庫・物置	倉庫・物置	1993	21	S	2	0	307											—	—
19	旧老人福祉センター	既存棟	不明	-	木造	1	0	233											未実施(予定なし)	未実施(予定なし)
20		事務所	1977	37	RC	2	0	713											未実施(予定なし)	未実施(予定なし)
21	火葬場	火葬場	2004	10	SRC	1	0	461	(H17)	(H17)	(H17)	(H17)	(H17)	(H17)	(H17)	(H17)	(H17)		—	—
38	近鉄五位堂駅北第1自転車駐車場	自転車駐車場	1991	23	S	3	0	2,375					H24							
39	近鉄五位堂駅北第2自転車駐車場	カーポート	1993	21	S	1	0	392												
40	JR香芝駅第1自転車等駐車場	自転車駐車場	2004	10	S	3	0	1,454					H25							
44	近鉄下田駅地下自転車等駐車場	自転車駐車場	1997	17	RC	1	1	1,966					H24	H25		H25	H24			
45	近鉄関屋駅自転車等駐車場	自転車駐車場	2000	14	S	1	0	629					H24							
139	香芝市陶芸教室	陶芸教室	1994	20	S	1	0	90											—	—

※（ ）は施設管理台帳データベースより得られた情報

■保有状況

- 保全対象とする棟は 10 施設、11 棟、0.9 万㎡です。
- 駐車場の構造は概ね S 造となっています。



築後年数 21 年の
「下田倉庫・物置」



築後年数 10 年の
「火葬場」

主な劣化状況

床面のひび割れ



JR香芝駅第1自転車等駐車場

床面が劣化し、多数のひび割れがみられる。ひび割れ幅が拡大しないよう経過観察が必要である。

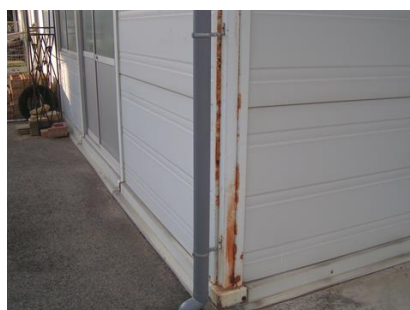
地下の接続部での漏水



近鉄下田駅地下自転車等駐車場

地下の近鉄改札連絡口付近の接続部で漏水している。下地材の腐食等、躯体の劣化が進行している可能性がある。

鉄骨の錆



下田倉庫・物置

柱脚や2階スラブ裏等で部分的に錆が見られる。腐食が進行する前に錆を落とし、塗装の塗り替えが必要である。

開口部付近のひび割れ



「旧公民館（シルバー人材センター）」

開口部付近のひび割れが見られる。定期的な点検により、漏水がないか確認が必要である。

開口部サッシの劣化



「旧公民館（シルバー人材センター）」

サッシの錆びにより窓の開閉が困難となっている。

軒裏の漏水跡



火葬場

軒裏の雨樋付近で漏水痕が見られる。屋根・屋上のルーフトレンの劣化による影響が考えられる。

■劣化状況

- 自転車駐車場では、壁や床などの内部仕上げのひび割れが見られます。
- 「近鉄下田駅地下自転車等駐車場」の地下の改札連絡口付近では、漏水が見られます。
- 「下田倉庫・物置」では柱脚や2階スラブ裏等での鉄骨の錆が見られます。
- 「旧公民館（シルバー人材センター）」では、開口部付近のひび割れその他、窓枠のサッシが錆で閉まらない等の劣化が見られます。
- 「火葬場」では軒裏で漏水跡が見られます。

■仕様

- 自転車駐車場の屋根・屋上は、折板、カラートタン、ルーフデッキ等、多様な仕上げとなっています。
- 「火葬場」では、屋根・屋上はカラーガルバリウム葺、外壁はタイルとなっています。
- 「旧老人福祉センター」、「火葬場」、自転車駐車場の数棟では浄化槽が設けられています。
- 「旧老人福祉センター」の空調は中央式となっています。

■維持管理

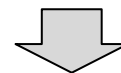
- 「旧公民館（シルバー人材センター）」、「火葬場」、「近鉄下田駅地下自転車等駐車場」では複数の部位で工事履歴が見られます。

■課題

- 自転車駐車場では、躯体に影響するような著しいひび割れは見られませんが、近鉄下田駅地下自転車等駐車場については、地下の改札連絡口付近で漏水が見られるため、早急な対応が必要です。
- 「下田倉庫・物置」で見られる、柱脚や2階スラブ裏等での鉄骨の錆については、腐食が進行する前に、錆落とし、塗装の塗り替えが必要です。
- 「旧公民館（シルバー人材センター）」では、開口部付近のひび割れその他、窓枠のサッシが錆で閉まらない等の劣化が見られるため、定期的な点検により、漏水がないか確認が必要です。
- 「火葬場」の軒裏の漏水跡については、屋根・屋上のルーフドレンの状況を確認する必要があります。

(2) 部位別建物状況

建物の部位別でみられる主な劣化状況を把握し、課題認識を行います。



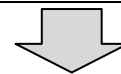
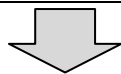
■課題

- 変色・褪色、チョーキング、赤錆等の劣化状況が見られる時点で再塗装を施す必要があります。
- 断面欠損・孔あき等の著しい劣化が見られる場合は撤去し、物理的耐用年数の長いガルバリウム鋼板、ステンレス製、アルミニウム合金製、チタン製に葺き替え、機能向上を図ることが必要です。

■課題

- 長寿命化改修において防水改修を行う際には、全面的に実施することが必要です。
- 防水層は定期的な改修が必要です。

種類		耐用年数
塗膜防水		10～13年
シート防水		13～15年
アスファルト	コンクリート保護層なし	13～15年
防水	コンクリート保護層あり	17～20年



■課題

- 躯体の長寿命化及びモルタル剥落による落下防止等を考慮し、劣化状況に応じた対策が必要です。
- 棟の一部で生じている乾燥収縮ひび割れのような軽度な劣化状態の場合、エポキシ樹脂を注入して塞いだり、コンクリートの表面全体を樹脂製の塗膜で覆います。
- 鉄筋が露出しているような重度な劣化状態の場合、コンクリートをはつりとり、鉄筋の防錆処理を行い、ポリマーセメントモルタルで断面修復を行います。

■課題

- タイルの落下による危害防止ため、劣化状況に応じた対策が必要です。
- モルタル・タイルにひび割れが生じているのみの場合、エポキシ樹脂等を注入します。
- 一部のモルタルやタイルに浮きが生じている場合、モルタル・タイルの裏面に樹脂を注入、アンカーピンを打ち込んでコンクリート躯体に固定します
- 広範囲のモルタルやタイルに浮きやはく落が生じている場合、張替工法やピンネット工法を施します。

雨漏り等による天井材の劣化



漏水により天井面が腐食している。



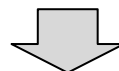
■課題

- 漏水の原因となっている箇所（屋上、配管等）を改修する必要があります。
- 天井材の落下防止対策として、雨漏りにより腐食した天井材をはがし、改修する必要があります。
- 天井高の高い屋内運動場等での落下防止対策としては、天井材の撤去が有効です。

屋外設備の劣化



膨張タンク及びファン機器本体架台が錆で劣化している。



■課題

- 日常点検、消耗部品の定期交換によって故障を未然に防ぐ対策と設備機器更新時における物理的年数の長い機器の選定などの対策が必要です。
- 設備配管の老朽化対策には洗浄工法、更生工法、更新工法があり、劣化状況に応じて組み合わせて利用します。

3. コンクリート中性化深さと診断強度

香芝市が実施した耐震診断データを活用し、中性化理論式（浜田式）から今後期待できる使用年数を算出した結果、ほとんどの建物で80年まで使用が期待できる判定となりました。

なお、これらの建物でも塩化物や雨水が侵入し、錆を発生させている場合もあるため、コンクリートの耐久性を判断するためには、鉄筋の錆の有無や状態を確認する必要があります。

今後、具体的に個々の建物の長寿命化を判断する際は、鉄筋の錆の状態もふまえて検討していく必要があります。

番号	施設名	棟名	構造	築年	築後年数	診断年度	サンプル数	中性化深さの平均値 (mm)	診断強度 (N/mm ²)	評価	
										理論式による深さ (mm)	期待出来る使用年数
1	庁舎	庁舎	RC	1976	38	2009	21	8.7	18.8	21.4	80以上
36	香芝市モナミホール	ホール	RC	1979	35	2010	13	9.3	29.7	20.7	80以上
93	青少年センター	既存	RC	1980	34	2009	9	1.3	35.5	20.0	80以上
94		増築	RC	1991	23	2009	7	4.3	34.9	15.8	80以上
137	香芝市中央公民館	公民館	RC	1979	35	2001	6	10.0	22.7	17.5	80以上
139	香芝市総合体育館	体育館	RC	1977	37	2009	10	7.4	26.5	21.1	80以上
141	香芝市北部地域体育館	体育館	RC	1978	36	2009	3	7.6	17.7	20.7	80以上
150	五位堂小学校	管理教室棟	RC	1968	46	2012	9	19.1	20.1	24.7	80以上
151		教室棟	RC	1969	45	2014	9	3.3	17.7	25.0	80以上
152		教室棟	RC	1973	41	2014	9	0.7	12.2	23.8	80以上
153		教室棟	RC	1978	36	2008	9	7.6	26.0	20.4	80以上
154		教室棟	RC	1978	36	2008	9	6.2	24.8	20.4	80以上
155		昇降口棟	RC	1968	46	2013	3	4.9	20.5	25.0	80以上
156		渡り廊下	RC	1969	45	2013	3	0.5	23.4	24.7	80以上
163	下田小学校	教室棟	RC	1967	47	2002	6	12.0	17.5	22.0	80以上
164		管理教室棟	RC	1968	46	2002	6	12.0	21.8	21.7	80以上
166		教室棟	RC	1970	44	2009	9	7.3	24.1	23.2	80以上
170		教室棟	RC	1980	34	2013	9	7.9	21.6	21.4	80以上
173	二上小学校	管理教室棟	RC	1969	45	2003	3	18.8	19.9	21.7	80以上
174		管理教室棟	RC	1969	45	2003	3	1.7	16.5	21.7	80以上
188	関屋小学校	教室棟	RC	1971	43	2003	2	1.0	20.5	21.1	80以上
189		教室棟	RC	1974	40	2003	2	7.0	15.8	20.0	80以上
190		管理教室棟	RC	1971	43	2002	6	6.2	20.3	20.7	80以上
195		教室棟	RC	1977	37	2008	9	5.5	24.6	20.7	80以上
196		教室棟	RC	1979	35	2008	9	10.5	25.8	20.0	80以上
197		渡り廊下	RC	1977	37	2010	5	1.7	29.9	21.4	80以上
204	志都美小学校	普通教室棟	RC	1962	52	2002	4	21.1	21.5	23.5	80以上
206		普通・特別教室棟1F	RC	1968	46	2002	1	1.0	32.0	21.7	80以上
207		普通・特別教室棟2, 3F	RC	1971	43	2002	2	24.6	20.8	20.7	60未満
214	三和小学校	管理教室棟	RC	1976	38	1998	3	16.0	25.1	17.5	60-80
222		教室及び特別教室棟	RC	1979	35	2009	9	12.7	26.6	20.4	80以上
226		渡り廊下	RC	1979	35	2014	9	1.1	29.7	22.0	80以上
263		香芝中学校	教室棟	RC	1974	40	2002	4	4.5	22.1	19.7
265	教室棟		RC	1975	39	2002	4	12.3	20.2	19.3	80以上
268	管理及び特別教室棟		RC	1976	38	2003	4	5.0	18.0	19.3	80以上
269	渡廊下		RC	1976	38	2002	2	0.0	32.8	19.0	80以上
270	特別教室棟		RC	1977	37	2003	3	4.6	28.0	19.0	80以上
271	特別教室棟		RC	1977	37	2009	6	1.9	24.9	21.1	80以上
272	特別教室棟		RC	1977	37	2003	3	14.0	26.4	19.0	80以上
273	屋内運動場		RC	1978	36	2009	6	11.5	30.5	20.7	80以上
278	香芝西中学校		管理棟	RC	1982	32	2013	9	12.3	35.0	20.7
279		普通教室棟	RC	1982	32	2009	9	9.9	25.7	19.3	80以上
280		特別教室棟	RC	1982	32	2014	9	3.2	27.8	21.1	80以上
281		特別教室棟	RC	1982	32	2008	6	26.0	27.1	19.0	60未満
285		体育館	RC	1982	32	2010	6	18.5	28.6	19.7	60-80

【補足】

1 コンクリートの中性化とは

経年によりコンクリート内部のアルカリ成分が失われること。これにより鉄筋の腐食が進行しやすくなり、腐食が進むとコンクリートが爆裂等を起こし、躯体の寿命を迎えることとなる。コンクリート中性化は、それが許容深さ（30mm）を超えると、鉄筋が腐食しやすい状態にあるという意味であり、ただちに、建物の強度が損なわれるという意味ではない。

2 中性化理論式（浜田式）とは

浜田式は、中性化深さ（t）が30mmに達する築後年数（T）を65年とした時の中性化係数（C）に基づく予測式である。建築学会や土木学会などで多く採用されているコンクリート中性化に関する計算式で、中性化深さは、建設後の経過年数の平方根に比例することが基本となっている。

$$t = 10 \times \sqrt{T \div C}$$

（Cはコンクリート面の仕上げにより異なり、コンクリート打放しの場合はC=7.2）

3 判定について

上記の浜田式を変形し、既存の耐震診断データ（築後年数と中性化深さ）をもとに、許容深さ（30mm）に達する予想到達年数を算出し、今後期待できる使用年数を判定している。

4. 耐震化工事が必要な建物

香芝市全体の保有施設で学校等※を除いた65棟のうち、未耐震化建物は11棟あります。これらの建物については、耐震化計画の策定及び工事の実施が必要です。

※幼稚園・小学校・中学校（185棟）・保育所（29棟）及びカーポート・四阿等（58棟）

施設数	65棟
耐震化施設数	54棟
耐震化率	83%

施設名	建築年	延床面積	構造	地上階数	地下階数	耐震診断	耐震性
庁舎※	S51.7.1	6,731.73	RC	6	1	済み	なし
旧公民館（シルバー人材センター）	S38.3.1	430.00	RC	2		未	---
旧 老人福祉センター	S52.7.1	431.2500	RC	1		未	---
旧 老人福祉センター	不明	233.2800	W	1		未	---
香芝市モナミホール	S55.3.1	2,981.00	RC	3	1	済み	なし
消防詰所（第1分団）	不明	不明	S	2		済み	なし
消防詰所（第4分団）	不明	不明	S	2		済み	なし
消防詰所（第5分団）	不明	不明	S	2		済み	なし
青少年センター	S56.3.1	653.52	RC	3		済み	なし
香芝市中央公民館	S55.3.1	2,635.00	RC	3		済み	なし
香芝市総合体育館	S54.2.1	6,169.00	RC	3		済み	なし

※庁舎 耐震補強等改修工事 実施中（平成26年9月29日から平成28年3月31日まで）

5. 劣化問診票による本市課題について

課題① 劣化が著しい施設の早期対応

- 劣化問診票調査を実施した施設のうち約4割で、「安全上・機能上に問題があり、早急に対応する必要がある」雨漏り、鉄筋の露出等の著しい劣化箇所がみられました。
- 著しい劣化箇所評価箇所がみられた主要な施設用途別の内訳は、下記のとおりです。

・市民文化系施設 3棟のうち3棟	・行政系施設 4棟のうち2棟
・社会教育系施設 2棟のうち2棟	・学校施設 77棟のうち19棟
・スポーツ施設 4棟のうち3棟	・市営住宅 2棟のうち0棟
・保健福祉施設 4棟のうち2棟	・供給処理施設 2棟のうち1棟
・子育て支援施設 34棟のうち5棟	・その他 11棟のうち3棟
- その他の箇所においても、躯体・モルタルの剥落等、安全性が損なわれている劣化がみられます。

「事故事例」

事例① 2015年2月13日深夜 東京・歌舞伎町でビルの外壁が剥がれ落ち、約20m下の歩道に落下しました。けが人はいませんでしたが、深夜の歌舞伎町は一時、騒然としました。

事例② 2015年2月15日午後2時頃、札幌市中央区でビルの看板の金属製部品が落下し、通行人の女性が大けがをしました。「看板は30年前に設置され、ビルの外壁との接続部分の劣化が進んでいたが、看板の安全性を確認する年1回の法定点検が、直近2回は地上からの目視だけだったため、異常が見過ごされた可能性がある」と報道されています。

事例③ 2015年1月、広島県内の公立学校で、天井の落下が相次ぎました。

- ・1月21日に福山市立赤坂小学校の校舎4階の天井裏から、重さ約4.2kgのコンクリート片が落下。
- ・同26日、広島市西区の市立辰午小学校で、天井パネルの留め具が緩んで45cm四方のパネル1枚が落下した。
- ・同27日、広島市東区の市立二葉中学校の天井裏からこぶし大のコンクリート片2個が落下したが、天井パネルで止まった。

いずれもケガ人はありませんでしたが、これらの事故を受けて広島県教育委員会は、県内の小中学校を対象として、校舎最上階の天井を点検するように通知。雨漏りの跡などの異常がないか、日視や打診での点検を求めました。

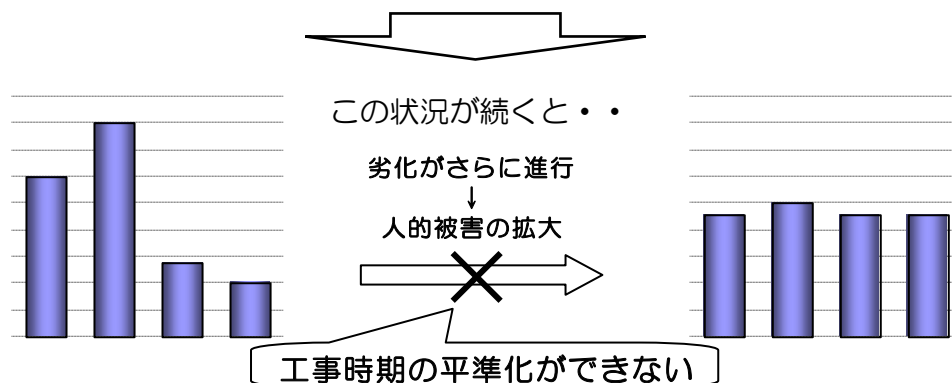
報道では、建築基準法12条に基づく定期点検の死角として、「告示で定める天井に関する調査項目においては、室内側の仕上げの目視での確認が盛り込まれているのみで、天井裏の確認までは含まれていない」ことを指摘しています。

■改善の方向性

著しい劣化箇所のある施設および外壁の落下、最上階に雨漏れ等がある著しい劣化が見られる施設については、施設の入居者や利用者もしくは第三者に危害を与える恐れが潜んでいるため、建築専門家による詳細調査を行い、その結果を基に事故を未然に防ぐ対策を早急に対応していくことが必要であると考えられます。

課題② 施設の維持管理方法および工事実施判断の明確化

- 劣化診断票調査を実施した施設のうち約8割で、劣化の不具合がみられます。



■改善の方向性

施設用途別に要求される建物の基準を定め、その基準を評価できる点検・診断等の結果から、工事実施の判断に結びつくようなしくみの明確化が必要であると考えられます。

課題③ 学校以外の施設に対する耐震化工事の実施

- 学校施設は耐震化基本方針に則り、平成27年度に耐震化率100%達成の見込み。
- 学校以外の施設耐震化は65棟のうち11棟が未実施の状況。

■改善の方向性

学校以外の施設の耐震化について、財政状況を加味して優先順位を定めた工事実施が必要であると考えられます。

課題④ 長寿命化工事計画の策定

- 耐震診断を実施した11棟のコンクリートの中性化および圧縮強度から躯体に対する残存年数を算出した結果、全11棟で80年間使用できる可能性があるとの判定となりました。

■改善の方向性

現在、建物（RC造）の建替え時期を40～50年間としていましたが、今回の結果で躯体寿命が80年間使用可能との判定に伴い、「ライフサイクルコスト」における優位性の確認および「②維持管理方法および工事実施判断」と併せて、施設の寿命を80年間にした工事計画の策定を考えていく必要があると考えられます。

第4章 地域別実態把握

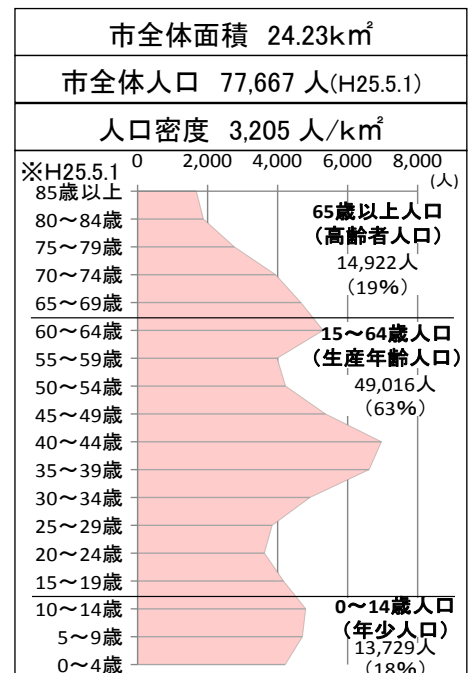
第4章 地域別実態把握

1. 中学校区別の実態把握

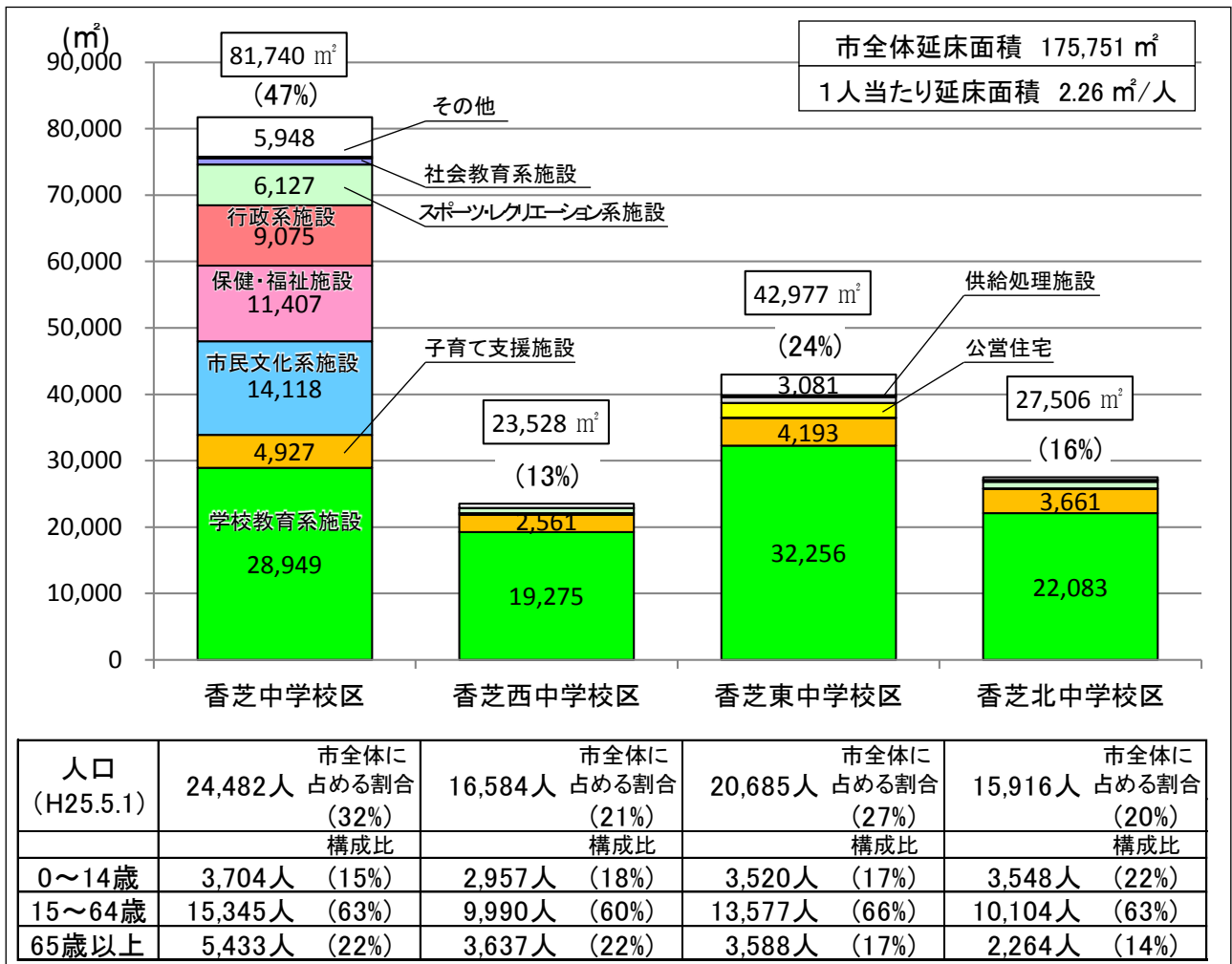
今後、公共施設の有効活用を図っていくためには、第1章で把握した各小学校区別の状況及び特性等に加え、第2章・第3章で整理・検証した用途ごとの公共施設の実態を踏まえ、公共施設の配置状況や整備状況等を整理し、課題を把握・整理することで、市全般にわたる総合的な施設の整備運営に対する方向性等を検討する必要があります。

第4章では、4つの中学校区ごとの公共施設の配置及び整備状況等に加え、各施設の老朽化状況及び利用状況等を整理しています。これらの課題を抽出・整理し、さらに総合的視点から公共施設の整備・運営について今後の方向性を明らかにして、今後の香芝市のまちづくりと連動した施設再編につなげていきます。

※ 第4章で使用している人口・面積・人口密度等は小学校区別人口の最新である平成25年5月1日時点となっています。なお、市全体の面積は、平成26年から、計測方法の変更と計測の基礎となる地図の切り替えが行われたため、24.26km²に変更されています。

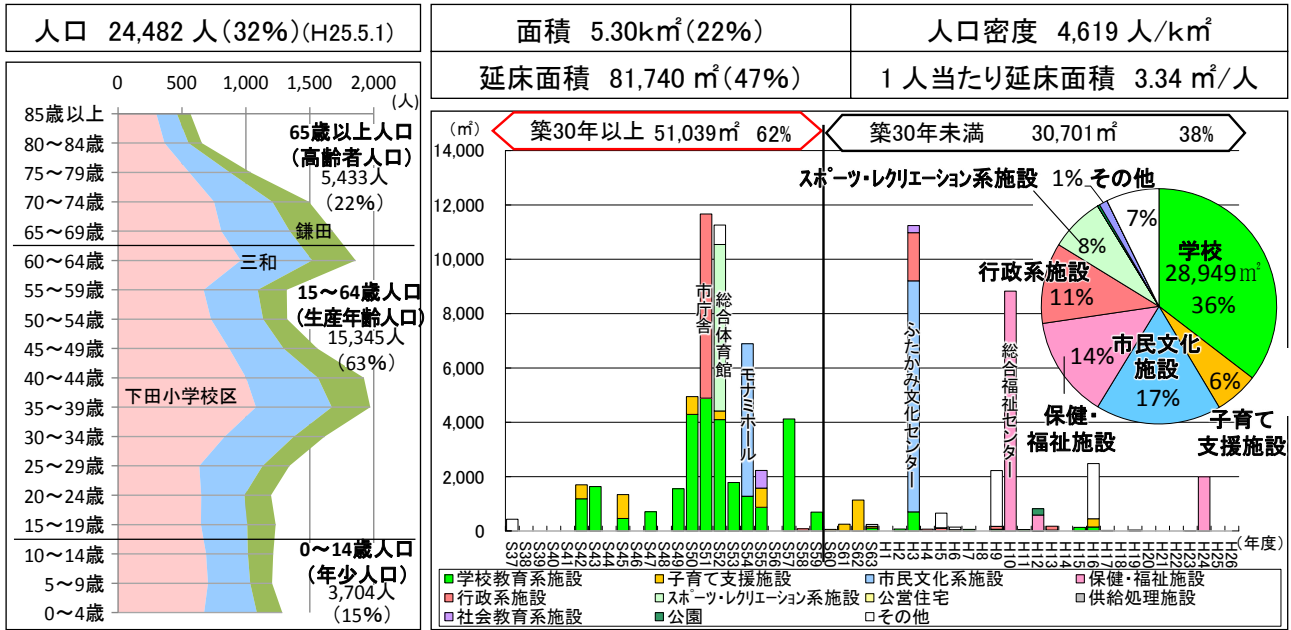


図表 中学校区別公共施設延床面積

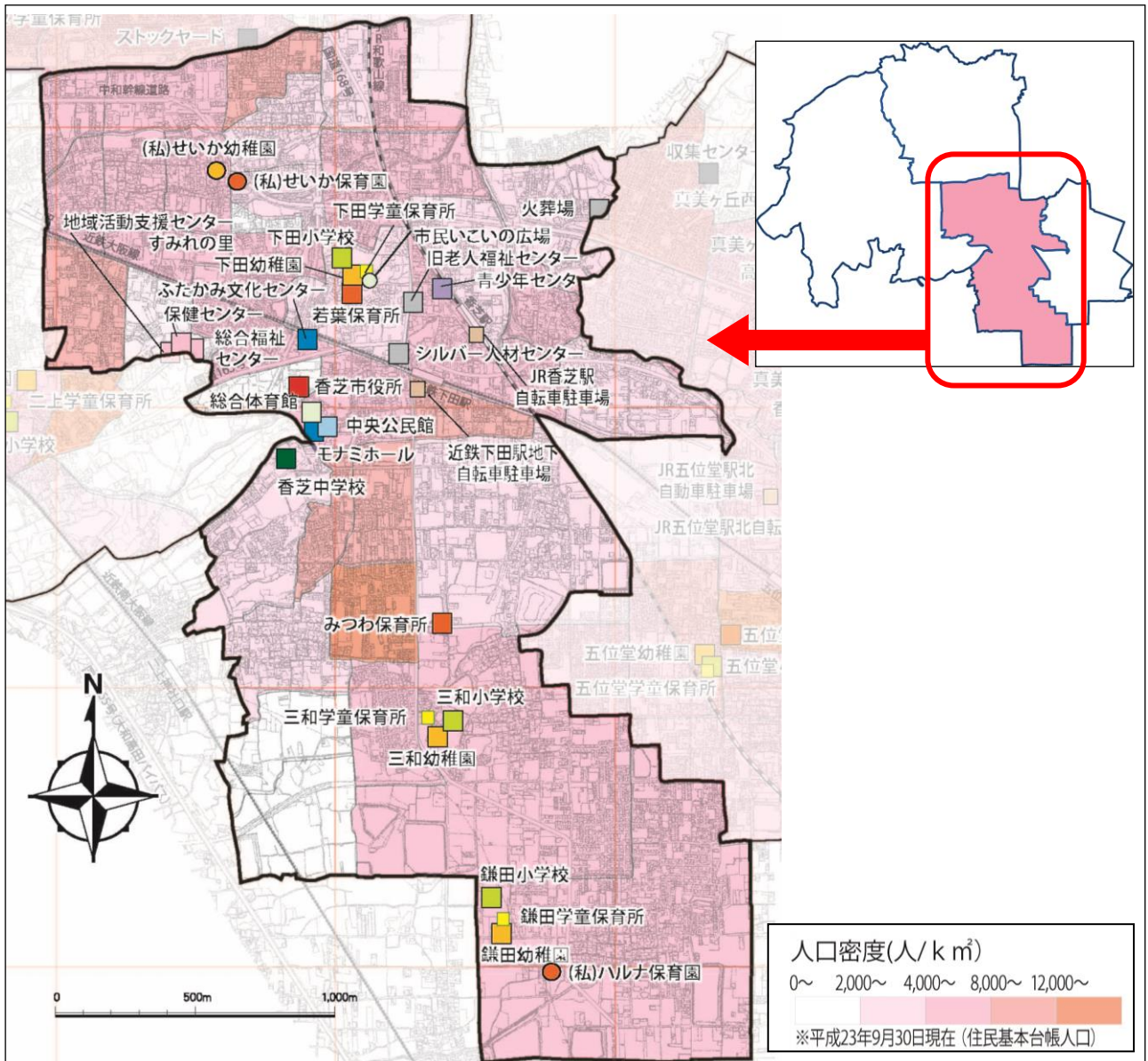


※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

2. 香芝中学校区（下田小学校区、三和小学校区、鎌田小学校区）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。



※ 対象がその他かつ 400 m²以下の施設は地図上に表示していません。

■ 香芝中学校区施設一覧

■ :築40年以上

■ :築30年以上

■ :築20年以上

対象	凡例	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	大分類
1	広域	庁舎	本町1397番地	8,662	昭和51	38	RC	行政系施設
2	広域	香芝市モナミホール	下田西三丁目7番18号	2,981	昭和54	35	RC	市民文化系施設
3	広域	香芝市ふたかみ文化センター	藤山一丁目17-17	8,502	平成3	23	RC	市民文化系施設
4	広域	青少年センター	下田西二丁目1-12	936	昭和55	34	RC	社会教育系施設
5	広域	香芝市中央公民館	下田西三丁目7番5号	2,635	昭和54	35	RC	市民文化系施設
6	広域	香芝市総合福祉センター	逢坂一丁目374番地1	8,837	平成10	16	RC	保健・福祉施設
7	広域	香芝市地域活動支援センターすみれの里	逢坂一丁目509番地1	574	平成12	14	S	保健・福祉施設
8	広域	香芝市保健センター	逢坂一丁目506番地1	1,996	平成24	2	RC	保健・福祉施設
9	広域	香芝市総合体育館	本町1437番地	6,127	昭和52	37	RC	スポーツ・レクリエーション系施設
10	広域	市民いこいの広場	下田西二丁目397番地2	-	-	-	-	スポーツ・レクリエーション系施設
11	地域	香芝中学校	磯壁一丁目1058番地の	13,646	昭和49	40	RC	学校教育系施設
12	地域	下田小学校	下田西二丁目9番41号	6,247	昭和42	47	RC	学校教育系施設
13	地域	三和小学校	良福寺665番地の2	5,036	昭和51	38	RC	学校教育系施設
14	地域	鎌田小学校	鎌田370番地	4,020	昭和57	32	RC	学校教育系施設
15	地域	みつわ保育所	良福寺419	564	昭和42	47	S	子育て支援施設
16	地域	若葉保育所	下田西二丁目6-27	1,051	昭和52	37	S	子育て支援施設
17	地域	下田幼稚園	下田西二丁目9番23号	1,130	昭和45	44	S	子育て支援施設
18	地域	三和幼稚園	良福寺666番地	975	昭和50	39	S	子育て支援施設
19	地域	鎌田幼稚園	鎌田364番地の1	818	昭和62	27	S	子育て支援施設
20	地域	下田学童保育所	北今市五丁目553-3	273	平成16	10	S	子育て支援施設
21	地域	三和学童保育所	良福寺665-2	58	昭和60	29	S	子育て支援施設
22	地域	鎌田学童保育所	鎌田370	58	昭和63	26	S	子育て支援施設
23	その他	消防団第1分団機庫	下田西一丁目1番23号	85	平成6	20	S	行政系施設
24	その他	近鉄下田駅地下自転車駐車場	下田西四丁目186番地1	1,966	平成9	17	RC	その他
25	その他	JR香芝駅第1自転車駐車場	下田西一丁目1番3号	1,454	平成16	10	S	その他
26	その他	JR香芝駅第2自転車駐車場	下田西一丁目293番地4	116	平成16	10	S	その他
27	その他	今池親水公園	下田西三丁目238-1	234	平成12	14	W	公園
28	その他	新池親水公園	鎌田515番1	19	平成17	9	S	公園
29	その他	現業員詰所	本町1397番地	79	昭和58	31	S	行政系施設
30	その他	災害備蓄倉庫・物置	本町1397番地	105	平成10	16	S	行政系施設
31	その他	庁舎附属車庫	本町1397番地	144	平成13	13	S	行政系施設
32	その他	火葬場	下田東五丁目690番地	550	平成16	10	SRC	その他
33	その他	旧公民館(シルバー人材センター)	下田西二丁目1番22号	431	昭和37	52	RC	その他
34	その他	香芝市陶芸教室	下田西二丁目9-17	90	平成6	20	S	その他
35	その他	旧老人福祉センター	下田西一丁目10-39	947	昭和51	38	W	その他
36	その他	し尿中継基地	良福寺575番地1	73	昭和63	26	RC	その他
37	その他	下田倉庫・物置	下田西二丁目2番23号	307	平成5	21	S	その他
38	その他	近鉄下田駅トイレ	下田西四丁目181番地5	14	平成23	3	S	その他

※ 図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 中学校区の現状と課題

＜人口状況からみる課題＞

- ・ 市の人口の32%を占める。小学校区でみると人口が横ばいで少子高齢化が進んでいる三和、鎌田小学校区と、増加傾向にあるが高齢化が進む下田小学校区で構成されている。
- ・ 人口密度は中学校区ほぼ全域で2,000人/k㎡を超えており、特に鉄道の路線沿いや二上・旭ヶ丘小学校区と接する地区では4,000人/k㎡を超える地区も多い。

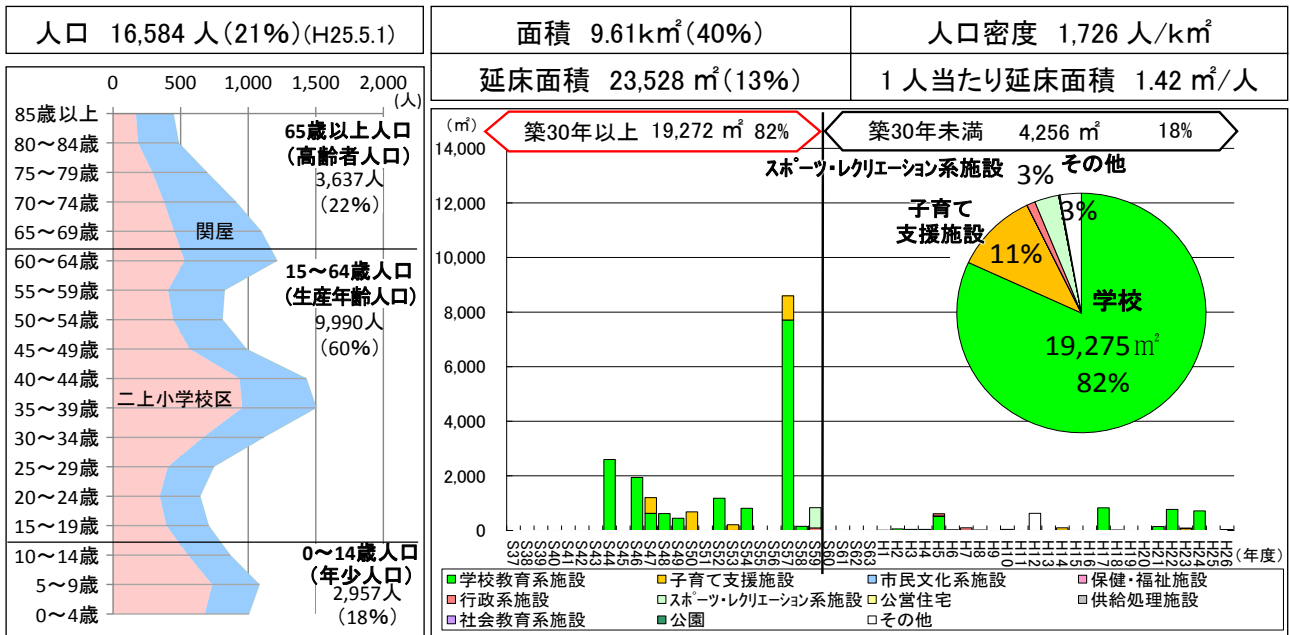
＜施設の配置状況、保有機能からみる課題＞

- ・ 市の広域対応施設が約1km四方内に集中して設置されており、延床面積は約8.2万㎡(47%)で大半を占めている。1人当たりの延床面積は3.34㎡/人で、市全体の2.26㎡/人と比べて高い。
- ・ 貸室機能のある施設が集中しており、機能が重複しているため、工芸室や調理室等、稼働率の悪い機能がある。また、同じ会議・研修室機能でも、ふたかみ文化センターの稼働率は50%を超えているが、総合体育館では11%とかなり低くなっている等、施設によっても大きく違いがある。
- ・ 香芝中学校、三和小学校では今後一時的に現在より3クラス以上の増加があり、下田小学校、鎌田小学校でも児童生徒数は今後ピークを迎える見込みで、平成41年度も他中学校区と比べ大幅な減少はしない予測となっている。

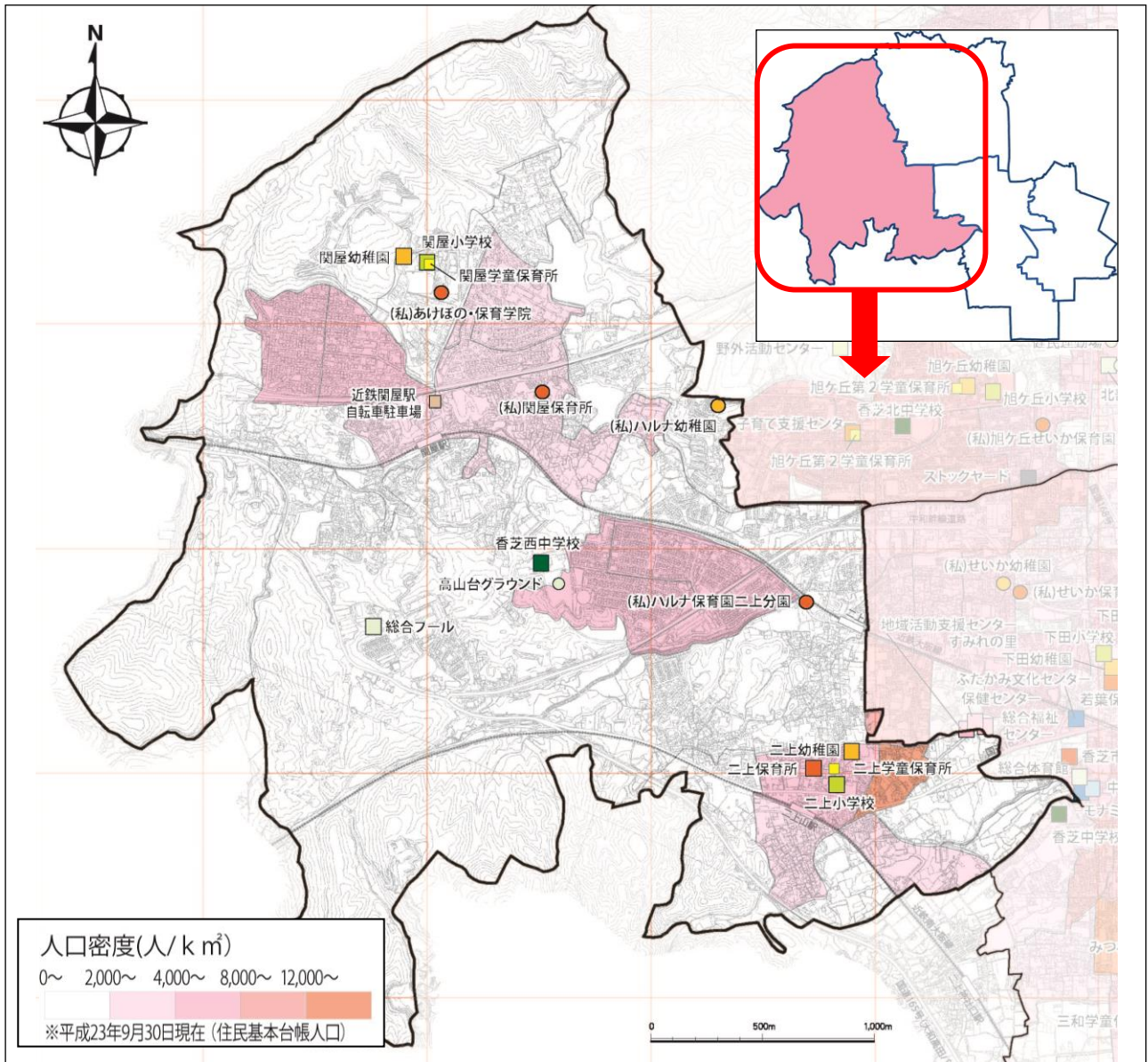
＜施設保全からみる課題＞

- ・ 建物のある37施設中16施設(面積では68%)が築30年以上経過している。保有延床面積の多くを占める学校や保育所・幼稚園の老朽化が進んでいるため、計画的な施設整備手法が必要。
- ・ 延床面積が大きく、他の中学校区にはない広域対応施設が多いため、今後の市の公共施設のあり方も同時に検討しながら施設整備を進める必要がある。

3. 香芝西中学校区（関屋小学校区、二上小学校区）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。



※ 対象がその他かつ 400 m²以下の施設は地図上に表示していません。

■ 香芝西中学校区施設一覧

■ : 築40年以上

■ : 築30年以上

■ : 築20年以上

対象	凡例	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	大分類
1	広域	総合プール	穴虫2864番地の1	744	昭和59	30	RC	スポーツ・レクリエーション系施設
2	広域	高山台グラウンド	高山台三丁目	-	-	-	-	スポーツ・レクリエーション系施設
3	地域	香芝西中学校	穴虫3096番地の2	7,811	昭和57	32	RC	学校教育系施設
4	地域	二上小学校	畑四丁目573番地	6,225	昭和44	45	RC	学校教育系施設
5	地域	関屋小学校	関屋北五丁目7番1号	5,238	昭和46	43	RC	学校教育系施設
6	地域	二上保育所	畑四丁目545	904	昭和57	32	S	子育て支援施設
7	地域	二上幼稚園	畑四丁目608番地	597	昭和47	42	S	子育て支援施設
8	地域	関屋幼稚園	関屋北五丁目6番4号	898	昭和50	39	S	子育て支援施設
9	地域	二上学童保育所	畑四丁目568-1	94	平成14	12	S	子育て支援施設
10	地域	関屋学童保育所	関屋北五丁目7番1号	68	平成23	3	RC	子育て支援施設
11	その他	消防団第5分団機庫	関屋1302番地	78	平成6	20	S	行政系施設
12	その他	消防団第3分団機庫	畑四丁目571番1	91	平成7	19	S	行政系施設
13	その他	近鉄関屋駅自転車等駐車場	関屋1581番地1	629	平成13	13	S	その他
14	その他	郡ヶ池近隣公園	高山台三丁目14番12	40	平成4	22	RC	公園
15	その他	災害備蓄倉庫・物置(関屋学童保育所)	関屋北五丁目1-35	91	昭和60	29	S	行政系施設
16	その他	屯鶴峯トイレ	穴虫2646番地2	20	平成23	3	W	その他

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 中学校区の現状と課題

＜人口状況からみる課題＞

- ・ 市の人口の21%を占める。小学校区でみると近年増加傾向にある二上小学校区と横ばいの関屋小学校区で構成されており、年齢構成別の人口でみると二上小学校区では0～14歳や、30代前半から40代前半が多くなっており、関屋小学校区では60歳以上の人口が多く、高齢化が進んでいる。
- ・ 人口密度は住宅開発が行われた箇所や、近鉄二上山駅付近で高く、中学校区内でも人が集中して住んでいる地区が限られている。

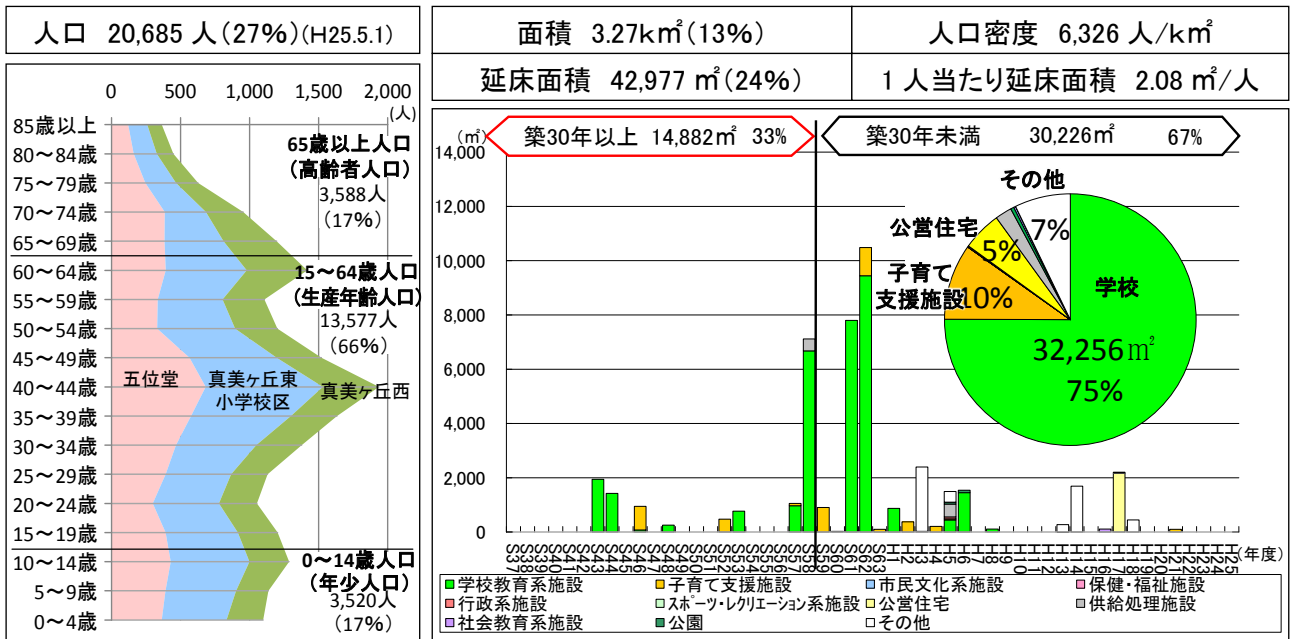
＜施設の配置状況、保有機能からみる課題＞

- ・ 設置されている公共施設は主に学校と保育所・幼稚園であり、その他広域対応施設として総合プールが設置されている。施設1人当たりの延床面積は1.42㎡/人で、市全体の2.26㎡/人と比べて低い。
- ・ 二上幼稚園の入園率78%と比べ、関屋幼稚園の入園率は31%と低くなっている。近くにある民間幼稚園・保育所との連携も考えながら、施設の再編について検討する必要がある。
- ・ 関屋小学校では平成41年度まで大きな減少はしないが、これまで増加してきていた二上小学校では、今後ピークを迎えた後大幅に減少し、現在より4学級少なくなる予測であり、余裕教室も増加することが見込まれる。香芝西中学校では平成41年度は現在より増加する見込み。

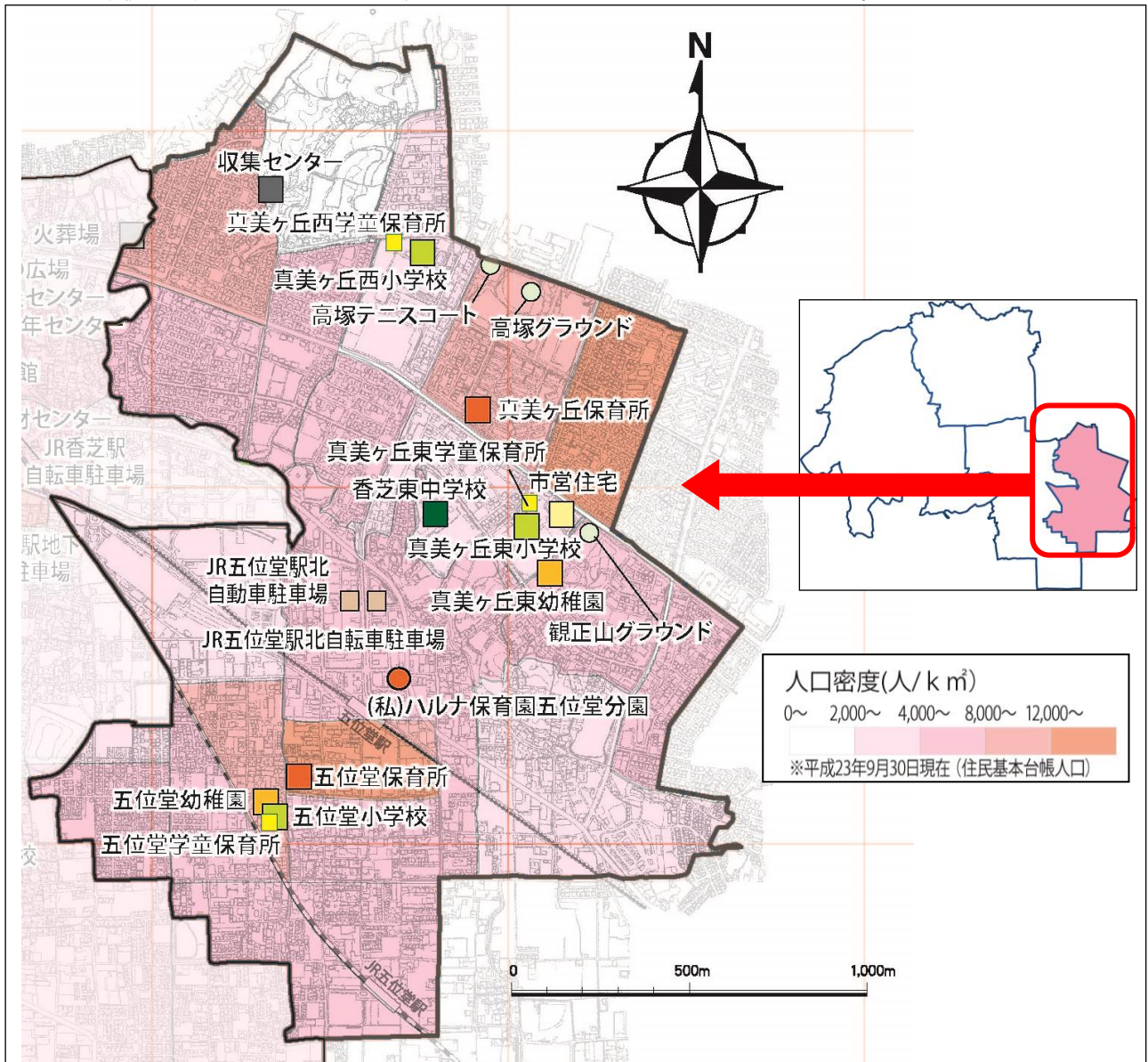
＜施設保全からみる課題＞

- ・ 建物のある15施設中7施設(面積では95%)が築30年以上経過している。特に小学校は両小学校ともに築40年以上を経過している。学校や幼稚園・保育所が一齐に更新時期を迎えることから、より費用を抑えた効率的な施設整備手法や、複合化・多機能化を含めた検討が必要。

4. 香芝東中学校区（五位堂小学校区、真美ヶ丘東小学校区、真美ヶ丘西小学校区）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。



※ 対象がその他かつ 400 m²以下の施設は地図上に表示していません。

■ 香芝東中学校区施設一覧

■ :築40年以上

■ :築30年以上

■ :築20年以上

対象	凡例	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	大分類
1 広域	■	市営住宅	真美ヶ丘三丁目2番43号	2,167	平成17	9	RC	公営住宅
2 広域	■	高塚テニスコート	真美ヶ丘六丁目11番	-	-	-	-	スポーツ・レクリエーション系施設
3 広域	■	高塚グラウンド	真美ヶ丘六丁目11番	-	-	-	-	スポーツ・レクリエーション系施設
4 広域	■	観正山グラウンド	真美ヶ丘三丁目4番	-	-	-	-	スポーツ・レクリエーション系施設
5 地域	■	香芝東中学校	真美ヶ丘二丁目12番27号	14,944	昭和58	31	SRC	学校教育系施設
6 地域	■	五位堂小学校	五位堂二丁目300番地の1	5,461	昭和43	46	RC	学校教育系施設
7 地域	■	真美ヶ丘東小学校	真美ヶ丘三丁目2番70号	6,819	昭和62	27	RC	学校教育系施設
8 地域	■	真美ヶ丘西小学校	真美ヶ丘五丁目4番20号	5,032	昭和62	27	RC	学校教育系施設
9 地域	■	五位堂保育所	五位堂三丁目464-1	773	昭和51	38	S	子育て支援施設
10 地域	■	真美ヶ丘保育所	真美ヶ丘六丁目9-1	925	昭和59	30	S	子育て支援施設
11 地域	■	五位堂幼稚園	五位堂二丁目345番地の1	868	昭和46	43	S	子育て支援施設
12 地域	■	真美ヶ丘東幼稚園	真美ヶ丘三丁目3番24号	1,243	昭和62	27	S	子育て支援施設
13 地域	■	五位堂学童保育所	五位堂二丁目300番地の1	87	昭和57	32	RC	子育て支援施設
14 地域	■	真美ヶ丘西学童保育所	真美ヶ丘五丁目4-16	99	昭和63	26	S	子育て支援施設
15 地域	■	真美ヶ丘東学童保育所	真美ヶ丘三丁目2-13	198	平成2	24	S	子育て支援施設
16 その他	■	消防団第4分団機庫	五位堂五丁目151番地1	68	平成6	20	S	行政系施設
17 その他	■	近鉄五位堂駅北第1自転車駐車場	瓦口2140	2,375	平成3	23	S	その他
18 その他	■	近鉄五位堂駅北第2自転車駐車場	瓦口2127	392	平成5	21	S	その他
19 その他	■	近鉄五位堂駅北自動車駐車場	瓦口2159、2160	-	-	-	-	その他
20 その他	■	近鉄五位堂駅北自動車駐車場	瓦口2169	-	-	-	-	その他
21 その他	■	収集センター	五ヶ所507番地	919	昭和58	31	RC	供給処理施設
22 その他	■	観正山近隣公園	真美ヶ丘三丁目4番	24	昭和60	29	RC	公園
23 その他	■	高塚地区公園	真美ヶ丘六丁目11番	159	平成5	21	RC	公園
24 その他	■	五位堂駅前第二土地区画整理事務所	狐井410	269	平成13	13	S	その他
25 その他	■	埋蔵文化財調査棟	真美ヶ丘五丁目4番	111	平成16	10	S	社会教育系施設
26 その他	■	五位堂第二地区ポンプ管理棟	下田東三丁目(五位堂駅前第二土地区画整理事業施行地区内8街区1号公園)	38	平成17	9	RC	その他
27 その他	■	JR五位堂駅トイレ	五位堂五丁目50-1	7	平成18	8	S	その他

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 中学校区の現状と課題

＜人口状況からみる課題＞

- ・ 市の人口の27%を占める。小学校区でみると近年増加傾向の五位堂小学校区と横ばいの真美ヶ丘東、真美ヶ丘西小学校区で構成されており、30代後半から40代後半の人口が多くなっている。他中学校区と比較し、高齢者人口割合が低く、生産年齢人口割合が高い。
- ・ 人口密度は4,000人/k㎡を超える地区が多く、西真美・真美ヶ丘地区や、五位堂駅前等で8,000人/k㎡以上の地区もある。

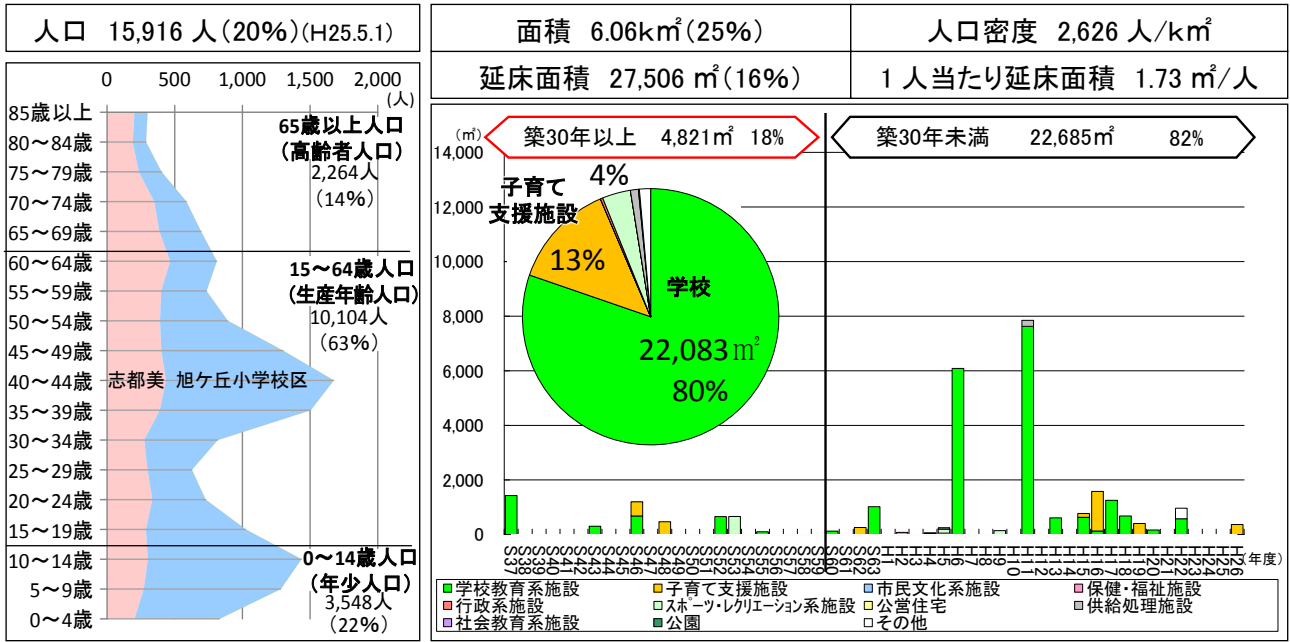
＜施設の配置状況、保有機能からみる課題＞

- ・ 設置されている公共施設は主に学校と保育所・幼稚園であり、その他に収集センターや市営住宅が設置されている。また、駐車場が他地区より多く設置されている。
- ・ 学校の児童生徒数や学級数は既にピークを迎えており、今後減少する予測となっている。真美ヶ丘西小学校を除いて、平成41年度までに学級数は大幅に減少する見込みであり、余裕教室数が全部で17室まで増加することが予測される。

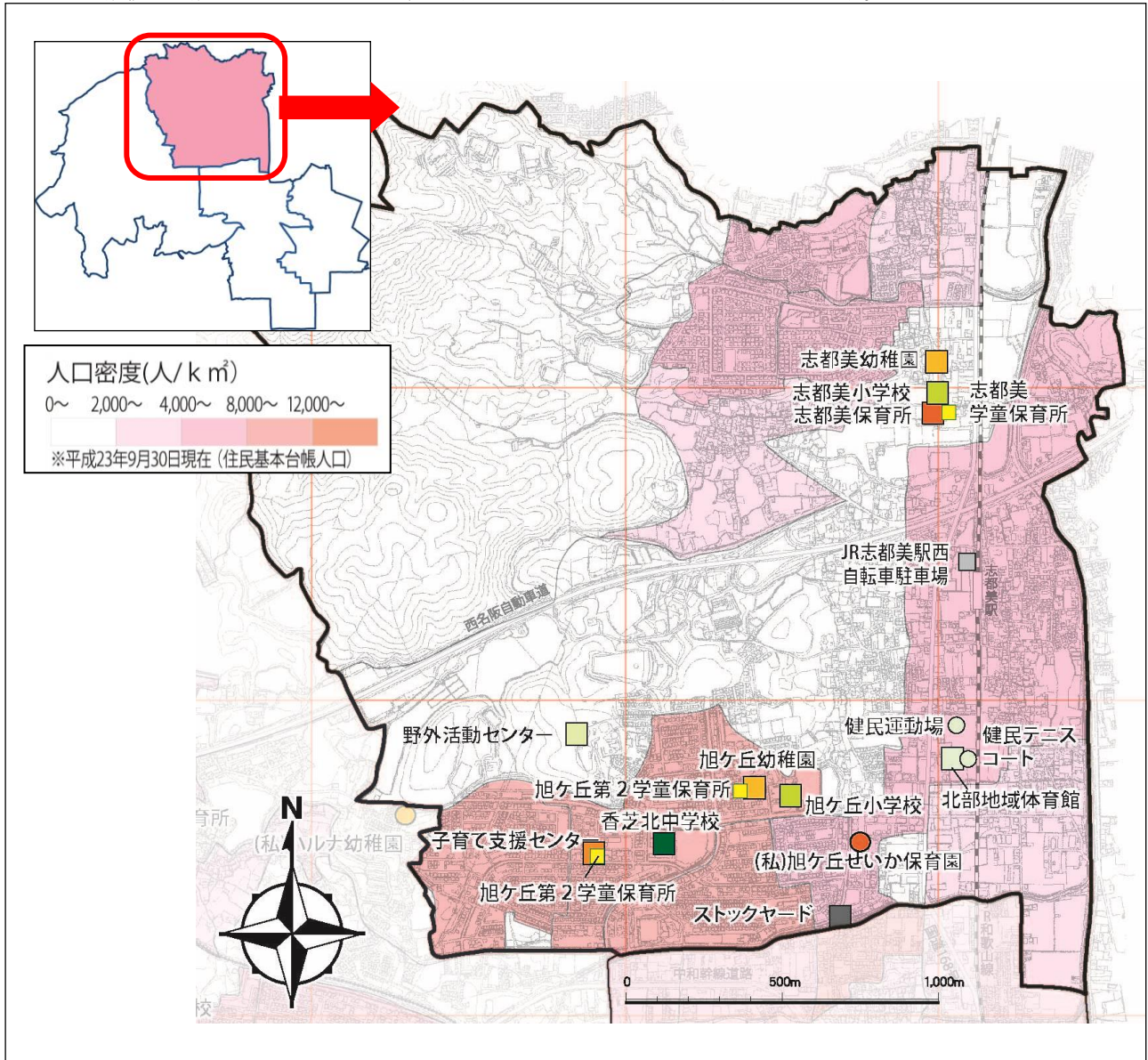
＜施設保全からみる課題＞

- ・ 建物のある22施設中7施設(面積では56%)が築30年以上経過している。真美ヶ丘西小学校、真美ヶ丘東小学校やその周辺の保育所、幼稚園等は近い時期に建てられているため、今後更新の時期が一斉に訪れることから、今後の年少人口の減少予測を踏まえて、複合化・多機能化を含めた検討が必要。

5. 香芝北中学校区（志都美小学校区、旭ヶ丘小学校区）



※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。



※ 対象がその他かつ 400 m²以下の施設は地図上に表示していません。

■ 香芝北中学校区施設一覧

: 築40年以上

: 築30年以上

: 築20年以上

対象	凡例	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	大分類
1	広域	香芝市子育て支援センター	旭ヶ丘四丁目12番地20	197	平成19	7	S	子育て支援施設
2	広域	香芝市北部地域体育館	上中273-1	840	昭和53	36	RC	スポーツ・レクリエーション系施設
3	広域	健民テニスコート	上中273番地1	-	-	-	-	スポーツ・レクリエーション系施設
4	広域	健民運動場	上中273番地1	-	-	-	-	スポーツ・レクリエーション系施設
5	広域	野外活動センター	上中1045-1	144	平成9	17	S	スポーツ・レクリエーション系施設
6	地域	香芝北中学校	旭ヶ丘四丁目14番地	8,887	平成11	15	RC	学校教育系施設
7	地域	志都美小学校	今泉104番地の1	4,317	昭和37	52	RC	学校教育系施設
8	地域	旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘三丁目1番地の3	8,878	平成6	20	RC	学校教育系施設
9	地域	志都美保育所	今泉382	571	昭和46	43	S	子育て支援施設
10	地域	志都美幼稚園	今泉78番地	729	昭和48	41	S	子育て支援施設
11	地域	旭ヶ丘幼稚園	旭ヶ丘三丁目11番地の1	1,448	平成16	10	RC	子育て支援施設
12	地域	志都美学童保育所	今泉363番地	369	平成26	0	S	子育て支援施設
13	地域	旭ヶ丘第1学童保育所	旭ヶ丘三丁目11番地の1	140	平成15	11	S	子育て支援施設
14	地域	旭ヶ丘第2学童保育所	旭ヶ丘四丁目12番地20	207	平成19	7	S	子育て支援施設
15	その他	消防団第2分団機庫	上中312番地1外	81	平成3	23	S	行政系施設
16	その他	JR志都美駅西自転車駐車場	上中160-3, 161-2	306	平成23	3	S	その他
17	その他	ストックヤード	旭ヶ丘一丁目1-1	276	平成11	15	S	供給処理施設
18	その他	旭ヶ丘近隣公園	旭ヶ丘二丁目5番	34	平成4	22	S	公園
19	その他	JR志都美駅トイレ	上中146番	34	平成22	4	RC	その他
20	その他	JR志都美駅エレベータ	上中146番	48	平成22	4	S	その他

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

■ 中学校区の現状と課題

＜人口状況からみる課題＞

- ・ 市の人口の20%を占める。小学校区でみると近年急増した旭ヶ丘小学校区と、微減傾向にある志都美小学校区で構成されており、旭ヶ丘小学校区では5～14歳や、30代後半から40代後半の人口が多くなっている。
- ・ 人口密度はJR志都美駅周辺や白鳳台、旭ヶ丘等の住宅開発が行われた地区で4,000人/k㎡を超えていて人口が集中しているものの、中学校区の大半は2,000人/k㎡未満の地区が多く、人が多く住む場所が限られている。

＜施設の配置状況、保有機能からみる課題＞

- ・ 設置されている公共施設は主に学校と保育所・幼稚園であり、広域対応施設として北部地域体育館が設置されている。延床面積は約2.8万㎡で市全体の16%程度であり、1人当たりの延床面積は1.73㎡/人で、市全体2.26㎡/人より低い。
- ・ 志都美保育所の入所率が高い一方、志都美幼稚園の入園率が低い。志都美保育所は平成28年度民営化に移行する予定となっているため、民営化による効果等に注意を払いながら、子育て支援施設の効率的な再配置について検討していく必要がある。
- ・ 学校の児童生徒数や学級数は既にピークを迎えており、今後減少する予測となっている。児童生徒数や学級数の減少率が著しく、志都美小学校、旭ヶ丘小学校の両小学校とも平成41年度までに学級数は現在の半数近く減少する見込みであり、余裕教室数が32室まで増加することが予測される。

＜施設保全からみる課題＞

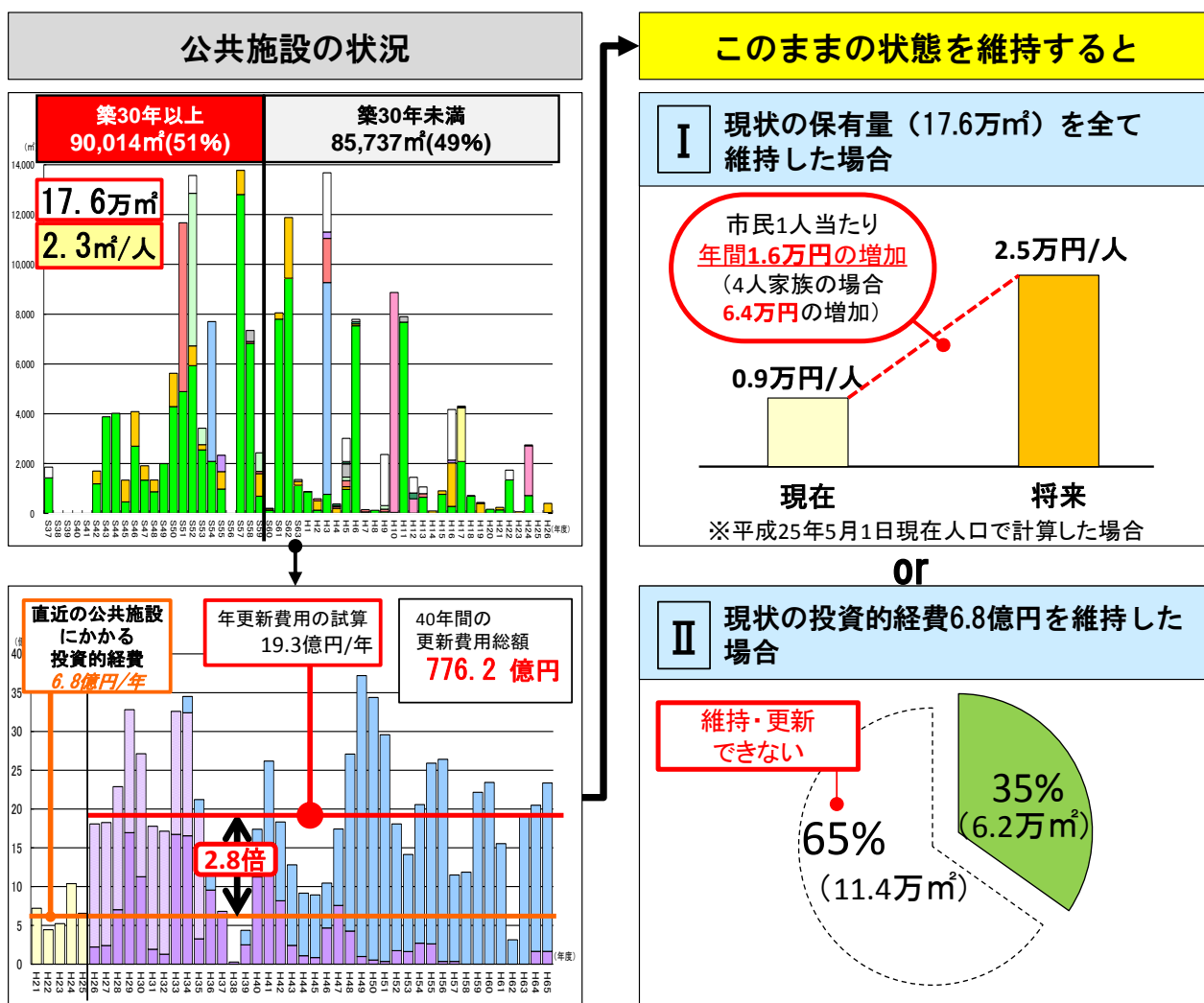
- ・ 建物のある18施設中4施設（面積では23%）が築30年以上経過している。延床面積の大きい旭ヶ丘小学校、香芝北中学校等は比較的新しいため、更新の時期には猶予があるものの、今後の中学校区全体の年少人口の減少予測を踏まえて、余裕教室の活用、複合化・多機能化を含めた検討が必要。

第5章 公共施設マネジメント全体方針

第5章 公共施設マネジメント全体方針

1. 公共施設マネジメントの必要性

- ・単純計算では、このまま、現状の公共施設を維持した場合、公共施設の更新に対する市民1人当たりの負担額が、現在の0.9万円から将来は2.5万円と、年間1.6万円も負担が増えることとなります。公共施設の更新に使うことができる経費が、今後も6.8億円程度で推移したとすれば、現状の公共施設は維持できず、保有する施設の延床面積を17.6万㎡から6.2万㎡まで、保有量の65%にあたる11.4万㎡も削減しなければならないことになり、どちらも現状の財政状況や行政サービスの維持・向上の視点から不可能です。
- ・この状況を放置すると、近い将来大幅な財源不足に陥って、老朽化した施設を放置せざるを得なくなり市民の生命を危険にさらしかねない状況にあります。無理な借り入れにより修繕することは、子どもや孫の世代の負担につながり、安易に行うべきでないことは言うまでもありません。
- ・そのため、今ある資源・資産を最大限に活用して、適切かつ良質な公共施設サービスを維持し、将来にわたる財政面での持続可能性を確保するため、今後の人口減少、人口構成の変化に応じた公共施設マネジメントを実行する必要があります。



2. 公共施設マネジメント全体方針

(1) 全体方針

将来の“まちづくり”を見据えた公共施設の再編と、次の世代に負担を残さないための財政負担の軽減、平準化により、行政サービスの維持・向上を実現する！

(2) 取組方策

1 “施設”から“機能”への転換

＜学校施設の多機能化・複合化により、地域の拠点施設へ＞

- ・ 近接する保育所、幼稚園の連携機能強化により、地域の子育て支援の拠点施設へ
- ・ 高齢化が急激に進行する地域では、余裕教室の活用等により高齢者サービス等新たなニーズへ対応した地域の拠点施設へ

2 広域連携の推進

- ・ 交通利便性の良さを活かし、近隣自治体で保有する類似機能（ホール、スポーツ施設等）について、事業や機能に特色を持たせたり、共同運用するなどサービス連携による効率化

3 公民連携、市民協働の推進＜PPP/PFI等の活用＞

- ・ 厳しい財政状況の中、公共施設の整備、改修・更新を持続的かつ確実に行的っていくため、民間や市民の知恵、ノウハウ、資金等について最大限活用

4 適切な維持管理、長寿命化によるライフサイクルコストの削減

＜財政負担の軽減、平準化＞

- ・ 施設の長寿命化と財政制約と連動した優先順位づけによる更新コストの平準化
- ・ 施設の長寿命化に向けた新たな整備水準、維持管理方式等の設定によるライフサイクルコストの低減

5 施設情報の一元化等、全庁を挙げた体制の整備

- ・ 施設の最新情報の一元化による継続的な実態把握と定期的なPDCAサイクルの見直しによる計画の着実な実行
- ・ 公共施設マネジメントを確実に実行するための管理体制の整備

3. 今後の進め方

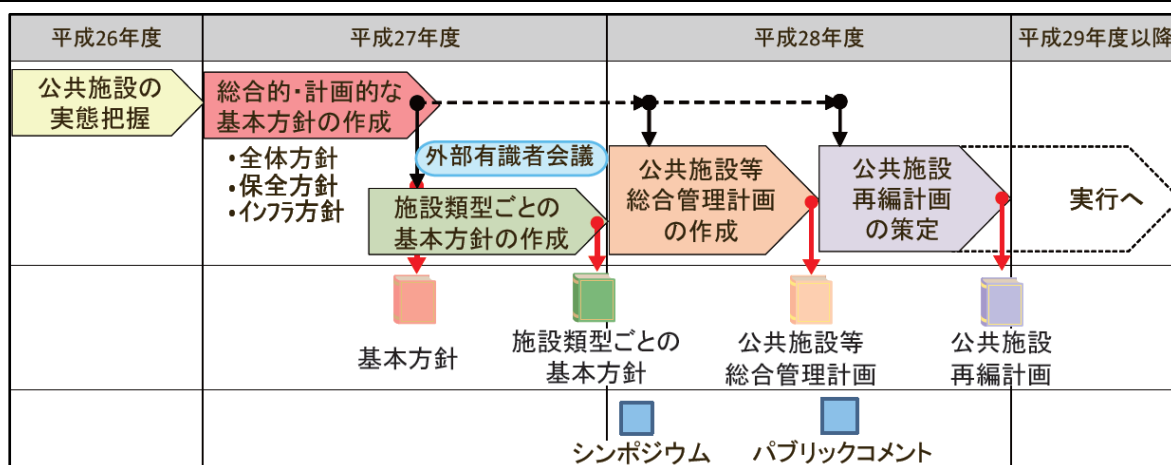
香芝市の公共施設マネジメントについて、これまでの取組経過及び今後の予定については、以下の通りです。

＜これまでの取組経過＞

取組	時期	内容
施設管理台帳調査	平成 25 年度	・市の保有する公共施設のデータベースとなる施設管理台帳の作成
公共施設の実態把握 ・全体方針	平成 26 年度	・市の保有する公共施設の実態を把握し、今後の基本方針につながる課題を抽出、全体方針のまとめ ・概要版「香芝市公共施設マネジメント～実態把握編～」の作成

＜今後の予定＞

取組	時期	内容
総合的・計画的な基本方針の作成	平成 27 年度 上半期	・全体方針等に基づき、数値目標の検討 ・公共施設の維持管理、修繕や、長寿命化等を検討し、保全方針を作成 ・インフラの実態を把握し、インフラ方針を作成 ・市民アンケートの実施
外部有識者会議開催	平成 27 年度 下半期	・総合的・計画的な基本方針についての意見、提案
施設類型ごとの基本方針の作成	平成 27 年度 下半期	・施設類型ごとの課題を抽出し、改善の方向性を検討
市民シンポジウム	平成 28 年度 4 月	・公共施設の実態・課題や、基本方針についての理解を得るため、市民シンポジウムを開催
公共施設等総合管理計画の作成	平成 28 年度 上半期	・延床面積等に関する目標 ・トータルコストの縮減目標 ・平準化に関する目標 等
公共施設再編計画の策定	平成 28 年度 下半期	・用途別改善の方向性 ・モデル事業検討 ・地域別再編検討



4. 香芝市公共施設マネジメント ～全体方針まとめ～

公共施設を取り巻く香芝市の実態	
人口状況	<ul style="list-style-type: none"> 昭和45年以降増加傾向にあり、平成26年現在、約7.8万人で、平成47年約8.1万人まで総人口は増加予測となっている。ただしこれまでの20年間の増加率約1.4倍(+2.2万人)に比べると、今後20年間の増加率約1.1倍(+0.6万人)は緩やかとなる。 人口構成をみると、老年人口比率は平成22年時点18%が、平成47年には30%となり高齢化が急速に進展する。さらに、平成32年以降は75歳以上の割合が高くなる。 小学校区別に見ると、市全体では増加傾向にあってもすでに人口減少が始まり老年人口比率の高い地区や、まだ急激な増加が続いており学校の増築などを行っている地区などさまざまである。
財政状況	<ul style="list-style-type: none"> 歳入・歳出は210～270億円で推移しているものの、宅地開発はほぼ完了しており、企業誘致も難しいことから歳入増加の見通しが低い。一方、歳出は、高齢化や公共施設・インフラ整備での市債発行などで扶助費や公債費の負担が大きい。 投資的経費は歳出全体の約10%程度で推移しているが、この水準を今後も維持できるか検証が必要である。内訳をみると、インフラに係る経費の割合が過半を占めている。
地域状況	<ul style="list-style-type: none"> 本市は、24.26km²とコンパクトな自治体である。昭和40年代から住宅開発を進め、現在はほぼ完了している状況。本市は大阪の都心部や県下主要都市に対する交通の利便性が良く、昼間人口比率81%と、大阪等のベッドタウンとなっている。 鎌田、三和、下田は古くからの市街地、関屋など古くから住宅開発が行われた地域ではすでに人口減少がみられるが、旭ヶ丘や二上、五位堂駅周辺など近年まで開発が続いている地域もあるなど、開発動向や人口構成等に違いがみられる。
施設状況	<ul style="list-style-type: none"> 保有面積約17.6万m²、市民1人当たり2.3m²であり、築30年以上の施設が51%と老朽化が進行している。また、昭和50年から平成6年頃まで建設が集中しており、築20年以上の施設が全体の約8割を占めている。また、耐震化対策は全施設の1～2割が未実施の状態である。 保有割合では、学校施設が全体の58%(10.3万m²)を占め、保育所等も含めると全体の67%が子育て関連施設となっている。 本市が保有する公共施設にかかる将来更新経費は、今後40年間で776億円、年平均19.3億円必要となると試算され、過去5年間の公共施設にかかる普通建設事業費の平均額6.8億円の約2.8倍。

課題・改善の方向性

- 現在は子育て世代が多いことから、子育てしやすいまちへ向けた対応が必要
- 将来の急激な高齢化への対応が必要
- 投資的経費について、今後の水準検証と公共施設/インフラの配分の検証が必要
- 財政制約と連動した施設整備が必要
- 異なる地域実態・特性を踏まえ、将来のまちの姿と連動した施設再編が必要
- 一斉に更新時期を迎えるため、長寿命化等により平準化しながら対応する必要がある
- 建替えの際は、将来を見据えて、長く使ったり、用途転換できるような工夫が必要
- 建設時期が集中しているため一斉に更新時期を迎えることから、子育て関連施設をあわせた更新を検討し、学校を子育て支援の拠点施設へ
- 将来の人口構成変化等を見据え、新たな機能導入を検討するなど、学校を地域の拠点施設へ
- 利用実態と当初の設置目的を検証し、利用者ニーズへの対応が必要
- 老朽化した施設の更新時には、類似機能の集約化や共用化、広域連携等を検討する

用途別の実態	
学校	<ul style="list-style-type: none"> 小学校10校、中学校4校を設置している。児童生徒数は現在まで微増傾向であるが、平成25年をピークに減少傾向となり、平成41年には現在の約80%まで減少する予測である。小規模校は現在1校。 当初4小学校をベースに、昭和の後半から平成の初めにかけて、人口増加とあわせて開校している。 香芝中など余裕教室や少人数教室等として使用している教室が半数近くある学校もあれば、直近まで増築を行っている学校もあるなど、学校によって状況が異なっている。 全14施設のうち10施設が築30年以上経過しており、平成27年度耐震化率100%達成予定である。現在、5施設で雨漏れや外壁の損傷の不具合がでているが、躯体状況は良いので長寿命化が可能。
保育所・幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 市立保育所6園、市立幼稚園9園設置している。市立保育所の入園率は112%、市立幼稚園の入園率は44%となっており、児童数は平成23年度に逆転している。 保育所は全6園、幼稚園は9園中6園で築30年以上経過しており、老朽化が進行している。
学童保育所	<ul style="list-style-type: none"> 市立学童保育所を11か所、私立学童保育所を3か所設置している。小学校低学年児童が対象。 利用者数は平成18年度に比べ、平成26年度は約1.5倍まで増加している。 単独施設が8か所、学校内に2か所、子育て支援センター内1か所となっており、築10年から30年程度経過している。
文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ホールを有する施設を2施設保有している。文化センターは310席(移動式)ホールを保有し、博物館・図書館との複合施設、モナミホールは1,030席(固定席)ホールの単独施設である。 文化センターはホールの稼働率45%、市民ギャラリーや会議室の稼働率59%、モナミホールはホール稼働率27%となっている。
公民館	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館は下田地区に立地しており、ふたかみ文化センター等、集会機能を持つ施設が、至近距離に位置している。 中央公民館の利用件数は年間4,815件(16件/日)、利用者数は7万4,164人(241人/日)で、利用件数のうち主催事業は315件(7%)となっている。
スポーツ・レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設として、総合体育館やグラウンドなど市内に10施設保有している。 体育館2施設はいずれも稼働率が58%～66%と高いが、築35年以上経過しており、総合体育館は耐震安全性確保が未実施の状況である。

全体方針

将来の“まちづくり”を見据えた公共施設の再編と、次の世代に負担を残さないための財政負担の軽減・平準化により、行政サービスの維持・向上を実現する！

(取組方策)

- “施設”から“機能”への転換**
<学校施設の多機能化・複合化により、地域の拠点施設へ>
 - 近接する保育所、幼稚園の連携機能の強化により学校施設を地域の子育て支援の拠点施設へ
 - 高齢化が急激に進行する地域では、余裕教室の活用等により高齢者サービス等新たなニーズへ対応した地域の拠点施設へ
- 広域連携の推進**
 - 交通利便性の良さを活かし、近隣自治体で保有する類似機能(ホール、スポーツ施設等)について、事業や機能に特色を持たせたり、共同運用するなどサービス連携による効率化
- 公民連携、市民協働の推進、<PPP/PFI等の活用>**
 - 厳しい財政制約の中、公共施設の整備、改修・更新等を持続的かつ確実に進めていくため、民間や市民の知恵、ノウハウ、資金等について最大限活用
- 適切な維持管理、長寿命化によるライフサイクルコストの削減**
<財政負担の軽減、平準化>
 - 施設の長寿命化と財政制約と連動した優先順位づけによる更新コストの平準化
 - 施設の長寿命化に向けた新たな整備水準、維持管理方式等の設定によるライフサイクルコストの低減
- 施設情報の一元化等、全庁をあげた体制の整備**
 - 施設の最新情報の一元化による継続的な実態把握と定期的なPDCAサイクルの見直しによる計画の着実な実行
 - 公共施設マネジメントを確実に実行するための管理体制の整備

香芝市公共施設マネジメント
～実態把握編～
資料編

資料編 中学校区別施設利用状況データ

1. 香芝中学校区

<広域対応施設>

施設名称/ 延床面積	建築年 度 (年度)/ 築年数	運営日数/ 年間利用者数 /1日当たり 利用者数/ 全体稼働率	貸室 機能	ホール			会議・集会機能			その他機能				屋内競技場		
				メイン (席数)	サブ (席数)	楽屋	会議・ 研修室	和室	多 目的室	視 聴 覚室	工 芸 室等	調 理 室	その他	メイ ン (面)	サブ (面)	
香芝市モナミ ホール	昭和54	353日 52,527人	室数等	1,030 席	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,981㎡	築35年	149人/日 27%	稼働率	27%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考																
香芝市ふたか み文化センター	平成3	353日 116,482人	室数等	310 席	50席	3	4	2	-	-	-	-	-	市民ギヤ ラリー	-	-
8,502㎡	築23年	330人/日 48%	稼働率	47%	44%	24%	59%	36%	-	-	-	-	-	59%	-	-
備考 香芝市図書館、二上山博物館併設																
香芝市 中央公民館	昭和54	306日 73,225人	室数等	-	-	-	11	2	-	1	1	1	1	託児室	-	-
2,635㎡	築35年	239人/日 32%	稼働率	-	-	-	38%	13%	-	41%	19%	14%	2%	-	-	
備考																
香芝市総合 福祉センター	平成10	352日 47,385人	室数等	-	-	-	3	-	1	1	1	1	健康 増進室	-	-	
8,837㎡	築16年	135人/日 36%	稼働率	-	-	-	50%	-	44%	45%	25%	27%	62%	-	-	
備考 かしば・屯鶴峯温泉、ゲートボール場併設																
香芝市 総合体育館	昭和52	346日 124,638人	室数等	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	トレー ニング室	6面	2面
6,127㎡	築37年	360人/日 58%	稼働率	-	-	-	11%	-	-	-	-	-	-	-	77%	73%
備考 施設利用人数には走路利用3,141人を含む																
市民いこいの 広場	-	346日 2,061人	室数等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	6人/日 5%	稼働率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考 全日利用能力 5面 (1面×5枠)																
合計			室数等	2	1	5	21	4	1	2	2	2	-	-	8面	
合計			稼働率	39%	-	-	39%	25%	44%	43%	22%	20%	-	-	75%	

※平成24年度データ（香芝市総合福祉センターと総合体育館は平成25年度データ）

<保育所・幼稚園・学童保育所>

施設名称	延床 面積	建築 年度 (年度)	築年数	入所(園) 児童数	認可 定員	入所 (園)率	備考
みつわ保育所	564㎡	昭和42	築47年	135人	120人	113%	平成28年度建替予定
若葉保育所	1,051㎡	昭和52	築37年	184人	150人	123%	
下田幼稚園	1,130㎡	昭和45	築44年	120人	210人	57%	
三和幼稚園	975㎡	昭和50	築39年	65人	175人	37%	
鎌田幼稚園	818㎡	昭和62	築27年	36人	140人	26%	
三和学童保育所	58㎡	昭和60	築29年	65人	45人	144%	
鎌田学童保育所	58㎡	昭和63	築26年	35人	45人	78%	
下田学童保育所	273㎡	平成16	築10年	87人	90人	97%	

※児童数等は、保育所は平成26年4月1日、幼稚園は平成26年5月1日、学童保育所は平成26年度データ。

<小学校・中学校>

施設名/ 延床面積	建築年度 (年度) /築年数	普通 教室 数	H26年度	H41年度予測				今後の 生徒数 増減 状況	ピーク		
				H26年からの 増減数	増減率	H41年度状況 750	1,500 (人)		生徒数/ 学級数	ピーク 年度	
香芝中学校 13,646㎡	昭和49 築40年	32室	生徒数	635人	681人	+46人	+7%	生徒数	ピーク	737人	H37
			学級数	17学級	18学級	+1学級	+6%	学級数		20学級	H33
	余裕教室数		6室	5室	-1室	-17%	使用教室数	-		-	
	余裕教室割合		19%	16%	-	-	余裕教室の減少(使用教室に転じた)数			-	-
下田小学校 6,247㎡	昭和42 築47年	29室	生徒数	763人	720人	-43人	-6%		→	826人	H32
			学級数	24学級	22学級	-2学級	-8%			24学級	H22
	余裕教室数		0室	2室	+2室	-		-		-	
	余裕教室割合		0%	7%	-	-	H26年度から増加した余裕教室			-	-
三和小学校 5,036㎡	昭和51 築38年	19室	生徒数	387人	423人	+36人	+9%		→	487人	H34
			学級数	12学級	12学級	0学級	0%			15学級	H32
	余裕教室数		0室	0室	0室	-		-		-	
	余裕教室割合		0%	0%	-	-		-		-	
鎌田小学校 4,020㎡	昭和57 築32年	12室	生徒数	199人	195人	-4人	-2%		→	240人	H31
			学級数	8学級	6学級	-2学級	-25%			10学級	H31
	余裕教室数		0室	2室	+2室	-		-		-	
	余裕教室割合		0%	17%	-	-		-		-	
合計	4校 平均 築39年	92室	生徒数	1,984人	2,019人	+35人	+2%	0	20	40 (学級/室)	
			学級数	61学級	58学級	-3学級	-5%				
			余裕教室数	6室	9室	+3室	+50%				
			余裕教室割合	7%	10%	-	-				

【凡例】

(築年数)

: 築40年以上 : 築30年以上 : 築20年以上

(平成 41 年度状況)

色つき部分: 平成41年度の状況 色つき部分: 平成41年度の状況 ピーク時の値

斜線: 平成26年度からの増加分 点線: 平成26年度からの減少分

(今後の生徒数増減状況)

↻ : 平成26年以降にピーク (3クラス以上の増加がある)

→ : 平成26年以降ピークがあるが大きく増えない(増加が2クラス以内) あるいは減少が始まっているがゆるやかな減少(平成41年度までに2クラス以内の減少)

↻ : 既にピークを迎え減少が始まっている あるいは今後3クラス以上の減少がある

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

2. 香芝西中学校区

<広域対応施設>

施設名称	延床面積	建築年度(年度)	築年数	運営日数	年間利用者数	1日当たりの利用者数	全体稼働率	備考
総合プール	744㎡	昭和59	築30年	42日	26,905人	641人/日	-	平成25年度は休止
高山台グラウンド	-	-	-	346日	11,237人	32人/日	23%	全日利用能力 5面(1面×5枠)

※総合プールは平成24年度データ、高山台グラウンドは平成25年度データ。

<保育所・幼稚園・学童保育所>

施設名称	延床面積	建築年度(年度)	築年数	入所(園)児童数	認定員	入所(園)率	備考
二上保育所	904㎡	昭和57	築32年	136人	120人	113%	
二上幼稚園	597㎡	昭和47	築42年	109人	140人	78%	
関屋幼稚園	898㎡	昭和50	築39年	44人	140人	31%	
二上学童保育所	94㎡	平成14	築12年	74人	55人	135%	平成27年度施設整備計画あり
関屋学童保育所	68㎡	平成23	築3年	49人	45人	109%	

※児童数等は、保育所は平成26年4月1日、幼稚園は平成26年5月1日、学童保育所は平成26年度データ。

<小学校・中学校>

施設名/延床面積	建築年度(年度)/築年数	普通教室数	H26年度				H41年度予測			今後の生徒数増減状況	ピーク	
			生徒数	H26年からの増減数	H26年からの増減率	H41年度状況	0	750	1,500(人)		生徒数/学級数	ピーク年度
香芝西中学校 7,811㎡	昭和57 築32年	19室	生徒数	457人	501人	+44人	+10%	生徒数	ピーク	⊕	577人	H34
			学級数	13学級	15学級	+2学級	+15%	学級数			15学級	H29
			余裕教室数	0室	-2室	-2室	-	使用教室数			-	-
			余裕教室割合	0%	-11%	-	-				-	-
二上小学校 6,225㎡	昭和44 築45年	29室	生徒数	826人	708人	-118人	-14%			⊖	845人	H28
			学級数	25学級	21学級	-4学級	-16%				26学級	H25
			余裕教室数	0室	4室	+4室	-		H26年度から増加した余裕教室		-	-
			余裕教室割合	0%	14%	-	-				-	-
関屋小学校 5,238㎡	昭和46 築43年	19室	生徒数	389人	351人	-38人	-10%			⊕	416人	H30
			学級数	12学級	12学級	0学級	0%		余裕教室数		13学級	H29
			余裕教室数	1室	1室	0室	0%				-	-
			余裕教室割合	5%	5%	-	-				-	-
合計 3校 19,275㎡		67室	生徒数	1,672人	1,560人	-112人	-7%	0	20	40(学級/室)		
			学級数	50学級	48学級	-2学級	-4%					
			余裕教室数	1室	3室	+2室	+200%					
			余裕教室割合	1%	4%	-	-					

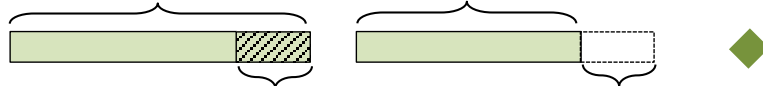
【凡例】

(築年数)

■ : 築40年以上 ■ : 築30年以上 ■ : 築20年以上

(平成41年度状況)

色つき部分: 平成41年度の状況 色つき部分: 平成41年度の状況 ピーク時の値



斜線: 平成26年度からの増加分 点線: 平成26年度からの減少分

(今後の生徒数増減状況)

⊕ : 平成26年以降にピーク(3クラス以上の増加がある)

⊖ : 平成26年以降ピークがあるが大きく増えない(増加が2クラス以内)あるいは減少が始まっているがゆるやかな減少(平成41年度までに2クラス以内の減少)

⊙ : 既にピークを迎え減少が始まっているあるいは今後3クラス以上の減少がある

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

3. 香芝東中学校区

<広域対応施設>

施設名称	運営日数	年間利用者数	年間利用件数	1件当たり利用者数	1日当たり利用者数	全体稼働率	備考
高塚テニスコート	346日	14,556人	2,793件	5人/件	42人/日	40%	全日利用能力 21面 (3面×7枠)
高塚グラウンド	346日	19,574人	659件	30人/件	57人/日	34%	全日利用能力 6面 (1面×6枠)
観正山グラウンド	346日	14,683人	407件	36人/件	42人/日	26%	全日利用能力 5面 (1面×5枠)

※平成25年度データ。

<保育所・幼稚園・学童保育所>

施設名称	延床面積	建築年度(年度)	築年数	入所(園)児童数	認可定員	入所(園)率	備考
五位堂保育所	773㎡	昭和51	築38年	125人	120人	104%	
真美ヶ丘保育所	925㎡	昭和59	築30年	148人	150人	99%	
五位堂幼稚園	868㎡	昭和46	築43年	68人	140人	49%	
真美ヶ丘東幼稚園	1,243㎡	昭和62	築27年	126人	280人	45%	
五位堂学童保育所	87㎡	昭和57	築32年	70人	45人	156%	平成27年度施設整備計画あり
真美ヶ丘西学童保育所	99㎡	昭和63	築26年	54人	45人	120%	平成27年度施設整備計画あり
真美ヶ丘東学童保育所	198㎡	平成2	築24年	74人	90人	82%	

※児童数等は、保育所は平成26年4月1日、幼稚園は平成26年5月1日、学童保育所は平成26年度データ。

<小学校・中学校>

施設名/延床面積	建築年度(年度)/築年数	普通教室数	H26年度				H41年度予測		H41年度状況	今後の生徒数増減状況	ピーク	
			生徒数	学級数	増減数	増減率	生徒数	学級数			生徒数/学級数	ピーク年度
香芝東中学校 14,944㎡	昭和58 築31年	22室	生徒数	736人	566人	-170人	-23%	生徒数	750	ピーク	736人	H26
			学級数	19学級	15学級	-4学級	-21%	学級数	1,500		20学級	H25
			余裕教室数	0室	4室	+4室	-	使用教室数			-	-
			余裕教室割合	0%	18%	-	-	H26年度から増加した余裕教室			-	-
五位堂小学校 5,461㎡	昭和43 築46年	19室	生徒数	481人	405人	-76人	-16%		ピーク	520人	H21	
			学級数	17学級	12学級	-5学級	-29%			17学級	H21	
			余裕教室数	0室	5室	+5室	-			-	-	
			余裕教室割合	0%	26%	-	-			-	-	
真美ヶ丘東小学校 6,819㎡	昭和62 築27年	27室	生徒数	587人	433人	-154人	-26%		ピーク	675人	H18	
			学級数	18学級	12学級	-6学級	-33%			20学級	H18	
			余裕教室数	2室	8室	+6室	300%			-	-	
			余裕教室割合	7%	30%	-	-			-	-	
真美ヶ丘西小学校 5,032㎡	昭和62 築27年	14室	生徒数	332人	285人	-47人	-14%		ピーク	356人	H22	
			学級数	12学級	12学級	+0学級	+0%			12学級	H14	
			余裕教室数	0室	0室	0室	-			-	-	
			余裕教室割合	0%	0%	-	-			-	-	
合計	4校	82室	生徒数	2,136人	1,689人	-447人	-21%	20	40 (学級/室)			
			学級数	66学級	51学級	-15学級	-23%					
			余裕教室数	2室	17室	+15室	+750%					
			余裕教室割合	2%	21%	-	-					

【凡例】

(築年数) : 築40年以上 : 築30年以上 : 築20年以上

(平成41年度状況) 色つき部分: 平成41年度の状況 色つき部分: 平成41年度の状況 ピーク時の値

(今後の生徒数増減状況)



: 平成26年以降にピーク (3クラス以上の増加がある)



: 平成26年以降ピークがあるが大きく増加しない(増加が2クラス以内) あるいは減少が始まっているがゆるやかな減少(平成41年度までに2クラス以内の減少)



: 既にピークを迎え減少が始まっている あるいは今後3クラス以上の減少がある

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

4. 香芝北中学校区

<広域対応施設>

施設名称	延床面積	建築年度(年度)	築年数	運営日数	年間利用者数	年間利用件数	1件当たり利用者数	1日当たり利用者数	全体稼働率	備考
香芝市北部地域体育館	840㎡	昭和53	築36年	346日	20,982人	1,252件	17人/件	61人/日	66%	全日利用能力 6面 (1面×6枠)
健民テニスコート	-	-	-	346日	11,457人	1,284件	9人/件	33人/日	48%	夏季12面 (2面×6枠) 冬季10面 (2面×5枠)
健民運動場	-	-	-	346日	16,811人	570件	29人/件	49人/日	39%	全日利用能力 5面 (1面×5枠)
野外活動センター	144㎡	平成9	築17年	282日	4,013人	115件	35人/件	14人/日	-	

※平成 25 年度データ。野外活動センターは平成 24 年度データ。

<保育所・幼稚園・学童保育所>

施設名称	延床面積	建築年度(年度)	築年数	入所(園)児童数	認定員	入所(園)率	備考
志都美保育所	571㎡	昭和46	築43年	81人	60人	135%	平成28年度民営化予定
志都美幼稚園	729㎡	昭和48	築41年	38人	140人	27%	平成27年度までに耐震化実施予定
旭ヶ丘幼稚園	1,448㎡	平成16	築10年	111人	280人	40%	
志都美学童保育所	369㎡	平成26	築0年	50人	45人	111%	
旭ヶ丘第1学童保育所	140㎡	平成15	築11年	141人	70人	101%	香芝市子育て支援センター内
旭ヶ丘第2学童保育所	207㎡	平成19	築7年		70人		

※児童数等は、保育所は平成 26 年 4 月 1 日、幼稚園は平成 26 年 5 月 1 日、学童保育所は平成 26 年度データ。

<小学校・中学校>

施設名/延床面積	建築年度(年度)/築年数	普通教室数	H26年度				H41年度予測				今後の生徒数増減状況	ピーク	
			生徒数	学級数	余裕教室数	余裕教室割合	H26年からの増減数	増減率	H41年度状況	生徒数		学級数	ピーク年度
香芝北中学校 8,887㎡	平成11 築15年	26室	生徒数	842人	438人	-404人	-48%	生徒数	750	ピーク	842人	H26	
			学級数	21学級	12学級	-9学級	-43%	学級数	750		21学級	H26	
			余裕教室数	0室	9室	+9室	-	使用教室数	750		-	-	
			余裕教室割合	0%	35%	-	-	H26年度から増加した余裕教室	750		-	-	
志都美小学校 4,317㎡	昭和37 築52年	16室	生徒数	347人	213人	-134人	-39%				375人	H23	
			学級数	12学級	6学級	-6学級	-50%				12学級	H22	
			余裕教室数	0室	4室	+4室	-				-	-	
			余裕教室割合	0%	25%	-	-				-	-	
旭ヶ丘小学校 8,878㎡	平成6 築20年	42室	生徒数	1,187人	660人	-527人	-44%				1,376人	H23	
			学級数	35学級	18学級	-17学級	-49%				39学級	H23	
			余裕教室数	0室	17室	+17室	-				-	-	
			余裕教室割合	0%	40%	-	-				-	-	
合計 3校 22,083㎡		84室	生徒数	2,376人	1,311人	-1,065人	-45%	0	20	40 (学級/室)			
			学級数	68学級	36学級	-32学級	-47%						
			余裕教室数	0室	30室	+30室	-						
			余裕教室割合	0%	36%	-	-						

【凡例】

(築年数)

■ : 築40年以上 ■ : 築30年以上 ■ : 築20年以上

(平成 41 年度状況)

色つき部分:平成41年度の状況 色つき部分:平成41年度の状況 ピーク時の値
 斜線:平成26年度からの増加分 点線:平成26年度からの減少分

(今後の生徒数増減状況)

🚫 : 平成26年以降にピーク (3クラス以上の増加がある)
 ➡ : 平成26年以降ピークがあるが大きく増加しない(増加が2クラス以内)あるいは減少が始まっているがゆるやかな減少(平成41年度までに2クラス以内の減少)
 ⤵ : 既にピークを迎え減少が始まっているあるいは今後3クラス以上の減少がある

※図表の数値は端数処理をしているため、100%または合計と一致しない場合があります。

香芝市公共施設マネジメント

～実態把握編～

発行日 平成 27 年 3 月
企画・編集 香芝市総務部管財課

発行者 香芝市
〒639-0292
奈良県香芝市本町 1397 番地
TEL 0745-76-2001 (内線 478)
FAX 0745-78-3830
